

事業報告書（令和6年度）

I 沿 革

昭和10年10月	天理教校よのもと会により、よろづ相談所が開設され、医療・相談・厚生 の三部をおく。
昭和12年12月	私立病院開設認可。天理市別所町（旧丹波市町別所）において、内科・小 児科・眼科・レントゲン科の診療開始。結核療養所開設。
昭和15年2月	天理市川原城町（旧丹波市町川原城）に医療部のみ移転。 よろづ相談所結核研究所開設。
昭和41年3月4日	天理市三島町200番地（おやさとやかた西右第二、第三棟）において、財 団法人天理よろづ相談所開設の認可を受ける。 理事長 諸井慶五郎、身上部長・院長 山本俊平、事情部長 深谷忠政、 世話部長 東井三代次、院長補佐 柏原貞夫、事務部長 村上英雄。
昭和41年4月1日	開所式。
昭和41年4月1日	医師住宅田部荘竣工。（41. 3. 26入居開始）
昭和41年4月1日	医師住宅陽明寮、大同奈良土地(株)と賃貸借契約。（41. 3. 28入居開始）
昭和41年4月2日	業務開始。
昭和41年6月1日	「憩の家」月報創刊号発刊。
昭和41年7月7日	放射性同位元素使用許可。
昭和41年11月4日	コンゴブラザビル憩の家診療所開設。〔第一次医療班関係〕
昭和42年2月25日	天理高等看護学院を開設。
昭和42年3月14日	天理衛生検査技師学校を開設。
昭和42年4月1日	I・C・U 開設。（67病棟内に7床）
昭和42年6月14日	医師住宅おやさと8号館竣工。（42. 7. 2入居開始）
昭和42年10月14日	女子職員独身寮 別所荘新館竣工。（42. 11. 15入居開始）
昭和43年5月16日	医師住宅天理ビル譲渡契約。（43. 6. 29入居開始）
昭和43年7月16日	臨床研修を行う病院に指定。（以後継続）
昭和43年10月1日	日本医学放射線学会認定放射線科専門医修練機関。（以後継続）
昭和43年12月1日	事務部長 村上英雄 退任。後任：春野喜春。
昭和43年12月1日	男子職員独身寮おやさと1号館賃貸借契約。（43. 12. 14入居開始）
昭和44年4月28日	医学研究所動物研究室第一期工事完成。
昭和44年5月1日	天理よろづ相談所病院別所分院を開設。
昭和44年10月7日	日本医学図書館協会準会員加盟承認。
昭和44年9月9日	人工腎臓室開設。（60病棟内に6床）
昭和45年1月16日	医師住宅おやさと11号館竣工。（45. 1. 17入居開始）
昭和45年8月1日	日本脳神経外科学会認定医訓練場所。（以後継続）
昭和46年4月3日	日本内科学会認定内科専門医教育病院。（以後継続）
昭和46年5月1日	C・C・U 開設。（69病棟内に2床）

昭和46年 8 月31日 医師住宅陽明寮、大同奈良土地(株)から買収する。

昭和46年10月22日 職員住宅おやさと12号館第一期工事竣工。

昭和47年 2 月 3 日 職員住宅おやさと12号館第二期工事竣工。

昭和47年 3 月25日 理事長 諸井慶五郎、身上部長・院長 山本俊平 退任。
後任：理事長兼身上部長 東井三代次、事情部長 深谷忠政、
世話部長 橋本兼正、院長 山本利雄、副院長 柏原貞夫、
事務部長 春野喜春。

昭和47年 9 月 2 日 日本麻酔科学会麻酔教育指導病院。(以後継続)

昭和47年 9 月15日 第1回准看護婦予備試験実施。(以降毎年夏に実施)

昭和47年 9 月26日 相談センター開設。

昭和47年12月 1 日 職員就業規則(全文改正)施行。(47. 11. 1 適用)

昭和48年 4 月 1 日 天理医学技術学校(3年制)開校。

昭和48年 5 月 1 日 天理市立山の辺小学校および同北中学校養護学級担当教員訪問授業受入れ
について、天理市教育長と協定す。

昭和49年 3 月31日 天理衛生検査技師学校(2年制)廃止。

昭和49年 5 月30日 よろこび寮(准看学生寮)竣工。(49. 6. 2 入居開始)

昭和50年 2 月18日 世話部アメリカ事務取扱所の設置。

昭和50年 5 月 1 日 レジデント制度の実施。

昭和50年 6 月20日 仮設託児室開室。

昭和50年12月23日 南別館(許可病床92床)竣工。

昭和51年 1 月16日 南別館使用開始。(総合病棟92床)

昭和51年 3 月31日 仮設託児室、教庁託児所へ託児移管。

昭和51年11月15日 天理よろづ相談所別所分院管理棟の移築。(67床に変更)

昭和52年 3 月31日 第二よろこび寮(看護学院寮)の竣工。(52. 4. 3 入居開始)

昭和52年12月31日 別所分院特設修養科廃止。

昭和52年12月31日 コンゴブラザビル憩の家診療所閉鎖。

昭和53年 3 月25日 理事長 東井三代次、世話部長 橋本兼正、院長 山本利雄 退任。
後任：理事長兼身上部長 中山慶一、事情部長 深谷忠政、
世話部長兼事務局長 春野喜春、院長 柏原貞夫、
副院長 永田 誠・高橋 浩。

昭和53年 3 月25日 事務部を事務局と名称変更。

昭和54年 1 月 5 日 おやさとやかた西右第四棟(憩の家)起工式。

昭和54年 2 月27日 学校教育法に基づく専修学校(専門課程)の許可を天理高等看護学院、天
理医学技術学校の両校ともに受ける。認可に伴い天理高等看護学院は天理
看護学院と校名変更。

昭和54年 3 月31日 日本病理学会認定病院。(以後継続)

昭和54年 4 月 1 日 給与等銀行振込制度実施。

昭和54年10月 2 日 日本外科学会認定病院。(以後継続)

昭和55年 2月12日 医師住宅おやさと19号館竣工。(55. 3. 10入居開始)

昭和55年 4月19日 医師住宅おやさと11号館本部管財課へ移管。

昭和55年 9月11日 医師住宅田部荘本部管財課へ移管。

昭和55年12月 1日 世話部長兼事務局長 春野喜春 退任。後任：井上護国。

昭和56年 7月 1日 日本臨床病理学会臨床検査医研修施設。(以後継続)

昭和56年12月 1日 日本消化器内視鏡学会認定指導施設。(以後継続)

昭和56年12月 6日 日本胸部外科学会認定医認定制度指定施設。(以後継続)

昭和57年 3月23日 おやさとやかた西右第四棟(憩の家)上棟式。

昭和57年 6月 1日 天理よろづ相談所健康保険組合設立認可。(理事長 柏原貞夫)

昭和57年 6月 2日 機械棟電気室受電式。(57. 7. 15使用開始)

昭和57年11月 1日 玄関棟竣工。

昭和57年12月22日 北別館2階・3階増築完成。

昭和58年 4月 1日 おやさとやかた西右第四棟竣工。

昭和58年 4月11日 日本整形外科学会認定制度研修施設。(以後継続)

昭和58年 6月26日 理事長兼身上部長 中山慶一 退任。後任：松田元次。

昭和58年10月 1日 日本眼科学会専門医制度研修施設。(以後継続)

昭和58年11月 1日 おやさとやかた西右第四棟完成に伴い病棟再編成実施。

昭和59年 3月24日 日本耳鼻咽喉科学会認定専門医制度研修施設。(以後継続)

昭和59年 3月25日 事情部長 深谷忠政、世話部長兼事務局長 井上護国 退任。
後任：世話部長兼事務局長 中田武彦、事情部長 田辺教一。

昭和59年 5月 1日 南別館3階・4階教育研修棟使用開始。

昭和59年 5月 8日 心療内科診療開始。

昭和59年 9月 1日 外来部門全面禁煙区域の実施。(但し玄関棟に喫煙コーナー設置)

昭和59年11月 5日 日本医学図書館協会正会員加盟承認。
(天理よろづ相談所病院医学図書館に改称)

昭和59年11月13日 日本消化器外科学会専門医修練施設。(以後継続)

昭和60年 1月26日 天理看護学院3年制課程併設認可。
3年制課程：第一看護学科 2年制課程：第二看護学科。

昭和60年 4月 1日 コンピューターによる医事システム全面開始。

昭和60年 4月 6日 天理看護学院第一看護学科第一期生入学。

昭和60年 5月 1日 形成外科診療開始。

昭和60年 8月11日 天理看護学院第一看護学科予備試験開始。(准看護婦予備試験同日実施)

昭和61年 1月 1日 アテンディングドクター制度採用。

昭和61年 1月24日 天理教教祖百年祭に伴う救護活動実施。(至2月19日)

昭和61年 3月 3日 日本小児科学会認定医制度研修施設。(以後継続)

昭和61年 3月30日 第二よろこび寮(看護学院棟)増築完成。(昭61. 4. 5入居開始)

昭和61年 4月 1日 日本泌尿器科学会専門医教育施設。(以後継続)

昭和61年 4月 6日 創立20周年記念誌「よろづ相談所の歩み」発刊。

昭和61年 5 月 2 日 事情部長 田辺教一 退任。後任：榊井幸吉。

昭和62年 1 月19日 別所分院改築工事起工式。

昭和62年 3 月 7 日 **MR 棟**新築工事起工式。

昭和62年 4 月 1 日 日本皮膚科学会認定研修施設。(以後継続)

昭和62年 5 月28日 日本心身医学会認定医制度研修診療施設。(以後継続)

昭和62年 9 月25日 日本産婦人科学会認定医制度卒後研修指導施設。(以後継続)

昭和62年10月 3 日 別所分院竣工。(62. 11. 1 使用開始)

昭和62年10月 3 日 **MR 棟**竣工。(62. 11. 21使用開始)

昭和63年 1 月 5 日 日本形成外科学会認定医研修施設。(以後継続)

昭和63年 3 月29日 外国医師、外国歯科医師が臨床修練を行う病院に指定。

昭和63年 6 月30日 女子職員独身寮改修工事完了。(着工昭和62年11月 1 日)

昭和63年10月20日 日本消化器病学会認定施設。(以後継続)

昭和64年 1 月 1 日 日本肝臓学会認定医制度認定施設。(以後継続)

平成元年11月 8 日 日本呼吸器外科学会専門医制度認定施設。(以後継続)

平成 2 年 3 月31日 医師住宅陽明寮改修工事完了。(着工平成元年 9 月 1 日)

平成 2 年 3 月31日 日本血液学会認定医制度研修施設。(以後継続)

平成 2 年 4 月 8 日 日本胸部疾患学会認定医制度認定施設 (内科系)。(以後継続)

平成 2 年 4 月11日 薬品庫増築工事完了。(着工平成 2 年 2 月 1 日)

平成 2 年12月 1 日 新診療カード使用。再来受付機 6 台設置稼動。

平成 2 年12月 1 日 日本気管支学会認定医制度認定施設。(以後継続)

平成 3 年 2 月 1 日 新コンピューターによる医事・会計システム全面開始。

平成 3 年 4 月10日 日本胸部疾患学会認定医制度認定施設 (外科系)。(以後継続)

平成 3 年 4 月15日 コンピューターによる薬剤システム稼動。

平成 3 年 6 月 1 日 在宅療養支援開始・在宅世話どりセンター設置。

平成 3 年 6 月19日 杉本町医師住宅 (32戸) 新築工事起工式。(天理市杉本町382-1)

平成 3 年12月 1 日 当所単独電話交換室開設・交換業務開始。

平成 4 年 1 月13日 天理看護学院第一看護学科入学推薦試験実施。

平成 4 年 2 月 3 日 ドクターコール使用廃止。院内専用ポケットベル使用開始。

平成 4 年 4 月 1 日 4 週 5 休制実施。

平成 4 年 4 月 1 日 日本循環器学会循環器専門医研修施設。(以後継続)

平成 4 年 6 月 1 日 副院長 楠川禮造 就任。

平成 4 年 9 月23日 杉本町医師住宅おやさと24号館 (32戸) 竣工。(平 4. 10. 1 入居開始)

平成 5 年 3 月12日 天理看護学院長 奥村秀弘 就任。

平成 5 年 3 月25日 院長 柏原貞夫 退任。後任：楠川禮造。

平成 5 年 7 月12日 夏季休暇制度実施。(3 日間)

平成 5 年 7 月26日 外来者・身体障害者専用駐車場完備、使用開始。

平成 5 年12月16日 副院長 羽白 清・今中孝信 就任。

平成 6 年 1 月 1 日 日本核医学会認定医教育病院施設。(以後継続)

平成6年1月17日 路線バス（天理・奈良間）運行開始。（停留所名：憩の家病院）

平成6年1月25日 1階診察室（投薬診察専用）使用開始。
〔内科（消・循・呼・分・神）眼科、耳鼻咽喉科〕

平成6年5月25日 医療廃棄物焼却処理システム完成・火入れ式執行。（6月1日使用開始）

平成6年6月1日 4週6休制実施。（週実働39.5時間）

平成6年10月28日 入院患者に対する適時適温給食実施。

平成6年11月1日 病棟面会時間延長実施。（午後2時～午後7時）

平成6年11月15日 別所分院正面玄関等移転工事着工。（竣工平成7年3月31日）

平成6年12月28日 わらく荘（天理市指柳町318-1）25戸 医師住宅として使用開始。

平成7年1月20日 阪神・淡路大震災被災地へ医師、看護婦他 医療班派遣・神戸市長田保健所管内にて2月6日まで7班延51名従事。

平成7年2月7日 同・奈良県対策本部医療救護班（奈良県病院協会チーム）として東灘保健所管内にて2月13日まで3班延15名従事。

平成7年2月10日 南別館3階・外来（泌尿器科・形成外科・皮膚科）転用のため改修工事着工。（完工6月中旬予定）

平成7年4月15日 ヴィラ・キッポー（天理市三島町154-8）24戸
ジュニアレジデント宿舎として使用開始。

平成7年5月1日 天理よろづ相談所健康保険組合「いこい健保だより」創刊。

平成7年5月2日 事情部長 梶井幸吉 退任。後任：高橋一男。

平成7年5月17日 天理看護学院・天理医学技術学校新校舎建築起工式。（天理市別所町80-1）

平成7年6月24日 南別館3階・外来（泌尿器科・形成外科・皮膚科）診療開始。

平成7年9月4日 外来者用スリッパ洗浄システム完成・始動開始。

平成7年10月3日 日本透析医学会認定医制度認定施設。（以後継続）

平成7年10月23日 外科外来（心臓血管外科・胸部外科・脳神経外科）四棟移転・診療開始。

平成7年11月27日 日本糖尿病学会認定教育施設。（以後継続）

平成7年12月11日 内科外来（消内・血内・分内）及び眼科2診 旧外科外来に移転・診療開始。

平成7年12月15日 天理よろづ相談所健康保険組合体育館新築工事起工式。（天理市指柳町312-1）

平成8年3月18日 第2専門外来・神経内科 旧泌尿器科外来に移転・診療開始。

平成8年3月25日 理事長兼身上部長 松田元次 退任。後任：深谷善和。
世話部長 中田武彦、事情部長 高橋一男、事務局長 今村俊三。

平成8年4月26日 開設30周年記念年譜（昭和61年～平成7年）発行。

平成8年6月1日 副院長 鍋島祥男・新納京子 就任。

平成8年9月1日 天理看護学院・天理医学技術学校新校舎竣工。

平成8年10月4日 天理よろづ相談所健康保険組合体育館竣工。

平成9年3月31日 MR装置1.5テスラ更新。（4月2日使用開始）

平成9年4月1日 財団事務局に「憩の家ひのきしんセンター」設置。

平成9年4月1日 日本神経学会教育認定施設。(以後継続)

平成9年4月1日 放射線科を放射線部と改め診断、治療、RI、MRの四部門で構成。

平成9年6月8日 天理よろづ相談所健康保険組合理事長 奥村秀弘 就任。

平成9年7月22日 「夏休みふれあい看護一日体験(高校生対象)」実施。(至8月22日)

平成9年9月1日 天理医学技術学校長 奥村秀弘 就任。

平成10年4月1日 人工腎臓室を改め透析センターと名称変更。

平成10年4月1日 事務部門に人事課を新設。給食課を栄養課に名称変更。

平成10年4月1日 日本ハイパーサーミア学会認定施設。

平成10年6月17日 脳ドック(日帰り)の開設。

平成10年7月8日 西右二棟各階浴室改修工事完了・使用開始。

平成10年7月15日 日本プライマリ・ケア学会認定医研修施設。

平成10年7月27日 非血縁者間骨髄移植採取施設。

平成10年8月1日 40B病棟観察室(稼働10床)設置・使用開始。

平成10年8月7日 三棟地下放射線部リニアック室増築工事着工。(竣工平成11年10月12日)

平成10年8月21日 桜井市に憩の家研修資料室設置・使用開始。

平成10年10月1日 コンピューターによる歯科システム稼動。

平成10年12月25日 学術雑誌「天理医学紀要」創刊号発行。

平成11年1月4日 入退院動態モニターシステム導入・稼動。

平成11年3月25日 理事長兼身上部長 深谷善和 退任。後任：畑林清次。
院長 楠川禮造 退任。後任：奥村秀弘(身上部長兼任)。

平成11年4月1日 事務部門に医療情報課を新設。

平成11年4月1日 歯科医師臨床研修施設。

平成11年4月1日 感染症新法に基づく小児科、インフルエンザ、基幹病院、定点医療機関指定。

平成11年4月1日 第二種エネルギー管理指定工場指定。

平成11年5月1日 献血センター移転。(南別館1階東側)

平成11年6月30日 言語外来移転。(南別館1階東側)

平成11年8月1日 財団事務局ひのきしんセンターを世話部に所管変更。

平成11年8月6日 看護婦・士予備試験を単独で実施。今回より准看護婦予備試験を廃止。

平成11年8月28日 第1回憩の家健康感謝祭開催。

平成11年8月30日 天理よろづ相談所医の倫理委員会発足。

平成11年9月2日 脳死による臓器提供施設指定受諾。

平成11年10月12日 三棟地下放射線部に放射線治療システムリニアック「CLINAC 2300C/D」稼動。

平成11年12月25日 第3外来駐車場新設使用開始。(100台)

平成12年1月26日 ノーマイカーデー完全実施。(毎月26日)

平成12年5月1日 天理よろづ相談所病院「法的脳死判定マニュアル」承認。

平成12年5月1日 日本臍帯血バンク登録。

平成12年 5 月22日 臨床病理部に輸血管理室設置。

平成12年 7 月 1 日 新医事会計・薬剤処方及び調剤システム開始。

平成12年 7 月 1 日 夜間勤務等看護加算算定開始及び 4 階・5 階・6 階 A・B 病棟を 0・1 にそれぞれ名称変更。(例40A→40、40B→41)

平成12年 7 月 1 日 レジデントの院外研修開始。(奈良県山添村波多野診療所にて外来研修週 1 回)

平成12年 8 月21日 憩の家リーフレット作成。

平成13年 1 月16日 56病棟、66病棟内特別室使用開始。

平成13年 1 月31日 副院長 太田 茂 就任。

平成13年 2 月 1 日 外来患者情報提供(お薬説明書)開始。

平成13年 3 月30日 天理医学技術学校に臨床工学専攻科増設。

平成13年 3 月31日 MR 装置1.5テスラ更新。(4 月 2 日使用開始)

平成13年 3 月31日 理事長 畑林清次 退任。

平成13年 4 月 1 日 理事長 中田武彦 就任。(世話部長兼任)

平成13年 4 月 1 日 事務局栄養課を診療補助部門栄養部に変更。

平成13年 5 月 1 日 クリーンルーム(2 床)使用開始。

平成13年11月 1 日 新救急外来使用開始。

平成13年11月21日 日本放射線腫瘍学会施設。(以後継続)

平成13年12月12日 寄附行為一部改訂。(役員定数及び任期)

平成14年 1 月15日 憩の家リーフレットの英訳版完成。

平成14年 2 月16日 天然ガス導入整備工事竣工式。

平成14年 2 月21日 院内インターネットサービス開始。

平成14年 3 月 1 日 女子職員独身寮「別荘新館」を世話部所管とする。

平成14年 3 月 1 日 法律改正に伴い「看護婦」を「看護師」の呼称に統一。

平成14年 3 月14日 「白川分院」新築工事起工式。

平成14年 3 月31日 副院長 新納京子 退任。

平成14年 4 月 1 日 憩の家ホームページ開設。

平成14年 5 月15日 管理栄養士初任者臨床研修病院。

平成14年 6 月10日 「診療記録等に関する院内規約」作成。

平成14年 9 月19日 第28回日本診療録管理学会 主催。(なら100年会館 学会長 奥村秀弘)

平成14年10月 1 日 郵便貯金自動預払機(ATM)設置。

平成15年 1 月 1 日 「診療助手」の名称を「臨床事務」に名称変更。

平成15年 3 月24日 新外来カルテ管理システム稼動。

平成15年 3 月29日 講堂に本部神殿写真パネル設置。

平成15年 3 月31日 よろこび寮閉寮。

平成15年 3 月31日 副院長 鍋島祥男 退任。

平成15年 4 月 1 日 副院長 松末 智 就任。

平成15年 4 月 1 日 三学会構成心臓血管外科専門医認定機構認定修練施設。

平成15年 4 月 1 日 日本臨床細胞学会施設。
平成15年 4 月 1 日 医療安全管理室 開室。
平成15年 4 月15日 医療安全管理マニュアル第2版 総論 改訂。
平成15年 4 月24日 医事課入院計算室移設。(医事課カウンター内へ)
平成15年 6 月30日 「白川分院」竣工。
平成15年 7 月 7 日 「白川分院」を開設。(療養病床100床、精神科病床43床)
平成15年 7 月 7 日 本院病床再編成。(1,001床から815床へ)
平成15年 7 月10日 胸部外科の名称を呼吸器外科に変更。
平成15年 7 月12日 白川分院礼拝棟 神実様鎮座祭。
平成15年 8 月28日 男子独身寮「おやさと一号館」竣工。(平成15.9.1開寮)
平成15年 8 月31日 天理看護学院長 奥村秀弘 退任。
平成15年 9 月 1 日 事情部講師ユニフォーム更新。
平成15年 9 月 1 日 別所分院。(40床から30床へ)
平成15年 9 月 1 日 天理看護学院長 山中忠太郎 就任。
平成15年 9 月 8 日 日本アレルギー学会教育施設。
平成15年11月 1 日 地域医療連携室 開室。
平成15年11月11日 「新外来棟」起工式。
平成16年 1 月 1 日 白川分院 B 棟 2 階開放病棟(43床)使用開始。
平成16年 3 月25日 理事長兼世話部長 中田武彦 退任。後任：理事長 横山一郎。(事情部長兼任)、世話部長 諸井博和。
事務局長 今村俊三 退任。後任：諸井博和。(兼任)
平成16年 4 月 1 日 就業規則一部改訂。
平成16年 4 月 1 日 日本周産期・新生児医学会専門医制度指定研修施設。
平成16年 4 月 5 日 透析センターを腎透析科(血液浄化センター)に名称変更。30病棟改造。
(血液浄化センター、混合病棟共用開始)
平成16年 4 月11日 医療情報課を診療情報課へ、電算室を医療情報システムセンターに名称変更。
平成16年 5 月 1 日 2 階外来に心療内科診察室を増設。2 階栄養指導室を 1 階玄関棟内慢性外来へ移設。
平成16年 5 月 1 日 北別館 1 階動物舎を会議室に改修。
平成16年 6 月 1 日 事情部長 中山慶純 就任。
平成16年 6 月21日 天理医学技術学校 臨床検査学科定員40名から30名に変更。
平成16年 8 月31日 日本静脈経腸栄養学会「NST(栄養サポートチーム)稼動施設」。
平成16年10月 1 日 レジデントの院外研修場所の変更、奈良県山添村波多野診療所から東山診療所へ。(外来研修週 1 回)
平成16年12月 1 日 喫茶コーナー改修。
平成17年 2 月11日 日本脳卒中学会研修教育病院。
平成17年 3 月31日 天理看護学院 2 年生課程：第二看護学科閉科。

平成17年 3 月31日 「別所分院」閉院。

平成17年 4 月 1 日 天理看護学院助産師養成課程（助産学科）設置。

平成17年 4 月 1 日 憩の家めばえ託児所開所。

平成17年 5 月 1 日 理事長兼事情部長 横山一郎、世話部長 中山慶純、事務局長 諸井博和。

平成17年 5 月 1 日 セカンドオピニオン外来開設。

平成17年 5 月17日 治験管理室設置。

平成17年 8 月27日 日本アレルギー学会教育施設（皮膚科）。

平成17年10月31日 「外来診療棟」竣工引渡式。

平成17年11月 5 日 天理教教会本部電話交換機から天理よろづ相談所単独の交換機に切り替え。

平成17年12月16日 職員名札の変更。

平成18年 1 月 1 日 オーダリングシステム導入。

平成18年 1 月 1 日 認定臨床微生物検査技師制度研修施設。

平成18年 1 月10日 「外来診療棟」落成真柱様お入り込み。

平成18年 1 月16日 「外来診療棟」を開設。

平成18年 1 月25日 日本静脈経腸栄養学会「栄養サポートチーム専門療法士。認定規則」実施修練認定教育施設。

平成18年 3 月 1 日 事務局長 諸井博和 退任。

平成18年 3 月25日 事務局長 中山慶純 就任。（世話部長兼任）

平成18年 3 月31日 おやさと12号館閉鎖。

平成18年 4 月 1 日 日本精神神経学会精神科専門医制度研修施設。

平成18年 9 月 1 日 日本栄養療法推進協議会認定「NST（栄養サポートチーム）稼動施設」。

平成18年10月 5 日 日本感染症学会研修施設。

平成18年10月10日 注射薬自動払い出し機（ピッキングマシーン）稼動。

平成18年10月27日 医療安全管理室 南別館 3 階へ移設。

平成19年 1 月 1 日 救急外来、ICU、手術室オーダリングシステム稼動。

平成19年 1 月 5 日 本館 1 階改修工事完成（玄関棟撤去、救急外来、玄関ホール改修）10病棟（救急病棟）新設。

平成19年 3 月28日 別所研修棟女子独身者用ワンルームマンション使用開始。

平成19年 4 月 1 日 レセプトオンライン請求開始。

平成19年 5 月 2 日 第 4 血管撮影室増設。

平成19年 6 月 1 日 別所荘新館閉館。

平成19年 6 月 1 日 憩の家小田中レディースマンション、憩の家三島レディースマンション使用開始。

平成19年 7 月 1 日 DPC 準備病院。

平成19年 8 月 1 日 「患者の権利と義務憲章」を公示。

平成19年 9 月10日 本館 6 階泌尿器科 X 線検査室増設。

平成19年10月 1 日 日本心療内科学会専門医研修施設。

平成19年11月 1 日 日本がん治療認定医機構認定研修施設。

平成19年11月12日 ステントグラフト実施施設。

平成19年12月 3日 外来診療棟診療費クレジット支払機設置。

平成20年 1月 1日 日本乳癌学会関連施設。

平成20年 2月 1日 日本食道学会全国登録認定施設。(放射線部・消化器内科・腹部一般外科)

平成20年 2月 8日 地域がん診療連携拠点病院指定。

平成20年 2月18日 外来診療棟が「住みよい福祉のまちづくり施設賞」最優秀賞受賞。

平成20年 3月27日 肝疾患に関する医療圏中核専門医療機関。

平成20年 5月11日 放射線画像参照用モニタシステム 全館に配置。

平成20年 5月12日 C-アーム型エックス線テレビ装置導入。

平成20年 5月16日 職員を対象とする「こころの相談室」開設。

平成20年 9月 1日 呼吸器の内科・外科病棟を統合。

平成20年 9月29日 東芝・全身用エックス線 CT 更新導入。

平成20年12月 2日 本館 2 階旧外来診察に医療相談室・がん相談支援センター・地域医療相談室を移設。

平成21年 1月15日 本館の携帯電話使用許可エリアを指定。

平成21年 3月26日 世話部長兼事務局長 中山慶純 退任。

平成21年 4月 1日 世話部長 横山一郎 (理事長、事情部長兼任)、事務局長 諸井忠喜 就任。

平成21年 4月 1日 DPC 指定病院。

平成21年 9月 1日 「天理医療大学 (仮称)」設立準備室開設。

平成21年 9月15日 「別所よろこび寮」女子学生独身寮竣工。(平成21. 9. 24開寮)

平成21年 9月15日 「緩和ケア外来」開設。

平成21年11月 2日 精神神経科外来を白川分院に移転。

平成21年12月14日 「自己血外来」開設。

平成22年 3月15日 奈良県神経難病医療専門協力病院。

平成22年 4月30日 院長代行 太田 茂 退任。

平成22年 5月 1日 副院長 石井 均・庄司和彦 就任。

平成22年 7月25日 よろこび寮解体工事完了。

平成22年 9月22日 がん患者サロン “サロンいこい” 開設。(毎月第 4 水曜日)

平成22年12月 6日 46病棟にクリーンルーム 2 床設置。(旧クリーンルーム 2 床は一般病床へ)

平成22年12月 9日 看護師、臨床検査技師養成所の「学生募集中止届出書」提出。

平成22年12月17日 公益法人移行申請認定書を内閣府に提出。

平成22年12月31日 世話部長 横山一郎 退任。(理事長、事情部長兼任)

平成23年 1月 1日 世話部長 諸井忠喜 就任。(事務局長兼任)

平成23年 1月 1日 救急診療科開設。(近隣 4 病院と病病連携開始)

平成23年 1月 1日 病院敷地内全面禁煙を実施。

平成23年 2月 1日 ホームページリニューアル。

平成23年 3月31日 副院長 (兼) 白川分院長 松末 智 退任。

平成23年 3月31日 奈良県赤十字血液センター 天理出張所閉鎖。

平成23年 3 月31日 学校法人天理よろづ相談所学園寄附行為認可申請・天理医療大学設置認可申請を文部科学省に提出。

平成23年 4 月 1 日 白川分院長 郡 義明。(副院長兼任)、事務局長 前川安博 就任。

平成23年 4 月 8 日 東日本大震災(平成23年 3 月11日発生)被災地へ奈良県医療救護班第 6 班として、宮城県気仙沼市立小原木中学校診療所へ医師、看護師他 医療班派遣・同診療所を中心に 4 月12日まで 8 名従事。

平成23年 5 月30日 内閣総理大臣(菅 直人)より「公益財団法人天理よろづ相談所」と認定。

平成23年 6 月 1 日 法人名「公益財団法人天理よろづ相談所」と改称し登記。

平成23年 6 月 2 日 公益財団法人 第 1 回理事会開催。

平成23年 6 月15日 公益財団法人 第 1 回評議員会開催。

平成23年10月24日 文部科学省大臣より「学校法人天理よろづ相談所学園 天理医療大学」設立認可。理事長 奥村秀弘、学長 吉田 修 就任。

平成23年10月26日 「学校法人天理よろづ相談所学園 天理医療大学」登記完了。

平成23年11月30日 「新入院棟」建築起工式。(天理市別所町)

平成23年12月 1 日 被災県福島県より医師派遣要請により JA 福島厚生連鹿島厚生病院へ医師派遣開始。

平成23年12月31日 院長 奥村秀弘 退任。

平成24年 1 月 1 日 総長 奥村秀弘 就任。(身上部長兼任)

平成24年 1 月 1 日 院長 上田裕一 就任。(医学研究所長兼任)

平成24年 2 月29日 世話部長 諸井忠喜 退任。

平成24年 3 月 1 日 世話部長 上田純治 就任。(事務部長兼任)

平成24年 4 月 3 日 「学校法人天理よろづ相談所学園 天理医療大学」開学式および第 1 期生入学式。(看護学科74名・臨床検査学科31名、計105名入学)

平成24年 6 月 1 日 白川分院 A 棟に「回復期リハビリテーション病棟」開設。

平成24年 8 月 1 日 外来診療棟に「入院案内センター」開設。

平成24年 8 月 1 日 外来化学療法室を 9 床より20床に増床。

平成25年 4 月 1 日 「病理診断部」開設。及び「臨床病理部」を「臨床検査部」と改称。

平成25年 4 月 1 日 「心カテセンター」を「心臓カテーテルセンター」と改称。

平成25年 4 月 1 日 「小児科循環器センター」を閉鎖し「先天性心疾患センター」開設。

平成25年 6 月30日 事情部長 横山一郎 退任。(理事長・事情部相談役兼任)

平成25年 7 月 1 日 事情部長 濱田道仁 就任。

平成25年 7 月13日 「白川分院」開設10周年記念祭執行。

平成25年 8 月31日 院長 上田裕一 退任。

平成25年 9 月 1 日 院長 太田 茂 就任。(医学研究所長兼任)

平成25年 9 月30日 副院長 石井 均 退任。

平成25年10月 1 日 副院長 山中忠太郎・金子嘉志 就任。

平成25年11月30日 「新入院棟(東病棟・西病棟)」竣工引渡式。

平成26年 1 月12日 「新入院棟(東病棟・西病棟)」落成 真柱様お入り込み。

平成26年 2 月 1 日 「新入院棟（東病棟・西病棟）」を開設。（許可病床512床）

平成26年 2 月 1 日 「本館（南病棟）」病床再編成。（815床から303床へ）

平成26年 2 月 1 日 西病棟に「脳卒中センター」開設。

平成26年 3 月14日 「天理看護学院」閉校式執行 真柱様お入り込み。

平成26年 3 月22日 「天理医学技術学校」閉校式執行 真柱様お入り込み。

平成26年 4 月 1 日 レジデントの院外研修場所の変更、大西内科医院から松村医院へ。

平成26年 9 月 1 日 「呼吸管理センター」開設。

平成26年10月17日 外来診療棟に「外来棟リハビリテーション室」開設。

平成26年10月17日 外来腹部外科点滴室45を改修、「外来棟生理検査室」を併設。

平成27年 1 月30日 南44病棟（旧46病棟）クリーンルーム 2 床より 6 床に増床。

平成27年 4 月23日 南44病棟（旧46病棟）クリーンルーム 6 床より 8 床に増床。

平成27年 6 月 1 日 心療内科閉鎖に伴い届出診療科取下げ、「腹部一般外科」を「消化器・一般外科」と改称。

平成27年 6 月10日 ダヴィンチ指導施設認定。

平成27年 8 月11日 南44病棟（旧46病棟）クリーンルーム 8 床より12床に増床。

平成27年11月 1 日 「腹腔鏡センター」開設。

平成28年 1 月 1 日 めばえ託児所を三棟 3 階（旧38病棟）へ移設。

平成28年 3 月12日 「学校法人天理よろづ相談所学園 天理医療大学」第 1 期生卒業式。
（看護学科61名・臨床検査学科29名、計90名卒業）

平成28年 3 月22日 電子カルテシステム導入。

平成28年 3 月25日 事情部長 濱田道仁、世話部長 上田純治 退任。（事務部長兼任）

平成28年 3 月26日 事情部長 永尾信雄、世話部長 高橋道一 就任。

平成28年 4 月 1 日 「わかぎ学童保育所」三棟 3 階（旧39病棟）開設。

平成28年 4 月 1 日 めばえ託児所兼わかぎ学童保育所施設長 高橋道一 就任。（世話部長）

平成28年 5 月 1 日 公益財団法人 天理よろづ相談所「憩の家」開設50周年記念式典 執行。

平成28年 5 月 2 日 理事長兼事情部相談役 横山一郎 退任。

平成28年 5 月 2 日 理事長 山田清太郎 就任。

平成28年 7 月 開設50周年記念誌「よろづ相談所のあゆみ 第Ⅱ号」発刊。

平成28年 8 月 1 日 「消化器・一般外科」を「消化器外科」と改称。

平成28年12月 6 日 「在宅世話どりセンター」二棟 1 階（旧救急病棟）へ移設。

平成28年12月12日 「健康管理室」二棟 1 階（旧救急外来）へ移設。

平成28年12月22日 「看護部事務室」「看護支援室」二棟 2 階（旧整形外来）へ移設。

平成28年12月25日 「事情部分室」二棟 1 階（旧救急外来）開設。

平成29年 1 月 1 日 「かかりつけ医ネットワーク」開設。

平成29年 2 月20日 「健康保険組合」二棟 1 階（旧救急外来）へ移設。

平成29年 3 月31日 院長 太田 茂、事務局長 前川安博 退任。

平成29年 4 月 1 日 院長 山中忠太郎（医学研究所長兼任）、副院長 田口善夫（呼吸器内科部長兼任）、事務局長 辰巳慶三 就任。

平成29年 5 月 1 日 「本館（南病棟）」病床再編成。（303床から203床へ）

平成29年 5 月 1 日 南26病棟（全室個室）10床運用開始。

平成29年 7 月31日 副院長（兼）白川分院長 郡 義明 退任。

平成29年 8 月 1 日 副院長（兼）白川分院長 西村 理 就任。

平成29年11月 1 日 「IVR センター」開設。

平成30年 1 月 1 日 「肝臓センター」開設。

平成30年 1 月 1 日 新部長室（おやさとかた西右第三棟 6 階）運用開始。

平成30年 2 月 5 日 東西病棟 3 階に「東西棟リハビリテーション室」開設。

平成30年 3 月31日 身上部長・総長 奥村秀弘 退任。

平成30年 4 月 1 日 身上部長・院長 山中忠太郎 就任。

平成30年 4 月 1 日 副院長 奥村和弘・中川義久 就任。

平成30年 4 月 1 日 標榜診療科「緩和ケア内科」の届出。

平成30年 4 月 1 日 「患者総合支援センター」開設。

平成30年 4 月 1 日 「レジデントセンター」を「卒後臨床研修センター」と改称。

平成30年 7 月 第 2 土曜日の外来診療休診。（4 週 7 休制実施）
ホームページリニューアル。（スマートフォン対応）

平成30年 7 月 2 日 緩和ケア病棟（南26病棟）開設。

平成30年 8 月 1 日 白川分院 B 2 病棟43床を返床し「精神科・ショートケア」開設。（186床から143床へ）
「治験管理室」を「臨床研究支援室」と改称。

平成30年 9 月 1 日 「神経内科」を「脳神経内科」と改称。

平成30年 9 月25日 「医学図書館」二棟 4 階（旧南24病棟）へ移設。

平成30年11月30日 副院長（兼）循環器内科・栄養部部長 中川義久 退任。

平成30年12月 1 日 「心不全センター」開設。

平成31年 3 月31日 副院長（兼）看護部長 阪井眞利子 退任。

平成31年 4 月 1 日 医師事務作業補助者（専従）の導入に伴う「診療支援室」の設置。

平成31年 4 月 1 日 夏季休暇をリフレッシュ休暇へ名称変更。（取得日数：3 日間、取得期間：5 月から12月）

平成31年 4 月 1 日 年次有給休暇 5 日取得義務化。

平成31年 4 月 1 日 「臨床工学部」の設置。

平成31年 4 月 1 日 「IVR センター」を「放射線部 IVR 部門」と改称。

令和元年 6 月 病院マネジメント強化プロジェクト始動。

令和元年 7 月 1 日 副院長（兼）白川分院長 西村 理 退任。
副院長（兼）白川分院長 日村好宏 就任。

令和元年 7 月 1 日 「在宅世話どりセンター」を白川分院へ移転。

令和元年 8 月24日 電話交換機更新。

令和元年 9 月25日 給与支給明細の電子交付開始。

令和元年 9 月25日 「ファミリーマート」開店しイトインコーナーを併設。（東西病棟）

令和元年10月1日 フレックスタイム制導入開始。

令和元年10月1日 東西病棟玄関前有料駐車場運用開始。(駐車台数：47台)

令和元年11月1日 医師勤怠管理システムを構築し、運用開始。

令和元年11月9日 大規模災害対策訓練「第1回 院内メディカルラリー」実施。

令和元年11月12日 「ファミリーマート」開店。(外来診療棟)

令和元年12月16日 「病理診断部」を三棟6階へ移設。

令和元年12月31日 南別館を閉鎖。

令和2年2月1日 がんゲノム医療支援センター設置。

令和2年2月22日 新型コロナウイルス感染症の流行「発熱外来」を設置。

令和2年3月9日 奈良県より「帰国者・接触者外来」指定を受け、3月16日より運用開始。

令和2年3月31日 副院長(兼)医療情報システムセンター長、診療支援室長 庄司和彦 退任。

令和2年4月1日 副院長 秋山義典 就任。

令和2年4月1日 南病棟防災センターが管理課内に設置。

令和2年4月13日 奈良県より「新型コロナウイルス感染症疑い患者受入協力医療機関」の指定を受け、運用開始。

令和2年4月13日 東3病棟(1床)で「新型コロナウイルス感染症」疑似症患者受入開始。

令和2年4月22日 「診療情報課」を2棟1階(旧在宅世話どりセンター)へ移設。

令和2年4月27日 院内での「新型コロナウイルス感染症」PCR検査を開始。

令和2年4月29日 南45病棟(8床)で「新型コロナウイルス感染症」疑似症患者受入病棟として運用開始。(南46病棟：46床閉鎖)

令和2年5月1日 法人事務局「企画準備室」設置。

令和2年5月2日 ICU(1床)で「新型コロナウイルス感染症」疑似症患者受入開始。

令和2年7月16日 南45病棟での「新型コロナウイルス感染症」疑似症患者受入病床を10床に増床。

令和2年10月1日 本館(南病棟)より2床移設しSCU(7床)から(9床)に増床し、運用開始。

令和2年12月1日 「脳卒中センター」を「脳卒中診療部」と改称。

令和2年12月24日 奈良県より「新型コロナウイルス感染症重点医療機関」の指定を受け運用開始。

令和2年12月24日 南45病棟で「新型コロナウイルス感染症」陽性患者受入開始。

令和3年1月4日 予定入院患者の新型コロナウイルスPCR検査開始。

令和3年1月7日 南45病棟での「新型コロナウイルス感染症」陽性患者受入病床を8床に増床。

令和3年2月22日 看護師特定行為研修指定研修機関に認定。
特定行為区分(13区分)、領域別パッケージ研修。(在宅・慢性期領域)

令和3年3月8日 新型コロナウイルス対応の全職種職員の1回目ワクチン接種の実施。
(～以降、継続)

令和3年3月15日 本館（南病棟）地下放射線 RI PET-CT 装置更新。

令和3年3月25日 事情部長 永尾信雄 退任。

令和3年3月26日 事情部長 飯降 力 就任。

令和3年4月1日 全ての土曜日の外来診療休診。（4週8休体制実施）

令和3年4月1日 「リハビリセンター」を「リハビリテーション部」と改称。

令和3年4月8日 新型コロナウイルス感染症の診断を迅速に行うため、外来棟北橋を新設。
（4月12日より運用開始）

令和3年4月19日 「新型コロナウイルス感染症」陽性患者受入病床を10床へ増床。（疑似症受入病床7床）

令和3年5月17日 「新型コロナウイルス感染症」陽性患者受入病床を13床へ増床。（疑似症受入病床4床）

令和3年6月1日 初診時選定療養費改訂。医科：5,000円（税込）、歯科：2,500円（税込）

令和3年6月15日 天理市新型コロナウイルスワクチン集団接種の協力依頼により白川分院で実施。

令和3年7月7日 定期受診患者への新型コロナウイルスワクチン個別接種の実施。

令和3年9月15日 「新型コロナウイルス感染症」陽性患者受入病床を15床へ増床。（疑似症受入病床4床）

令和4年2月5日 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、完全面会禁止（原則）の実施。

令和4年2月21日 外来診療棟 CT 装置更新。

令和4年3月8日 天理市新型コロナウイルスワクチン集団接種の協力依頼により外来診療棟で実施。（～以降、継続）

令和4年4月1日 事務部門庶務課を総務課に名称変更。

令和4年4月1日 「周産期センター」開設。

令和4年4月2日 天理市新型コロナウイルスワクチン集団接種の協力依頼により外来診療棟で実施。

令和4年4月11日 本館（南病棟）より1床移設し SCU（9床）から（10床）に増床し運用開始。

令和4年5月1日 白川分院 総師長を看護部長、課長を事務長に呼称変更。

令和4年6月6日 本館（南病棟）より2床移設し SCU（10床）から（12床）に増床し運用開始。

令和4年6月9日 郵便仕分機導入。

令和4年6月20日 自動精算機更新、外来棟1階窓口レイアウト変更、患者導線変更。

令和4年6月25日 天理市新型コロナウイルスワクチン集団接種の協力依頼により外来診療棟で実施。

令和4年9月1日 「大動脈センター」開設。

令和4年10月1日 「病床管理室」設置。

令和4年10月31日 副院長（兼）脳神経外科特定嘱託部長、脳卒中診療部特定嘱託部長、医療情報システムセンター長、秋山義典 退任。

令和4年11月1日 副院長 中川達雄 就任。

令和4年11月5日 天理市新型コロナウイルスワクチン集団接種の協力依頼により外来診療棟で実施。

令和4年11月19日 大規模災害訓練「近畿地方 DMAT ブロック訓練」実施。

令和4年12月14日 ダヴィンチ更新。(2台体制とする)

令和5年1月1日 西5病棟特別室1床新設 運用開始。

令和5年2月15日 「新型コロナウイルス感染症」陽性患者受入病床を10床へ減床。(疑似症受入病床4床)

令和5年3月10日 東西病棟320列 CT 更新。

令和5年3月31日 「学校法人 天理よろづ相談所学園 天理医療大学」天理大学との統合により閉校。

令和5年4月1日 「腫瘍内科」設置。

令和5年5月8日 「新型コロナウイルス感染症」感染症法上の位置づけが2類感染症から5類感染症へ

令和5年5月9日 「新型コロナウイルス感染症」陽性患者受入病床を8床へ減床。(自院運用病床4床)

令和5年7月1日 「総合事務室」設置。室長 長野吉晴 就任。

令和5年7月1日 「耳鼻咽喉科」を「耳鼻咽喉科・頭頸部外科」と改称。

令和5年7月1日 「教育・研修事務局」を設置。

令和5年8月1日 紹介受診重点医療機関として奈良県より公表。

令和5年9月30日 副院長(兼)白川分院長 日村好宏 退任。

令和5年10月1日 副院長(兼)白川分院長 坂本祐司 就任。

令和5年10月1日 重点医療機関が廃止され、「新型コロナウイルス入院患者数」段階ごとの確保病床(段階2 2床、段階3 5床)となる。

令和5年11月1日 初診時選定療養費改訂。医科:8,800円(税込)、歯科:5,500円(税込)。

令和5年12月1日 南別館の解体工事開始。

令和5年12月26日 「災害派遣医療チーム奈良 DMAT」の指定病院となる。

令和6年1月10日 能登半島地震(令和6年1月1日発生)被災地へDMAT隊6名派遣。

令和6年1月21日 能登半島地震被災地へ薬剤師1名派遣。

令和6年1月27日 能登半島地震被災地へ看護師1名派遣。

令和6年2月1日 「院内がん登録室」設置。

令和6年2月16日 「新型コロナウイルス入院患者数」段階2へ移行、即応病床2床稼働となる。

令和6年2月28日 「新型コロナウイルス入院患者数」段階1へ移行。

令和6年3月1日 南45病棟の新型コロナウイルス感染症病棟閉鎖

令和6年3月8日 厚生労働省主催『上手な医療のかかり方アワード』厚生労働省医政局長賞受賞

令和6年3月8日 能登半島地震被災地へ薬剤師1名派遣。

令和 6 年 3 月 25 日 事情部長 飯降 力 退任。

令和 6 年 3 月 26 日 事情部長 紺谷清春 就任。

令和 6 年 4 月 1 日 栄養部から「栄養管理相談室」「給食課」に名称変更。

令和 6 年 4 月 1 日 医師の働き方改革法政化に伴い勤怠管理システム（Timepro-VG）運用開始。

令和 6 年 5 月 22 日 病院機能評価本受審。（～ 5 月 23 日）

令和 6 年 6 月 1 日 企画情報室から「診療情報管理室」「企画管理室」に名称変更。

令和 6 年 6 月 2 日 理事長 山田清太郎 退任。

令和 6 年 6 月 2 日 理事長 増野正俊 就任。

令和 6 年 9 月 2 日 改正感染症法に基づく医療措置協定締結に伴い、第 1 種協定指定医療機関及び第 2 種協定指定医療機関となる。

令和 6 年 11 月 14 日 外来診療棟デジタルサイネージ運用開始。

令和 6 年 11 月 15 日 JCEP 臨床研修評価本受審。

令和 6 年 12 月 31 日 事務長 森岡正彦 退任。

令和 7 年 1 月 1 日 事務長 南 道也 就任。

令和 7 年 1 月 1 日 「財務管理室」設置。

令和 7 年 1 月 8 日 院長・副院長会議を改め「執行部会議」「診療執行部会議」となる。

令和 7 年 2 月 4 日 副院長（兼）腎透析科部長、統括医療安全管理者、医療安全管理室長 金子嘉志 退任。

令和 7 年 3 月 31 日 院長 山中忠太郎 退任。

令和 7 年 3 月 31 日 副院長 田口善夫 退任。

令和 7 年 3 月 31 日 「総合事務室」廃止。

令和 7 年 3 月 31 日 「わかぎ学童保育所」閉所。

I 沿革（付録）

許可病床数変遷一覧表

【本院（本館南病棟・東病棟・西病棟）】

開設許可事項 変更許可年月日	構造設備 使用許可年月日	事項
昭和41. 3. 30	昭和41. 4. 1	天理よろづ相談所病院開設 （許可病床数600床）
〃 41. 9. 6	〃 41. 9. 6	（許可病床数720床となる）
〃 41. 9. 16	〃 41. 9. 16	（許可病床数725床となる）
〃 42. 5. 10	〃 42. 5. 10	（許可病床数817床となる）
〃 42. 11. 18	〃 42. 11. 20	（許可病床数872床となる）
〃 43. 4. 12	〃 43. 4. 12	（許可病床数909床となる）
〃 50. 12. 23		南別館新築竣工（92床）
〃 51. 1. 12	〃 51. 1. 16	（南別館新築により許可病床数1,001床となる）
〃 57. 12. 23	〃 58. 3. 31	おやさとやかた西右第四棟新築完成に伴う病棟編成 （西右第四棟で233床の許可を受け、南別館92床及び 西右第二棟・第三棟から141床を減らし、差引許可病 床数は、1,001床と変わらず）
〃 58. 4. 1		おやさとやかた西右第四棟新築竣工式挙行
平成15. 7. 16	平成15. 8. 1	白川分院（186床）開設に伴い、許可病床数815床とな る（精神科病棟取り下げ）
〃 26. 2. 1	〃 26. 2. 1	新入院棟（東病棟・西病棟）新築完成に伴う病棟編成 【許可病床数815床のうち、新入院棟（東病棟・西病 棟）へ512床を移転し、本館（南病棟）は303床となる】
〃 29. 5. 1	〃 29. 5. 1	本館（南病棟）改修工事に伴い病棟再編。100床を減 らし、本館（南病棟）は203床となる
令和2. 9. 11	令和2. 9. 29	本館（南病棟）より SCU（西病棟）へ2床移転し、 本館（南病棟）は201床、東病棟・西病棟514床となる
〃 4. 3. 31	〃 4. 4. 8	本館（南病棟）より SCU（西病棟）へ1床移転し、 本館（南病棟）は200床、東病棟・西病棟515床となる
〃 4. 5. 6	〃 4. 5. 23	本館（南病棟）より SCU（西病棟）へ2床移転し、 本館（南病棟）は198床、東病棟・西病棟517床となる
〃 4. 7. 25	〃 4. 8. 10	本館（南病棟）より西5病棟へ1床移転し、本館（南 病棟）は197床、東病棟・西病棟518床となる

（別所分院）

昭和44. 4. 28	昭和44. 5. 1	天理よろづ相談所病院別所分院開設 （許可病床数85床）
〃 51. 6. 28	〃 51. 11. 15	天理よろづ相談所病院別所分院管理棟移築 （許可病床数67床となる）
〃 62. 3. 2	〃 62. 10. 16	天理よろづ相談所病院別所分院新築竣工 （許可病床数32床）
平成元 6. 23	平成元 8. 1	（分院許可病床数40床となる）
〃 15. 9. 5	〃 15. 9. 1	（分院許可病床数30床となる）
〃 15. 9. 5	〃 17. 3. 31	閉院

(白 川 分 院)

平成15. 6. 16	平成15. 7. 7	天理よろづ相談所病院白川分院開設 (許可病床数、療養100床・精神43床)
〃 15. 12. 3	〃 16. 1. 1	精神43床開設 (許可病床数186床となる)
〃 30. 6. 22	〃 30. 8. 1	精神43床減床 (許可病床数143床となる)

Ⅱ 事業の概要

公益財団法人天理よろづ相談所は、財団法人として昭和41年3月に発足し、その組織は身上部・事情部・世話部の三部門からなっている。すなわち、身上部は現代医学の粋を集めた医療設備をもって患者の診療にあたり、事情部は天理教の教えに基づいて人々の苦悩の解決指導にあたり、世話部は生活上の諸問題および医療従事者の養成に関する相談世話どりをを行う。この三部が緊密なる連携のもとに医学と信仰と生活の三面から悩める人々の救済をはかり、もって天理教の理想とする「陽気ぐらし」の世界実現に寄与せんとする施設である。財団法人として45年を経て、平成23年6月1日より公益財団法人に移行した。本年度における法人運営および各部門の事業概要、実績は次の通りである。

1. 定例会議

- (イ) 理事会（月1回 毎月2日）
- (ロ) 評議員会（年2回 3月・6月）
- (ハ) 常務理事会（月1回）

2. 主たる理事会に関する事項

開 会 年 月 日	議 事
令和6.5.2（第143回）	第28回評議員会開催について
令和6.6.2（第144回）	令和5年度会計監査等結果報告 令和5年度事業報告承認の件 令和5年度収支予算決算及び財務諸表承認の件 辞任に伴う代理理事の互選について
令和6.7.2（第145回）	常務理事の互選について
令和7.2.2（第151回）	第29回評議員会開催について
令和7.3.2（第152回）	令和7年度事業計画について 令和7年度収支予算について

3. 主たる評議員会に関する事項

開 会 年 月 日	議 事
令和6.6.18（第28回）	令和5年度事業報告承認の件 令和5年度収支予算決算及び財務諸表承認の件 第七期役員の選任の件
令和7.3.10（第29回）	令和7年度事業計画について 令和7年度収支予算について 定款（別表 基本財産）の変更について

Ⅲ 身 上 部（病院）

本年度においては、入院患者数は169,281名、一日平均入院数484名（前年度463名）、外来患者延数は441,305名、一日平均1,681名（前年度1,727名）であった。

1. 現 況

(イ) 診療部門

内科（呼吸器、循環器、消化器、血液、脳神経、内分泌、腫瘍）、小児科、精神神経科、皮膚科、外科（消化器、乳腺、呼吸器、脳神経、心臓血管）、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、形成外科、整形外科、泌尿器科、腎透析科、麻酔科、歯科、歯科口腔外科、緩和ケア科、海外医療科、手術部、放射線部（診断・IVR・治療・RIの四部門）、臨床検査部、臨床工学部、病理診断部、総合診療教育部、救急診療部、脳卒中診療部、集中治療部、内視鏡センター、リハビリテーション部、健診センター、血液浄化センター、腹腔鏡センター、糖尿病センター、先天性心疾患センター、膠原病センター、感染症管理センター、心不全センター、心臓カテーテルセンター、肝臓センター、神経筋疾患センター、入院案内センター、呼吸管理センター、周産期センター、大動脈センター、栄養管理相談室、薬剤部、看護部

(ロ) 病 棟

南 病 棟		許可病床数	系 統
6 階	南46	46	
〃	南26	10	緩和ケア科（個室病棟）
5 階	南45	33	
4 階	南44	38	血液内科
3 階	南43	42	脳神経内科、腎透析科
〃	南43	2	ドック
〃	南23	26	
南病棟合計		197	
東 病 棟		許可病床数	系 統
10階	東10	49	消化器内科、循環器内科
9 階	東 9	50	呼吸器内科、呼吸器外科
8 階	東 8	50	総合内科、消化器内科
7 階	東 7	50	消化器外科
6 階	東 6	50	心臓血管外科、循環器内科
5 階	東 5	47	整形外科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科
4 階	東 4	44	眼科、消化器内科
3 階	東 3	20	小児科
2 階	東 2	40	脳神経外科、脳神経内科、腎透析科、形成外科、歯科
東病棟合計		400	

西 病 棟		許可病床数	系 統
5 階	西 5	31	泌尿器科、皮膚科
3 階	西 3	45	産婦人科、乳腺外科
2 階	ICU・CCU	15	集中治療部（ICU・CCU）
1 階	救急	15	救急診療部
1 階	SCU	12	脳卒中診療部（SCU）
西病棟合計		118	
総 合 計		715	

2. 定例会議

- (イ) 院内部長会（月 1 回 第 2 木曜日）
- (ロ) 院内各部署代表者会議（月 1 回 第 3 木曜日）
- (ハ) 執行部会議（月 1 回 第 2 火曜日）
- (ニ) 診療執行部会議（月 3 ～ 4 回 第 2 週を除く水曜日）

3. 各種専門委員会

令和 7 年 3 月 31 日現在

（委 員 会 名）	（委 員 長）	（副 委 員 長）
薬事委員会	田 口 善 夫	中 川 達 雄
栄養委員会	林 野 泰 明	
保険委員会	野 田 和 男	田 中 栄 作
図書委員会	住 吉 真 治	
治験審査委員会	田 口 善 夫	大 野 仁 嗣
造血幹細胞移植実施委員会	赤 坂 尚 司	
医療ガス安全管理委員会	石 井 久 成	
輸血療法委員会	上 岡 樹 生	上 原 京 勲
放射線安全管理委員会	金 尾 昌 太 郎	
特別薬事委員会	山 中 忠 太 郎	
医療安全管理委員会	奥 村 和 弘	羽 白 高 中 川 達 雄
研究所委員会	中 川 達 雄	
院内感染対策委員会	上 岡 樹 生	萱 島 す が
医療廃棄物管理委員会	上 岡 樹 生	
医療機器材料委員会	奥 村 和 弘	
診療情報委員会	中 川 達 雄	田 村 俊 寛
臨床検査適正使用検討委員会	上 岡 樹 生	
防災管理委員会	南 道 也	
脳死判定委員会	末 長 敏 彦	
包括的ケア管理委員会	末 長 敏 彦	福 原 真 美
研修管理委員会	山 中 忠 太 郎	八 田 和 大

(委 員 会 名)	(委 員 長)	(副 委 員 長)
安全衛生管理委員会	奥 村 和 弘	
天理医学紀要編集委員会	大 野 仁 嗣	
救急管理委員会	近 藤 博 和	田 中 宏 和
化学療法管理委員会	山 城 大 泰	
省エネルギー管理委員会	南 道 也	
I C U運営委員会	田 村 俊 寛	
クリニカルパス委員会	田 口 善 夫	
研究倫理委員会	大 野 仁 嗣	田 口 善 夫
透析機器安全管理委員会	川 西 博 晃	
チーム医療推進委員会	奥 村 和 弘	田 口 善 夫
利益相反委員会	大 野 仁 嗣	田 口 善 夫
がん診療連携拠点病院機能推進委員会	田 口 善 夫	
内科専門研修プログラム管理委員会	田 口 善 夫	八 田 和 大
ハラスメント委員会	中 川 達 雄	
虐待防止委員会	芝 剛	
外科専門研修プログラム管理委員会	中 川 達 雄	
コスト削減委員会	奥 村 和 弘	
特定放射性同位元素防護委員会	高 山 賢 二	
医療放射線管理委員会	久 保 武	寺 口 昌 和
看護師特定行為研修管理委員会	山 中 忠太郎	野 田 和 男
地域医療支援病院運営委員会	山 中 忠太郎	日 村 好 宏
地域医療従事者研修委員会	日 村 好 宏	大 花 正 也
TQM (Total Quality Management) 委員会	山 中 忠太郎	

4. 研究会 他

1) 診療関係

- (1) 消化器術前検討会 (週 1 回)
- (2) 消化器内科症例カンファレンス (週 1 回)
- (3) 消化器内科レジデントカンファレンス (週 1 回)
- (4) 呼吸器内科・呼吸器外科カンファレンス (週 1 回)
- (5) 呼吸器内科・放射線科カンファレンス (週 1 回)
- (6) 呼吸器内科レジデントカンファレンス (週 1 回)
- (7) 内分泌内科カンファレンス (週 2 回)

(8) 内分泌内科レジデントカンファレンス

- (9) 産婦人科術前カンファレンス (週 2 回)
- (10) 産婦人科カンファレンス (週 1 回)
- (11) 周産期カンファレンス (週 1 回)
- (12) 産婦人科術前カンファレンス (週 1 回)
- (13) 小児科カンファレンス (週 2 回)
- (14) 循環器内科抄読会 (週 1 回)
- (15) 循環器内科・心臓血管外科合同カンファレンス (週 1 回)
- (16) 循環器内科レジデントカンファレンス

- | | | | |
|------------------------|---------|----------------------|----------|
| (17) 心不全チームカンファレンス | (週 1 回) | (45) 緩和ケアチームカンファレンス | (週 1 回) |
| | (週 1 回) | (46) 緩和ケアチーム会議 | (月 1 回) |
| (18) 心外リスクカンファレンス | (週 1 回) | (47) 緩和ケアチームリンクナース会議 | (隔月 1 回) |
| (19) 心臓血管外科術前カンファレンス | (週 1 回) | (48) ICT 症例検討会 | (週 1 回) |
| | (週 1 回) | (49) 救急蘇生小委員会 | (月 1 回) |
| (20) 先天性心疾患カンファレンス | (週 1 回) | (50) 栄養ケアチームリンクナース会議 | (月 1 回) |
| (21) 脳神経内科カンファレンス | (週 5 回) | | |
| (22) 脳神経内科レジデントカンファレンス | (週 1 回) | 2) 看護部関係 | |
| | (週 1 回) | (1) 看護師長会議 | (月 2 回) |
| (23) 血液内科カンファレンス | (週 1 回) | (2) 副看護師長・主任看護師会 | (隔月 1 回) |
| (24) 血液内科レジデントカンファレンス | (週 1 回) | (3) 看護教育研究委員会 | (月 1 回) |
| (25) SCU カンファレンス | (週 2 回) | (4) 看護部医療安全担当者会議 | (月 1 回) |
| (26) 耳鼻咽喉科カンファレンス | (週 2 回) | (5) 看護部記録委員会 | (月 1 回) |
| (27) 消化器外科カンファレンス | (週 2 回) | 3) 技師関係 | |
| (28) 消化器外科重症患者カンファレンス | (週 2 回) | (1) 放射線部技局会 | (月 1 回) |
| (29) 消化器外科抄読会 | (週 1 回) | (2) 放射線部連絡会 | (月 1 回) |
| (30) 乳腺外科術前術後カンファレンス | (週 1 回) | (3) 放射線部技師勉強会 | (月 3 回) |
| | (週 1 回) | (4) 放射線部技師長・主任会 | (週 1 回) |
| (31) 歯科・口腔外科症例検討会 | (週 1 回) | (5) 臨床検査部日当直業務連絡会 | (週 1 回) |
| (32) 泌尿器科カンファレンス | (週 1 回) | | |
| (33) 救急カンファレンス | (週 1 回) | (6) 臨床検査部勉強会 | (月 4 回) |
| (34) M&Mカンファレンス | (月 1 回) | (7) くりばそ学術勉強会 | (月 1 回) |
| (35) 総合内科カンファレンス | (週 3 回) | (8) 臨床検査部リーダー会 | (月 1 回) |
| (36) 早朝カンファレンス | (週 4 回) | | |
| (37) 院内グランドカンファレンス | (月 1 回) | 4) 事務関係 | |
| | (月 1 回) | (1) 課長会 | (月 1 回) |
| (38) レジデントグループカンファレンス | (週 1 回) | (2) 係長会 | (月 1 回) |
| | (週 1 回) | (3) 経理課連絡会 | (月 1 回) |
| (39) レジデント教育講義 | (月 1 回) | (4) 管理課勉強会 | (月 1 回) |
| (40) CPC | (月 2 回) | (5) 総務課連絡会 | (月 1 回) |
| (41) POC 抄読会 | (週 1 回) | (6) 医事課勉強会 | (月 1 回) |
| (42) RCB | (月 4 回) | (7) 医事課 保険委員会 | (月 1 回) |
| (43) 呼吸ケア対策チーム会議 | (月 1 回) | (8) 用度課・管理課連絡会 | (月 1 回) |
| (44) 緩和ケアチーム会議 | (週 1 回) | | |

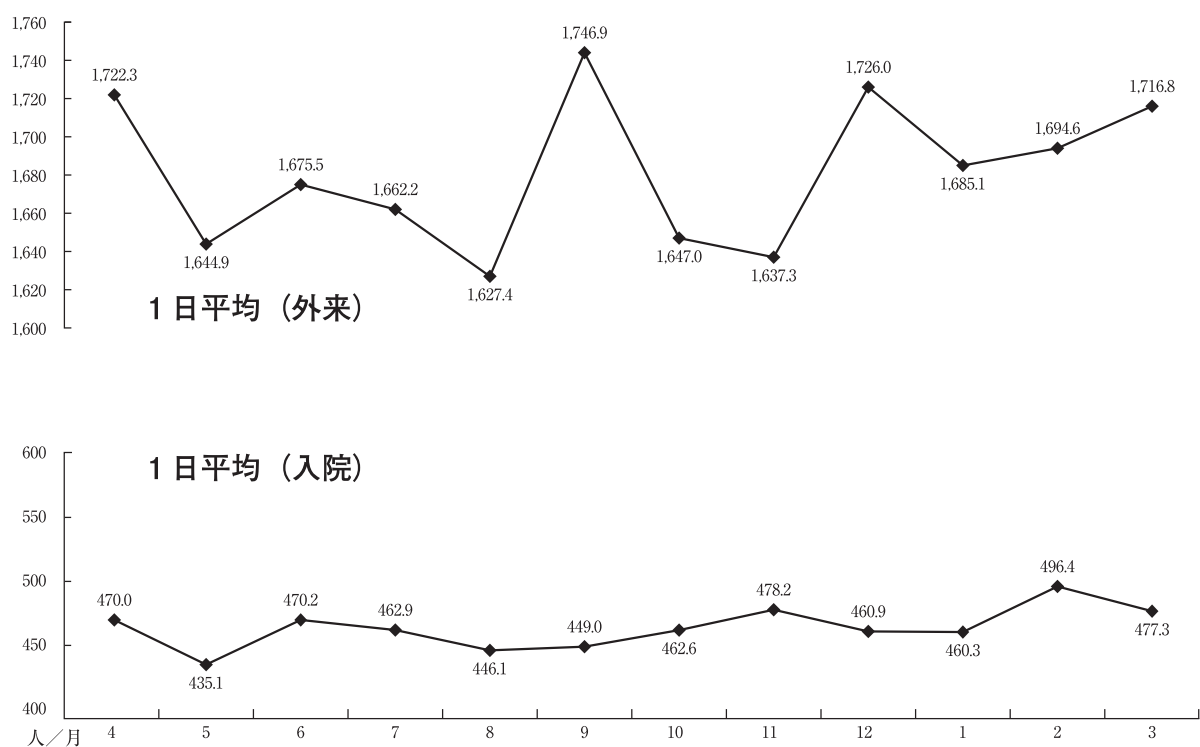
- (9) 診療情報委員会 (月1回) (11) 外来連絡会 (月1回)
- (10) 施設基準等管理・検討会議 (月1回)

5. 業務概要

(1) 令和6年度 月別患者数 診療日数242日 (平日のみ)

		入院患者	外来患者		
			新患	再来	計
4月	患者数 1日平均	14,101 470.0	3,189 159.5	31,256 1,562.8	34,445 1,722.3
5月	患者数 1日平均	13,487 435.1	3,538 168.5	31,004 1,476.4	34,542 1,644.9
6月	患者数 1日平均	14,106 470.2	3,497 174.9	30,012 1,500.6	33,509 1,675.5
7月	患者数 1日平均	14,350 462.9	3,852 175.1	32,716 1,487.1	36,568 1,662.2
8月	患者数 1日平均	13,829 446.1	3,580 170.5	30,596 1,457.0	34,176 1,627.4
9月	患者数 1日平均	13,470 449.0	3,305 173.9	29,887 1,573.0	33,192 1,746.9
10月	患者数 1日平均	14,341 462.6	3,646 165.7	32,587 1,481.2	36,233 1,647.0
11月	患者数 1日平均	14,346 478.2	3,428 171.4	29,317 1,465.9	32,745 1,637.3
12月	患者数 1日平均	14,287 460.9	3,487 174.4	31,033 1,551.7	34,520 1,726.0
1月	患者数 1日平均	14,269 460.3	3,508 184.6	28,509 1,500.5	32,017 1,685.1
2月	患者数 1日平均	13,899 496.4	3,150 175.0	27,352 1,519.6	30,502 1,694.6
3月	患者数 1日平均	14,796 477.3	3,544 177.2	30,792 1,539.6	34,336 1,716.8
計	患者数 1日平均	169,281 463.8	41,724 172.4	365,061 1,508.5	406,785 1,680.9

(2) 令和6年度 月別患者数動態表（1日平均）



(3) 令和6年度 各科実績報告

（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

		内 科	小 児 科	精 神 科	皮 膚 科	外 科	産婦人科	眼 科	耳鼻咽喉科 頭頸部外科	形成外科
入院患者	延数	90,171	3,514	0	528	36,792	4,883	6,165	6,187	1,322
	一日平均	245.7	9.6	0.0	1.4	100.8	13.4	16.9	17.0	3.6
外来患者	延数	209,533	11,029	496	18,606	31,554	14,185	28,665	25,626	4,897
	一日平均	865.8	45.6	2.0	76.9	130.4	58.6	118.5	105.9	20.2
新入院患者		7,192	869	0	53	2,348	775	1,461	711	138
退院患者		7,098	869	0	48	2,442	781	1,450	702	149

整形外科	泌尿器科	腎透析科	歯 科 口腔外科	放射線部	ド ッ ク	麻 酔 科	本院内科	緩和ケア科	合 計
14,633	9,054	551	124	47	137	0	215	2,247	176,570
40.1	24.8	1.5	0.3	0.1	0.4	0.0	0.6	6.2	483.8
6,367	23,677	3,493	13,489	6,677	0	0	1,181	10	399,485
26.3	97.8	25.5	55.7	27.6	0.0	0.0	4.9	0.0	1,650.8
344	1,103	60	40	14	148	0	222	5	15,483
338	1,100	60	40	14	148	0	148	87	15,474

	内 科									小児・ 児先心	精神 神経科	皮膚科
	総合	呼吸器	循環器	消化器	血液	脳神経	内分泌	腫瘍	合計			
外来患者延数	30,617	34,496	34,579	28,352	14,605	21,959	43,021	1,904	209,533	11,029	496	18,606
入院患者延数	11,233	21,456	19,742	11,687	11,656	11,766	2,427	204	90,171	3,514	—	528

外 科						産婦 人科	眼科	耳鼻・ 頭頸部 外科	整形 外科	形成 外科	泌尿 器科	腎透 析科	歯科	放射 線部	麻酔科	本院 内科	緩和 ケア	ドック	合計	一日平均
消化器	乳腺	呼吸器	脳神経	心臓	計															
10,002	7,473	2,186	6,088	5,805	31,554	14,185	28,665	25,626	14,633	4,897	23,677	3,493	13,489	6,677	0	215	10	入院のみ	441,305	1,680.9
14,121	1,859	2,388	9,570	8,854	36,792	4,883	6,165	6,187	6,367	1,322	9,054	551	124	47	0	1,181	2,247	148	169,516	463.8

放射線 検査件数	一般撮影	一般撮影 (ポータブル)	手術室 透視・撮影	マンモステ レオ生検	泌尿器・ 胆道造影	CT (単純)	CT (造影)	MRI (単純)	MRI (造影)	脳アン ギオ	放科 アンギオ	心カテ	消化管 造影	その他 透視	透視内 視鏡	治療計画 CT	治療 計画	治療
	70,915	21,529	2,626	1,437	886	29,501	10,734	10,394	2,363	241	877	1,831	208	370	904	481	381	6,517

臨床 検査	尿・一般	血液	生化学・免疫	微生物	緊急	超音波(心臓)	超音波(他)	心電図	神経機能	呼吸機能	提携	合計	病理 診断	細胞診	病理組織	計
	134, 135	1, 182, 131	3, 890, 204	80, 936	586, 124	12, 371	27, 205	42, 118	13, 555	17, 612	77, 345	6, 063, 736		7, 371	9, 250	

手術	外来	総内	呼内	循内	消内	血内	脳内	分内	腫内	小児	児先心	皮膚	消外	乳外	呼外	脳外	心外	産婦	眼科	耳鼻	整形	泌尿	麻酔	放線	歯科	腎透	形成	救急	計
		1	0	2	800	0	1	0	1	6	0	113	145	12	10	22	1	72	1,005	309	63	232	0	1	1,086	115	688	0	4,685
手術	入院	72	64	1,398	1,198	29	29	9	1	19	0	5	1,138	166	350	378	910	376	2,292	931	411	759	0	12	75	41	224	3	10,890
外来化学療法 件数		62	163	0	97	126	2	0	92	0	0	2	97	13	3	2	0	27	0	17	0	43	0	0	0	0	0	0	746

*手術について…手術室施行の件数と手術室以外施行の件数を合計して掲載

麻酔 件数	全身 麻酔	硬膜外 麻酔	脊椎 麻酔	計	分娩 件数	男	女	不明	計	栄養指 導件数	外来	入院	計
	3, 421	0	365	3, 786		128	124	4	256		752	1, 959	2, 711

RI センター	検 査		合計	R I 治療	血液浄化 センター	定期	臨 時				合計
	外来	入院					帰参者	入院	出張透析	CHDF (その他)	
	2,538	74	2,612	19		1737	34	1646	137	317	3,871

内視鏡	気管支鏡	上部消化管			下部消化管			ERCP		超音波 内視鏡	肝穿刺検査 ・治療	腎生検・ その他	尿道膀胱 ファイバー	計	緊急	時間外
		検査	治療	ESD	検査	治療	ESD	検査	治療							
	393	6,364	42	123	3,036	1,978	65	488	633	456	42	19	1,485	15,124	822	335

疾患別リハビリテーション料	理学療法		作業療法		言語聴覚療法		合 計	
	件数	単位数	件数	単位数	件数	単位数	件数	単位数
脳血管疾患等リハビリテーション料	11,649	17,862	11,170	20,060	6,058	9,469	28,877	47,391
心大血管リハビリテーション料 (心臓リハビリ集団を含む)	13,215	26,928	567	1,011	0	0	13,782	27,939
廃用症候群リハビリテーション料	12,232	17,010	1,726	3,227	1,469	2,302	15,427	22,539
運動器リハビリテーション料	4,670	7,614	837	1,461	0	0	5,507	9,075
呼吸器リハビリテーション料	9,964	13,622	1,058	1,765	2,552	3,887	13,574	19,274
がん患者リハビリテーション料	4,075	5,219	141	253	0	0	4,216	5,472
合 計	55,805	88,255	15,499	27,777	10,079	15,658	81,383	131,690

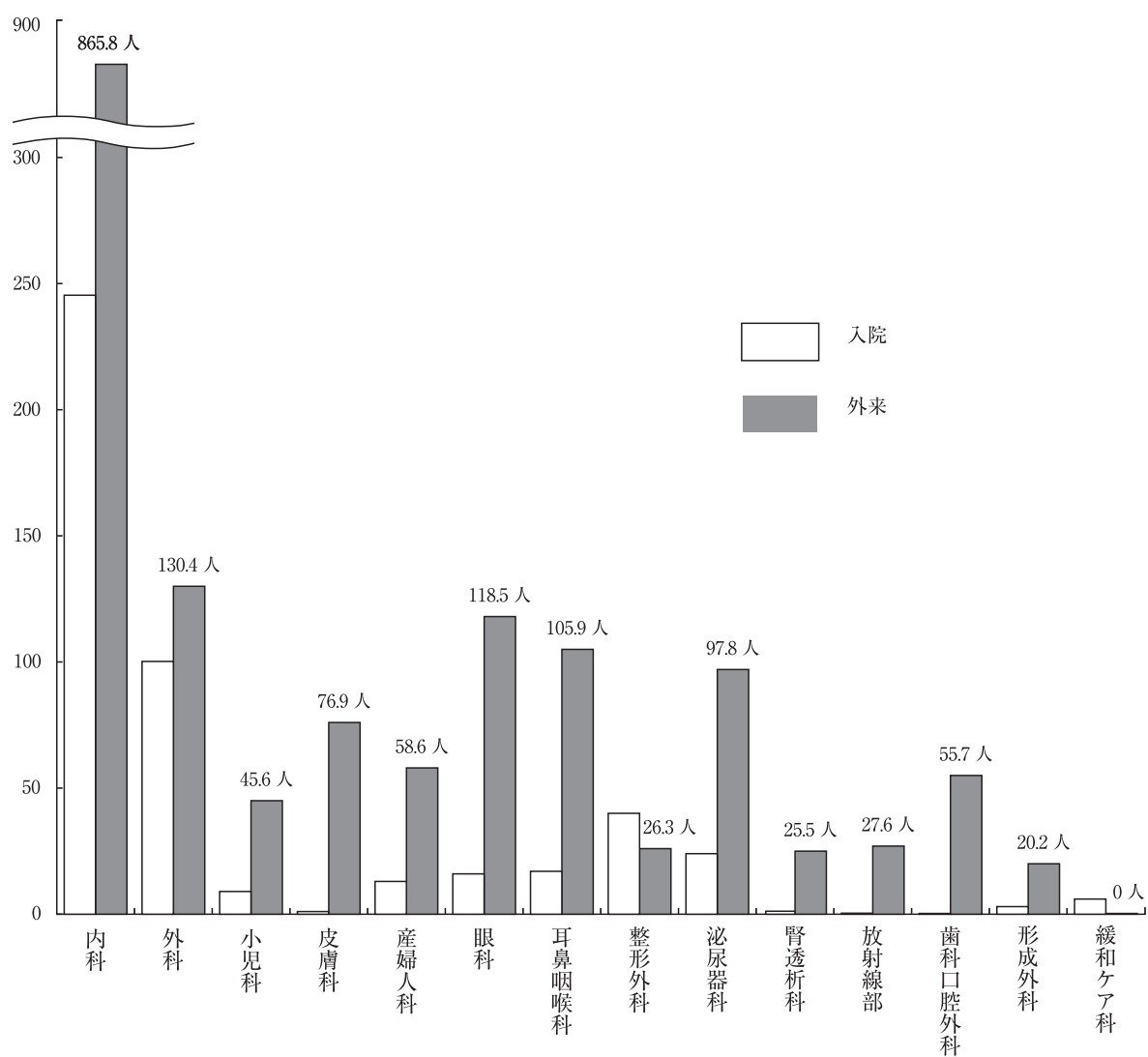
	心臓リハビリ集団	
	件数	単位数
外 来	3,097	8,644
入 院	1,934	4,914
合 計	5,031	13,558

退院時リハビリテーション (件)	2406
早期離床リハビリ加算 ICU (件)	2773
早期離床リハビリ加算 SCU (件)	1543

投薬 (処方箋)	注 射		枚 数	本 数	内服外用薬		枚 数	件 数	日 数
	外 来		238,564	551,669	外 来		225,490	651,994	22,929,856
	入 院	定期	1,272,195	1,458,675	入 院	定期	0	0	0
		臨急	60,693	127,839		臨急	120,118	233,488	1,193,556
	計		1,571,452	2,138,183	計		345,608	885,482	24,123,412

投薬指導 (退 院 時 指導含)	件数	人数
	12,976	8,340

(4) 令和 6 年度 診療科別患者数（1 日平均）



(5) 令和6年度 科別剖検状況

(令和6年4月～令和7年3月)

内 訳 科 別	退 院 数	入院後48時間 以後死亡数	入院後48時間 以内死亡数	全 死 亡 数	解 剖 数
(内 科)					
呼 吸 器 内 科	1,562	87	10	97	3
循 環 器 内 科	2,015	61	15	76	
脳 神 経 内 科	665	22		22	1
消 化 器 内 科	1,498	50	10	60	4
血 液 内 科	514	33	5	38	
内 分 泌 内 科	202	5		5	
総 合 内 科	630	62	3	65	3
腫 瘍 内 科	12	2	1	3	
(外 科)					
脳 神 経 外 科	533	35	4	39	
心臓血管外科	427	20	3	23	
呼 吸 器 外 科	291	2		2	
消 化 器 外 科	1,011	18	3	21	
乳 腺 外 科	180	9		9	
小 児 科	869				
児 循 ・ 先 天 心					
産 婦 人 科	781	3	1	4	
腎 透 析 科	60				
耳 鼻 咽 喉 科	702	2	2	4	
形 成 外 科	149				
眼 科	1,450				
皮 膚 科	48				
泌 尿 器 科	1,100	21		21	
歯科・歯科口腔外科	40				
整 形 外 科	338	2		2	
放 射 線 科	14				
麻 酔 科					
救 急 診 療 科	148	1	4	5	
緩 和 ケ ア 科	87	85		85	
ド ッ ク	148				
白 川 分 院	716	47	0	94	
合計（剖検率1.6％）	16,190	567	61	675	11

(6) 令和6年度 心理相談室業務（臨床心理検査、心理療法、チーム医療活動）実施件数

月	臨床心理検査（病棟含）				心理療法（病棟含）				合計
	小児科	精神科 （白川分院含む）	その他 全科	小計	小児科	精神科 （白川分院含む）	その他 全科	小計	
4	0	20	0	20	11	65	25	101	121
5	2	37	0	39	13	71	17	101	140
6	7	33	0	40	18	63	15	96	136
7	5	43	0	48	22	78	28	128	176
8	7	24	0	31	19	66	30	115	146
9	4	17	10	31	19	65	32	116	147
10	4	39	3	46	20	77	25	122	168
11	4	27	2	33	21	62	20	103	136
12	1	33	0	34	21	62	14	97	131
1	4	52	2	58	16	63	21	100	158
2	0	35	6	41	16	56	10	82	123
3	1	34	2	37	18	63	7	88	125
計	39	394	25	458	214	791	244	1,249	1,707

* チーム医療…緩和ケアチーム、糖尿病教室、糖尿病心理カンファレンス、小児科病棟、ダウン症教室、精神科家族教室、精神科作業療法、その他

臨床心理検査内訳

月	発達および 知能検査	人格検査	その他心理検査	合計
4	6	3	11	20
5	6	14	19	39
6	8	11	21	40
7	10	10	28	48
8	6	11	14	31
9	4	8	19	31
10	9	10	27	46
11	7	5	21	33
12	4	8	22	34
1	10	17	31	58
2	5	7	29	41
3	6	9	22	37
計	81	113	264	458

(7) 白川分院（令和6年4月～令和7年3月）

1. 現 況

病 棟	許可病床数	系 統	開 業 日
A-1	50	内科・リハビリテーション科	平成15年7月7日
A-2	50	内科・リハビリテーション科	平成15年7月7日
B-1	43	精神神経科	平成15年7月7日

2. 各種専門委員会

(委員会名)	(委員長)	(委員会名)	(委員長)
医療安全委員会	坂 上 祐 司	医療ガス委員会	坂 上 祐 司
院内感染対策委員会	坂 上 祐 司	防災管理委員会	松 浦 広 樹
創傷管理委員会	西 村 理	医療従事者勤務改善委員会	坂 上 祐 司
栄養委員会	西 村 理	障害者虐待防止委員会	松 浦 広 樹
行動制限最小化委員会	松 浦 広 樹	診療録管理委員会	松 浦 広 樹
医療廃棄物管理委員会	松 浦 広 樹		

3. 定例会議

院内各部署代表者会議（月1回 第4水曜日）

地域包括ケア病床運営委員会（月1回 第4水曜日）

回復期リハビリテーション病棟運営委員会（月1回 第4水曜日）

4. 業 務 概 要

① 入院月別患者数延日数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
患 者 数	3,435	3,384	3,242	3,274	3,196	3,177
一日平均	114.5	109.2	108.1	105.6	103.1	105.9

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
3,280	3,108	3,533	3,601	3,423	3,731	40,384
105.8	103.6	114.0	116.2	122.3	120.4	110.6

② 外来月別患者数（精神神経科 診療日数242日）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
患 者 数	1,619	1,707	1,592	1,645	1,605	1,604
一日平均	81.0	85.4	72.4	82.3	73.0	84.4

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1,693	1,538	1,583	1,541	1,393	1,544	19,064
84.7	73.2	79.2	81.1	73.3	77.2	78.8

外来月別患者数（内科 診療日数325日）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
患 者 数	181	170	164	198	212	170
一日平均	6.5	6.1	6.3	6.8	7.3	6.8

10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月	合計
172	206	220	194	162	181	2,230
6.6	7.4	7.3	7.2	6.8	7.2	6.9

③ 在宅世話どりセンター活動状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
対象患者数	67	67	71	73	75	72
新 患 者 数	4	3	5	7	5	2
死亡患者数	3	1	4	3	5	7
中止(軽快・転院・転居等)	0	0	1	0	0	2
床ずれ外来患者数・その他	7	8	8	8	9	11
訪 問 診 療 回 数	156	143	137	176	173	145
訪 問 看 護 回 数	141	125	100	157	161	121
訪問栄養士回数	16	21	18	19	21	18
床ずれ外来回数	4	6	4	2	2	6
合計	317	295	259	354	357	290

10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月	合 計
69	77	79	76	71	70	867
6	10	5	4	3	2	56
1	2	5	7	3	6	47
1	1	2	1	0	1	9
11	9	10	8	7	4	100
149	171	183	162	147	148	1,890
109	128	137	130	116	102	1,527
17	18	19	14	11	12	204
6	4	4	6	0	1	45
281	321	343	312	274	263	3,666

④ 各科実績報告

	内 科	リハビリテーション科	精 神 神 経 科
入 院 患 者 数	297	281	147
退 院 患 者 数	290	277	149
在院患者延数	13,914	16,522	10,664
一 日 平 均	38.1	45.3	29.2

入院患者延数	内 科		リハビリテーション科	精神神経科	合 計	1 日平均
	地ケア	療養				
	7,153	6,759				

外 来 患 者 延 数	診 療 科		初 診	再 診	訪問診療・往 診	訪問看護	訪問栄養・リハ	合 計	一日平均
	在宅 (内科)	医療 保険	48	299	1,883	667	23	3,894	12.4
		介護 保険				807	167		
	精神科		453	18,611				19,064	78.8

放射線	フィルム 枚数	※一般 撮影	※C T 検査	※造影 検査
	973	724	0	0

精神科 作業療法	件数	単位数
	364	2,081
精神科 ショートケア	件数	単位数
	198	541

※は件数

臨 床 検 査	一般検査	血液	化学	電気生理	緊急検査	合 計
	0	0	0	328	0	328

リ ハ ビ リ	理学療法		作業療法		言語聴覚療法		合 計	
	件数	単位数	件数	単位数	件数	単位数	件数	単位数
脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	10,368	21,377	11,197	22,717	6,943	12,601	28,508	56,695
廃用リハビリテーション料(Ⅰ)	2,808	5,506	3,275	6,050	832	1,247	6,915	12,803
運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	6,082	11,912	4,229	8,756	0	0	10,311	20,668
呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	832	1,525	745	1,254	649	973	2,226	3,752
心大血管リハビリテーション料(Ⅰ)	996	2,150	696	1,419	0	0	1,692	3,569
合 計	21,086	42,470	20,142	40,196	8,424	14,821	49,652	97,487

※心大血管リハビリテーション料(Ⅰ) R6年9月より算定開始

指 導 料／リハビリテーション料	件数	指 導 料／リハビリテーション料	件数
退院前訪問指導料	30(3)	リハビリテーション総合計画評価料1	1,199(900)
退院時リハビリテーション指導料	46	リハビリテーション総合計画評価料2	335
目標設定等支援・管理料1／2	177 60	摂食機能療法	344
		栄養指導	145 (18)

() は算定可能件数

投 薬	入 院	内服外用薬			注射薬		薬剤管理指導	
		枚数	件数	日数	枚数	本数	件数	人数
	定期処方	3,600	31,214	232,259	13,233	13,970	303	163
	臨急処方	9,351	21,995	165,440				
	外 来	精神科外来			内科外来			
		枚数	件数	日数	枚数	件数	日数	
	院内	0	0	0	106	165	195	
	院外	15,829			1,207			

⑤ 心 理 相 談

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
延患者数	17	17	17	17	15	12

10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月	合 計
22	15	11	18	13	13	187

Ⅳ 事 情 部

事情部は、入院患者をはじめ、さまざまな病気や事情の悩みから当相談所を訪れる人々に対して、天理教の教えに基づいた相談にあたり、病気平癒の祈りなどを行う部門である。天理教教人の中より、約60名を教師として委嘱し、以下の活動を行っている。

1. 入院患者に対して、心の悩みを解消し精神的安定を得ることを目的に、事情部教師が患者の話を聞き相談にあたる。また適宜、病気平癒の祈りを行っている。
2. さまざまな病気や事情の悩みから当相談所を訪れる人々に対して、天理教の教えに基づいて相談に応じる「外来相談」を行っている。また電話や手紙による相談にも応じている。
3. 入院患者の平癒と心の悩みの回復を祈念して、誰でも自由に参加できる朝夕のおつとめを勤めている。また職員と共に毎月「憩の家月次遙拝式」を勤め、入院患者及び外来者の平癒と悩みの解決を祈念している。
4. 白川分院において、病気や事情の悩み相談にあたるとともに、礼拝所にて朝夕のおつとめおよび月次祭並びに春秋の霊祭を勤めている。
5. 地域住民の健康増進の意識向上を推進するため、「憩の家講座」を開催している。
6. 患者の苦悩解決に向けて、院内放送やビデオの放送を提供している。
7. 医師、看護師など職員を対象に、相互理解や創設理念の周知徹底などを目的として、懇談会や勉強会または研修会を開催している。
8. 事情部教師の資質の向上を目的に、勉強会や研修会を開催している。
9. 入院患者および外来患者の個人情報保護の遺漏なきよう、研修会などを実施して万全の対策を図る。

※以上の活動は、新型コロナウイルス感染症の影響により、一時自粛や変更しているものもある。

事情部おたすけ相談件数

(令和6年4月～令和7年3月)

年月	入 院	外 来	電 話	手 紙	合 計	男女別	
						男	女
令和6年 4月	3,288	0	58	0	3,346	1,742	1,604
5月	3,132	0	57	0	3,189	1,725	1,464
6月	3,191	0	54	1	3,246	1,721	1,525
7月	3,252	0	52	0	3,304	1,854	1,450
8月	3,157	0	46	1	3,204	1,759	1,445
9月	3,066	0	48	0	3,114	1,644	1,470
10月	3,440	0	61	1	3,502	1,879	1,623
11月	3,347	0	56	0	3,403	1,842	1,561
12月	3,274	0	50	0	3,324	1,771	1,553
令和7年 1月	3,121	0	52	0	3,173	1,728	1,445
2月	3,044	0	49	0	3,093	1,693	1,400
3月	3,250	0	46	0	3,296	1,743	1,553
合 計	38,562	0	629	3	39,194	21,101	18,093
総 計 39,194							

※新型コロナウイルス感染症拡大防止により、以下のように活動を制限しています。

- ・入院患者へのおたすけ
教師数やおたすけにまわる病棟数・患者数を調整
- ・外来相談
令和2年3月10日～休止
- ・電話相談
13:00～15:00と時間を変更して実施

憩の家講座

(令和6年4月～令和7年3月)

開催日	受講方法	回数	テーマ	講師
令和6年 6月13日 7月16日～ 8月23日	ライブ配信 オンデマンド配信	565	带状疱疹どんな病気？ ～症状からワクチンまで～	皮膚科 医員 手塚 純子
令和6年 10月29日 11月18日～ 12月20日	ライブ配信 オンデマンド配信	566	腹部疾患に対する低侵襲手術について	手術部 副部長 消化器外科 医長 松末 亮
令和7年 3月24日 4月14日～ 5月23日	ライブ配信 オンデマンド配信	567	貧血について	血液内科 副部長 右京 直哉

備考：新型コロナウイルス感染拡大防止のため、受講方法などを調整し開催している。

事情部外来相談件数

(令和6年4月～令和7年3月)

総数：0件				
相談内容内訳	男性	女性	合計	割合
①身上相談（病気の悩み）	0	0	0	0.0%
②事情相談（家庭の悩み）	0	0	0	0.0%
③身上、事情が重複した相談	0	0	0	0.0%
④おさづけ取次ぎ	0	0	0	0.0%
合 計	0	0	0	0.0%

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月10日から休止しています。

事情部電話相談件数

(令和6年4月～令和7年3月)

相談件数 総数：629件				
相談内容内訳	男性	女性	合計	割合
信仰相談	6	110	116	18.4%
教会事情	8	53	61	9.7%
夫婦家族問題	9	151	160	25.4%
職場、対人関係	5	73	78	12.4%
生活、経済問題	1	16	17	2.7%
おたすけ相談	1	20	21	3.3%
身上相談	16	46	62	9.9%
精神疾患	5	18	23	3.7%
身上、事情重複した相談	2	19	21	3.3%
その他	14	56	70	11.1%
	67	562	629	100.0%

V 世 話 部

世話部は天理よろづ相談所を訪れる、さまざまな人々の世話どりをさせていただくため、以下の係をおいて業務を進めている。

身上部と協力して「患者総合支援センター」を設置し、入院から退院、またその後の療養生活までの手厚い世話どりを行っている。

「医療福祉係」として、医療福祉相談、低額診療業務を担当し、ソーシャルワーカーが患者やその家族の精神面、経済面、生活面などの相談相手となり、諸般の問題解決に努力している。

「相談係」は教内外の区別なく、喜びにあふれた幸せな家庭を築いていただけるように、結婚相談に応じている。(平成30年4月から休止)

「在宅世話どりセンター」(令和元年7月より白川分院へ移設)は、当院での医療管理を継続中の在宅療養者に訪問診療、訪問看護を通して在宅医療を展開し、療養者とその家族へ支援活動を行っている。

「育成係」は、医療ようぼく育成制度として「天理よろづ相談所 創設の理念」に基づいて医師、看護師をはじめ各種医療従事者を目指す者で、将来、天理よろづ相談所での勤務を志す人材の育成を行っている。

令和5年4月に継続的な教育研修を統括する部門・体制の準備として「教育・研修事務局」を新設した。職員全体の研修、各職種における研修体制、関係する委員会と連携しての研修を統括していく。

「編集係」は刊行物により啓発ならびに広報に当たるとともに、施設のあゆみを史料として編纂し、その向上に資するよう努めている。

「天理よろづ相談所ひのきしんセンター」は幅広くひのきしん者(奉仕者)を受け入れ、その企画や調整を担当している。受診案内、車イスの貸し出し、移動貸出図書など、憩の家を利用される方々に対してさまざまな分野で世話どりを行っている。

「めばえ託児所・わかぎ学童保育所」は、職員が安心して働くことができる職場環境を調べ、もって人材確保に資するために設立し、6ヵ月～就学前の乳幼児(めばえ託児所)と小学1年生～4年生(わかぎ学童保育所)の児童の保育を担っている。

他に糖尿病患者と医療関係者の会である「天理陽友会」事務局の事務を担当している。

1. 育 成 係

A 医療ようばく養成の現況 (令和7年3月現在)

育 成 種 類	人 員
医 師 養 成	0名
薬 剤 師 養 成	2名
助 産 師 ・ 看 護 師 養 成	18名
臨 床 工 学 技 士 養 成	1名
理 学 療 法 士 養 成	1名
作 業 療 法 士 養 成	2名
合 計	24名

2. 医療福祉係

A 福祉法による診療状況 (件数) (令和6年4月～令和7年3月)

	生活保護			更生医療			育成医療			養育	指定難病			小児慢性 特定疾病			措置児童			合 計		
	入	外	計	入	外	計	入	外	計	入	入	外	計	入	外	計	入	外	計	入	外	計
4	35	379	414	6	15	21	0	0	0	0	59	1,167	1,226	5	37	42	0	5	5	105	1,603	1,708
5	40	380	420	5	15	20	0	0	0	0	47	1,218	1,265	6	37	43	0	4	4	98	1,654	1,752
6	41	379	420	7	11	18	0	0	0	0	52	1,178	1,230	3	55	58	1	6	7	104	1,629	1,733
7	48	384	432	9	15	24	0	0	0	0	59	1,297	1,356	7	42	49	0	2	2	123	1,740	1,863
8	46	384	430	6	15	21	0	0	0	0	63	1,226	1,289	5	66	71	1	7	8	121	1,698	1,819
9	45	364	409	6	12	18	0	0	0	0	75	1,219	1,294	9	38	47	0	2	2	135	1,635	1,770
10	48	383	431	1	10	11	0	0	0	0	82	1,224	1,306	7	54	61	0	1	1	138	1,672	1,810
11	33	365	398	2	1	3	0	0	0	0	65	1,211	1,276	4	45	49	1	8	9	105	1,630	1,735
12	37	373	410	1	1	2	0	0	0	0	57	1,266	1,323	5	58	63	1	7	8	101	1,705	1,806
1	54	373	427	1	1	2	0	0	0	0	51	1,131	1,182	8	42	50	0	4	4	114	1,551	1,665
2	46	347	393	2	0	2	0	0	0	0	69	1,096	1,165	5	57	62	0	2	2	122	1,502	1,624
3	40	396	436	3	0	3	0	0	0	0	67	1,221	1,288	6	51	57	0	7	7	116	1,675	1,791
計	513	4,507	5,020	49	96	145	0	0	0	0	746	14,454	15,200	70	582	652	4	55	59	1,382	19,694	21,076

B 初回面接月別件数 (入院患者のみ) (令和6年4月～令和7年3月)

月 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
面接数	542	529	515	612	551	524	585	537	515	544	541	520	6,515

C 低額診療減免状況（一般医療減免分）

（令和6年4月～令和7年3月）

	区 分	患者診療日数（日）	診療費減免額（円）
令和6年 4～6月	外 来	2,094	4,010,000
	入 院	5,466	38,988,900
	計	7,560	42,998,900
7～9月	外 来	2,239	4,203,370
	入 院	5,713	42,630,740
	計	7,952	46,834,110
10～12月	外 来	2,104	3,660,640
	入 院	4,720	35,056,740
	計	6,824	38,717,380
令和7年 1～3月	外 来	1,922	3,110,280
	入 院	4,723	30,374,580
	計	6,645	33,484,860
合 計	外 来	8,359	14,984,290
	入 院	20,622	147,050,960
	計	28,981	162,035,250

D 献眼・献腎（令和6年4月～令和7年3月）

献 眼 登 録 者	0
角 膜 登 録 者	0
献 腎 登 録 者	0

3. 天理よろづ相談所ひのきしんセンター

天理よろづ相談所ひのきしんセンターは、天理よろづ相談所におけるひのきしん活動の推進と充実を目指し、平成9年4月に設置された。ひのきしんの活動内容は、従来から修養科・専修科により行われている清掃等のほかに、ひのきしん会員（主婦や教内勤務者、会社員などで構成、登録者数は令和5年度末で94名）により行われている外来者に対する案内や車椅子利用者への援助、また、入院者に対する移動貸出図書ほかの活動が行われている。

新型コロナウイルス感染予防の為、令和2年3月5日より、外来診療棟、本館南病棟、白川分院の病棟内におけるひのきしん活動は休止。(外来診療棟は令和4年5月9日より一部再開) 屋外のひのきしん活動は引き続き行っている。

ひのきしん活動状況

(令和6年4月～令和7年3月)

項 目	実 施 日 数	のべ実施者数(1回平均)
1. 会員によるひのきしん	189日 ／ 365日	440名 (2.3)
①外来診療棟(車椅子の援助や受診手続き援助など)	172日	210名 (1.2)
②移動貸出図書(本整理作業も含む)		0名 (0.0)
③カラオケ教室		0名 (0.0)
④ガーデニング(園芸活動)	68日	68名 (1.0)
※⑤イベント	9日	162名 (18.0)
2. 修養科・専修科によるひのきしん	37日 ／ 365日	593名 (16.0)
①修養科ひのきしん	18日	394名 (21.9)
②専修科ひのきしん	19日	199名 (10.5)
合 計 (1 + 2)		1,033名 —

※⑤イベントの活動内容

実施者：北寮幹事会。ひのきしん：環境美化

4. めばえ託児所・わかぎ学童保育所活動状況

○めばえ託児所

(令和6年4月～令和7年3月)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通常 保育	保育日数	20	21	20	22	21	19	22	20	20	19	18	20	242
	入所幼児数	2	2	0	1	0	0	0	1	1	3	2	0	12
	退所幼児数	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	5	6
	前月繰越幼児数	9	11	13	13	14	13	13	13	14	15	18	20	
	当月末在籍数	11	13	13	14	14	13	13	14	15	18	20	20	
	延べ利用者数	186	237	196	226	223	209	216	194	213	250	281	341	2,772
特別 保育	保育日数	5	2	0	1	2	2	1	0	5	1	0	1	20
	延べ利用者数	6	3	0	1	2	2	1	0	4	1	0	1	21
事前 保育	保育日数	6	4	9	0	0	0	8	10	10	2	5	7	61
	延べ利用者数	11	5	9	0	0	0	8	10	14	2	5	7	71
夜間 保育	保育日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延べ利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
病児 保育	保育日数	0	1	2	0	0	0	1	0	2	0	0	2	8
	延べ利用者数	0	1	2	0	0	0	1	0	2	0	0	2	8

○わかぎ学童保育所

(令和6年4月～令和7年3月)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通常 保育	保育日数	20	21	20	22	21	19	22	20	20	19	18	20	242
	入所児童数	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	退所児童数	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	3
	前月繰越児童数	5	7	8	8	6	6	5	5	5	5	5	5	
	当月末在籍数	7	8	8	8	6	6	5	5	5	5	5	5	
	延べ利用者数	94	133	112	98	74	91	78	72	71	64	65	66	1,018
特別 保育	保育日数	7	0	0	9	21	0	0	1	10	5	0	0	53
	入所児童数	3	1	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	7
	退所児童数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	前月繰越児童数	6	9	10	10	10	12	12	13	13	12	12	12	
	当月末在籍数	9	10	10	10	12	12	13	13	13	12	12	12	
	延べ利用者数	12	0	0	29	54	0	0	1	28	12	0	28	164
延長 保育	保育日数	2	1	0	7	17	3	3	0	7	4	4	0	48
	延べ利用回数	2	1	0	14	31	3	4	0	10	4	4	0	73

Ⅵ 医 学 研 究 発 表

令和6年4月1日～令和7年3月31日における医学研究発表は、書籍13件、学術雑誌157件、学会364件、研究会166件、その他の講演158件、院内集談会63件、一般向け誌上・講演32件、企業内講演10件であった。国際学会での発表等は、アメリカ合衆国、イギリス、ドイツ、フランス、オーストラリア、チェコスロバキア、スペイン、セルビア、大韓民国、シンガポールの10カ国、海外出張は20件であった。国外・国内を問わず、学会や研究会がWeb開催や現地開催とWeb開催とのハイブリッド開催で実施された。なお、科・部等の配列順は機構図に基づいた。他施設との共同研究では、天理よろづ相談所の職員を下線で示した。2つ以上の科・部にまたがる研究は、指定のない限り、筆頭著者・演者の所属科・部に含めた。

総合内科・総合診療教育部

◇学 術 雑 誌

(欧 文)

1. Yoshida K, Sada RM, Yoshioka A, Akebo H, Miyake H, Hatta K: The diagnostic utility of intima-media thickness measurement compared with the halo sign in temporal artery ultrasonography: A single-centre retrospective study. *Clinical and Experimental Rheumatology* 2025; doi: 10.55563/clinexprheumatol/nazkih.
2. Nishigaichi A, Amano Y, Sada RM, Miyake H, Maruyama W, Tagawa S, Akebo H, Hatta K, Nishino I: A case of amyloid myopathy mimicking anti-Mi-2 antibody-positive myositis. *Journal of General Internal Medicine* 2025; 40(2): 479-484.
3. Manabe A, Sada RM, Miyake H, Akebo H, Tsugihashi Y, Hatta K: An observational study to identify causative factors for not using hydroxychloroquine in systemic lupus erythematosus. *Scientific Reports* 2024; 14(1): 7750.

(邦 文)

4. 長野 広之: エキスパートが教える問診の勘どころ 対話から拾い上げるコモンディーズ (第12回) 「熱があつて寒気もします」. *Medical Practice* 2024; 41(6): 954-957.
5. 佐田 竜一, 木村 武司, 長野 広之: 臨床教育お悩み相談室 どうする!? サロン (第13回) “会心”の回診にする「MiPLAN」あります! *総合診療* 2024; 34(3): 348-352.
6. 佐田 竜一, 木村 武司, 長野 広之: 臨床教育お悩み相談室 どうする!? サロン (第14回) 「働き方改革」って、いったい誰得? 何得? *総合診療* 2024; 34(4): 452-

456.

7. 佐田 竜一, 木村 武司, 長野 広之: 臨床教育お悩み相談室 どうする!? サロン (第15回) 外来で指導する時も, learning climate はいつも晴れ晴れ! 総合診療 2024; 34 (5): 604-608.
8. 前川 かく, 明保 洋之, 佐田 竜一: What's your diagnosis? (第258回) トーマスはオオカミ少年. 総合診療 2024; 34 (6): 712-716.
9. 佐田 竜一, 木村 武司, 長野 広之: 臨床教育お悩み相談室 どうする!? サロン (第16回) 「褒めてやらねば, 人は動かじ」ってほんとなの, 五十六さん!? 総合診療 2024; 34 (6): 722-726.
10. 佐田 竜一, 木村 武司, 長野 広之: 臨床教育お悩み相談室 どうする!? サロン (第17回) 怒られるよりも, (作為的でも) 褒められたい, 真剣で. 総合診療 2024; 34 (8): 944-948.
11. 佐田 竜一, 木村 武司, 長野 広之: 臨床教育お悩み相談室 どうする!? サロン (第18回) 「クイズ・ちょっどええ」“距離感”とは何か? を考える. 総合診療 2024; 34 (10): 1190-1195.
12. 佐田 竜一, 木村 武司, 長野 広之: 臨床教育お悩み相談室 どうする!? サロン (第19回) 「医学教育エビデンスはどこにあるぞんす!?」. 総合診療 2024; 34 (11): 1320-1325.
13. 佐田 竜一, 木村 武司, 長野 広之: 臨床教育お悩み相談室 どうする!? サロン (第20回) 「ハラスメント, ダメ, ゼッタイ」. 総合診療 2024; 34 (12): 1456-1461.

◇学会

国内学会

一般演題 (口演)

1. 八田 和大, 武内 諒, 田川 竣介, 明保 洋之, 三宅 啓史, 長野 広之, 佐田 竜一: 骨転移病変と鑑別を要した脊椎関節炎の2例. 日本脊椎関節炎学会第34回学術集会, 2024. 8. 17-18, 大阪・ハイブリッド開催
2. 辻畑 智雄: 感染性心内膜炎に対する抗菌薬加療中に大動脈弁閉鎖不全症の増悪をきたし救命し得なかった透析患者の一例. 第138回日本循環器学会近畿地方会, 2024. 12. 7, 大阪, 現地開催
(2023年度追加)
3. 辻畑 智雄, 村上 廣一朗, 田川 竣介, 沈 載紀, 明保 洋之, 三宅 啓史, 佐田 竜一, 金井 恵理, 八田 和大: 陰部潰瘍を合併し, 頸部リンパ節生検で診断した亜急性壊死性リンパ節炎・菊池病の一例. 第28回日本病院総合診療医学会学術総会, 2024. 3. 29-30, 福岡, 現地開催

一般演題 (ポスター)

4. 八田 和大, 明保 洋之, 三宅 啓史, 佐田 竜一: MTXで加療中, ニューモシスチス肺炎 (PCP) を契機に悪性リンパ腫が一過性に発病し自然軽快したと考えられた RA の1例. 第68回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2024. 4. 18-20, 神戸, 現地開催

5. 八田 和大, 明保 洋之, 三宅 啓史, 佐田 竜一: MTX の副作用発現にビタミン B12 代謝異常が関与したと考えられた 1 例. 第68回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2024. 4. 18-20, 神戸, 現地開催
6. 村上 廣一朗, 明保 洋之, 中西 章, 佐田 竜一, 田川 竣介, 沈 載紀, 三宅 啓史, 金井 恵理, 八田 和大: 天理よろづ相談所病院の志望者回復に向けた活動 天理レジデントプロジェクト2023 フルマッチを目指して. 第15回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会, 2024. 6. 7-9, 浜松 (静岡)・ハイブリッド開催
7. 井上 広海, 村上 廣一朗, 明保 洋之, 佐田 竜一, 田川 竣介, 沈 載紀, 三宅 啓史, 金井 恵理, 八田 和大: コロナ禍と面会制限は退院調整にどのような影響を与えたか? 質問紙法による調査. 第15回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会, 2024. 6. 7-9, 浜松 (静岡)・ハイブリッド開催
8. 辻村 拓也, 古武 剛, 久乗 しのぶ, 北川 実美, 山崎 貴之: Improvement of treatment access based on comprehensive genomic profiling tests at our local hospital. 第22回日本臨床腫瘍学会学術集会, 2025. 3. 6-8, 神戸・ハイブリッド開催

◇研 究 会

特別講演・教育講演

1. 三宅 啓史: SLE に対する Treat-to-Target. SLE expert meeting 2024, 2024. 5. 29, 天理・ハイブリッド開催
2. 三宅 啓史: ステロイドフリーを目指した SLE の治療戦略. SLE Treatment Conference in Sep, 2024. 9. 24, 大阪・ハイブリッド開催
3. 八田 和大: JAK 阻害薬による関節リウマチ診療への期待 D2TRA への治療戦略. 実臨床での JAK 阻害薬を考える会 in 京奈, 2024. 11. 22, 大阪・Web 開催

特別企画 (シンポジウム・パネルディスカッション)

4. 三宅 啓史: 筋炎関連 ILD の現状と課題. Kyoto CTD-ILD Web Conference, 2024. 6. 20, 京都・ハイブリッド開催

一般演題 (口演)

5. 三宅 啓史: RA 患者のポリファーマシーとその対策. RINVOQ Expert Meeting, 2024. 5. 31, 大阪・ハイブリッド開催
6. 辻畑 智雄: 2つの閉鎖にご注意を. 第23回奈良総合診療研究会, 2024. 7. 13, 奈良・ハイブリッド開催

◇その他の講演

1. 長野 広之: 血管炎診断ことはじめ. RITEN (来天・Review of Internal medicine in TENri) 2024, 2024. 7. 13, 天理・Web 開催

消化器内科、内視鏡センター

◇学 術 雑 誌

(欧 文)

1. Yasumura K, Minami R, Ueo T: Adenomyomatous hyperplasia of the ampulla of Vater. *Clinical Gastroenterology and Hepatology* 2024 ; 22(5) : A25–A26.
2. Imaeda M, Onishi Y, Nagatomo S, Minami R, Taniguchi T: Transcatheter arterial embolization for bleeding from the proper hepatic artery caused by a duodenal ulcer : A case report. *Cureus* 2024 ; 16(7) : e63822.
3. Morino K, Nagatomo S, Ishida K, Ueo T, Machimoto T: Delayed-onset immune-related colitis following pancreaticoduodenectomy in patients with gastric cancer and pancreatic invasion treated with immune checkpoint inhibitors. *Cureus* 2024 ; 16(9) : e68480.
4. Matsuyama S, Fukuda A, Ueo T, Ohana M: Intussusception of mesenteric liposarcoma into the ascending colon. *Internal Medicine* 2024 ; 63(10) : 1517–1518.
5. Matsuyama S, Fukuda A, Yamakawa G, Ueo T, Seno H: A case of severe post-biopsy bleeding and perforation in gastric amyloidosis. *JGH Open* 2024 ; 8(12) : e70065.

〈他施設との共同研究〉

6. Kawai M, Fukuda A, Otomo R, Obata S, Minaga K, Asada M, Umemura A, Uenoyama Y, Hieda N, Morita T, Minami R, Marui S, Yamauchi Y, Nakai Y, Takada Y, Ikuta K, Yoshioka T, Mizukoshi K, Iwane K, Yamakawa G, Namikawa M, Sono M, Nagao M, Maruno T, Nakanishi Y, Hirai M, Kanda N, Shio S, Itani T, Fujii S, Kimura T, Matsumura K, Ohana M, Yazumi S, Kawanami C, Yamashita Y, Marusawa H, Watanabe T, Ito Y, Kudo M, Seno H. : Early detection of pancreatic cancer by comprehensive serum miRNA sequencing with automated machine learning. *British Journal of Cancer* 2024 ; 131(7) : 1158–1168.

(邦 文)

7. 永友 秀, 安村 健人, 南 竜城, 上尾 太郎: 十二指腸乳頭部の粘膜下腫瘍に対し内視鏡的乳頭部切除術を施行し腺筋腫症過形成の診断に至った一例. *天理医学紀要* 2024 ; 27 (1) : 44–45.

◇学 会

国内学会

特別講演・教育講演

1. 南 竜城: 胆膵内視鏡に必要な基本手技と診断～胆膵領域の画像診断と基礎的な治療手順～. 第45回近畿消化器内視鏡技師会プラクティスセミナー, 2024. 11. 24, 京都, 現地開催

特別企画（シンポジウム・パネルディスカッション）

2. 藤田 奈穂子, 栃尾 智正, 松本 淳, 上尾 太郎：シンポジウム 1 消化管腫瘍に対する戦略を考える～予防・診断・治療～当院における胃 ESD 後に変形・狭窄により通過障害をきたした症例の検討. 日本消化器病学会近畿支部第121回例会, 2024. 9. 28, 京都, 現地開催
3. 奥村 圭, 栃尾 智正, 南 竜城, 上尾 太郎：ビデオシンポジウム (VS) 内視鏡医の一喜一憂 見て下さい, 私の症例 碎石に難渋した再発性総胆管結石に対して小腸内視鏡を胆管内に挿入し処置を施行した 1 例. 第113回日本消化器内視鏡学会近畿支部例会, 2024. 12. 7, 大阪, 現地開催

一般演題（口演）

4. 岡野 明弘：免疫抑制化学療法による発症する B 型肝炎対策ガイドライン 当院の遵守対策. 第 8 回関西肝疾患フォーラム, 2024. 6. 15, 京都・ハイブリッド開催 【近畿支部奨励賞 受賞】
5. 永友 秀, 南 竜城, 八隅 大地, 村上 綾音, 小川 慧人, 尾松 梨沙, 藤田 奈穂子, 奥村 圭, 栃尾 智正, 松本 淳, 大花 正也, 久須美 房子, 岡野 明浩, 上尾 太郎：EUS にて粘膜下腫瘍として描出し得た胆嚢平滑筋種の 1 例. 第112回日本消化器内視鏡学会近畿支部例会, 2024. 6. 29, 大阪, 現地開催 【優秀演題賞 受賞】
6. 小川 慧人, 松本 淳, 八隅 大地, 村上 綾音, 尾松 梨沙, 藤田 奈穂子, 奥村 圭, 栃尾 智正, 大花 正也, 岡野 明浩, 久須美 房子, 上尾 太郎：広範な大腸粘膜下血腫を契機に AL アミロイドーシスと診断された 1 例. 第112回日本消化器内視鏡学会近畿支部例会, 2024. 6. 29, 大阪, 現地開催
7. 村上 綾音, 安村 健人, 八隅 大地, 小川 慧人, 渡辺 俊介, 永友 秀, 尾松 梨沙, 藤田 奈穂子, 奥村 圭, 栃尾 智正, 松本 淳, 南 竜城, 大花 正也, 久須美 房子, 岡野 明浩, 上尾 太郎：B 細胞性リンパ腫寛解中に発生したベーチェット病に対してインフリキシマブ投与後, アデノウイルス肝炎関連血球貪食性リンパ組織球症 (HLH) を呈した 1 例. 日本消化器病学会近畿支部第121回例会, 2024. 9. 28, 京都, 現地開催
8. 永友 秀, 上野 真行, 三宅 可奈江, 子安 翔, 竹田 治彦, 高井 淳, 森村 博樹, 大江 夏美, 藤井 洋佑, 三嶋 眞紗子, 井口 恵里子, 犬塚 義, 妹尾 浩：肝細胞癌に対するアテゾリズマブ+ベバシズマブ療法の治療効果予測における FDG-PET の有用性. 日本消化器病学会近畿支部第121回例会, 2024. 9. 28, 京都, 現地開催 【Young Investigator Session 優秀演題賞 受賞】
9. 上林 峻, 永友 秀, 八隅 大地, 村上 綾音, 小川 慧人, 尾松 梨沙, 藤田 奈穂子, 奥村 圭, 栃尾 智正, 松本 淳, 南 竜城, 大花 正也, 岡野 明浩, 久須美 房子, 上尾 太郎：大腸閉塞を来した腸管子宮内膜症の 1 例. 日本消化器病学会近畿支部第121回例会, 2024. 9. 28, 京都, 現地開催 【Freshman Session 優秀演題賞 受賞】
10. 八隅 大地, 南 竜城, 村上 綾音, 小川 慧人, 渡辺 俊介, 永友 秀, 尾松 梨沙, 藤田 奈穂子, 奥村 圭, 栃尾 智正, 松本 淳, 大花 正也, 久須美 房子, 岡野 明浩, 上尾 太郎：潰瘍性大腸炎の経過中に出現した好酸球性大腸炎の 1 例. 日本消化器病学会近畿支

部第121回例会, 2024. 9. 28, 京都, 現地開催

11. 渡辺 俊介, 栃尾 智正, 八隅 大地, 村上 綾音, 小川 慧人, 永友 秀, 尾松 梨沙, 藤田 奈穂子, 奥村 圭, 松本 淳, 南 竜城, 岡野 明浩, 久須美 房子, 大花 正也, 上尾 太郎: 十二指腸憩室出血に対して内視鏡的止血術を行った6例の検討. 第113回日本消化器内視鏡学会近畿支部例会, 2024. 12. 7, 大阪, 現地開催
12. 井上 颯, 永友 秀, 八隅 大地, 村上 綾音, 小川 慧人, 渡辺 俊介, 尾松 梨沙, 藤田 奈穂子, 奥村 圭, 栃尾 智正, 松本 淳, 南 竜城, 大花 正也, 岡野 明浩, 久須美 房子, 上尾 太郎: S 状結腸軸捻転術後40年目に発症, 緊急内視鏡にて腸管壊死を術前診断できた横行結腸軸捻転の1例. 第113回日本消化器内視鏡学会近畿支部例会, 2024. 12. 7, 大阪, 現地開催
13. 奥村 圭, 栃尾 智正, 南 竜城, 上尾 太郎: 碎石に難渋した再発性総胆管結石に対して小腸内視鏡を胆管内に挿入し処置を施行した1例. 第113回日本消化器内視鏡学会近畿支部例会, 2024. 12. 7, 大阪, 現地開催
14. 渡辺 俊介, 栃尾 智正, 八隅 大地, 村上 綾音, 小川 慧人, 永友 秀, 渡辺 俊介, 尾松 梨沙, 藤田 奈穂子, 奥村 圭, 栃尾 智正, 松本 淳, 南 竜城, 大花 正也, 岡野 明浩, 久須美 房子, 上尾 太郎: 胃癌の化学療法中に大量腹水を生じ, 診断に難渋した症例. 日本消化器病学会近畿支部第122回例会, 2025. 2. 15, 京都, 現地開催
15. 小川 慧人, 松本 淳, 八隅 大地, 村上 綾音, 永友 秀, 渡辺 俊介, 尾松 梨沙, 藤田 奈穂子, 奥村 圭, 栃尾 智正, 南 竜城, 大花 正也, 岡野 明浩, 久須美 房子, 上尾 太郎: アテゾリズマブ投与後に発症した irAE 筋炎の1例. 日本消化器病学会近畿支部第122回例会, 2025. 2. 15, 京都, 現地開催

◇研 究 会

一般演題 (口演)

1. 岡野 明弘: 免疫抑制化学療法による発症する B 型肝炎対策ガイドライン 当院の遵守対策. 奈良肝臓ミーティング, 2024. 4. 5, 橿原 (奈良)・ハイブリッド開催
2. 村上 彩音: B 細胞性リンパ腫寛解中に発生したバーチェット病に対してインフリキシマブ投与後, アデノウイルス肝炎関連血球貪食性リンパ組織球症 (HLH) を呈した1例. 第45回京大消化器内科関連病院症例検討会, 2024. 7. 13, 和歌山, 現地開催
3. 渡辺 俊介: 十二指腸憩室出血に対して内視鏡的止血術を行った6例の検討. 第70回奈良県消化器内視鏡研究会, 2024. 12. 21, 奈良, 現地開催
4. 永友 秀: 肝細胞癌に対するアテゾリズマブ+ベバシズマブ療法の治療効果予測における FDG-PET の有用性. 第9回京大消化器内科学術交流会・同門会, 2025. 2. 8, 京都, 現地開催
5. 渡辺 俊介: TRUWIRE の使用経験. 第42回 MH 胆膵画像診断勉強会, 2025. 2. 21, 大阪・ハイブリッド開催
6. 永友 秀: 肝細胞癌に対する薬物療法の治療効果予測における FDG-PET の有用性. 京都肝臓サミット, 2025. 3. 22, 京都・ハイブリッド開催

◇その他の講演

1. 藤田 奈穂子：お腹のみかた. RITEN (来天・Review of Internal medicine in TENri) 2024, 2024. 7. 13, 天理・ハイブリッド開催

◇一般向け

(講演)

1. 松本 淳：当院における胃癌治療の現状. 消化器疾患医療連携の会, 2024. 10. 31, 天理・Web 開催

循環器内科

◇書籍

1. 中川 頌子：II. カテーテル室 4. 心不全のインターベンション 閉塞性肥大型心筋症のカテーテル検査. All in one! 循環器救急・集中治療, pp166-167, 日本集中治療医学会 監修, 佐藤 直樹, 竹内 一郎, 田原 良雄, 川上 将司 編集, 中外医学社 (東京), 2025
2. 坂本 二郎, 泉 知里：3章 がん／がん治療に関連する心血管合併症のマネジメント 2 がん治療関連心機能障害 (CTRCD) の診断治療をどう行う? 腫瘍循環器診療実践トレーニング, pp126-133, 小室 一成 監修, 日本腫瘍循環器学会 編集, メジカルビュー社 (東京), 2024

◇学術雑誌

(欧文)

1. Nakagawa S, Amano M, Tamai Y, Mizumoto A, Kurashima S, Irie Y, Moriuchi K, Sakamoto T, Amaki M, Kanzaki H, Morita Y, Kitai T, Izumi C: Usefulness of native T₁ in cardiac magnetic resonance imaging and echocardiographic strain parameters for detecting early cardiac involvement in Fabry cardiomyopathy. *Circulation Reports* 2024 ; 6(10) : 456-464.
2. Yamagami S, Mori S, Sato T, Kondo H, Tamura T: Use of optimal fluoroscopic angulation to facilitate effective pulsed field ablation in a patient with atrial fibrillation. *Journal of Arrhythmia* 2025 ; 41(1) : e70005.
3. Miyake M, Izumi C, Watanabe H, Ozasa N, Morimoto T, Matsutani H, Takahashi S, Ohtani Y, Baba M, Sakamoto J, Tamaki Y, Enomoto S, Kondo H, Tamura T, Nakagawa Y, Kimura T ; CAPITAL-RCT Investigators: Prognostic value of E/e' ratio and its change over time in ST-segment elevation myocardial infarction with preserved left ventricular ejection fraction in the reperfusion era. *Journal of Cardiology* 2024 ; 84(4) : 253-259.

4. Yamagami S, Nishiuchi S, Sato T, Akiyama M, Nakano Y, Kondo H, Tamura T : Efficacy of the peak frequency map for left atrial posterior wall isolation. *Journal of Cardiovascular Electrophysiology* 2025 ; 36(1) : 42–51.
5. Nishiuchi S, Sato T, Yamagami S, Kondo H, Tamura T : Novel automated atrial pacemapping technique based on intracardiac pattern matching to identify the location of ectopic atrial activity. *Journal of Interventional Cardiac Electrophysiology* 2024 ; 67(4) : 671–674.

〈他施設との共同研究〉

6. Ozaki Y, Tobe A, Onuma Y, Kobayashi Y, Amano T, Muramatsu T, Ishii H, Yamaji K, Kohsaka S, Ismail TF, Uemura S, Hikichi Y, Tsujita K, Ako J, Morino Y, Maekawa Y, Shinke T, Shite J, Igarashi Y, Nakagawa Y, Shiode N, Okamura A, Ogawa T, Shibata Y, Tsuji T, Hayashida K, Yajima J, Sugano T, Okura H, Okayama H, Kawaguchi K, Zen K, Takahashi S, Tamura T, Nakazato K, Yamaguchi J, Iida O, Ozaki R, Yoshimachi F, Ishihara M, Murohara T, Ueno T, Yokoi H, Nakamura M, Ikari Y, Serruys PW, Kozuma K ; Task Force on Primary Percutaneous Coronary Intervention (PCI) of the Japanese Association of Cardiovascular Intervention, Therapeutics (CVIT). : CVIT expert consensus document on primary percutaneous coronary intervention (PCI) for acute coronary syndromes (ACS) in 2024. *Cardiovascular Intervention and Therapeutics* 2024 ; 39 (4) : 335–375.
7. Takeji Y, Taniguchi T, Morimoto T, Shirai S, Kitai T, Tabata H, Ohno N, Murai R, Osakada K, Murata K, Nakai M, Tsuneyoshi H, Tada T, Amano M, Watanabe S, Shiomi H, Watanabe H, Yoshikawa Y, Nishikawa R, Obayashi Y, Yamamoto K, Toyofuku M, Tatsushima S, Kanamori N, Miyake M, Nakayama H, Nagao K, Izuhara M, Nakatsuma K, Inoko M, Fujita T, Kimura M, Ishii M, Usami S, Nakazeki F, Togi K, Inuzuka Y, Ando K, Komiya T, Ono K, Minatoya K, Kimura T ; CURRENT AS registry-2 Investigators : Availability of transcatheter aortic valve implantation across hospitals and differences in strategies and clinical outcomes in patients with severe aortic stenosis. *Cardiovascular Intervention and Therapeutics* 2025 ; 40(1) : 152–163.
8. Yamashita Y, Morimoto T, Muraoka N, Shioyama W, Chatani R, Shibata T, Nishimoto Y, Ogihara Y, Doi K, Oi M, Shiga T, Sueta D, Kim K, Tanabe Y, Koitabashi N, Takada T, Ikeda S, Nakagawa H, Tsukahara K, Shoji M, Sakamoto J, Hisatake S, Ogino Y, Fujita M, Nakanishi N, Dohke T, Hiramori S, Nawada R, Kaneda K, Ono K, Kimura T ; ONCO PE Trial Investigators : Rivaroxaban for 18 months versus 6 months in patients with cancer and acute low-risk pulmonary embolism : An open-label, multicenter, randomized clinical trial (ONCO PE Trial). *Circulation* 2025 ; 151(9) : 589–600.

9. Obayashi Y, Takeji Y, Taniguchi T, Morimoto T, Shirai S, Kitai T, Tabata H, Ohno N, Murai R, Osakada K, Murata K, Nakai M, Tsuneyoshi H, Tada T, Amano M, Watanabe S, Shiomi H, Watanabe H, Yoshikawa Y, Nishikawa R, Yamamoto K, Toyofuku M, Tatsushima S, Kanamori N, Miyake M, Nakayama H, Nagao K, Izuhara M, Nakatsuma K, Inoko M, Fujita T, Kimura M, Ishii M, Usami S, Nakazeki F, Togi K, Inuzuka Y, Ando K, Komiya T, Ono K, Minatoya K, Kimura T; CURRENT AS Registry-2 Investigators: Concomitant mitral regurgitation in severe aortic stenosis - Insights from the CURRENT AS Registry-2. *Circulation Journal* 2024; 88(12): 1996–2007.
10. Chatani R, Yamashita Y, Morimoto T, Muraoka N, Shioyama W, Shibata T, Nishimoto Y, Ogihara Y, Doi K, Oi M, Shiga T, Sueta D, Kim K, Tanabe Y, Koitabashi N, Takada T, Ikeda S, Nakagawa H, Mitsuhashi T, Shoji M, Sakamoto J, Hisatake S, Ogino Y, Fujita M, Nakanishi N, Dohke T, Hiramori S, Nawada R, Kaneda K, Mushiaki K, Yamamoto H, Kadota K, Ono K, Kimura T; ONCO PE Trial Investigators: Home treatment for active cancer patients with low-risk pulmonary embolism - A predetermined companion report From the ONCO PE trial. *Circulation Journal* 2024; doi: 10.1253/circj.CJ-24-0004.
11. Ikeda S, Yamashita Y, Morimoto T, Chatani R, Kaneda K, Nishimoto Y, Ikeda N, Kobayashi Y, Ikeda S, Kim K, Inoko M, Takase T, Tsuji S, Oi M, Takada T, Otsui K, Sakamoto J, Ogihara Y, Inoue T, Usami S, Chen PM, Togi K, Koitabashi N, Hiramori S, Doi K, Mabuchi H, Tsuyuki Y, Murata K, Takabayashi K, Nakai H, Sueta D, Shioyama W, Dohke T, Nishikawa R, Ono K, Kimura T.: Association between white blood cell counts at diagnosis and clinical outcomes in venous thromboembolism - From the COMMAND VTE Registry-2. *Circulation Journal* 2024; doi: 10.1253/circj.CJ-24-0581.
12. Yamamoto K, Takeji Y, Taniguchi T, Morimoto T, Shirai S, Kitai T, Tabata H, Ohno N, Murai R, Osakada K, Murata K, Nakai M, Tsuneyoshi H, Tada T, Amano M, Watanabe S, Shiomi H, Watanabe H, Yoshikawa Y, Nishikawa R, Obayashi Y, Toyofuku M, Tatsushima S, Kanamori N, Miyake M, Nakayama H, Nagao K, Izuhara M, Nakatsuma K, Inoko M, Fujita T, Kimura M, Ishii M, Usami S, Nakazeki F, Togi K, Inuzuka Y, Ando K, Komiya T, Ono K, Minatoya K, Kimura T; CURRENT AS Registry-2 Investigators: Safety of calcium channel blockers in patients with severe aortic stenosis and hypertension. *Circulation Journal* 2024; doi: 10.1253/circj.CJ-24-0771.
13. Yamashita Y, Morimoto T, Chatani R, Nishimoto Y, Ikeda N, Kobayashi Y, Ikeda S, Kim K, Inoko M, Takase T, Tsuji S, Oi M, Takada T, Otsui K, Sakamoto J, Ogihara Y, Inoue T, Usami S, Chen PM, Togi K, Koitabashi N, Hiramori S, Doi K, Mabuchi H, Tsuyuki Y, Murata K, Takabayashi K, Nakai H, Sueta D, Shioyama W,

- Dohke T, Nishikawa R, Kaneda K, Ono K, Kimura T; COMMAND VTE Registry-2 Investigators: Newly Diagnosed Cancer after diagnosis of venous thromboembolism - Insights from the COMMAND VTE Registry-2. *Circulation Journal* 2024; doi: 10.1253/circj.CJ-24-0786.
14. Hanazawa K, Shiomi H, Morimoto T, Ando K, Furukawa Y, Tada T, Tazaki J, Kadota K, Tamura T, Sato Y, Matsuda M, Inoko M, Shirotani M, Onodera T, Shioda E, Yamamoto T, Tamura T, Miki S, Aoyama T, Suwa S, Minatoya K, Soga Y, Koyama T, Komiya T, Ohno N, Ogawa T, Yamazaki F, Nishizawa J, Esaki J, Kanemitsu N, Nakagawa Y, Kimura T, On behalf of the CREDO-Kyoto PCI/CABG Registry Cohort -2 and -3 investigators: Suspected fatal arrhythmic events in Japanese patients with coronary artery disease: From the CREDO-Kyoto PCI/CABG Registries Cohort-2 and -3. *Circulation Journal* 2025; 89(3): 364–372.
 15. Sano M, Takegami M, Amano M, Tanaka H, Ando K, Kitai T, Miyake M, Komiya T, Izumo M, Kawai H, Eishi K, Yoshida K, Kimura T, Nawada R, Sakamoto T, Shibata Y, Fukui T, Minatoya K, Tsujita K, Sakata Y, Sugio K, Koyama T, Fujita T, Nishimura K, Izumi C, Furukawa Y; BPV-AF Registry Group: R2-CHA2DS2-VASc score for cardiovascular event prediction after bioprosthetic valve replacement - Subanalysis from the BPV-AF Registry. *Circulation Reports* 2024; 6(8): 341–348.
 16. Obayashi Y, Miyake M, Takegami M, Amano M, Kitai T, Fujita T, Koyama T, Tanaka H, Ando K, Komiya T, Izumo M, Kawai H, Eishi K, Yoshida K, Kimura T, Nawada R, Sakamoto T, Shibata Y, Fukui T, Minatoya K, Tsujita K, Sakata Y, Fukuzawa M, Uehara K, Tamura T, Nishimura K, Furukawa Y, Izumi C; BPV-AF Registry Group: Bioprosthetic valve positions in patients with atrial fibrillation - Insights from the BPV-AF Registry. *Circulation Reports* 2024; 6(11): 521–528.
 17. Tanaka M, Kohjitani H, Yamamoto E, Morimoto T, Kato T, Yaku H, Inuzuka Y, Tamaki Y, Ozasa N, Seko Y, Shiba M, Yoshikawa Y, Yamashita Y, Kitai T, Taniguchi R, Iguchi M, Nagao K, Kawai T, Komasa A, Kawase Y, Morinaga T, Toyofuku M, Furukawa Y, Ando K, Kadota K, Sato Y, Kuwahara K, Okuno Y, Kimura T, Ono K; KCHF Study Investigators: Development of interpretable machine learning models to predict in-hospital prognosis of acute heart failure patients. *ESC Heart Failure* 2024; 11(5): 2798–2812.
 18. Hamatani Y, Iguchi M, Kato T, Inuzuka Y, Tamaki Y, Ozasa N, Kawaji T, Esato M, Tsuji H, Wada H, Hasegawa K, Abe M, Kimura T, Ono K, Akao M; Fushimi AF Registry and KCHF Registry investigators: Importance of non-cardiovascular comorbidities in atrial fibrillation and heart failure with preserved ejection fraction. *ESC Heart Failure* 2025; 12(1): 389–400.

19. Domei T, Yamamoto K, Natsuaki M, Watanabe H, Morimoto T, Obayashi Y, Nishikawa R, Kimura T, Ando K, Suwa S, Isawa T, Takenaka H, Ishikawa T, Tamura T, Kawahatsu K, Hayashi F, Abe M, Serikawa T, Mori H, Kawamura T, Hagikura A, Shibata N, Ono K, Kimura T : Aspirin vs. Clopidogrel monotherapy beyond 1 month after complex percutaneous coronary intervention : A pre-specified subgroup analysis of the STOPDAPT-3 trial. *European Heart Journal. Cardiovascular Pharmacotherapy* 2025 ; 11(2) : 198–209.
20. Amano M, Takegami M, Miyake M, Kitai T, Fujita T, Koyama T, Tanaka H, Ando K, Komiya T, Izumo M, Kawai H, Eishi K, Yoshida K, Kimura T, Nawada R, Sakamoto T, Shibata Y, Fukui T, Minatoya K, Tsujita K, Sakata Y, Sugio K, Nishimura K, Furukawa Y, Izumi C ; BPV-AF Registry Group : Clinical effects of direct oral anticoagulants in elderly patients with a bioprosthetic valve and atrial fibrillation. *International Journal of Cardiology* 2024 ; 413 : 132375.
21. Shigeno R, Kim K, Yamashita Y, Morimoto T, Chatani R, Kaneda K, Nishimoto Y, Ikeda N, Kobayashi Y, Ikeda S, Inoko M, Takase T, Tsuji S, Oi M, Takada T, Otsui K, Sakamoto J, Ogihara Y, Inoue T, Usami S, Chen PM, Togi K, Koitabashi N, Hiramori S, Doi K, Mabuchi H, Tsuyuki Y, Murata K, Takabayashi K, Nakai H, Sueta D, Shioyama W, Dohke T, Nishikawa R, Furukawa Y, Kimura T ; COMMAND VTE Registry-2 Investigators : Initial anticoagulation therapy with single direct oral anticoagulant in patients with intermediate-high risk acute pulmonary embolism : From the COMMAND VTE Registry-2. *International Journal of Cardiology* 2025 ; 419 : 132680.
22. Yamamoto K, Natsuaki M, Watanabe H, Morimoto T, Obayashi Y, Nishikawa R, Ando K, Suwa S, Isawa T, Takenaka H, Ishikawa T, Tamura T, Kawahatsu K, Hayashi F, Akao M, Serikawa T, Mori H, Kawamura T, Hagikura A, Shibata N, Ono K, Kimura T ; STOPDAPT-3 Investigators : An aspirin-free strategy for immediate treatment Following complex percutaneous coronary intervention. *JACC. Cardiovascular Interventions* 2024 ; 17(9) : 1119–1130.
23. Taniguchi T, Morimoto T, Takeji Y, Shirai S, Ando K, Tabata H, Yamamoto K, Murai R, Osakada K, Sakamoto H, Tada T, Murata K, Obayashi Y, Amano M, Kitai T, Izumi C, Toyofuku M, Kanamori N, Miyake M, Nakayama H, Izuhara M, Nagao K, Nakatsuma K, Furukawa Y, Inoko M, Kimura M, Ishii M, Usami S, Nakazeki F, Shirotani M, Inuzuka Y, Ono K, Minatoya K, Kimura T ; CURRENT AS Registry-2 Investigators : Low-gradient severe aortic stenosis : Insights from the CURRENT AS Registry-2. *JACC. Cardiovascular Interventions* 2025 ; 18(4) : 471–487.
24. Kanenawa K, Yamaji K, Morimoto T, Yamamoto K, Domei T, Hyodo M, Shiomi H, Furukawa Y, Nakagawa Y, Kadota K, Watanabe H, Yoshikawa Y, Tada T, Tazaki

- J, Ehara N, Taniguchi R, Tamura T, Iwakurak A, Tada T, Suwa S, Toyofuku M, Inada T, Kaneda K, Ogawa T, Takeda T, Sakai H, Yamamoto T, Tambara K, Esaki J, Eizawa H, Yamada M, Shinoda E, Nishizawa J, Mabuchi H, Tamura N, Shirotani M, Nakayama S, Uegaito T, Matsuda M, Takahashi M, Inoko M, Kanemitsu N, Tamura T, Ishii K, Nawada R, Onodera T, Ohno N, Koyama T, Tsuneyoshi H, Sakamoto H, Aoyama T, Miki S, Tanaka M, Sato Y, Yamazaki F, Hanyu M, Soga Y, Komiya T, Minatoya K, Ando K, Kimura T : Prognostic significance of baseline low-density lipoprotein cholesterol in patients undergoing coronary revascularization ; A report from the CREDO-Kyoto registry. *Journal of Cardiology* 2024 ; 84(4) : 300–310.
25. Takabayashi K, Yamashita Y, Morimoto T, Chatani R, Kaneda K, Nishimoto Y, Ikeda N, Kobayashi Y, Ikeda S, Kim K, Inoko M, Takase T, Tsuji S, Oi M, Takada T, Otsui K, Sakamoto J, Ogihara Y, Inoue T, Usami S, Chen PM, Togi K, Koitabashi N, Hiramori S, Doi K, Mabuchi H, Tsuyuki Y, Murata K, Nakai H, Sueta D, Shioyama W, Dohke T, Nishikawa R, Ono K, Kimura T ; COMMAND VTE Registry-2 Investigators : Clinical characteristics and short-term outcomes of patients with critical acute pulmonary embolism requiring extracorporeal membrane oxygenation : From the COMMAND VTE Registry-2. *Journal of Intensive Care* 2024 ; 12(1) : 45.
 26. Kaneda K, Yamashita Y, Morimoto T, Chatani R, Nishimoto Y, Ikeda N, Kobayashi Y, Ikeda S, Kim K, Inoko M, Takase T, Tsuji S, Oi M, Takada T, Otsui K, Sakamoto J, Ogihara Y, Inoue T, Usami S, Chen PM, Togi K, Koitabashi N, Hiramori S, Doi K, Mabuchi H, Tsuyuki Y, Murata K, Takabayashi K, Nakai H, Sueta D, Shioyama W, Dohke T, Nishikawa R, Ono K, Kimura T : Temporal changes in long-term outcomes of venous thromboembolism from the warfarin era to the direct oral anticoagulant era. *Journal of the American Heart Association* 2024 ; 13(15) : e034412.
 27. Nishikawa R, Yamashita Y, Morimoto T, Kaneda K, Chatani R, Nishimoto Y, Ikeda N, Kobayashi Y, Ikeda S, Kim K, Inoko M, Takase T, Tsuji S, Oi M, Takada T, Otsui K, Sakamoto J, Ogihara Y, Inoue T, Usami S, Chen PM, Togi K, Koitabashi N, Hiramori S, Doi K, Mabuchi H, Tsuyuki Y, Murata K, Takabayashi K, Nakai H, Sueta D, Shioyama W, Dohke T, Ono K, Kimura T ; COMMAND VTE Registry-2 Investigators : Selection of home treatment and identification of low-risk patients with pulmonary embolism based on simplified Pulmonary Embolism Severity Index score in the era of direct oral anticoagulants. *Journal of the American Heart Association* 2024 ; 13(19) : e034953.
 28. Ikeda N, Yamashita Y, Morimoto T, Chatani R, Kaneda K, Nishimoto Y, Kobayashi Y, Ikeda S, Kim K, Inoko M, Takase T, Tsuji S, Oi M, Takada T, Otsui

- K, Sakamoto J, Ogihara Y, Inoue T, Usami S, Chen PM, Togi K, Koitabashi N, Hiramori S, Doi K, Mabuchi H, Tsuyuki Y, Murata K, Takabayashi K, Nakai H, Sueta D, Shioyama W, Dohke T, Kimura T; COMMAND VTE Registry-2 Investigators: Incidence of chronic thromboembolic pulmonary hypertension after pulmonary embolism in the era of direct oral anticoagulants: From the COMMAND VTE Registry-2. *Journal of the American Heart Association* 2024; 13(21): e035997.
29. Nishimoto Y, Yamashita Y, Morimoto T, Chatani R, Kaneda K, Ikeda N, Kobayashi Y, Ikeda S, Kim K, Inoko M, Takase T, Tsuji S, Oi M, Takada T, Otsui K, Sakamoto J, Ogihara Y, Inoue T, Usami S, Chen PM, Togi K, Koitabashi N, Hiramori S, Doi K, Mabuchi H, Tsuyuki Y, Murata K, Takabayashi K, Nakai H, Sueta D, Shioyama W, Dohke T, Nishikawa R, Sato Y, Watanabe T, Yamada T, Fukunami M, Kimura T; COMMAND VTE Registry-2 Investigators: External validation of the Pulmonary Embolism-Syncope, Anemia, and Renal Dysfunction bleeding score for early major bleeding in patients with acute pulmonary embolism: from the COMMAND VTE Registry-2. *Journal of Thrombosis and Haemostasis* 2024; 22(10): 2784–2796.
 30. Mabuchi H, Nishikawa R, Yamashita Y, Morimoto T, Chatani R, Kaneda K, Nishimoto Y, Ikeda N, Kobayashi Y, Ikeda S, Kim K, Inoko M, Takase T, Tsuji S, Oi M, Takada T, Otsui K, Sakamoto J, Ogihara Y, Inoue T, Usami S, Chen PM, Togi K, Koitabashi N, Hiramori S, Doi K, Tsuyuki Y, Murata K, Takabayashi K, Nakai H, Sueta D, Shioyama W, Dohke T, Ono K, Nakagawa Y, Kimura T: Statins use and recurrent venous thromboembolism in the direct oral anticoagulant era: insight from the COMMAND VTE Registry-2. *Journal of Thrombosis and Thrombolysis* 2024; 57(6): 907–917.
 31. Xiong W, Yamashita Y, Morimoto T, Takase T, Hiramori S, Kim K, Oi M, Akao M, Kobayashi Y, Chen PM, Murata K, Tsuyuki Y, Nishimoto Y, Sakamoto J, Togi K, Mabuchi H, Takabayashi K, Kato T, Ono K, Kimura T; COMMAND VTE Registry Investigators: Initial hemodynamic status and acute mortality in cancer patients with acute pulmonary embolism: From the COMMAND VTE Registry. *Journal of Thrombosis and Thrombolysis* 2024; 57(7): 1183–1192.
 32. Takiguchi H, Miura M, Shirai S, Soga Y, Hanyu M, Sakaguchi G, Soga Y, Arai Y, Watanabe S, Kimura T, Takahama H, Yasuda S, Nakayoshi T, Fukumoto Y, Yaoita N, Shimokawa H, Sakatsume K, Saiki Y, Kaikita K, Tsujita K, Tamura T, Doman T, Yamashita M, Suzuki M, Eura Y, Kokame K, Hayakawa M, Matsumoto M, Okubo N, Sugawara S, Fujimaki S-I, Kawate Y, Ando K, Horiuchi H: Mitral regurgitation is associated with similar loss of von Willebrand factor large multimers but lower frequency of anemia compared with aortic stenosis. *Research*

and Practice in Thrombosis and Haemostasis 2024 ; 8(4) : 102431.

33. Sato T, Ogihara Y, Yamashita Y, Morimoto T, Chatani R, Kaneda K, Nishimoto Y, Ikeda N, Kobayashi Y, Ikeda S, Kim K, Inoko M, Takase T, Tsuji S, Oi M, Takada T, Otsui K, Sakamoto J, Inoue T, Usami S, Chen PM, Togi K, Koitabashi N, Hiramori S, Doi K, Mabuchi H, Tsuyuki Y, Murata K, Takabayashi K, Nakai H, Sueta D, Shioyama W, Dohke T, Nishikawa R, Kimura T, Dohi K ; Contemporary management and outcomes in patients with venous thromboembolism Registry-2 Investigators : Incidence and risk factors of ischemic stroke in patients with cancer-associated venous thromboembolism : From the contemporary management and outcomes in patients with venous thromboembolism Registry-2. Research and Practice in Thrombosis and Haemostasis 2024 ; 8(8) : 102617.
34. Sueta D, Yamashita Y, Morimoto T, Chatani R, Nishimoto Y, Kaneda K, Ikeda N, Kobayashi Y, Ikeda S, Kim K, Inoko M, Takase T, Tsuji S, Oi M, Takada T, Otsui K, Sakamoto J, Ogihara Y, Inoue T, Usami S, Chen PM, Togi K, Koitabashi N, Hiramori S, Doi K, Mabuchi H, Tsuyuki Y, Murata K, Takabayashi K, Nakai H, Shioyama W, Dohke T, Nishikawa R, Kimura T, Tsujita K ; COMMAND VTE Registry-2 Investigators : Edoxaban, rivaroxaban, or apixaban for cancer-associated venous thromboembolism in the real world : Insights from the COMMAND VTE Registry-2. Thrombosis and Haemostasis 2024 ; 124(11) : 1013-1023.
35. Ogihara Y, Yamashita Y, Morimoto T, Chatani R, Kaneda K, Nishimoto Y, Ikeda N, Kobayashi Y, Ikeda S, Kim K, Inoko M, Takase T, Tsuji S, Oi M, Takada T, Otsui K, Sakamoto J, Inoue T, Usami S, Chen PM, Togi K, Koitabashi N, Hiramori S, Doi K, Mabuchi H, Tsuyuki Y, Murata K, Takabayashi K, Nakai H, Sueta D, Shioyama W, Dohke T, Sato T, Nishikawa R, Kimura T, Dohi K ; COMMAND VTE Registry-2 Investigators : Fragility and long-term clinical outcomes in patients with venous thromboembolism receiving direct oral anticoagulants : From the COMMAND VTE REGISTRY-2. Thrombosis Research 2024 ; 236 : 191-200.
36. Ikeda S, Yamashita Y, Morimoto T, Chatani R, Kaneda K, Nishimoto Y, Ikeda N, Kobayashi Y, Ikeda S, Kim K, Inoko M, Takase T, Tsuji S, Oi M, Takada T, Otsui K, Sakamoto J, Ogihara Y, Inoue T, Usami S, Chen PM, Togi K, Koitabashi N, Hiramori S, Doi K, Mabuchi H, Tsuyuki Y, Murata K, Takabayashi K, Nakai H, Sueta D, Shioyama W, Dohke T, Nishikawa R, Ono K, Kimura T : Subclass phenotypes in patients with unprovoked venous thromboembolisms using a latent class analysis. Thrombosis Research 2024 ; 238 : 27-36.

(邦 文)

37. 野口 祐, 三宅 誠 : 成人先天性心疾患 : 新たな診療ガイドラインを踏まえたベストプラクティス ! 心エコー図検査で診る. Heart View 2025 ; 29 (3) : 256 - 261.
38. 坂本 二郎, 泉 知里 : 【腫瘍循環器学—新しい学際領域の最新知見—】 CTR-CVT の病

態と機序 分子標的薬による CTR-CVT BRAF 阻害薬/MEK 阻害薬の心血管障害の病態と機序. 日本臨床 2024 ; 82 (増刊号 2) 腫瘍循環器学 : 122-126.

39. 野口 祐, 三宅 誠 : 【図解で苦手克服! 成人先天性心疾患】 Fallot 四徴症 術式と術後フォローアップエコーのポイント. 心エコー 2024 ; 25 (7) : 708-716.
40. 坂本 二郎 : 【ストレインを学び直す】 左室ストレインとがん治療関連心筋障害. 心エコー 2024 ; 25 (9) : 876-883.
41. 中川 頌子, 三宅 誠 : 【感染性心内膜炎診療の最前線—Duke 診断基準の改訂を受けて】 人工弁 IE の心エコー診断のコツ. 心エコー 2025 ; 26 (1) : 38-45.

◇学 会

国際学会

一般演題 (口演)

1. Tamaki Y, Yaku H, Yamamoto E, Ozasa N, Inuzuka Y, Enomoto S, Miyake M, Kondo H, Tamura T, Morimoto T, Nakagawa Y, Kato T, Kimura T : Effect of renin-angiotensin system inhibitors in elderly patients with heart failure and reduced ejection fraction. European Society of Cardiology Congress 2024, 2024.8.30-9.2, London (UK)・ハイブリッド開催
2. 佐藤 友啓, 西内 英, 田巻 庸道, 山上 新太郎, 奥田 豊生, 本吉 司, 近藤 博和, 田村 俊寛 : A case of dilated cardiomyopathy with multiple ventricular tachycardia circuits, in which the intrinsic anti-tachycardia pacing algorithm proved to be effective. Asia Pacific Heart Rhythm Society Conference (17th APHRS 2024), 2024.9.26-29, Sydney (Australia), 現地開催

一般演題 (ポスター)

3. 本吉 司 : Efficacy of the intracardiac echocardiography for cavo-tricuspid isthmus ablation. Asia Pacific Heart Rhythm Society Conference (17th APHRS 2024), 2025.9.26-29, Sydney (Australia), 現地開催

国内学会

特別講演・教育講演

4. 三宅 誠 : 人工弁の評価 : ASE/EACVI ガイドライン 人工弁の基本. 日本心エコー図学会第33回夏期講習会, 2024.7.20-21, 神戸・ハイブリッド開催
5. 中川 頌子 : 心エコーと私~私が心エコーを選んだ理由~. 第138回日本循環器学会近畿地方会, 2024.12.7, 大阪, 現地開催
6. 中川 頌子 : この心機能評価, 本当に正しいですか? 大事な所見を見落としてしまいそうになった1例. 日本心エコー図学会第29回冬期講習会, 2025.1.25-26, 大阪, 現地開催
7. 坂本 二郎 : 腫瘍循環器に関する話題~がんにおける VTE 治療を含めて~. 日本医療マネジメント学会第19回奈良支部学術集会, 2025.2.1, 奈良, 現地開催

特別企画 (シンポジウム・パネルディスカッション)

8. Miyake M : Multimodality imaging in adult congenital heart disease. 日本心エコー

図学会第35回学術集会, 2024. 4. 19–21, 姫路 (兵庫), 現地開催

9. 西内 英: EP 大学プレゼンツ! SVT 診断基準王座決定戦: ぶっちゃけ, どの診断基準がいちばんイケてるの? 第70回日本不整脈心電学会学術大会, 2024. 7. 18–20・27, 金沢 (石川), 現地開催
10. 田村 俊寛: Clinical outcomes and emergent PCI strategy in patients with Kawasaki Disease complicated with acute coronary syndrome from the JROAD-DPC database. 第32回日本心血管インターベンション治療学会学術集会; CVIT2024, 2024. 7. 25–27, 札幌 (北海道), 現地開催
11. 坂本 二郎: 地域がん診療連携拠点病院での CTRCD サーベランスの現状〜がん診療科とのかかわり〜. 第7回日本腫瘍循環器学会学術集会, 2024. 8. 3–4, 姫路 (兵庫), 現地開催
12. 三宅 誠: 心エコーを用いた各種心疾患の診断の現状と今後の展開 三尖弁逆流. 日本超音波医学会第51回関西地方会学術集会, 2024. 9. 21, 大阪・ハイブリッド開催
13. 三宅 誠: 成人先天性心疾患における弁膜症. 第14回日本心臓弁膜症学会, 2024. 12. 20–21, 長崎, 現地開催
14. Miyake M, Noguchi Y, Tamura T: Echocardiography in systemic right ventricle and single-ventricle physiology. 第26回日本成人先天性心疾患学会学術集会, 2025. 1. 10–12, 大阪, 現地開催

一般演題 (口演)

15. 三宅 誠, 泉 知里, 渡邊 大基, 小笹 寧子, 森本 剛, 松谷 勇人, 高橋 秀一, 大谷 祐哉, 馬場 萌, 坂本 二郎, 近藤 博和, 田村 俊寛, 中川 義久, 木村 剛: 再灌流時代の左室駆出率が保たれた ST 上昇型心筋梗塞における E/e' の予後予測能とその経時的変化. 日本心エコー図学会第35回学術集会, 2024. 4. 19–21, 姫路 (兵庫), 現地開催
16. 永富 旺, 小形 光, 坂本 二郎, 天野 佑, 水原 ルーク, 松島 弘季, 萩原 悠斗, 松田 匡雄, 尾上 隆大, 野口 祐, 河合 龍馬, 佐藤 友啓, 中川 頌子, 山上 新太郎, 西内 英, 山根 啓一郎, 田巻 庸道, 榎本 操一郎, 三宅 誠, 近藤 博和, 田村 俊寛: 低左心機能を伴う大動脈弁狭窄症患者で血圧低下が生じた 1 例. 第137回日本循環器学会近畿地方会, 2024. 5. 25, 大阪, 現地開催
17. 水原 ルーク: ペースメーカー留置時に偶発的に採取した心筋片より診断に至った心アミロイドーシスの一例. 第137回日本循環器学会近畿地方会, 2024. 5. 25, 大阪, 現地開催
18. 天野 佑: 反射性失神との鑑別を要した意識消失を伴う房室回帰性頻拍の一例. 第137回日本循環器学会近畿地方会, 2024. 5. 25, 大阪, 現地開催
19. 河合 龍馬, 坂本 二郎, 尾上 隆大, 小形 光, 野口 祐, 佐藤 友啓, 中川 頌子, 山上 新太郎, 西内 英, 山根 啓一郎, 田巻 庸道, 榎本 操一郎, 三宅 誠, 近藤 博和, 田村 俊寛: 経皮的な大動脈弁置換術後に溶血性貧血を起こした症例. 第137回日本循環器学会近畿地方会, 2024. 5. 25, 大阪, 現地開催
20. 佐藤 友啓, 西内 英, 田巻 庸道, 山上 新太郎, 奥田 豊生, 本吉 司, 近藤 博和, 田村 俊寛: A case of Brugada syndrome with frequency analysis of the epicardial

and endocardial sides before and after epicardial ablation. 第70回日本不整脈心電学会学術大会, 2024. 7. 18-20・27, 金沢 (石川), 現地開催 【ベストケースレポート 優秀賞 受賞】

21. Yamagami S, Nishiuchi S, Okuda T, Motoyoshi T, Sato T, Murayama M, Akiyama M, Shimizu S, Nakano Y, Shimizu K, Sugimura S, Kondo H, Tamura T: Peak frequency maps predict the optimal ablation sites of the left atrial posterior wall isolation. 第70回日本不整脈心電学会学術大会, 2024. 7. 18-20・27, 金沢 (石川), 現地開催
22. 野口 祐, 田巻 庸道, 榎本 操一郎, 辻 崇, 小形 光, 河合 龍馬, 佐藤 友啓, 中川 頌子, 山上 新太郎, 西内 英, 坂本 二郎, 山根 啓一郎, 近藤 博和, 新井 善雄, 田村 俊寛: 心室中隔穿孔を合併した急性心筋梗塞に対して Impella 5.5 を留置し待機的に外科手術を施行した1例. 第32回日本心血管インターベンション治療学会学術集会; CVIT 2024, 2024. 7. 25-27, 札幌 (北海道), 現地開催
23. 田巻 庸道, 夜久 英憲, 山本 絵里香, 小笹 寧子, 犬塚 康孝, 榎本 操一郎, 三宅 誠, 近藤 博和, 田村 俊寛, 森本 剛, 中川 義久, 加藤 貴雄, 木村 剛, 尾野 亘: 高度腎機能障害を伴う左室駆出率の低下した心不全患者に対するレニン・アンギオテンシン系阻害薬の効果. 第28回日本心不全学会学術集会, 2024. 10. 4-6, 大宮 (埼玉)・ハイブリッド開催
24. 本吉 司, 山上 新太郎, 佐藤 友啓, 奥田 豊生, 穂山 正弥, 清水 一茂, 清水 貞則, 杉村 宗典, 中野 雄太, 村山 真規, 近藤 博和, 田村 俊寛: 心腔内エコーガイド下での下大静脈-三尖弁輪峡部アブレーションの有用性の検討. 日本不整脈心電学会カテーテルアブレーション関連秋季大会2024, 2025. 10. 10-12, 大阪, 現地開催
25. 中川 頌子, 榎本 操一郎, 本吉 司, 永富 旺, 尾上 隆大, 野口 祐, 佐藤 友啓, 河合 龍馬, 山上 新太郎, 山根 啓一郎, 坂本 二郎, 田巻 庸道, 三宅 誠, 近藤 博和, 田村 俊寛: 腸骨静脈圧迫症候群に伴う深部静脈血栓症に対してステント留置が有効であった1例. 第43回日本心血管インターベンション治療学会近畿地方会, 2024. 10. 19, 大阪, 現地開催
26. 山根 啓一郎, 水原 ルーク, 榎本 操一郎, 近藤 博和, 田村 俊寛: 高度石灰化を伴う右大腿膝窩動脈閉塞病変に対して EVT を施行した CLTI の一例. 第43回日本心血管インターベンション治療学会近畿地方会, 2024. 10. 19, 大阪, 現地開催
27. 本吉 司, 田村 俊寛, 山上 新太郎, 山根 啓一郎, 榎本 操一郎, 近藤 博和: カテーテルアブレーション治療時に冠動脈空気塞栓を来した一例. 第43回日本心血管インターベンション治療学会近畿地方会, 2025. 10. 19, 大阪, 現地開催
28. 佐藤 友啓, 西内 英, 田巻 庸道, 山上 新太郎, 奥田 豊生, 本吉 司, 近藤 博和, 田村 俊寛: 天理よろづ相談所病院の後壁隔離に関して. Leverage Hert Rhythm Conference, 2024. 11. 17, 大阪, 現地開催
29. 倉掛 義之介, 榎本 操一郎, 高折 隆太, 松島 弘季, 松本 真依, 水原 ルーク, 奥田 豊生, 尾上 隆大, 永富 旺, 本吉 司, 野口 祐, 佐藤 友啓, 河合 龍馬, 中川 頌子, 山

- 上 新太郎, 山根 啓一郎, 坂本 二郎, 田卷 庸道, 三宅 誠, 近藤 博和, 田村 俊寛:
心膜液貯留を契機に全身性エリテマトーデス (SLE) の診断に至った一例. 第138回日本循環器学会近畿地方会, 2024. 12. 7, 大阪, 現地開催
30. 松島 弘季, 坂本 二郎, 田中 滉斗, 門原 響生, 高折 隆太, 松本 真依, 奥田 豊生, 酢谷 俊太, 尾上 隆大, 永富 旺, 本吉 司, 野口 祐, 佐藤 友啓, 河合 龍馬, 中川 頌子, 山上 新太郎, 山根 啓一郎, 田卷 庸道, 榎本 操一郎, 三宅 誠, 近藤 博和, 田村 俊寛: 肺癌に対して免疫チェックポイント阻害剤使用中に左室収縮能低下を来した症例. 第138回日本循環器学会近畿地方会, 2024. 12. 7, 大阪, 現地開催
31. 野口 祐, 三宅 誠, 尾上 隆大, 永富 旺, 本吉 司, 河合 龍馬, 佐藤 友啓, 中川 頌子, 山上 新太郎, 坂本 二郎, 山根 啓一郎, 田卷 庸道, 榎本 操一郎, 近藤 博和, 上原 京勲, 田村 俊寛: ファロー四徴症心内修復術後, 右室流出路狭窄に対しての治療方針の決定に4 D-CTが有用であった1例. 第138回日本循環器学会近畿地方会, 2024. 12. 7, 大阪, 現地開催
32. 野口 祐, 三宅 誠, 土井 拓, 田村 俊寛: 未修復大動脈縮窄, 体肺側副動脈, パラシュート僧帽弁を合併する成人期心不全の1例. 第26回日本成人先天性心疾患学会総会・学術集会, 2025. 1. 10-12, 大阪, 現地開催
33. 本吉 司: 心室性期外収縮アブレーションおよび着型自動除細動器により, 植込み型除細動器留置を回避できた心肺停止蘇生後のQT延長症候群の一例. 日本不整脈心電学会第17回植込みデバイス関連冬季大会, 2025. 2. 21-22・3. 1, 福岡・ハイブリッド開催
34. 門原 響生, 榎本 操一郎, 永富 旺, 本吉 司, 尾上 隆大, 野口 祐, 佐藤 啓一郎, 山上 新太郎, 山根 啓一郎, 坂本 二郎, 田卷 庸道, 三宅 誠, 近藤 博和: 右冠動脈の高度石灰化と蛇行を伴うびまん性狭窄病変に対してIVLが奏功した一例. 第44回日本心血管インターベンション治療学会近畿地方会, 2025. 3. 1, 大阪, 現地開催
35. 高折 隆太, 榎本 操一郎, 松島 弘季, 奥田 豊生, 酢谷 俊太, 倉掛 義之介, 尾上 隆大, 永富 旺, 本吉 司, 野口 祐, 佐藤 友啓, 河合 龍馬, 中川 頌子, 山上 新太郎, 山根 啓一郎, 坂本 二郎, 田卷 庸道, 三宅 誠, 近藤 博和, 田村 俊寛: Stanford A型大動脈解離の術後に急性心筋梗塞を発症し外科用接着剤 (Bio Glue) の塞栓が疑われた一例. 第44回日本心血管インターベンション治療学会近畿地方会, 2025. 3. 1, 大阪, 現地開催
36. 永富 旺, 山根 啓一郎, 本吉 司, 尾上 隆大, 野口 祐, 佐藤 友啓, 中川 頌子, 山上 新太郎, 坂本 二郎, 田卷 庸道, 榎本 操一郎, 三宅 誠, 近藤 博和, 田村 俊寛: 超高齢者の急性下肢動脈閉塞症に対して Indigo™ systemにより救肢に成功した二例. 第44回日本心血管インターベンション治療学会近畿地方会, 2025. 3. 1, 大阪, 現地開催
37. Motoyoshi T, Yamagami S, Sato T, Mizuhara L, Matsumoto M, Matsushima K, Takaori R, Kurakake Y, Okuda T, Nagatomi H, Onoue T, Noguchi Y, Kawai R, Nakagawa S, Yamane K, Sakamoto J, Tamaki Y: Successful radiofrequency ablation of premature ventricular contractions in a long QT Syndrome with cardiac arrest. 第89回日本循環器学会学術集会, 2025. 3. 28-30, 横浜, 現地開催

38. Tamaki Y, Yaku H, Yamamoto E, Ozasa N, Inuzuka Y, Enomoto S, Miyake M, Kondo H, Tamura T, Morimoto T, Nakagawa Y, Kato T, Kimura T, Koh Ono : Impact of beta-blockers on the prognosis of patients with heart failure with reduced ejection fraction and severe chronic kidney disease. 第89回日本循環器学会学術集会, 2025. 3. 28 – 30, 横浜, 現地開催
39. 尾上 隆大, 坂本 二郎 : A case of no contrast TAV-in-SAV for structural valve deterioration in acute renal failure. 第89回日本循環器学会学術集会, 2025. 3. 28 – 30, 横浜, 現地開催
40. Kurakake Y, Nakagawa S, Tamaki Y, Hamuro M, Onoue T, Motoyoshi T, Noguchi Y, Sato T, Kawai R, Yamagami S, Yamane K, Sakamoto J, Enomoto S, Miyake M, Kondo H, Uehara K, Tamura T : A case of malignant pericardial mesothelioma presenting as recurrent cardiac tamponade. 第89回日本循環器学会学術集会, 2025. 3. 28 – 30, 横浜, 現地開催
41. Yamagami S, Shizuta S, Tanaka M, Aizawa T, Komasa A, Yoshizawa T, Kawaji T, Onishi N, Sasaki Y, Yahata M, Nakai K, Hayano M, Hanazawa K, Tamura T, Ono K : Reduced left atrial appendage flow velocity as a risk of thromboembolic events after catheter ablation of atrial fibrillation. 第89回日本循環器学会学術集会, 2025. 3. 28 – 30, 横浜, 現地開催

一般演題 (ポスター)

42. 中川 頌子, 三宅 誠, 松谷 勇人, 野口 祐, 坂本 二郎, 近藤 博和, 田村 俊寛 : 心臓サルコイドーシスにおける心エコー図検査の役割～右室心尖部に異常構造物を伴った心臓サルコイドーシスの1例を通して～. 日本心エコー図学会第35回学術集会, 2024. 4. 19 – 21, 姫路 (兵庫), 現地開催
43. 野口 祐, 三宅 誠, 土井 拓, 坂本 二郎, 中川 頌子, 松谷 勇人, 馬場 萌, 小形 光, 河合 龍馬, 佐藤 友啓, 山上 新太郎, 西内 英, 山根 啓一郎, 田巻 庸道, 榎本 操一郎, 近藤 博和, 新井 善雄, 田村 俊寛 : 成人期バルサルバ洞瘤破裂を来した心室中隔欠損1型の1例. 日本心エコー図学会第35回学術集会, 2024. 4. 19 – 21, 姫路 (兵庫), 現地開催
44. 萩原 悠斗 : A case of single-stage hybrid approach for severe aortic stenosis and severe left main trunk stenosis. 第32回日本心血管インターベンション治療学会学術集会 ; CVIT2024, 2024. 7. 25 – 27, 札幌 (北海道), 現地開催
45. 松島 弘季, 山根 啓一郎, 水原 ルーク, 天野 佑, 松田 匡雄, 萩原 悠斗, 尾上 隆大, 野口 祐, 小形 光, 佐藤 友啓, 河合 龍馬, 中川 頌子, 坂本 二郎, 田巻 庸道, 榎本 操一郎, 近藤 博和, 田村 俊寛 : FFR-CT で陰性であったにも関わらず PCI 実施に至った2症例. 第32回日本心血管インターベンション治療学会学術集会 ; CVIT2024, 2024. 7. 25 – 27, 札幌 (北海道), 現地開催
46. 河合 龍馬, 榎本 操一郎, 松島 弘季, 萩原 悠斗, 松田 匡雄, 尾上 隆大, 小形 光, 野口 祐, 佐藤 友啓, 中川 頌子, 山根 啓一郎, 坂本 二郎, 田巻 庸道, 近藤 博和,

- 田村 俊寛：A case of early thrombotic occlusion after endovascular treatment for aorto-iliac occlusive disease (Leriche syndrome). 第32回日本心血管インターベンション治療学会学術集会；CVIT2024, 2024. 7. 25－27, 札幌（北海道）, 現地開催
47. 坂本 二郎, 中川 頌子, 田巻 庸道, 三宅 誠, 近藤 博和, 田村 俊寛：がん薬物療法中の心エコーサーベイランスから見える CTRCD 発症患者の特徴. 第72回日本心臓病学会学術集会, 2024. 9. 27－29, 仙台（宮城）, 現地開催
48. 中川 頌子, 三宅 誠, 松谷 勇人, 野口 祐, 坂本 二郎, 田巻 庸道, 近藤 博和, 田村 俊寛：心臓サルコイドーシス患者における免疫抑制剤導入前後の心エコー所見の変化と予後の関連に関する検討. 第28回日本心不全学会学術集会, 2024. 10. 4－6, 大宮（埼玉）・ハイブリッド開催
49. 中川 頌子, 三宅 誠, 馬場 萌, 松谷 勇人, 野口 祐, 坂本 二郎, 近藤 博和, 田村 俊寛：僧帽弁逸脱に伴う重症僧帽弁閉鎖不全症を合併した左室内異常構造物の1例. 第14回日本心臓弁膜症学会, 2024. 12. 20－21, 長崎, 現地開催 【症例報告動画発表 優秀賞 受賞】
50. 佐藤 友啓, 西内 英, 田巻 庸道, 山上 新太郎, 奥田 豊生, 本吉 司, 近藤 博和, 田村 俊寛：Intrinsic Anti-tachycardia Pacing の治療アルゴリズムが異なる心室頻拍を有する拡張型心筋症患者に有効であった1例. 日本不整脈心電学会第17回植込みデバイス関連冬季大会, 2025. 2. 21－22・3. 1, 福岡・ハイブリッド開催
51. 松島 弘季, 佐藤 友啓, 田中 滉斗, 門原 響生, 高折 隆太, 松本 真依, 奥田 豊生, 酢谷 俊太, 尾上 隆大, 永富 旺, 本吉 司, 野口 祐, 中川 頌子, 山上 新太郎, 坂本 二郎, 山根 啓一郎, 田巻 庸道, 榎本 操一郎, 三宅 誠, 近藤 博和, 田村 俊寛：心室リード穿孔に伴うペーシング不全に対して, リードレスペースメーカー植込にてAV sequential pacing を可能にした高度房室ブロックの1例. 日本不整脈心電学会第17回植込みデバイス関連冬季大会, 2025. 2. 21－22・3. 1, 福岡・ハイブリッド開催
52. 野口 祐, 三宅 誠, 田村 俊寛：Long-term outcome of adult patients over 40 years old with repaired tetralogy of Fallot. 第89回日本循環器学会学術集会, 2025. 3. 28－30, 横浜, 現地開催
53. 佐藤 友啓, 西内 英, 田巻 庸道, 山上 新太郎, 奥田 豊生, 本吉 司, 近藤 博和, 田村 俊寛：Prolonged PR interval after atrial fibrillation ablation is a risk factor for atrial arrhythmia recurrence. 第89回日本循環器学会学術集会, 2025. 3. 28－30, 横浜, 現地開催
54. Yamane K, Motoyoshi T, Nagatomi H, Onoue T, Noguchi Y, Sato T, Kawai R, Nakagawa S, Yamagami S, Sakamoto J, Tamaki Y, Enomoto S, Miyake M, Kondoh H, Tamura T: Clinical outcomes of false positive FFR-CT in coronary artery disease: A retrospective cohort study. 第89回日本循環器学会学術集会, 2025. 3. 28－30, 横浜, 現地開催
55. Sakamoto J, Onoue T, Nagatomi H, Motoyoshi T, Noguchi Y, Sato T, Kawai R, Nakagawa S, Yamagami S, Yamane K, Tamaki Y, Enomoto S, Miyake M, Kondo H,

Tamura T : Characteristics of hemolytic anemia cases after SAPIEN 3 Ultra RESILIA (S3UR) implantation in transcatheter aortic valve implantation (TAVI). 第89回日本循環器学会学術集会, 2025. 3. 28 – 30, 横浜, 現地開催

56. Sakamoto J, Onoue T, Nagatomi H, Motoyoshi T, Noguchi Y, Sato T, Kawai R, Nakagawa S, Yamagami S, Yamane K, Tamaki Y, Enomoto S, Miyake M, Kondo H, Tamura T : Impact of heart failure and cardioprotective drugs as background factors on cardiac function in cancer patients using cardiotoxic drugs. 第89回日本循環器学会学術集会, 2025. 3. 28 – 30, 横浜, 現地開催
57. Motoyoshi T, Yamagami S, Sato T, Okuda T, Mizuhara L, Matsumoto M, Matsushima K, Takaori R, Kurakake Y, Nagatomi H, Onoue T, Noguchi Y, Kawai R, Nakagawa S, Yamane K, Sakamoto J, Tamaki Y, Enomoto S, Miyake M, Kondoh H, Tamura T : The characteristics and clinical outcomes after catheter ablation of the atrial fibrillation patients with reduced left atrial appendage flow velocity. 第89回日本循環器学会学術集会, 2025. 3. 28 – 30, 横浜, 現地開催

◇研 究 会

特別講演・教育講演

1. 田村 俊寛：意義ある TAVI 治療を目指して～当院での10年を振り返って～. Nara 心腎透析 Conference, 2024. 5. 31, 奈良・ハイブリッド開催
2. 榎本 操一郎：今日の冠動脈疾患マネジメント 最新の二次予防～核酸医薬による脂質低下療法を含めて. ノバルティスファーマ病診連携セミナー, 2024. 6. 7, 奈良・Web 開催
3. 田村 俊寛：しっかり管理してますか？高血圧～高血圧診療における ARNI の役割～. Cardiovascular Web Meeting, 2024. 7. 12, 小倉（福岡）・Web 開催
4. 田村 俊寛：知っておきたい SHD カテーテル治療のあれこれ～当院での経験をふまえて～. Nara Medical University Cardiovascular Network Winter Meeting 2024, 2024. 11. 30, 奈良, 現地開催
5. 山根 啓一郎：当院における心カテーテル治療の現状. かんさい心臓病倶楽部, 2024. 12. 7, 大阪・ハイブリッド開催
6. 中川 頌子：救急疾患の心エコー：胸痛の患者にどう対応する？ 大阪ハートクラブ超音波セミナー心エコーセミナー, 2025. 3. 1, Web 開催
7. 榎本 操一郎：CAG/PCI の基礎を学ぶ ガイドカテの種類と選択. 近畿心血管治療ジョイントライブ (KCJL) 2025, 2025. 3. 13 – 15, 神戸, 現地開催
8. 榎本 操一郎：EVT Theater Focus Live Live 2 Success in complex case with next generation EVT guidewire CROSSLEAD series. 近畿心血管治療ジョイントライブ (KCJL) 2025, 2025. 3. 13 – 15, 神戸, 現地開催
9. 坂本 二郎：がん患者さんの心臓血管を守る！～腫瘍循環器について～. 第22回京都循環器検査研究会学術集会, 2025. 3. 20, 京都, 現地開催
10. 坂本 二郎：がん診療を支える腫瘍循環器. 第22回奈良がん医療研究会「まほろば塾」,

2025. 3. 22, 奈良・ハイブリッド開催

特別企画（シンポジウム・パネルディスカッション）

11. 坂本 二郎：Atrial MR に対する TEER など（エビデンスの不足している領域）。第2回 K-SHD 研究会, 2024. 9. 21, 大阪, 現地開催

一般演題（口演）

12. 榎本 操一郎, 尾上 隆大, 水原 ルーク, 松島 弘季, 天野 佑, 萩原 悠斗, 酢谷 俊太, 奥田 豊生, 本吉 司, 野口 祐, 佐藤 友啓, 河合 龍馬, 中川 頌子, 山上 新太郎, 山根 啓一郎, 坂本 二郎, 田巻 庸道, 三宅 誠, 近藤 博和, 田村 俊寛：Antegrade wiring に苦勞した RCA CTO case. 近畿心血管治療ジョイントライブ（KCJL）2024, 2024. 4. 11-13, 大阪, 現地開催
13. 山根 啓一郎：繰り返すステント内再狭窄に Rotablator+Agent が有効であった症例. Angioplaster Master Course, 2024. 5. 23, 奈良・ハイブリッド開催
14. 坂本 二郎：透析患者の TAVI 症例. Nara 心腎透析 Conference, 2024. 5. 31, 奈良・ハイブリッド開催
15. 田村 俊寛：公益財団法人 天理よろづ相談所病院 循環器内科の紹介. 第1回京都大学循環器内科病連携の会, 2024. 6. 1, 京都, 現地開催
16. 野口 祐, 三宅 誠, 田村 俊寛：心室中隔欠損および動脈管開存閉鎖術後未修復大動脈縮窄のためフォローアップしていたが成人期のドロップアウト後に心不全を来した1例. 第12回まほろば ACHD 懇話会, 2024. 6. 23, 奈良, 現地開催
17. 本吉 司, 山上 新太郎, 西内 英, 佐藤 友啓, 奥田 豊生, 田中 滉斗, 水原 ルーク, 松本 真依, 松島 弘季, 高折 隆太, 天野 佑, 萩原 悠斗, 酢谷 俊太, 倉掛 義之介, 永富 旺, 尾上 隆大, 野口 祐, 河合 龍馬, 中川 頌子, 山根 啓一郎, 坂本 二郎, 田巻 庸道, 榎本 操一郎, 三宅 誠, 近藤 博和, 田村 俊寛：左脚ブロックに伴い頻拍周期短縮を呈した左側 Kent 束房室回帰性頻拍の一例. 第44回京滋奈良ハートリズム研究会, 2024. 6. 29, 京都, 現地開催
18. 野口 祐：症例検討会. 東京ハートラボ症例検討会, 2024. 8. 19, Web 開催
19. 山根 啓一郎, 永富 旺, 中川 頌子, 榎本 操一郎, 近藤 博和, 田村 俊寛：超高齢者の急性下肢動脈閉塞症に対して INDIGO system により救肢に成功した一例. 第70回京滋奈良 Interventional cardiology 研究会, 2024. 8. 31, 京都・ハイブリッド開催
20. 野口 祐, 三宅 誠, 土井 拓, 新井 善雄, 田村 俊寛：成人期バルサルバ洞瘤破裂を来した心室中隔欠損1型の1例. 奈良 CVC カンファレンス, 2024. 9. 7, 奈良・ハイブリッド開催
21. 水原 ルーク, 坂本 二郎, 田中 滉斗, 天野 佑, 高折 隆太, 松島 弘季, 松本 真依, 萩原 悠斗, 奥田 豊生, 倉掛 義之介, 酢谷 俊太, 尾上 隆大, 永富 旺, 本吉 司, 野口 祐, 佐藤 友啓, 河合 龍馬, 中川 頌子, 山上 新太郎, 山根 啓一郎, 田巻 庸道, 榎本 操一郎, 三宅 誠, 近藤 博和, 田村 俊寛：ASD/PFO 閉鎖デバイスとニッケル過敏症. 第2回 K-SHD 研究会, 2024. 9. 21, 大阪, 現地開催
22. 山根 啓一郎：レオカーナが疼痛改善に有効であった CLTI の一例. EVT conference,

2024. 10. 4, 大阪, 現地開催

23. 坂本 二郎：肺血管拡張薬を導入した左心疾患合併 PAH の 1 例. PH Up to Date Seminar, 2024. 10. 25, 奈良・ハイブリッド開催
24. 坂本 二郎：僧帽弁閉鎖不全症に対する経皮的僧帽弁接合不全修復術 (TEER). Nara New Generations CV Meeting, 2024. 11. 7, 奈良・ハイブリッド開催
25. 坂本 二郎：透析 TAVI 症例. 奈良 TAVI の会, 2024. 11. 8, 奈良, 現地開催
26. 榎本 操一郎：心筋虚血陽性であるが defer した 2 例. 京阪奈 iFR SyncVision Seminar, 2024. 11. 15, 京都, 現地開催
27. 田村 俊寛：若年女性に発症した ACS の一例. 第10回 Pan-Pacific Primary Angioplasty Conference 2024 (PAC24), 2024. 11. 15-16, 東京・ハイブリッド開催
28. 榎本 操一郎：Wolverine による非高圧拡張の有用性. Wolverine 30th Blade Master 2024, 2024. 11. 20, Web 開催
29. 坂本 二郎, 河合 龍馬, 中川 頌子, 山上 新太郎, 山根 啓一郎, 田巻 庸道, 榎本 操一郎, 三宅 誠, 近藤 博和, 田村 俊寛：SAPIEN 3 Ultra RESILIA 留置後の溶血性貧血症例の特徴について. ストラクチャークラブ・ジャパン ライブデモンストレーション2024, 2024. 11. 22-23, 大阪, 現地開催 【一般口演 優秀演題賞 受賞】
30. 尾上 隆大, 坂本 二郎：急性腎不全を伴った人工弁機能不全に対し, 非造影下に TAV in SAV を施行した一例. ストラクチャークラブ・ジャパン ライブデモンストレーション2024, 2024. 11. 22-23, 大阪, 現地開催
31. 野口 祐, 三宅 誠, 田村 俊寛：未修復大動脈縮窄, 体肺側副動脈, パラシュート僧帽弁を合併する成人期心不全の 1 例. 第13回まほろば ACHD 懇話会, 2024. 12. 21, 大阪, 現地開催
32. 奥田 豊生, 山上 新太郎, 本吉 司, 佐藤 友啓, 田中 滉斗, 門原 響生, 高折 隆太, 松島 弘季, 松本 真依, 酢谷 俊太, 尾上 隆大, 永富 旺, 野口 祐, 中川 頌子, 山根 啓一郎, 坂本 二郎, 田巻 庸道, 榎本 操一郎, 三宅 誠, 近藤 博和, 田村 俊寛：至適透視角度を用いて Pulse Field Ablation を施行した発作性心房細動の一例. 第23回京都心血管疾患フォーラム, 2025. 1. 11, 京都, 現地開催
33. 坂本 二郎, 野口 祐, 佐藤 友啓, 中川 頌子, 山上 新太郎, 山根 啓一郎, 田巻 庸道, 榎本 操一郎, 三宅 誠, 近藤 博和, 田村 俊寛：腫瘍循環器診療における背景因子としての心不全の管理, GLS 使用の重要性. 第23回京都心血管疾患フォーラム, 2025. 1. 11, 京都, 現地開催
34. 本吉 司：急激な大動脈弁破壊により心肺停止へと至った感染性心内膜炎の一例. 第127回心エコー図談話会, 2025. 2. 8, 大阪, 現地開催
35. 榎本 操一郎, 永富 旺, 野口 祐, 田巻 庸道, 近藤 博和, 田村 俊寛：冠動脈瘤と石灰化により難渋した LAD 分岐部病変の一例. 第71回京滋奈良 Interventional Cardiology 研究会, 2025. 2. 8, 京都・ハイブリッド開催
36. 山根 啓一郎：当院での FFR_{ct} の結果. 第2回 FAN 京滋奈良, 2025. 2. 21, 京都・ハイブリッド開催

37. 榎本 操一郎：Discussion Theaterich1 Expert 難渋した症例 PCI. 近畿心血管治療ジョイントライブ (KCJL) 2025, 2025. 3. 13-15, 神戸, 現地開催

◇その他の講演

1. 山根 啓一郎：当院の虚血性心疾患治療の現状. 今日の冠動脈疾患マネジメント 病診連携セミナー, 2024. 6. 7, 奈良・Web 開催
2. 田村 俊寛：成人心疾患に対するカテーテルインターベンション. 日本血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師認定機構第17回認定講習会, 2024. 6. 15-16, Web 開催
3. 田巻 庸道：ナトリウム利尿ペプチドを使いこなす. RITEN(来天・Review of Internal medicine in TENri) 2024, 2024. 7. 13, 天理・Web 開催
4. 近藤 博和：循環器疾患と慢性便秘症の関係―便通異常症診療ガイドライン2023を踏まえて―. 循環器内科医／内分泌内科医が考える慢性便秘症セミナー, 2024. 9. 5, 奈良, Web 開催
5. 坂本 二郎：動脈硬化に対する脂質低下療法. Kowa Web Conference, 2024. 9. 9, 奈良・Web 開催
6. 近藤 博和：胸痛をきたす疾患. 奈良県消防学校講義, 2024. 9. 12, 宇陀 (奈良), 現地開催
7. 近藤 博和：HF 早期発見／早期治療に向けた～東和医療圏での取り組み～. Heart Failure Expert Meeting～各医療圏での早期発見と早期治療～, 2024. 10. 17, 奈良・Web 開催
8. 三宅 誠：HFREF の心エコー図検査のポイント. エコー淡路 (ECHO AWAJI CV IMAGING 2024), 2024. 11. 16-17, 淡路 (兵庫)・ハイブリッド開催
9. 三宅 誠：右心不全の診断. エコー淡路 (ECHO AWAJI CV IMAGING 2024), 2024. 11. 16-17, 淡路 (兵庫)・ハイブリッド開催
10. 田巻 庸道：薬物治療と多職種連携で心不全パンデミックに立ち向かう～心房細動治療の話題も含めて～. 奈良県薬剤師会オンライン開催生涯研修セミナー, 2024. 12. 5, 天理・Web 開催
11. 田村 俊寛：PCI テクニック. 第20回日本 PCI フェローコース, 2025. 2. 1-2, 京都, 現地開催
12. 榎本 操一郎：PCI とトラブルシューティング. 第20回日本 PCI フェローコース, 2025. 2. 1-2, 京都, 現地開催
13. 田村 俊寛：PCI とトラブルシューティング. 第20回日本 PCI フェローコース, 2025. 2. 1-2, 京都, 現地開催
14. 榎本 操一郎：PCI 手技の発展を知る 分岐部病変に対する治療の歴史. 第20回日本 PCI フェローコース, 2025. 2. 1-2, 京都, 現地開催
15. 榎本 操一郎：PCI のための血管内イメージング読影テクニック. 第20回日本 PCI フェローコース, 2025. 2. 1-2, 京都, 現地開催
16. 榎本 操一郎：当院における DCA 活用法. Kokura-Shiga conference, 2025. 2. 7, 大阪,

現地開催

17. 本吉 司：多彩な角度で挑む不整脈診療。高齢者トータルケア WEB セミナー，2025. 3. 26，Web 開催

◇院内集談会

1. 榎本 操一郎：冠動脈疾患に対する心臓カテーテル検査，治療。院内勉強会，2024. 5. 30，外来診療棟 5 階
2. 田村 俊寛：TAVI と経皮的 ASD 閉鎖術について。看護師勉強会，2024. 6. 27，外来診療棟 5 階中会議室
3. 山根 啓一郎：EVT について。病棟講義，2024. 11. 25，外来診療棟 5 階
4. 榎本 操一郎：冠動脈疾患に対する心臓カテーテル検査，治療。院内勉強会，2024. 12. 16，西病棟 3 階カンファレンス室
5. 榎本 操一郎：冠動脈疾患に対する心臓カテーテル検査，治療。院内勉強会，2024. 12. 23，西病棟 3 階カンファレンス室

◇一般向け

(雑誌・書籍)

1. 山根 啓一郎，三宅 誠 著，中川 義久 編集：緊急処置を要する ST 上昇：その鑑別。今日の臨床サポート，更新日：2024. 6. 12，URL：<https://clinicalsup.jp/jpoc/contentpage.aspx?diseaseid=1132>.

(講演)

2. 三宅 誠：成人先天性心疾患の移行医療—循環器内科医の立場から—。滋賀県民公開講座 成人先天性心疾患（滋賀医科大学循環器内科主催），2024. 11. 9，大津（滋賀），現地開催

呼吸器内科

◇学術雑誌

(欧文)

1. Katsuragawa H, Sumiyoshi S, Ikegami N, Hashimoto S, Hajiro T, Taguchi Y, Kobashi Y, Haga H, Yoshizawa A: Histopathological significance of connective tissue disease-associated interstitial lung disease in transbronchial lung cryobiopsy specimens. Pathology, Research and Practice 2024 ; 254 : 155078.

〈他施設との共同研究〉

2. Uyama M, Handa T, Uozumi R, Hashimoto S, Taguchi Y, Ikezoe K, Tanizawa K, Tanabe N, Oguma T, Matsunashi A, Niwamoto T, Shima H, Mori R, Maetani T, Shiraishi Y, Nobashi TW, Sakamoto R, Kubo T, Yoshizawa A, Terada K, Nakamoto

Y, Hirai T: Prognostic value of a composite physiologic index developed by adding bronchial and hyperlucent volumes quantified via artificial intelligence technology. *Respiratory Research* 2024 ; 25(1) : 442.

(邦 文)

3. 中西 司, 外山 尚吾, 岡垣 暢紘, 坂本 裕人, 田中 佑磨, 武田 淳志, 中村 哲史, 松村 和紀, 上山 維晋, 明保 洋之, 池上 直弥, 加持 雄介, 橋本 成修, 田中 栄作, 田口 善夫, 羽白 高: 再発性多発軟骨炎の早期診断に至らず, 気管気管支軟化症による閉塞性換気障害が残存した1例. *天理医学紀要* 2024 ; 27 (1) : 25 - 32.

◇学 会

国際学会

一般演題 (ポスター)

1. Hashimoto S, Kobayashi T, Tanaka E, Toyama S, Okagaki N, Sakamoto H, Tanaka Y, Takeda A, Nakanishi T, Nakamura S, Matsumura K, Ueyama M, Ikegami N, Kaji Y, Hajiro T, Abe N, Noma S, Yoshida S, Tsuyuguchi K, Taguchi Y: Favorable outcomes of intermittent biweekly macrolide plus parenteral agents in *Mycobacterium abscessus* subsp. *abscessus* pulmonary disease. *ATS 2024 International Conference*, 2024.5.17-22, San Diego (USA), 現地開催

国内学会

一般演題 (口演)

2. 岡垣 暢紘, 外山 尚吾, 坂本 裕人, 田中 佑磨, 武田 淳志, 中西 司, 中村 哲史, 松村 和紀, 上山 維晋, 池上 直弥, 加持 雄介, 橋本 成修, 田中 栄作, 田口 善夫, 赤坂 尚司, 羽白 高: 感染症・抗酸菌症の臨床 オビヌツズマブ投与歴を有する COVID-19 の臨床的検討. 第64回日本呼吸器学会学術講演会, 2024. 4. 5-7, 横浜・ハイブリッド開催
3. 松村 和紀, 外山 尚吾, 岡垣 暢紘, 田中 佑磨, 坂本 裕人, 中西 司, 武田 淳志, 中村 哲史, 上山 維晋, 池上 直弥, 加持 雄介, 橋本 成修, 田中 栄作, 田口 善夫, 羽白 高: 肺癌 合併症 当院における間質性肺疾患合併非小細胞肺癌に対する nab-PTX 単剤療法の有効性と安全性の後方視的検討. 第64回日本呼吸器学会学術講演会, 2024. 4. 5-7, 横浜・ハイブリッド開催
4. 橋本 成修: 肺非結核性抗酸菌症診療における検査法について～臨床的観点から～. 第132回日本結核・非結核性抗酸菌症学会近畿支部学会／第103回日本呼吸器学会近畿地方会合同学会, 2024. 7. 20, 大阪, 現地開催
5. 田中 佑磨, 岡崎 航也, 田畑 寿子, 荏原 雄一, 橘 洋正, 水口 正義, 小栗 晋, 大塩 麻友美, 角 謙介, 佐藤 敦夫, 坪井 知正: 肺 M.abscessus 症の進行による肺門部挙上に伴い左声帯麻痺を生じた一例. 第132回日本結核・非結核性抗酸菌症学会近畿支部学会／第103回日本呼吸器学会近畿地方会合同学会, 2024. 7. 20, 大阪, 現地開催
6. 松村 和紀, 外山 尚吾, 岡垣 暢紘, 田中 佑磨, 坂本 裕人, 中西 司, 中村 哲史, 上山 維晋, 池上 直弥, 加持 雄介, 橋本 成修, 田中 栄作, 田口 善夫, 羽白 高, 住吉 真

治：間質性肺疾患合併の癌性胸膜炎に対して自己血，50%ブドウ糖液による胸膜癒着術が奏功したと考えられる2例。第132回日本結核・非結核性抗酸菌症学会近畿支部学会／第103回日本呼吸器学会近畿地方会合同学会，2024.7.20，大阪，現地開催

7. 坂本 裕人，外山 尚吾，田中 佑磨，中西 司，中村 哲史，松村 和紀，上山 維晋，池上 直弥，加持 雄介，橋本 成修，田中 栄作，田口 善夫，羽白 高，木下 慶一郎，三宅 啓史，八田 和大，住吉 真治：慢性進行性肺アスペルギルス症と鑑別を要した多発血管炎性肉芽症の一例。第132回日本結核・非結核性抗酸菌症学会近畿支部学会／第103回日本呼吸器学会近畿地方会合同学会，2024.7.20，大阪，現地開催
8. 中西 司，外山 尚吾，岡垣 暢紘，坂本 裕人，田中 佑磨，松村 和紀，中村 哲史，上山 維晋，池上 直弥，加持 雄介，橋本 成修，田中 栄作，田口 善夫，中川 達雄，住吉 真治，小橋 陽一郎，羽白 高：間質性肺炎に肺非結核性抗酸菌症と慢性進行性肺アスペルギルス症を合併し集学的治療にて制御し得た1例。第132回日本結核・非結核性抗酸菌症学会近畿支部学会／第103回日本呼吸器学会近畿地方会合同学会，2024.7.20，大阪，現地開催
9. 中村 哲史，外山 尚吾，岡垣 暢紘，田中 佑磨，坂本 裕人，武田 淳志，松村 和紀，上山 維晋，加持 雄介，橋本 成修，田中 栄作，田口 善夫，羽白 高：粘液栓で増悪した気管支喘息の1例。第132回日本結核・非結核性抗酸菌症学会近畿支部学会／第103回日本呼吸器学会近畿地方会合同学会，2024.7.20，大阪，現地開催
10. 岡垣 暢紘，中村 哲史，外山 尚吾，坂本 裕人，田中 佑磨，中西 司，松村 和紀，上山 維晋，池上 直弥，加持 雄介，橋本 成修，田中 栄作，田口 善夫，羽白 高：冬季発症の夏型過敏性肺炎の1例。第132回日本結核・非結核性抗酸菌症学会近畿支部学会／第103回日本呼吸器学会近畿地方会合同学会，2024.7.20，大阪，現地開催
11. 外山 尚吾，岡垣 暢紘，田中 佑磨，坂本 裕人，中西 司，松村 和紀，中村 哲史，上山 維晋，池上 直弥，加持 雄介，橋本 成修，田中 栄作，田口 善夫，久保 武，野間 恵之，住吉 真治，小橋 陽一郎，羽白 高：間質性肺炎の経過中に顕微鏡的多発血管炎を発症した一例。第132回日本結核・非結核性抗酸菌症学会近畿支部学会／第103回日本呼吸器学会近畿地方会合同学会，2024.7.20，大阪，現地開催
12. 岡垣 暢紘，坪井 知正，荏原 雄一，角 謙介，佐藤 敦夫：SpO₂ モニター・PtcCO₂ モニター・PSG・NPPV 機器データを用いた神経筋疾患における NPPV 設定の試み。第34回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会，2024.11.15-16，名古屋，現地開催
13. 岡垣 暢紘，坪井 知正，荏原 雄一，角 謙介，羽白 高，佐藤 敦夫：気胸合併の Duchenne 型筋ジストロフィー患者における低換気の増悪に対して NPPV 設定を試みた1例。第104回日本呼吸器学会近畿地方会／第8回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会近畿支部学術集会合同学会，2024.11.30，大阪，現地開催
14. 中村 哲史，岡垣 暢紘，坂本 裕人，田中 佑磨，中西 司，松村 和紀，上山 維晋，池上 直弥，加持 雄介，橋本 成修，田中 栄作，田口 善夫，羽白 高，丸山 互，久保 武，金森直美，住吉 真治：肺 MAC 症，肺癌と鑑別を要する肺野浸潤影を呈し，肺 MALT

- リンパ腫と診断された1例。第104回日本呼吸器学会近畿地方会／第8回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会近畿支部学術集会合同学会，2024.11.30，大阪，現地開催
15. 外山 尚吾，岡垣 暢紘，田中 佑磨，坂本 裕人，中西 司，松村 和紀，中村 哲史，上山 維晋，池上 直弥，加持 雄介，橋本 成修，田中 栄作，田口 善夫，久保 武，野間 恵之，住吉 真治，小橋陽一郎，羽白 高：前縦隔腫瘍により気道狭窄を呈し呼吸困難で発症したTリンパ芽球性リンパ腫の一例。第104回日本呼吸器学会近畿地方会／第8回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会近畿支部学術集会合同学会，2024.11.30，大阪，現地開催
16. 坂本 裕人，橋本 成修，外山 尚吾，岡垣 暢紘，田中 佑磨，中西 司，松村 和紀，中村 哲史，上山 維晋，池上 直弥，加持 雄介，田中 栄作，田口 善夫，小林 昂介，谷口 尚範：縦隔原発セミノーマの一例。第104回日本呼吸器学会近畿地方会／第8回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会近畿支部学術集会合同学会，2024.11.30，大阪，現地開催
17. 松村 和紀，外山 尚吾，岡垣 暢紘，田中 佑磨，坂本 裕人，中西 司，中村 哲史，上山 維晋，池上 直弥，加持 雄介，橋本 成修，田中 栄作，田口 善夫，羽白 高，住吉 真治：上大静脈症候群と閉塞性肺炎を同時期に発症し，抗癌剤投与で改善が見られた小細胞肺癌の1例。第104回日本呼吸器学会近畿地方会／第8回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会近畿支部学術集会合同学会，2024.11.30，大阪，現地開催
18. 田中 佑磨，外山 尚吾，岡垣 暢紘，坂本 裕人，中西 司，松村 和紀，中村 哲史，上山 維晋，池上 直弥，加持 雄介，橋本 成修，田中 栄作，田口 善夫，羽白 高：デュピルマブによる乾癬様皮膚炎を発症した一例。第104回日本呼吸器学会近畿地方会／第8回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会近畿支部学術集会合同学会，2024.11.30，大阪，現地開催
19. 中西 司，岡垣 暢紘，坂本 裕人，田中 佑磨，松村 和紀，中村 哲史，上山 維晋，池上 直弥，加持 雄介，橋本 成修，田中 栄作，田口 善夫，中川 達雄，住吉 真治，小橋 陽一郎，羽白 高：閉塞性肺炎を契機に集学的治療を行った気管支閉鎖症と嚢胞感染の1例。第104回日本呼吸器学会近畿地方会／第8回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会近畿支部学術集会合同学会，2024.11.30，大阪，現地開催
20. 坂本 裕人，上山 維晋，加持 雄介，橋本 成修，田中 栄作，田口 善夫，羽白 高，丸山 互，辻井 秀明，住吉 真治：原発性肺癌と鑑別を要した肺原発びまん性大細胞型B細胞リンパ腫の1例。第247回日本内科学会近畿地方会，2025.3.8，京都・ハイブリッド開催

一般演題（ポスター）

21. 中村 哲史，外山 尚吾，岡垣 暢紘，坂本 裕人，田中 佑磨，武田 淳志，松村 和紀，上山 維晋，池上 直弥，加持 雄介，橋本 成修，田中 栄作，田口 善夫，羽白 高：当院における進行・再発非小細胞肺癌に対するペンプロリズマブ併用化学療法の使用経験。第64回日本呼吸器学会学術講演会，2024.4.5-7，横浜・ハイブリッド開催
22. 池上 直弥，外山 尚吾，岡垣 暢紘，坂本 裕人，田中 佑磨，武田 淳志，中西 司，中

村 哲史, 松村 和紀, 上山 維晋, 加持 雄介, 橋本 成修, 田中 栄作, 田口 善夫, 住吉 真治, 小橋 陽一郎, 羽白 高: 当科における TTF-1 陰性進行再発非扁平上皮非小細胞肺癌の後方視的検討. 第64回日本呼吸器学会学術講演会, 2024. 4. 5-7, 横浜・ハイブリッド開催

◇研 究 会

一般演題 (口演)

1. 坂本 裕人, 橋本 成修, 外山 尚吾, 岡垣 暢紘, 田中 佑磨, 中西 司, 松村 和紀, 中村 哲史, 上山 維晋, 池上 直弥, 加持 雄介, 田中 栄作, 田口 善夫, 羽白 高, 小林 昂介, 谷口 尚範, 住吉 真治: 上大静脈症候群を呈した縦隔原発セミノーマの一例. 第56回奈良県呼吸器疾患研究会, 2024. 10. 26, 奈良・ハイブリッド開催

◇その他の講演

1. 上山 維晋: 実臨床における POSEIDON レジメン. Immuno-Oncology Update Seminar, 2024. 6. 21, 奈良・ハイブリッド開催
2. 中村 哲史, 外山 尚吾, 岡垣 暢紘, 田中 佑磨, 坂本 裕人, 武田 淳志, 松村 和紀, 上山 維晋, 加持 雄介, 橋本 成修, 田中 栄作, 田口 善夫, 羽白 高: 当院における進行・再発非小細胞肺癌に対するペンブロリズマブ併用化学療法の使用経験. NPO 法人西日本呼吸器内科医療推進機構令和 6 年度夏季学術集会, 2024. 7. 6, 京都, 現地開催
3. 橋本 成修: 肺非結核性抗酸菌症のみかた. RITEN (来天・Review of Internal medicine in TENri) 2024, 2024. 7. 13, 天理・Web 開催
4. 上山 維晋: マルチプレックス検査の現状と治療アプローチ. Lung Cancer Expert Meeting, 2024. 10. 23, 大阪・ハイブリッド開催
5. 中村 哲史, 岡垣 暢紘, 坂本 裕人, 田中 佑磨, 中西 司, 松村 和紀, 上山 維晋, 池上 直弥, 加持 雄介, 橋本 成修, 田中 栄作, 田口 善夫, 羽白 高, 辻井 秀明, 金森直美, 住吉 真治: 治療中に小細胞肺癌への形質転換を伴った MET exon 14 skipping 変異陽性肺腺癌の 1 例. NPO 法人西日本呼吸器内科医療推進機構令和 7 年度第20期総会・学術講演会, 2025. 2. 8, 京都, 現地開催
6. 上山 維晋: 当院における X 線動態撮影の最近の動向. 第20期 NPO 法人西日本呼吸器内科医療推進機構令和 7 年度第20期総会・学術講演会, 2025. 2. 8, 京都・ハイブリッド開催

◇一般向け

(雑誌)

1. 岡垣 暢紘: 【ナースがホントに知りたい「なぜ?」をスッキリ解消 呼吸器ケアのギモンとベストアンサー いま読むべきエビデンス】(Part. 2) いま読みたい! 人工呼吸管理にまつわるギモン【人工呼吸管理/モード】Q22 人工呼吸器にたくさんのモードがあるのはなぜ? どう使い分けるの? Respica 2025; 23 (1): 104-110.
2. 岡垣 暢紘: 【ナースがホントに知りたい「なぜ?」をスッキリ解消 呼吸器ケアのギモンとベストアンサー いま読むべきエビデンス】(Part. 4) いま読みたい! 人工呼吸管理にまつわるギモン【人工呼吸管理/モード】Q26 夜間無呼吸で SpO₂ が下がった

り上がったりを繰り返す患者さんの酸素投与量はどのように対応するのがベストなの？

Respica 2025 ; 23 (1) : 133 – 136.

◇企業内講演

1. 池上 直弥：POSEIDON レジメンの臨床での活用を考える．アストラゼネカ社研究会「肺がん診療 Next Generation in 奈良」, 2024. 5. 24, 奈良・Web 開催
2. 中村 哲史, 外山 尚吾, 岡垣 暢紘, 田中 佑磨, 坂本 裕人, 中西 司, 松村 和紀, 上山 維晋, 池上 直弥, 加持 雄介, 橋本 成修, 田中 栄作, 田口 善夫, 羽白 高：当院におけるイピリムマブ+ニボルマブ療法の使用経験．ブリストルマイヤーズスクイブ株式会社講演会, 2024. 7. 22, 天理, 現地開催
3. 池上 直弥：抗線維化薬 継続率向上の為に．バーリンガーインゲルハイム社研究会「間質性肺疾患 難病法カンファレンス」, 2024. 7. 25, 奈良・ハイブリッド開催
4. 松村 和紀：実臨床から再考する抗 CTLA 抗体．Lung Cancer Clinical Seminar (アストラゼネカ勉強会), 2025. 1. 20, 大阪・Web 開催
5. 池上 直弥：POSEIDON レジメンの至適患者像を考える．アストラゼネカ社研究会「NARA Open Talk Lounge」, 2025. 1. 28, 奈良・Web 開催
(2023年度追加)
6. 中村 哲史, 橋本 成修, 羽白 高：当院における気管支喘息に対する生物学的製剤の使用経験．サノフィ株式会社講演会, 2024. 3. 9, 大阪, 現地開催

内 分 泌 内 科

◇学 術 雑 誌

(欧 文)

1. Hayashino Y, Okamura S, Kurita N, Tsujii S, Ishii H ; Diabetes Distress and Care Registry at Tenri Study Group : Baseline renal function modified the association between total, plant or animal protein intake and the risk of developing renal composite outcome in people with type 2 diabetes : A prospective cohort study [diabetes distress and care registry at Tenri (DDCRT 25)]. Acta Diabetologica 2024 ; 62(3) : 375–383.
2. Hayashino Y, Tsuboi S, Yamamoto Y, Ishii H : Burden of current insulin therapy and expectations for future insulin therapy : Results from INBEING, a web-based survey in Japan. Diabetes Therapy 2024 ; 15(12) : 2537–2555.
〈他施設との共同研究〉
3. Horikawa C, Takahara M, Katakami N, Takeda Y, Takeuchi M, Fujihara K, Suzuki H, Yoshioka N, Shimano H, Satoh J, Hayashino Y, Tajima N, Nishimura R,

Yamasaki Y, Sone H.: Dietary potassium intake and its interaction with sodium intake on risk of developing cardiovascular disease in persons with type 2 diabetes: The Japan Diabetes Complication and its Prevention Prospective study (JDCP study 12). Diabetes, Obesity & Metabolism 2024; 27(1): 394–406.

4. Yamashiro K, Takahashi H, Hayashino Y, Origasa H, Izumi K, Tajima N, Nishimura R.: A large-scale, observational study to investigate the current status of diabetes complication and their prevention in Japan: Incidence/risk factors for malignancies during follow-up-JDCP study 11 (English version). Diabetology International 2024; 15(3): 315–326.
5. Kobayashi H, Nakamura Y, Abe M, Nakamura T, Nozato Y, Izawa S, Kakutani M, Katabami T, Wada N, Takahashi K, Yoneda T, Okamoto R, Murakami M, Okamura S, Naruse M, Yokota K, Sone M; JPAS II Study Group: Prevalence of unilateral hyperaldosteronism in primary aldosteronism: Impact of a novel chemiluminescent immunoassay for measuring plasma aldosterone in Japan. Hypertension Research 2024; 47(11): 3035–3044.
6. Kubo Y, Sone M, Katabami T, Izawa S, Ichijo T, Tsuiki M, Okamura S, Yoshimoto T, Otsuki M, Takeda Y, Suzuki T, Naruse M, Tanabe A; ACPA-J Study Group: Predictor of steroid replacement duration after removal of Cortisol-producing adenoma. Internal Medicine 2024; doi: 10.2169/internalmedicine. 4339–24.

◇学会

国内学会

特別企画（シンポジウム・パネルディスカッション）

1. 林野 泰明：糖尿病を持つ人への受診中断対策を考える。第11回日本糖尿病医療学学会, 2024. 10. 12–13, 京都, 現地開催
2. 林野 泰明：糖尿病診療における「ことば」について考える。第59回日本糖尿病学会糖尿病学の進歩～100年のライフコースを俯瞰する糖尿病診断, 2025. 1. 24–25, 那覇（沖縄）・ハイブリッド開催

一般演題（口演）

3. 岸 晃生, 津川 俊介, 黒澤 健太郎, 櫻町 惟, 高野 季代子, 松永 佐澄志, 岡村 真太郎, 林野 泰明：2型糖尿病患者における rapid decliner のリスクスコアの開発。第67回日本糖尿病学会年次学術集会, 2024. 5. 17–19, 東京・ハイブリッド開催
4. 林野 泰明, 岡村 真太郎, 辻井 悟, 栗田 宣明：糖尿病をもつ人の希望と身体活動量, サルコペニアとの関連。第67回日本糖尿病学会年次学術集会, 2024. 5. 17–19, 東京・ハイブリッド開催

〈他施設との共同研究〉

5. 堀川 千嘉, 高原 充佳, 片上 直人, 武田 安永, 竹内 瑞希, 藤原 和哉, 鈴木 浩明, 津田 謹輔, 吉岡 成人, 島野 仁, 佐藤 譲, 林野 泰明, 田嶋 尚子, 西村 理明, 山崎 義光, 曾根 博仁：日本人2型糖尿病患者における, 飽和脂肪酸エネルギー比率と心血管

疾患発症との関係 JDCP study の解析から. 第67回日本糖尿病学会年次学術集会, 2024. 5. 17-19, 東京・ハイブリッド開催

◇研 究 会

特別講演・教育講演

1. 林野 泰明: 最新のガイドラインにおけるメトホルミンの位置づけ～適正使用情報を含めて. 第11回糖尿病ライブ配信講演会, 2024. 4. 18, 京都・Web 開催
2. 林野 泰明: SGLT2 阻害薬の使い方を再考する—最新のガイドラインの動向を含めて—. デベルザ WEB conference, 2024. 5. 31, 東京・Web 開催
3. 林野 泰明: 誰も教えてくれなかった糖尿病と便秘の関係. 循環器内科医／内分泌内科医が考える慢性便秘症セミナー, 2024. 9. 5, 奈良・Web 開催
4. 林野 泰明: 糖尿病を持つ人への受診中断対策を考える. DiaMond Seminar in とちぎ, 2024. 9. 12, 栃木・Web 開催
5. 林野 泰明: isCGM の使い方を再考する. FreeStyle リブレ 2 活用連携セミナー, 2024. 10. 19, 奈良・ハイブリッド開催
6. 林野 泰明: 糖尿病診療最前線2025. 奈良県薬剤師会生涯研修セミナー, 2025. 2. 1, 奈良・Web 開催
7. 林野 泰明: 糖尿病診療最前線2025. 宇陀市医師会講演会, 2025. 3. 29, 宇陀 (奈良), 現地開催

一般演題 (口演)

8. 岡村 真太郎, 大久保 豪祐, 御前 隆, 柳田 遥, 黒澤 健太郎, 高野 季代子, 松永 佐澄志, 辻井 悟, 林野 泰明: 局在診断にダイナミック MRI を用いた原発性副甲状腺機能亢進症の一例. 第14回奈良甲状腺研究会, 2024. 9. 7, 橿原 (奈良), 現地開催

◇その他の講演

1. 岡村 真太郎: 原発性副甲状腺機能亢進症を探す. RITEN (来天・Review of Internal medicine in TENri) 2024, 2024. 7. 13, 天理・Web 開催

脳 神 経 内 科

◇学 術 雑 誌

(欧 文)

1. Obata K, Kinoshita M, Shinde A, Suenaga T: Seizure aggravation by ampicillin/sulbactam in an elderly patient with status epilepticus. International Journal of Emergency Medicine 2025 ; 18(1) : 2.

〈他施設との共同研究〉

2. Ohira M, Takano A, Yoshi K, Arai A, Aso Y, Furutani R, Hamano T, Takahashi-

Iwata I, Kaneko C, Matsuura T, Maeda N, Nakajima H, Shindo K, Suenaga T, Sugie K, Suzuki Y, Yamashita T, Angulo FJ, Edwards J, Bender CM, Harper LR, Nakayama Y, Ito S, Pilz A, Stark JH, Moisi JC, Mizusawa H, Takao M: Lyme neuroborreliosis in Japan: *Borrelia burgdorferi* sensu lato as a cause of meningitis of previously undetermined etiology in hospitalized patients outside of the island of Hokkaido, 2010–2021. *European Journal of Neurology* 2025; 32(1): e70005 doi: 10.1111/ene.70005.

◇学 会

国際学会

一般演題（ポスター）

1. Wang C, Watanabe Y, Ito H, Matsuda A, Yamaguchi S, Shinde A, Nodera H, Suenaga T: Rapid efficacy of ravulizumab at the stage of early fast-acting treatment in one patient suffered with ventilator-dependent myasthenic crisis. The 3rd International Symposium of Clinical Immunology, 2024. 5. 16–18, 函館（北海道）・ハイブリッド開催

国内学会

一般演題（口演）

2. 伊藤 滉, 渡邊 圭崇, 石川 大樹, 片山 拓也, 王 晨堯, 松田 明宏, 山口 聡子, 野寺 裕之, 新出 明代, 末長 敏彦: 無菌性髄膜炎を合併し, 血管炎所見を伴う Cogan 症候群に対してトシリズマブが奏功した一例. 第128回日本神経学会近畿地方会, 2024. 7. 6, 大阪, 現地開催
3. Wang C, Watanabe Y, Ito H, Matsuda A, Yamaguchi S, Shinde A, Nodera H, Suenaga T: A 42y male presenting with intense involuntary limb movements resembling dancing. The 18th Congress of the Movement Disorder Society of Japan, 2024. 7. 11–13, 宇都宮（栃木）・ハイブリッド開催
4. 片山 拓也, 伊藤 滉, 渡邊 圭崇, 石川 大樹, 伊藤 大樹, 田中 宏明, 新出 明代, 野寺 裕之, 末長 敏彦: 痙攣重積を契機に診断された健常成人の *Campylobacter fetus* 髄膜炎の一例. 第28回日本神経感染症学会総会・学術大会, 2024. 10. 11–12, 東京, 現地開催
5. 田中 宏明, 島 淳, 中西 悦郎, 江川 斉宏, 葛谷 聡, 池田 昭夫, 高橋 良輔: 慢性頭痛で発症し, 病理学的に IgG4 関連疾患とリウマチ性髄膜炎の鑑別評価を要した一例. 第52回日本頭痛学会総会, 2024. 12. 6–7, 横浜・ハイブリッド開催
6. 片山 拓也, 伊藤 滉, 田中 宏明, 吉田 正太, 前田 由起, 新出 明代, 末長 敏彦: 本態性血小板血症の初発症状として頭痛を呈し低用量アスピリンが奏効した一例. 第52回日本頭痛学会総会, 2024. 12. 6–7, 横浜・ハイブリッド開催
7. 橋本 文蔵, 渡邊 圭崇, 石川 大樹, 片山 拓也, 伊藤 大樹, 田中 宏明, 新出 明代, 野寺 裕之, 末長 敏彦: メロベネムが奏効した *Campylobacter fetus* 髄膜炎の1例. 第246回日本内科学会近畿地方会, 2024. 12. 14, 大阪・ハイブリッド開催

8. 石川 大樹, 木下 慶一郎, 渡邊 圭崇, 片山 拓也, 伊藤 大樹, 田中 宏明, 新出 明代, 野寺 裕之, 末長 敏彦: 抑うつとアルコール多飲が背景にある Marchiafava-Bignami disease の一例. 第246回日本内科学会近畿地方会, 2024. 12. 14, 大阪・ハイブリッド開催
9. 渡邊 圭崇, 伊藤 滉, 石川 大樹, 片山 拓也, 伊藤 大樹, 田中 宏明, 新出 明代, 野寺 裕之, 末長 敏彦: 両側声帯麻痺をきたしたギラン・バレー症候群の1例. 日本内科学会第255回東海地方会, 2025. 2. 16, 名古屋, 現地開催
10. 渡邊 圭崇, 末長 敏彦, 野寺 裕之, 新出 明代, 伊藤 大樹, 田中 宏明, 石川 大, 片山 拓也, 伊藤 滉: 左腕神経叢に対する超音波ガイド下針生検により診断できた神経リンパ腫症の1例. 第130回日本神経学会近畿地方会, 2025. 3. 2, 大阪, 現地開催

◇研 究 会

一般演題 (口演)

1. 片山 拓也, 武信 洋平, 今村 大智, 藤井 大岳, 桜井 孝規, 野村 倫子, 玉城 駿介, 福田 まり, 外山 瑞葉, 山川 健太郎, 尾崎 彰彦, 井上 学: 特徴的な中枢神経病理を呈した Facial Onset Sensory Motor Neuronopathy の一剖検例. 第66回亀山正邦記念神経懇話会, 2024. 6. 22, 大阪, 現地開催 【亀山正邦奨励賞 銀賞 受賞】
2. 片山 拓也, 伊藤 滉, 渡邊 圭崇, 石川 大樹, 田中 宏明, 伊藤 大樹, 新出 明代, 野寺 裕之, 丸山 互, 末長 敏彦: 本態性血小板血症の初発症状として頭痛を呈し, アスピリンが奏効した一例. 第6回頭痛専門医を目指す会, 2024. 8. 10, 奈良・ハイブリッド開催
3. 田中 宏明, 伊藤 滉, 渡邊 圭崇, 石川 大樹, 片山 拓也, 伊藤 大樹, 新出 明代, 野寺 裕之, 末長 敏彦: 一側視床外側の小梗塞に伴い, 急性経過で多彩な不随意運動を呈した症例の検討. 第67回亀山正邦記念神経懇話会, 2024. 12. 15, 京都, 現地開催 【亀山正邦奨励賞 銀賞 受賞】

◇その他の講演

1. 末長 敏彦: 日常診療における痛みを考える～認知症と神経障害性疼痛～. 高齢者トータルケアセミナー, 2024. 4. 18, 天理・Web 開催
2. 渡邊 圭崇, 伊藤 滉, 石川 大樹, 片山 拓也, 伊藤 大樹, 田中 宏明, 新出 明代, 野寺 裕之, 末長 敏彦: 進行性の左上肢, 右下肢麻痺を呈した81歳男性の1例. 第147回大阪神経内科の集い, 2024. 7. 3, 大阪, 現地開催
3. 新出 明代: 片頭痛診療の最前線. 奈良県薬剤師会オンライン開催生涯研修セミナー, 2024. 7. 4, 橿原 (奈良)・ハイブリッド開催
4. 新出 明代: 片頭痛診療の最前線～ホントの痛みを治療する～. RITEN (来天・Review of Internal medicine in TENri) 2024, 2024. 7. 13, 天理・Web 開催
5. 末長 敏彦: ALS 診療 Up To Date ～治療・生活・療養～. ALS Seminar for Pharmacist～Meet The Expert～, 2024. 9. 5, 天理・Web 開催
6. 新出 明代: ALS 患者への在宅支援について. 奈良市保健所難病支援者研修会, 2024. 9. 13, 奈良, 現地開催

7. 渡邊 圭崇, 伊藤 滉, 石川 大樹, 片山 拓也, 伊藤 大樹, 田中 宏明, 新出 明代, 野寺 裕之, 末長 敏彦: 天理よろづ相談所病院の NMOSD 診療. 中外製薬神経疾患セミナー, 2024. 9. 19, 天理・ハイブリッド開催
8. 伊藤 大樹: オファツムマブ使用中に両側声帯麻痺を発症した多発性硬化症の 1 例. MS Clinical Conference, 2024. 11. 5, 奈良・ハイブリッド開催
9. 新出 明代: 片頭痛診療の最前線. 大塚製薬研究会, 2024. 12. 12, 天理・Web 開催
10. 新出 明代: 緊張型頭痛を上手に治療する. 令和 6 年度厚労省慢性疼痛診療システム均てん化等事業近畿地区頭痛セミナー 頭痛診療ファーストステップⅢ, 2025. 2. 16, 大阪・ハイブリッド開催
11. 新出 明代: 認知症と睡眠障害. 第一三共研究会, 2025. 3. 12, 奈良・Web 開催
12. 新出 明代: 当院における抗 CGRP 関連薬剤使用の実際. 大塚製薬研究会, 2025. 3. 14, 大阪・Web 開催

血 液 内 科

◇学 術 雑 誌

(欧 文)

〈他施設との共同研究〉

1. Ido K, Nakamae H, Hattori N, Kanaya M, Morita K, Hino M, Ohigashi H, Fukuda T, Eto T, Nagafuji K, Hiramoto N, Maruyama Y, Ota S, Matsuoka KI, Ando T, Akasaka T, Mori Y, Kamimura T, Kawakita T, Kawamura K, Kanda J, Onizuka M, Atsuta Y, Murata M: Effect of peptide-binding motif on survival of HLA-haploidentical transplantation with post-transplant cyclophosphamide. *British Journal of Haematology* 2024 ; 205(3) : 1077–1096.
2. Shibata S, Arai Y, Kondo T, Mizuno S, Yamasaki S, Akasaka T, Doki N, Ota S, Maruyama Y, Matsuoka KI, Nagafuji K, Eto T, Tanaka T, Ohigashi H, Nakamae H, Onizuka M, Fukuda T, Atsuta Y, Yanada M: Prognostic factors in haploidentical transplantation with post-transplant cyclophosphamide for acute myeloid leukemia. *Cytotherapy* 2024 ; 26(6) : 592–598.
3. Nakamura N, Kanda J, Kondo T, Kitano T, Ikeda T, Imada K, Takaya R, Kubo T, Mitsuyuki S, Oka S, Yonezawa A, Takeoka T, Akasaka T, Hishizawa M, Yago K, Tsunemine H, Watanabe M, Itoh M, Takaori-Kondo A; Kyoto Stem Cell Transplantation Group (KSCTG): Comparison of methotrexate dosing protocols for graft-versus-host disease prophylaxis after unrelated hematopoietic stem cell transplantation. *Cytotherapy* 2025 ; 27(3) : 307–315.

4. Edahiro Y, Ochiai T, Hashimoto Y, Ichii M, Okatani T, Omura H, Nakajima K, Sasaki M, Ando J, Takaku T, Koike M, Izumiyama K, Hiraga J, Yano T, Usuki K, Ohtsuka E, Yokoyama K, Oyake T, Takahashi N, Nishida T, Nakao T, Fukuda Y, Akasaka T, Mugitani A, Ando M, Komatsu N : Real-world status of treatment for lymphoid neoplasms developed during the course of myeloproliferative neoplasms in Japan. Hematology 2024 ; 29(1) : 2340149.

◇学 会

国内学会

一般演題（口演）

1. 浜口 真菜美, 丸山 互, 向井 大貴, 小谷 槇一, 右京 直哉, 赤坂 尚司, 大野 仁嗣 : 自己免疫性溶血性貧血 (AIHA) と顕著な低補体血症を伴った splenic marginal zone lymphoma (SMZL) の一例. 第120回近畿血液学地方会, 2024. 6. 8, 大阪, 現地開催
2. 出田 悠人, 清水 拓也, 小谷 槇一, 丸山 互, 右京 直哉, 赤坂 尚司, 住吉 真治, 大野 仁嗣 : 上顎洞腫瘍で発症した形質芽球形リンパ腫の1例. 第244回日本内科学会近畿地方会, 2024. 6. 29, 京都, 現地開催
3. 平山 怜, 右京 直哉, 出田 悠人, 清水 拓也, 丸山 互, 小谷 槇一, 赤坂 尚司, 大野 仁嗣 : 古典的ホジキンリンパ腫から DLBCL に形質転換した一例. 第121回近畿血液学地方会, 2024. 11. 16, 京都, 現地開催
4. 出田 悠人, 清水 拓也, 小谷 槇一, 丸山 互, 右京 直哉, 赤坂 尚司, 大野 仁嗣 : PCNSL に対する Thiotepa 導入前後の当院での移植成績. 第47回日本造血・免疫細胞療法学会総会, 2025. 2. 27-3. 1, 大阪, 現地開催

一般演題（ポスター）

5. 出田 悠人, 前川 ふみよ, 林田 雅彦, 中川 美穂, 岸森 千幸, 福塚 勝弘, 竹岡 加陽, 清水 拓也, 小谷 槇一, 丸山 互, 右京 直哉, 住吉 真治, 赤坂 尚司, 大野 仁嗣 : 経過中にクロナリティが明らかになった寒冷凝集素症 (CAD) の一例. 第86回日本血液学会学術集会, 2024. 10. 11-13, 京都・ハイブリッド開催

◇研 究 会

特別講演・教育講演

1. 赤坂 尚司 : CLL 治療における Acalabrutinib の位置付けを考える. NARA HEMATOLOGY EXPO, 2024. 12. 19, 奈良・Web 開催

特別企画（シンポジウム・パネルディスカッション）

2. 小谷 槇一 : 当院におけるエプコリタマブの使用経験. Lymphoma Seminar in NARA, 2024. 9. 5, 奈良, 現地開催
3. 赤坂 尚司 : Reblozyl の適応を考える. Reblozyl for Lower Risk MDS Seminar in Osaka, 2024. 11. 22, 大阪・Web 開催
4. 赤坂 尚司 : ベスレミの適応患者像を考える. PharmaEssentia BESREmi 西日本真性多血症 Web セミナー〜ベスレミの臨床使用〜, 2024. 12. 18, 奈良・Web 開催

一般演題（口演）

5. 小谷 槇一：DRD 治療中に治療抵抗性となり IsaKD 療法への変更を実施及び検討中の 2 症例. 南奈良 RRMM Conference, 2024. 4. 19, 橿原（奈良）・Web 開催
6. 清水 拓也, 出田 悠人, 小谷 槇一, 丸山 互, 右京 直哉, 赤坂 尚司, 大野 仁嗣：当院でのチオテパ導入前後の中枢神経系リンパ腫の移植成績. 第18回 Meet the Hematologists, 2024. 7. 6, 京都, 現地開催
7. 丸山 互：当院で経験した初発 AML におけるキザルチニブ併用例. AML Web Seminar in 関西, 2024. 10. 16, 京都・Web 開催
8. 丸山 互：当院における多発性骨髄腫治療の現状と課題. Multiple Myeloma Seminar ～骨髄腫治療の最前線～, 2024. 11. 1, 奈良・Web 開催
9. 小谷 槇一：MCL と LPL の併存に対して BTK 阻害薬を使用した症例. Lymphoma Web Seminar, 2024. 11. 8, 奈良・Web 開催

◇その他の講演

1. 右京 直哉：後天性血友病. RITEN（来天・Review of Internal medicine in TENri）2024, 2024. 7. 13, 天理・Web 開催

◇院内集談会

1. 出田 悠人, 前川 ふみよ, 竹岡 加陽, 永井 直治, 林田 雅彦, 清水 拓也, 小谷 槇一, 丸山 互, 右京 直哉, 大野 仁嗣：寒冷凝集素症の経過観察中に B 細胞のクローナリティが明らかとなった 1 例. 令和 6 年度天理よろづ相談所学術発表会, 2025. 2. 6, 外来診療棟 5 階講堂

小児科・小児循環器科

◇学 術 雑 誌

（邦 文）

1. 竹下 峻希, 井澤 和司, 仁平 寛士, 岩田 直也, 荻野 諒, 平田 惟子, 伊佐 真彦, 日衛嶋 栄太郎, 滝田 順子, 八角 高裕：自己免疫性好中球減少症, 薬剤熱を伴い, 診断に難渋したコメによる食物蛋白誘発胃腸症. 日本小児科学会雑誌 2024 ; 128 (5) : 708 - 713.

◇学 会

国内学会

一般演題（口演）

1. 竹下 峻希, 西林 優, 宇佐美 亜由子, 舞鶴 賀奈子, 芝 剛：気管支炎を契機に先天性メトヘモグロビン血症が判明した 1 歳女児例. 第143回日本小児科学会奈良地方会, 2024. 7. 13, 橿原（奈良）・ハイブリッド開催

2. 舞鶴 賀奈子：冬季に限定した起立性調節障害に光目覚まし時計が有効であった男児例. 第42回日本小児心身医学会学術集会, 2024. 9. 20-22, 東京, 現地開催
3. 宇佐美 亜由子, 竹下 峻希, 舞鶴 賀奈子, 三浦 基, 芝 剛：けいれん重積後の口唇不随意運動と橋中心被蓋路病変を認めた2歳女児例. 第144回日本小児科学会奈良地方会, 2024. 10. 19, 橿原（奈良）・ハイブリッド開催
4. 竹下 峻希, 宇佐美 亜由子, 舞鶴 加奈子, 芝 朋子, 金子 直人, 芝 剛：COVID-19罹患後にマイコプラズマ感染またはサイトメガロウイルス再活性化による血球貪食症候群様病態を呈した一例. 第145回日本小児科学会奈良地方会, 2025. 2. 1, 天理・ハイブリッド開催

一般演題（ポスター）

5. 西林 優, 大部 聡, 榊 辰也, 藤野 寿典, 住本 真一：貧血改善後も Hb-F 上昇が持続している小児後天性赤芽球癆の一例. 第127回日本小児科学会学術集会, 2024. 4. 19-21, 福岡, 現地開催
6. 宇佐美 亜由子, 舞鶴 賀奈子：けいれん重積型二相性脳症（AESD）の回復期に舞蹈病様運動を遺した2歳男児例. 第66回日本小児神経学会学術集会, 2024. 5. 30-6. 1, 名古屋・ハイブリッド開催
7. 舞鶴 賀奈子, 宇佐美 亜由子, 栢木 大誓, 矢野 直子, 吉田 健司：VAMP2 遺伝子変異による発作性エピソードに対してレベチラセタムが有効であった1例. 第66回日本小児神経学会学術集会, 2024. 5. 30-6. 1, 名古屋・ハイブリッド開催
8. 西林 優, 坂本 晴子, 野村 安隆, 天満 祐貴, 竹川 麻衣, 葭井 操雄：母体の生活文化様式が関与したビタミン D 欠乏性低カルシウム血症による新生児痙攣の一例. 第60回日本周産期・新生児医学会, 2024. 7. 13-15, 大阪, 現地開催
9. 舞鶴 賀奈子：X 連鎖性遺伝性疾患児をもつ家族への多職種地域連携の重要性. 第48回遺伝カウンセリング学会, 2024. 8. 2-4, 東京, 現地開催
10. 舞鶴 賀奈子：ocular myoclonus に類似した閉眼誘発性の眼球回転発作の男児例. 第57回日本てんかん学会学術集会, 2024. 9. 12-14, 博多（福岡）, 現地開催

◇研 究 会

一般演題（口演）

1. 竹下 峻希, 宇佐美 亜由子, 舞鶴 賀奈子, 芝 剛, 岩永 甲午郎：バセドウ病にネフローゼ症候群を合併した一例. 第36回奈良小児内分泌研究会, 2024. 10. 24, 橿原（奈良）, 現地開催
2. 舞鶴 賀奈子：ペランパネル内服により、睡眠の質の確保と入眠後発作減少が得られた男児例. 奈良小児神経てんかん研究会, 2025. 1. 20, 橿原（奈良）・ハイブリッド開催

皮 膚 科

◇書 籍

1. 田邊 洋：皮膚・粘膜カンジダ症. 皮膚疾患最新の治療2025-2026, pp299, 高橋 健造, 佐伯 秀久 編集, 南江堂 (東京), 2024

◇学 術 雑 誌

(欧 文)

1. Ishiai M, Tanabe H : A case of kerion celsi caused by *Trichophyton tonsurans* with dermatophytid reaction mimicking a drug eruption and endothrix infection confirmed in pathological tissue. Medical Mycology Case Reports 2024 ; doi : 10.1016/j.mmcr.2024.100691.
2. Tanabe H : A case of tinea barbae due to *Trichophyton mentagrophytes* presenting as a tumor. Medical Mycology Journal 2024 ; 65(4) : 93-98.
3. Tezuka J, Abe N, Tanabe H : Primary axillary actinomycosis : A case report on the integration of culture and molecular diagnostics for accurate diagnosis of polymicrobial infections. Microorganisms 2025 ; 13(3) : 671.

(邦 文)

4. 高田 麻由実, 田邊 洋：当初アトピー性皮膚炎と診断し、バリシチニブを2カ月半投与後に末梢性T細胞リンパ腫と診断された例. 皮膚病診療 2024 ; 46 (12) : 1111-1115.
5. 石合 誠, 高田 麻由実, 野々山 翔子, 岡本 奈都子, 田邊 洋：透析患者に生じたイオジキサノールによる多発性固定薬疹の1例. 皮膚科の臨床 2024 ; 66(10) : 1323-1326.
6. 高田 麻由実, 石合 誠, 野々山 翔子, 岡本 奈都子, 田邊 洋：慢性骨髄性白血病に対してイマチニブ投与中に生じた虚血肢の1例. 皮膚科の臨床 2024 ; 66 (11) : 1495-1498.

◇学 会

国内学会

一般演題 (口演)

1. 手塚 純子, 太田 美貴, 石合 誠, 野々山 翔子, 田邊 洋, 金森 直美, 住吉 真治, 阿部 教行, 福本 隆也：若年女性の腋窩に皮下腫瘤を形成した放線菌症の1例. 第123回日本皮膚科学会総会, 2024. 6. 6-9, 京都・ハイブリッド開催
2. 野々山 翔子, 内藤 惇, 石合 誠, 手塚 純子, 田邊 洋, 福本 隆也：モンテルカストナトリウム内服後に好酸球性多発血管炎性肉芽腫症をきたした1例. 第485回日本皮膚科学会京滋地方会, 2024. 6. 22, 京都・ハイブリッド開催
3. 石合 誠, 内藤 惇, 手塚 純子, 野々山 翔子, 田邊 洋, 福本 隆也：臀部に生じたグロムス腫瘍の1例. 第117回近畿皮膚科集談会(第504回日本皮膚科学会大阪地方会／第486回日本皮膚科学会京滋地方会), 2024. 7. 21, 京都・ハイブリッド開催
4. 太田 美貴, 安澤 数史, 山田 剛, 田邊 洋：スクアレネポキシダーゼ遺伝子に点変異

を認めた「*Trichophyton mentagrophytes*」による体部白癬の1例. 第117回近畿皮膚科集談会（第504回日本皮膚科学会大阪地方会／第486回日本皮膚科学会京滋地方会），2024. 7. 21，京都・ハイブリッド開催

5. 内藤 惇, 石合 誠, 手塚 純子, 野々山 翔子, 田邊 洋, 山田 剛, 安澤 数史：スクアレノエポキシダーゼ遺伝子に点変異を認めた塩酸テルビナフィン耐性 *T. rubrum* による体部白癬の1例. 第75回日本皮膚科学会中部支部学術大会 一般演題3, 2024. 10. 12-13, 名古屋, 現地開催
6. 石合 誠, 内藤 惇, 野々山 翔子, 手塚 純子, 田邊 洋, 福本隆也：Desmoplastic fibroblastoma の1例. 第75回日本皮膚科学会中部支部学術大会 一般演題4, 2024. 10. 12-13, 名古屋, 現地開催
7. 手塚 純子, 内藤 惇, 石合 誠, 田邊 洋：柔道競技者に生じた *Microsporum canis* による頭部白癬の1例—Wood 灯検査の有用性—. 第488回日本皮膚科学会京滋地方会, 2024. 12. 14, 大阪, 現地開催
8. 内藤 惇, 石合 誠, 手塚 純子, 田邊 洋, 福本 隆也：スペソリマブが奏効した膿疱性乾癬の1例. 第508回日本皮膚科学会大阪地方会, 2025. 3. 2, 大阪・ハイブリッド開催

◇研 究 会

特別講演・教育講演

1. 田邊 洋：実習の手順について. 第109回関西真菌懇話会／第7回真菌講習会, 2024. 7. 27, 大阪, 現地開催
2. 田邊 洋：学会発表における生物名の表記について2. 第5回顕微鏡ハンズオンセミナー, 2024. 10. 18, 大阪, 現地開催

一般演題（口演）

3. 内藤 惇, 石合 誠, 手塚 純子, 野々山 翔子, 田邊 洋, 山田 剛：スクアレノエポキシダーゼ遺伝子に点変異を認めた塩酸テルビナフィン耐性 *Trichophyton rubrum* 株による体部白癬の1例. 第109回関西真菌懇話会／第7回真菌講習会, 2024. 7. 27, 大阪, 現地開催
4. 石合 誠, 太田 美貴, 手塚 純子, 野々山 翔子, 田邊 洋, 阿部 教行, 安澤 数史, 福本 隆也：白癬疹を伴った *Trichophyton tonsurans* によるケルスス禿瘡の1例. 第109回関西真菌懇話会／第7回真菌講習会, 2024. 7. 27, 大阪, 現地開催
5. 田邊 洋：2024年に当科で経験した皮膚糸状菌症3題. 第109回関西真菌懇話会／第7回真菌講習会, 2024. 7. 27, 大阪, 現地開催
6. 内藤 惇：背部の治りにくい落屑性紅斑. Nara Dermatology Forum 2024, 2024. 9. 12, 奈良, 現地開催

消化器外科

◇学術雑誌

(欧文)

1. Morino K, Yamamoto M, Shimoike N, Iwasaki Y, Yamanaka R, Nakanishi N, Matsusue R, Machimoto T: Safety and limitations of laparoscopic total gastrectomy for gastric cancer: A comparative analysis of short and long-term outcomes with open surgery. *Anticancer Research* 2024; 44: 1759–1766.
2. Morino K, Nagatomo S, Ishida K, Ueo T, Machimoto T: Delayed-onset immune-related colitis following pancreaticoduodenectomy in patients with gastric cancer and pancreatic invasion treated with immune checkpoint inhibitors. *Cureus* 2024; 16(9): e68480.
3. Morino K, Morimura Y, Tanaka H, Machimoto T, Nakagawa T: Refractory chylous ascites leading to chylothorax following extended right hepatectomy for intrahepatic cholangiocarcinoma. *Cureus* 2024; 16(11): e73301.
4. Morino K, Kitano T, Kadokawa Y, Nakanishi N, Yamamoto M, Machimoto T: Esophagogastrectomy versus double tract reconstruction for laparoscopic proximal gastrectomy: Short-term outcomes based on nutritional parameters and Skeletal Muscle Index. *In Vivo* 2024; 38(3): 1325–1331.

〈他施設との共同研究〉

5. Narita M, Hatano E, Kitamura K, Terajima H, Kitagawa H, Mitsuoka E, Machimoto T, Morita S, Nishitai R, Masui T; Kyoto University Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery (KUHBP) Group: Clinical implications and risk factors of dilatation of remnant pancreatic duct at 1 year after pancreatoduodenectomy: A prospective, Japanese, multicenter, observational cohort study (DAIMONJI Study). *Journal of the American College of Surgeons* 2024; 239(5): 471–484.

(邦文)

6. 後藤 俊彦, 澤田 晋, 石田 董平, 高 理奈, 岩崎 雄太, 中西 望, 森野 甲子郎, 下池 典広, 田中 宏和, 松末 亮, 山本 道宏, 待本 貴文: 集学的治療により CR が得られた同時性骨転移を伴う肝細胞癌の 1 症例. *癌と化学療法* 2024; 51 (12): 1243–1245.

◇学会

国内学会

一般演題 (口演)

1. 高 理奈, 田中 宏和, 待本 貴文: 抗てんかん薬を長期内服中に出現し, 肝細胞腺腫との鑑別が困難であった限局性結節性過形成の一切除例. 第79回日本消化器外科学会総会, 2024. 7. 17–19, 山口 (下関), 現地開催
2. 八隅 大地, 森野 甲子郎, 南 竜城, 後藤 俊彦, 田中 宏和, 上尾 太郎, 待本 貴文:

ERCPによる消化管穿孔に対する治療指針の検討：当院における22例の経験から．第79回日本消化器外科学会総会，2024. 7. 17－19，山口（下関），現地開催

3. 岩崎 雄太，山本 道広，澤田 晋，石田 薫平，高 理奈，中西 望，森野 甲子郎，下池 典広，後藤 俊彦，田中 宏和，松末 亮，待本 貴文：十二指腸粘膜下腫瘍の術式想定に発泡剤服用 CT が有用であった一例．第37回日本内視鏡外科学会総会，2024. 12. 5－7，博多（福岡），現地開催

一般演題（ポスター）

4. 中西 望，森野 甲子郎，高 理奈，岩崎 雄太，下池 典広，後藤 俊彦，田中 宏和，松末 亮，山本 道宏，待本 貴文：虫垂周囲放線菌症と診断された腹腔内膿瘍治療中に発生したデスマイド腫瘍の一例．第79回日本消化器外科学会総会，2024. 7. 17－19，山口（下関），現地開催
5. 森野 甲子郎，後藤 俊彦，田中 宏和，待本 貴文：術前画像検査における腓体尾部切除後腓液瘍の危険サイン：MRI 画像における門脈－腓実質コントラスト．第51回日本腓切研究会，2024. 8. 30－31，奈良，現地開催

◇研 究 会

一般演題（口演）

1. 後藤 俊彦，澤田 晋，石田 薫平，高 理奈，岩崎 雄太，中西 望，森野 甲子郎，下池 典広，田中 宏和，松末 亮，山本 道宏，待本 貴文：UR-LA 腓頭部癌に conversion surgery を施行し，長期生存が得られている 1 症例．第44回 奈良県肝・胆・膵研究会，2024. 6. 22，奈良，現地開催
2. 森野 甲子郎：肝切除後肝不全の新規予測モデルに基づいた治療戦略：死亡数ゼロを目指して．京都肝臓サミット，2025. 3. 22，京都，現地開催
3. 森野 甲子郎：術前化学療法 Lenvatinib 治療を行った Borderline Resectable 肝細胞癌の 2 症例．第34回肝胆膵外科セミナー，2025. 3. 29，京都，現地開催

◇その他の講演

1. 山本 道宏：胃がんに対する当院での外科治療．消化器疾患医療，2024. 10. 31，天理・Web 開催
2. 松末 亮：当院の大腸癌に対する治療戦略．第10回かかりつけ医ネットワーク診療連携講演会，2025. 3. 12，天理・ハイブリッド開催

◇院内集談会

1. 田中 宏和，今枝 政喜，石本 真治，張間 智子，鶴飼 悟，丸木 芳朗：災害医療の現場と院内 DMAT の取り組み～天理 DMAT の強みは？何ができる？～．第4回くりばそ学術勉強会，2025. 1. 26，外来診療棟 5 階講堂

◇一 般 向 け

（講 演）

1. 松末 亮：腹部疾患に対する低侵襲手術について．第566回憩の家講座，2024. 10. 29，天理・ハイブリッド開催
2. 田中 宏和：防災について学ぼう DMAT って何？ 2024年度ならやま小中学校教育講

演会, 2025. 1. 17, 奈良・ハイブリッド開催

乳 腺 外 科

◇学 術 雑 誌

(邦 文)

1. 山城 大泰, 森井 奈央: BRCA2 病的バリエーション陽性乳癌患者に発生した臍癌. Tenri Medical Bulletin 2024; 27 (2): 85-91.

◇学 会

国際学会

一般演題 (ポスター)

〈他施設との共同研究〉

1. Fujimoto Y, Kawaguchi K, Maeshima Y, Ishiguro H, Yamagami K, Takahara S, Suwa H, Torii M, Nagai S, Sagara Y, Tsuji W, Yamashiro H, Kotake T, Fukuda S, Saito K, Yamamoto Y, Kataoka M, Himoto Y, Yonezawa A, Fukui Y, Nakamura Y, Wei Li, Tanaka S, Takada M, Morita S, Toi M: Gut microbiome association with dietary habits and abemaciclib-induced diarrhea: A multicenter, prospective study. American Association for Cancer Research: AACR Annual Meeting 2024, 2024.4.5-10, San Diego (USA), 現地開催
2. Fukui Y, Kawaguchi K, Maeshima Y, Fujimoto Y, Ishiguro H, Yamagami K, Takahara S, Suwa H, Torii M, Nagai S, Sagara Y, Tsuji W, Yamashiro H, Kotake T, Fukuda S, Saito K, Yamamoto Y, Kataoka M, Himoto Y, Yonezawa A, Nakamura Y, Li W, Tanaka S, Morita S, Takada M, Toi M: Deciphering the systemic immune effects of abemaciclib in recurrent metastatic breast cancer: A multicenter, prospective study. American Association for Cancer Research: AACR Annual Meeting 2024, 2024.4.5-10, San Diego (USA), 現地開催
3. Kawaguchi-Sakita N, Tsuyuki S, Kikawa Y, Taira T, Sagara T, Suwa H, Yamashiro H, Ishiguro H, Sugie T, Kataoka Y, Kudo N, Aramaki E, Ikeda T, Morita S, Toi M: Equivalence of apps and paper-based patient-reported outcome measures: From a multicenter observational study on CIPN prevention (KBCRNA 004). MASCC/AFSOS/ISOO Annual Meeting 2024, 2024.6.27-29, Lille (France), 現地開催

国内学会

一般演題（口演）

〈他施設との共同研究〉

4. 川口 展子, 露木 茂, 木川 雄一郎, 太良 哲彦, 相良 安昭, 諏訪 裕文, 山城 大泰, 石黒 洋, 杉江 知治, 片岡 裕貴, 工藤 紀子, 荒牧 英治, 森田 智視, 池田 隆文, 戸井 雅和: 臨床研究における紙とアプリでの患者報告アウトカム (PRO) の検証: CIPN 多施設共同観察研究 (KBCRNA004) から. 第32回日本乳癌学会学術総会, 2024. 7. 11-13, 仙台 (宮城) ・ハイブリッド開催

一般演題（ポスター）

5. 山城 大泰, 森井 奈央, 小林 豊樹: 両側乳房切除後, RRSO 術後に臍癌を発症した BRCA 変異陽性乳癌の 1 例. 第32回日本乳癌学会学術総会, 2024. 7. 11-13, 仙台 (宮城) ・ハイブリッド開催

◇研 究 会

一般演題（口演）

1. 森井 奈央, 山城 大泰, 小林 豊樹: 乳癌の治療中に経験した放射線誘発肉腫の一例. 奈良乳腺疾患研究会, 2024. 4. 6, 奈良, 現地開催

呼 吸 器 外 科

◇学 術 雑 誌

(邦 文)

1. Nakagawa T, Murakami H, Ohsumi Y, Miyamoto E, Gotoh M: A newly developed surgeon-controlled suction device in robotic-assisted thoracoscopic surgery. Asian Journal of Endoscopic Surgery 2024 ; 17(1) : e13273.
2. Nakagawa T, Murakami H, Miyamoto E, Ohsumi Y, Gotoh M: Clinical experience of segmentectomy of right middle lobe of lung. Tenri Medical Bulletin 2024 ; 27(1) : 19-24.
3. Kobayashi M, Nakanishi T, Morimura Y, Ohsumi Y, Miyamoto E, Hajiro T, Nakagawa T: Congenital bronchial atresia effectively treated with thoracoscopic segmentectomy: A case report. Tenri Medical Bulletin 2024 ; 27(2) : 92-97.
4. Nakagawa T, Miyamoto E, Ohsumi Y, Gotoh M, Matsuoka T, Kobayashi M, Omasa M, Okumura N: Comparison of survival between lobectomy and trisegmentectomy for clinical stage T1c-2aN0M0 non-small cell lung cancer in the left upper segment of the lung. Updates in Surgery 2024 ; doi : 10.1007/s13304-024-02007-x.
5. Nakagawa T, Ohsumi Y, Miyamoto E, Gotoh M: Surgical techniques using low-

power monopolar scissors in robotic-assisted thoracic surgery. Updates in Surgery 2025 ; doi : 10.1007/s13304-025-02099-z.

◇学会

国内学会

一般演題（口演）

1. 宮本 英, 村上 裕亮, 大角 潔, 中川 達雄: ロボット支援下肺悪性腫瘍手術導入にまつきやすい部位はどこなのか? 第41回日本呼吸器外科学会学術集会, 2024. 5. 31-6. 1, 軽井沢（長野）・ハイブリッド開催
2. 宮本 英, 村上 裕亮, 大角 潔, 後藤 正司, 中川 達雄: 手術時間短縮の試みから見たロボット支援下肺悪性腫瘍手術における da Vinci システム更改の影響と要点. 第41回日本呼吸器外科学会学術集会, 2024. 5. 31-6. 1, 軽井沢（長野）・ハイブリッド開催
3. 宮本 英, 大角 潔, 村上 裕亮, 中川 達雄: 巨大悪性孤立性線維性腫瘍の切除により ECOG PS grade 2 から grade 0 に改善が得られた症例. 第41回日本呼吸器外科学会学術集会, 2024. 5. 31-6. 1, 軽井沢（長野）・ハイブリッド開催
4. 宮本 英, 大角 潔, 村上 裕亮, 中川 達雄: 右背側胸壁に発生した粘液線維肉腫の一切除例. 第41回日本呼吸器外科学会学術集会, 2024. 5. 31-6. 1, 軽井沢（長野）・ハイブリッド開催
5. 中川 達雄, 小林 萌, 森村 祐樹, 大角 潔, 後藤 正司: ロボット支援下手術における低電気出力デバイス用いた肺葉間作成の手技. 第77回日本胸部外科学会定期学術集会, 2024. 11. 1-4, 金沢（石川）・ハイブリッド開催

〈他施設との共同研究〉

6. 西川 滋人, 豊 洋次郎, 小島 史嗣, 中西 崇雄, 河野 朋哉, 山田 義人, 土屋 恭子, 大畑 恵資, 菊地 柳太郎, 宮本 英, 中川 達雄, 宮原 亮, 大政 貢, 板東 徹, 伊達 洋至: 高悪性度胸腺上皮性腫瘍に対するリンパ節サンプリング: 多施設共同前向き研究. 第77回日本胸部外科学会定期学術集会, 2024. 11. 1-4, 金沢（石川）・ハイブリッド開催
7. 濱路 政嗣, 中川 達雄, 阪井 宏彰, 石川 将史, 大角 明宏, 宮原 亮, 青山 晃博, 片倉 浩理, 小松 輝也, 園部 誠, 小林 正嗣, 住友 亮太, 坂之上 一郎, 栢分 秀直, 西川 滋人, 田中 里奈, 豊 洋次郎, 中島 大輔, 伊達 洋至: 充実成分優位な臨床病期 IA 期非小細胞肺癌に対する葉切除と区域切除の成績 多施設共同研究. 第77回日本胸部外科学会定期学術集会, 2024. 11. 1-4, 金沢（石川）・ハイブリッド開催

一般演題（ポスター）

8. 村上 裕亮, 宮本 英, 大角 潔, 後藤 正司, 中川 達雄: ロボット支援下で切除した後縦隔ミューラー管嚢胞の1例. 第47回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2024. 6. 27-28, 大阪・ハイブリッド開催
9. 村上 裕亮, 宮本 英, 大角 潔, 後藤 正司, 中川 達雄: 肺原発滑膜肉腫の1切除例. 第47回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2024. 6. 27-28, 大阪・ハイブリッド開催
10. 宮本 英, 大角 潔, 村上 裕亮, 中川 達雄: 口腔底腺様嚢胞癌術後22年で再発をきたし

た右肺中葉転移性腫瘍の一切除例. 第47回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2024. 6. 27-28, 大阪・ハイブリッド開催

11. 村上 裕亮, 宮本 英, 大角 潔, 後藤 正司, 中川 達雄: 気管支鏡下ポリドカノール粘膜下注入, ヒストアクリルによる瘻孔閉鎖術を施行した術後気管支断端瘻の1例. 第47回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2024. 6. 27-28, 大阪・ハイブリッド開催
12. 宮本 英, 橋本 成修, 大角 潔, 村上 裕亮, 中川 達雄: 肺腺癌 stage IVB, 左片肺依存のなか中枢気道狭窄を気管支鏡下 APC で解除し長期生存に繋げた1例. 第47回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2024. 6. 27-28, 大阪・ハイブリッド開催

◇研 究 会

一般演題 (口演)

1. 中川 達雄: 困難症例—中葉温存の意義. 第4回 Kyoto Thoracic Surgical Conference, 2024. 11. 30, Web 開催

脳 神 経 外 科

◇学 術 雑 誌

(欧 文)

1. Yoshida S, Fujimoto M, Shimizu K, Ogata H, Yamashita H, Akiyama Y, Tani S: Stent retriever deployment tracing susceptibility vessel sign in the M2 branch predicts the effective first-pass reperfusion in thrombectomy for M1 occlusion. World Neurosurgery 2024 ; 187 : e485-e493.
2. Kashiwagi S, Tanji M, Matsuoka T, Sano N, Ozasa H, Natori D, Takeuchi Y, Makino Y, Yamamoto Hattori E, Terada Y, Mineharu Y, Arakawa Y: Trochlear nerve schwannoma with concomitant osimertinib-responsive stage IV lung adenocarcinoma: Illustrative case. Journal of Neurosurgery. Case Lessons. 2024 ; 8(7): CACE 24144.

◇学 会

国内学会

特別企画 (シンポジウム・パネルディスカッション)

1. 藤本 基秋, 清水 寛平, 緒方 秀樹, 山下 北斗, 吉田 正太, 柏木 駿也, 秋山 義典, 谷 正一: 頚動脈ステント留置術が及ぼす眼球再灌流リスク～頚動脈内膜剥離術との比較を中心に～. 第40回 JSNET 日本脳神経血管内治療学会, 2024. 11. 21-23, 熊本, 現地開催

一般演題 (口演)

2. 柏木 駿也, 佐野 徳隆, 牧野 恭秀, 山本 悦子, 寺田 行範, 丹治 正大, 峰晴 陽平,

荒川 芳輝：内視鏡下経鼻生検術により診断した海綿静脈洞部悪性リンパ腫の一例．第85回日本脳神経外科学会近畿支部学術集会，2024. 4. 6，豊中（大阪），現地開催

3. 藤本 基秋，清水 寛平，緒方 秀樹，山下 北斗，吉田 正太，柏木 駿也，秋山 義典，谷 正一：頸動脈血行再建術が及ぼす眼球再灌流のリスク．日本脳神経外科学会第83回学術総会，2024. 10. 16－18，横浜・ハイブリッド開催
4. 谷 正一，柏木 駿也，吉田 正太，山下 北斗，緒方 秀樹，藤本 基秋：血管内治療にて塞栓術を施行した再発慢性硬膜下血腫の14例．第48回日本脳神経外傷学会，2025. 2. 21－22，東京，現地開催
5. 藤本 基秋，緒方 秀樹，山下 北斗，吉田 正太，柏木 駿也，谷 正一：脳卒中对応を行った急性大動脈解離を診断する．STROKE 2025，2025. 3. 6－8，大阪・ハイブリッド開催

一般演題（ポスター）

6. 緒方 秀樹，藤本 基秋，山下 北斗，吉田 正太，柏木 駿也，谷 正一：血栓回収術を繰り返した再発脳梗塞症例の分析．STROKE 2025，2025. 3. 6－8，大阪・ハイブリッド開催

◇研 究 会

一般演題（口演）

1. 吉田 正太，藤本 基秋，清水 寛平，緒方 秀樹，山下 北斗，柏木 駿也，谷 正一：susceptibility vessel sign に沿った stent retriever の展開が first-pass reperfusion を予測する．奈良京都フレンドシップカンファ，2024. 9. 1，奈良，現地開催
2. 藤本 基秋，緒方 秀樹，清水 寛平，山下 北斗，吉田 正太，柏木 駿也，谷 正一：テント部硬膜動静脈瘻の症例．第13回東海脳神経 IVR カンファレンス，2025. 2. 15，名古屋，現地開催
3. 柏木 駿也，藤本 基秋，吉田 正太，山下 北斗，緒方 秀樹，谷 正一：前頭蓋底から鼻腔に及ぶ腫瘍の一例．第337回荒木千里脳外科症例検討研究会，2025. 2. 18，Web 開催

心臓血管外科

◇学 術 雑 誌

（欧 文）

1. Obayashi Y, Miyake M, Takegami M, Amano M, Kitai T, Fujita T, Koyama T, Tanaka H, Ando K, Komiya T, Izumo M, Kawai H, Eishi K, Yoshida K, Kimura T, Nawada R, Sakamoto T, Shibata Y, Fukui T, Minatoya K, Tsujita K, Sakata Y, Fukuzawa M, Uehara K, Tamura T, Nishimura K, Furukawa Y, Izumi C ; BPV-AF Registry Group : Bioprosthetic valve positions in patients with atrial fibrillation-

Insights from the BPV-AF Registry. Circulation Reports 2024 ; 6(11) : 521–528.

2. Nakatsu T, Suenaga E, Kitagata Y : Clover stitch technique for aortic valve in mitral valve repair. General thoracic and cardiovascular surgery. General Thoracic and Cardiovascular Surgery 2024 ; 72(7) : 495–497.
3. Uehara K, Shirakami T, Arai Y : Surgical explantation for a rapid deployment valve : The ‘shave-and-hook technique’. Interdisciplinary CardioVascular and Thoracic Surgery 2024 ; 38(5) : ivae072.
4. Nakatsu T, Suenaga E, Kitagata Y : Extending Line for minimizing Air emboli BETWEEN perfusion branch and left ventricular vent (ELIZABETH) circuit for minimally invasive cardiac surgery. JTCVS Techniques 2024 ; 26 : 70–72.

◇学 会

国際学会

一般演題（ポスター）

1. Hara H, Kanemitsu N, Sugita Y, Yano K, Takimoto S, Minatoya K : Efficacy of aortic valve resuspension for aortic regurgitation following dissection of aortic root in acute Type A aortic dissection. The 2024 AATS Aortic Symposium, 2024.4.25–26, New York (USA) ・ハイブリッド開催
2. Tsuji T, Shirakami T, Hara H, Hamuro M, Nakatsu T, Uehara K : Surgical and short-term outcomes of partial aortic arch replacement with 2-branched Vascular Graft Prosthesis in patients with acute type A aortic dissection. STS-ASCVTS Aortic Summit 2024, 2024.11.14–16, Tokyo (Japan), 現地開催
3. Hara H, Uehara K, Shirakami T, Hamuro M, Tsuji T, Nakatsu T : Open repair for extensive aortic arch aneurysms. STS-ASCVTS Aortic Summit 2024, 2024.11.14–16, Tokyo (Japan), 現地開催
4. Uehara K, Shirakami T, Hiroyuki Hara, Hamuro M, Tsuji T, Nakatsu T : Perioperative and long-term outcomes of redo aortic root replacement following previous cardiac surgery. STS-ASCVTS Aortic Summit 2024, 2024.11.14–16, Tokyo (Japan), 現地開催

国内学会

特別企画（シンポジウム・パネルディスカッション）

5. 上原 京勲 : 外科医の急性大動脈解離に対するこだわり. 第10回大動脈解離シンポジウム, 2024. 11. 23, 東京, 現地開催

一般演題（口演）

6. 上原 京勲, 白神 拓, 小曳 純平, 辻 崇, 森島 学, 新井 善雄 : Endovascular 時代での高齢者腹部大動脈瘤に対する人工血管置換術. 第52回日本血管外科学会学術総会, 2024. 5. 29–31, 別府 (大分), 現地開催
7. 森島 学, 白神 拓, 小曳 純平, 辻 崇, 上原 京勲, 新井 善雄 : 当院における上行大動脈瘤に対する手術成績及び遠隔期成績. 第52回日本血管外科学会学術総会, 2024.

5. 29-31, 別府 (大分), 現地開催

8. 小曳 純平, 上原 京勲, 森島 学, 辻 崇, 白神 拓, 谷口 尚範, 新井 善雄: 腹部大動脈ステントグラフト内挿術後の腹部大動脈瘤拡大および縮小についての検討. 第52回日本血管外科学会学術総会, 2024. 5. 29-31, 別府 (大分), 現地開催
9. 白神 拓, 上原 京勲, 森島 学, 辻 崇, 小曳 純平, 新井 善雄: Antero-Lateral thoracotomy with Partial Sternotomy (ALPS) Approach の2症例. 第67回関西胸部外科学会学術集会, 2024. 6. 13-14, 大阪, 現地開催
10. 原 寛幸, 上原 京勲, 白神 拓, 羽室 護, 辻 崇, 中津 太郎: 急性A型大動脈解離における大動脈弁交連部吊り上げの長期成績. 第55回日本心臓血管外科学会学術総会, 2025. 2. 20-21, 下関 (山口), 現地開催
11. 羽室 護, 上原 京勲, 白神 拓, 原 寛幸, 辻 崇, 中津 太郎: Impella 導入前後での心室中隔穿孔に対する修復術の成績比較. 第55回日本心臓血管外科学会学術総会, 2025. 2. 20-21, 下関 (山口), 現地開催
12. Tsuji T, Shirakami T, Hara H, Hamuro M, Nakatsu T, Uehara K: Surgical and short-term outcomes of partial aortic arch replacement with 2-branched Vascular Graft Prosthesis in patients with acute type A aortic dissection. 第55回日本心臓血管外科学会学術総会, 2025. 2. 20-21, 下関 (山口), 現地開催
13. 白神 拓, 原 寛幸, 羽室 護, 辻 崇, 中津 太郎, 上原 京勲: 反復する脳梗塞を生じる腕頭動脈瘤に対して, Brain isolation 法にて脳合併症を回避した1症例. 第38回日本血管外科学会近畿地方会, 2025. 3. 15, 和歌山, 現地開催
14. Tsuji T, Shirakami T, Hara H, Hamuro M, Nakatsu T, Uehara K: TEVAR 後の巨大胸部下行大動脈を有する解離性胸腹部大動脈瘤に対し中枢側吻合時に大動脈バルーンオクルージョンを行った1手術例. 第38回日本血管外科学会近畿地方会, 2025. 3. 15, 和歌山, 現地開催

(2023年度追加)

15. 上原 京勲, 白神 拓, 小曳 純平, 辻 崇, 森島 学, 新井 善雄: 脳 malperfusion を伴う急性A型大動脈解離に対する早期頸動脈灌流. 第54回日本心臓血管外科学会学術総会, 2024. 2. 22-24, 浜松 (静岡), 現地開催

◇研 究 会

一般演題 (口演)

1. 原 寛幸, 白神 拓, 羽室 護, 辻 崇, 中津 太郎, 上原 京勲: 大動脈弓部の複雑病変に対する一期的手術治療の成績. 第21回比叡山ワークショップ, 2024. 6. 1, 京都, 現地開催
2. 羽室 護, 白神 拓, 原 寛幸, 辻 崇, 中津 太郎, 上原 京勲: 心筋梗塞後心室中隔穿孔に対してImpellaを使用し待機的に修復術を行った2例. 第19回 NARA CardioVascular Conference, 2024. 9. 7, 奈良, 現地開催
3. 上原 京勲: 大動脈疾患に対する再手術. エチコン 2024年 Webinar, 当院の大血管手術における止血戦略, 2024. 11. 27, 京都・Web 開催

産 婦 人 科

◇学 術 雑 誌

(邦 文)

1. 山岡 侑介, 住友 理浩, 上林 翔大, 今竹 ひかる, 大月 美輝, 信正 智輝: “Floating balls sign” という特徴的な画像所見を示した成熟奇形腫の一例. 公立豊岡病院紀要 2024; 35: 15-19.

◇学 会

国際学会

一般演題 (ポスター)

〈他施設との共同研究〉

1. Matsumura N, Sumitomo M, Abiko K: Cure after remission of recurrent ovarian cancer; Multicenter retrospective study. Asian Society Gynecologic Oncology annual congress 2024, 2024.11.29-12.1, Bali (Indonesia), 現地開催

国内学会

特別講演・教育講演

2. 住友 理浩: 進行卵巣癌における薬物療法一日々の CQ から考える一. 第150回近畿産婦人科学会学術集会, 2024. 6. 15-16, 奈良, 現地開催

特別企画 (シンポジウム・パネルディスカッション)

〈他施設との共同研究〉

3. 古武 陽子, 伊藤 美幸, 三好 さゆり, 石田 憲太郎, 安堂 有希子, 砂田 真澄, 山西 優紀夫, 安彦 郁, 住友 理浩, 堀江 昭史, 万代 昌紀: 110名の産休・育休アンケート結果から見てきた「働き方改革」推進に向けての課題. 第37回日本内視鏡外科学会総会, 2024. 12. 5-7・12. 20-2025. 1. 31, 福岡・ハイブリッド開催

一般演題 (口演)

4. 西山 大喜, 小松 摩耶, 猪早 阿紗子, 高倉 賢人, 山口 綾香, 千草 義継, 最上 晴太, 万代 昌紀: 前期破水の双胎に delayed interval delivery (DID) を行った1例. 第150回近畿産婦人科学会学術集会, 2024. 6. 15-16, 奈良, 現地開催
5. 小野 真彩, 多賀 敦子, 大谷 遼子, 中川 渥裕, 多賀 悠希子, 林 真麻子, 中村 彩加, 李 泰文, 金 共子, 藤田 浩平: 子宮頸部の検査加療を行なった若年症例の HPV ワクチン接種歴と転帰. 第150回近畿産科婦人科学会総会ならびに学術集会, 2024. 6. 15-16, 奈良, 現地開催
6. 住友 理浩, 植田 彰彦, 富田 裕之, 松原 慕慶, 関山 健太郎, 浮田 真沙世, 奥立 みなみ, 山西 優紀夫, 多賀 敦子, 江本 郁子, 松村 謙臣: 再発卵巣癌患者における, 寛解後無病生存に関する多施設後方視的検討. 第66回日本婦人科腫瘍学会学術集会, 2024. 7. 18-20, 鹿児島, 現地開催
7. 西山 大喜, 宇治田 麻里, 松下 克子, 富田 祐之, 田中 梓葉, 川本 佳与子, 田中 有

紀, 住友 理浩: 当院での帝王切開術後疼痛に対する腹横筋膜面ブロック (TAP ブロック) による鎮痛効果の検討. 令和 6 年度奈良県産婦人科医会学術講演会, 2024. 8. 31, 奈良, 現地開催

8. 西山 大喜, 砂田 真澄, 嶋村 卓人, 北村 幸子, 滝 真奈, 山ノ井 康二, 村上 隆介, 山口 建, 堀江 昭史, 濱西 潤三, 万代 昌紀: 右心房流入部まで進展した血管内平滑筋腫の 1 例を含む, 静脈内平滑筋腫症 3 症例の術式検討. 第47回日本産婦人科手術学会, 2024. 11. 23-24, 岡山, 現地開催

〈他施設との共同研究〉

9. 松原 慕慶, 大谷 知之, 川上 史, 三上 芳喜, 小山 御咲, 平山 貴裕, 堀川 直城, 佐藤 浩, 江本 郁子, 芦原 隆仁, 山西 優紀夫, 住友 理浩, 安彦 郁, 松村 謙臣: 本邦での子宮頸部腺癌における Silva 分類が治療選択に有用である可能性について. 第66回日本婦人科腫瘍学会学術集会, 2024. 7. 18-20, 鹿児島, 現地開催
10. 安彦 郁, 江本 郁子, 森吉 弘毅, 住友 理浩, 東山 希実, 竹原 和宏, 川村 温子, 山内 綱大, 日野 麻世, 堀川 直城, 新倉 仁, 三木 通保, 本原 剛志, 巽 啓司, 松村 謙臣: 卵巣未熟奇形腫の診断: 成熟奇形腫や混合性胚細胞腫瘍との鑑別について. 第62回がん治療学会学術集会, 2024. 10. 24-26, 福岡, 現地開催

一般演題 (ポスター)

11. Nishiyama D, Hamanishi J, Murakami K, Shirakashi M, Yamaguchi K, Taki M, Sunada M, Yamanoi K, Murakami R, Mandai M: A case of cytokine release syndrome after pembrolizumab for advanced cervical cancer. 第62回日本癌治療学会学術集会, 2024. 10. 24-26, 福岡, 現地開催

〈他施設との共同研究〉

12. 江本 郁子, 安彦 郁, 川村 温子, 東山 希実, 芦原 隆仁, 山内 綱大, 住友 理浩, 山西 優紀夫, 松原 慕慶, 三木 通保, 松村 謙臣: 卵巣未熟奇形腫と診断された168例についての臨床病理学的検討. 第66回日本婦人科腫瘍学会学術集会, 2024. 7. 18-20, 鹿児島, 現地開催

◇研 究 会

特別企画 (シンポジウム・パネルディスカッション)

1. 住友 理浩: 悪性腫瘍に対する縮小手術の実際—アンケート報告—. 第17回温知会サマータクリニカルフォーラム, 2024. 8. 25, 京都・ハイブリッド開催

一般演題 (口演)

2. 富田 裕之, 田中 有紀, 川本 佳与子, 田中 梓葉, 宇治田 麻里, 松下 克子, 住友 理浩: 鏡視下仙骨腔固定術に対する術前腹部超音波による岬角前面血管の評価の取り組み. 第20回奈良産婦人科手術手技研究会, 2024. 4. 26, 橿原 (奈良), 現地開催
3. 西山 大喜, 富田 裕之, 小野 真彩, 川本 佳与子, 田中 梓葉, 松下 克子, 宇治田 麻里, 住友 理浩: 原発不明の深部ダグラス窩腫瘍が卵管癌の転移であった一例. 第15回婦人科腫瘍疾患研究会, 2025. 3. 15, 奈良, 現地開催

◇その他の講演

1. 住友 理浩：2024年度母体保護法指定医師研修会伝達講習会. 2024年度母体保護法指定医師研修会, 2024. 4. 4, 橿原（奈良）, 現地開催
2. 住友 理浩：進行卵巣癌における薬物療法＝日々のCQから考える＝. Nara Summer Forum, 2024. 6. 29, 奈良, 現地開催
3. 住友 理浩：当科における遺伝性腫瘍の診療について. 令和6年度診療連携講演会, 2025. 3. 12, 天理・ハイブリッド開催

◇院内集談会

1. 住友 理浩：レジデント講義（婦人科疾患）. レジデント講義, 2024. 5. 10, 東西病棟4階画像カンファレンス室1, 現地開催
2. 西山 大喜, 住友 理浩：リンパ浮腫. 他職種カンファレンス, 2024. 11. 14, 東西病棟4階画像カンファレンス室1, 現地開催
3. 住友 理浩：NIPTについて. 病棟勉強会, 2025. 1. 29, 東西病棟4階画像カンファレンス室1, 現地開催

◇一般向け

（雑誌・書籍）

1. 住友 理浩：女性のからだ1－妊娠の成立・妊娠およびその関連疾患－. みちのだい 2024；209：60－69.
2. 住友 理浩：女性のからだ－妊娠中の疾患について－. みちのだい 2024；210：56－65.
（講演）
3. 住友 理浩：がんの早期発見と予防～個人のリスクを正しく評価する～. 令和6年県民公開講座 女性のための健康講座, 2025. 3. 2, 奈良, 現地開催

眼 科

◇学会

国内学会

一般演題（ポスター）

1. 日名 実咲, 阪本 知暁, 松原 英紀, 西脇 弘一：COVID-19流行前後における当院でのロービジョン外来患者数の推移. 第65回日本視能矯正学会, 2024. 11. 2－3, 宇都宮（栃木）・現地開催

◇研究会

一般演題（口演）

1. 阪本 知暁, 西脇 弘一：天理よろづ相談所病院における硝子体注射と働き方改革. 奈良県眼科医会第16回医療機関連携集談会, 2024. 4. 27, 橿原（奈良）, 現地開催

2. 溝口 周作, 西脇 弘一: 黄斑部所見から診断できた HTLV-1 関連ぶどう膜炎の 1 例. 第32回奈良県黄斑疾患研究会, 2024. 6. 27, 奈良, 現地開催
3. 小松 佳史, 阪本 知暲, 西脇 弘一: 網膜外層障害より梅毒感染が明らかとなった Acute syphilitic posterior placoid chorioretinitis の一例. 第33回奈良県黄斑疾患研究会, 2024. 10. 3, 奈良, 現地開催
4. 溝口 周作: 異なる経過を示した転移性脈絡膜腫瘍の 3 例. 第64回奈良県眼科医会学術定例会, 2024. 12. 1, 橿原 (奈良), 現地開催
5. 溝口 周作: Fuchs 虹彩異色性虹彩毛様体炎の 1 例. 第65回奈良県眼科医会学術定例会, 2025. 2. 9, 橿原 (奈良), 現地開催

◇院内集談会

1. 阪本 知暲: 眼底と全身疾患. 令和 6 年度天理よろづ相談所学術発表会, 2025. 2. 6, 外来診療棟 5 階講堂

耳 鼻 咽 喉 科

◇学 術 雑 誌

(欧 文)

1. Kinoshita M, Okano T, Tona Y, Yamazaki H, Omori K: Clinical manifestation of sensorineural hearing loss as an extraintestinal complication of inflammatory bowel disease. *International Journal of Practical Otolaryngology* 2024 ; 7 : e38–e45.
〈他施設との共同研究〉
2. Hasebe K, Kojima T, Okanoue Y, Yuki R, Yamamoto H, Otsuki S, Fujimura S, Hori R: Novel evaluation method for facial nerve palsy using 3 D facial recognition system in iPhone. *Auris, Nasus, Larynx* 2024 ; 51(3) : 460–464.
3. Ushiro K, Watanabe Y, Kishimoto Y, Kawai Y, Fujimura S, Asato R, Tsujimura T, Hori R, Kumabe Y, Yasuda K, Tamaki H, Iki T, Kitani Y, Kurata K, Kojima T, Takata K, Kada S, Takebayashi S, Shinohara S, Hamaguchi K, Miyazaki M, Ikenaga T, Maetani T, Harada H, Haji T, Omori K: Complications including dysphagia following transoral non-robotic surgery for pharyngeal and laryngeal squamous cell carcinoma: A retrospective multicenter study. *Auris, Nasus, Larynx* 2024 ; 51(3) : 575–582.
4. Ushiro K, Watanabe Y, Kishimoto Y, Kawai Y, Fujimura S, Asato R, Tsujimura T, Hori R, Kumabe Y, Yasuda K, Tamaki H, Iki T, Kitani Y, Kurata K, Kojima T, Takata K, Kada S, Takebayashi S, Shinohara S, Hamaguchi K, Miyazaki M, Ikenaga T, Maetani T, Harada H, Haji T, Omori K: A multicenter retrospective

study on neck dissection and adjuvant radiotherapy with transoral surgery for hypopharyngeal squamous cell carcinoma. *Auris, Nasus, Larynx* 2024 ; 51(6) : 956–963.

5. Kimura T, Ota I, Uemura H, Shoji K, Kojima T, Kirita T, Nario K, Miyazaki M, Yane K, Okamoto H, Shimizu N, Miyahara H, Kitahara T : Epidemiological trends in head and neck cancer in Nara Prefecture, Japan, from 2000–2021 : The impact of the COVID-19 pandemic. *Auris, Nasus, Larynx* 2025 ; 52(1) : 59–65.
6. Tsukamoto S, Kawabata K, Kawamura H, Takata K, Hosono M : Differentiating brown tumor from bone metastasis in parathyroid cancer using 18 F-FDG PET and 99 m Tc-MIBI SPECT. *Clinical Nuclear Medicine* 2024 ; 49(5) : 444–446.
7. Ushiro K, Watanabe Y, Kishimoto Y, Kawai Y, Fujimura S, Asato R, Tsujimura T, Hori R, Kumabe Y, Yasuda K, Tamaki H, Iki T, Kitani Y, Kurata K, Kojima T, Takata K, Kada S, Takebayashi S, Shinohara S, Hamaguchi K, Miyazaki M, Ikenaga T, Maetani T, Harada H, Haji T, Omori K : Impact of cervical lymph node metastasis on transoral surgery for hypopharyngeal squamous cell carcinoma : A retrospective multicenter study. *Head & Neck* 2024 ; 46(8) : 1913-1921.
8. Katsura A, Kaneshiro S, Hiraumi H, Obara M, Tamura A, Shiga K, Yoshioka K : Investigation of the positional relationship between the tympanic segment of the chorda tympani and the incus in patients with otosclerosis or middle ear anomalies using ultra-high resolution computed tomography. *Radiology Research and Practice* 2025 ; doi : 10.1155/rrp/9486057.

(邦 文)

9. 平海 晴一 : 【第一線のエキスパートが教える耳科・鼻科における術前プランニングと手術テクニック】 外耳道後壁削除・乳突非開放型鼓室形成術 軟性再建・乳突充填なし. *ENTONI* 2024 ; 302 : 35–41.
10. 岡上 雄介 : 耳下腺腫瘍手術における顔面神経頰骨枝からの逆行性アプローチ. *耳鼻咽喉科臨床* 2024 ; 117 (4) : 304–305.
11. 高田 晋明, 隈部 洋平, 岡上 雄介, 大槻 周也, 大江 健吾, 樽井 彬人, 五百倉 大輔, 児嶋 剛 : 傍咽頭間隙に生じた悪性骨化性線維粘液性腫瘍例. *耳鼻咽喉科臨床* 2024 ; 117 (5) : 443–447.
12. 小田 詩織, 山本 典生, 岡野 高之, 西村 幸司, 十名 洋介, 大森 孝一 : 初回術後9年目に再手術を行った鼓室型グロームス腫瘍例. *耳鼻咽喉科臨床* 2025 ; 118 (1) : 21–27.
13. 平海 晴一 : 難聴に対する治療と人工聴覚器. *奈良県医師会医学会年報* 2024 ; 37(1) : 9–13.
14. 平海 晴一 : 難聴の治療と認知症への影響. *天理医学紀要* 2024 ; 27 (2) : 118–124.
〈他施設との共同研究〉
15. 樽井 彬人, 岡上 雄介, 大槻 周也, 高田 晋明, 五百倉 大輔, 児嶋 剛 : 側頸嚢胞再発

術後に診断に至った p16陽性中咽頭癌頸部リンパ節転移例. 耳鼻咽喉科臨床 2024 ; 117 (7) : 663-670.

◇学会

国内学会

特別企画 (シンポジウム・パネルディスカッション)

1. 平海 晴一：耳科手術 合併症とその対応 脈管. 第34回日本耳科学会総会・学術講演会, 2024. 10. 2-5, 名古屋, 現地開催
2. 児嶋 剛, 堀 龍介, 小田 詩織, 田口 敦士, 平海 晴一, 岡上 雄介, 大槻 周也：唾液腺腫瘍—診断・治療の最前線 術前診断—振動デバイスによる穿刺吸引細胞診—. 第68回日本唾液腺学会総会・学術集会, 2024. 12. 7, 東京, 現地開催

一般演題 (口演)

3. 小田 詩織, 児嶋 剛, 岡上 雄介, 大槻 周也, 高田 晋明, 倉田 耀介, 五百倉 大輔, 平海 晴一：リニア振動を用いた小型デバイスによる唾液腺の穿刺吸引細胞診. 第48回日本頭頸部癌学会, 2024. 6. 20-21, 浜松 (静岡), 現地開催
4. 大槻 周也, 堀 龍介, 玉木 久信, 藤原 崇志, 岸本 曜, 鈴木 千晶, 若杉 哲郎, 牛呂 幸司, 安田 佳織, 嘉田 真平, 大森 孝一：リアルワールドにおける免疫チェックポイント阻害薬の選択と治療成績. 第34回日本頭頸部外科学会総会ならびに学術講演会, 2025. 1. 30-31, 東京, 現地開催
5. 児玉 汐梨：経下顎窩アプローチを行った真珠腫の一例. 第34回日本頭頸部外科学会総会ならびに学術講演会, 2025. 1. 30-31, 東京, 現地開催

〈他施設との共同研究〉

6. 細谷 誠, 我那覇 章, 吉村 豪兼, 森田 由香, 高橋 邦行, 山岸 達矢, 松本 希, 藤田 岳, 美内 慎也, 赤井 亮, 白井 杏湖, 樫尾 明憲, 土井 勝美, 大平 乃理子, 伊藤 吏, 後藤 崇成, 高橋 昌寛, 高橋 真理子, 高橋 優宏, 小森 学, 山内 大輔, 本蔵 陽平, 平海 晴一, 綾仁 悠介, 岡田 昌浩, 山本 典生, 池園 哲郎, 松田 帆, 宇佐美 真一, 萩森 伸一, 中川 尚志, 大石 直樹, 東野 哲也, 神崎 晶：聴力改善手術が患者 QOL に及ぼす影響 邦訳版 QOL 質問票を用いた検討 (第3報). 第34回日本耳科学会総会・学術講演会, 2024. 10. 2-5, 名古屋, 現地開催
7. 西村 幸司, 山崎 博司, 十名 洋介, 久田 聖, 平海 晴一, 大森 孝一：斜台に進展した錐体部真珠腫に対して transotic approach で摘出した一例. 第34回日本耳科学会総会・学術講演会, 2024. 10. 2-5, 名古屋, 現地開催
8. 米本 清, 鈴木 万達, 亀井 昌代, 池田 怜吉, 平海 晴一, 志磨村 早紀, 畠山 恵, 北 義子, 中村 理, 岩田 貴之, 小林 陽祐：語音検査用音源に関する基礎研究1 単音節検査語音音源の検討と語表に含まれる語音. 第69回日本聴覚医学会総会・学術講演会, 2024. 10. 23-25, 東京・ハイブリッド開催
9. 中村 理, 米本 清, 鈴木 万達, 亀井 昌代, 池田 怜吉, 平海 晴一, 柳澤 瞳, 志磨村 早紀, 北 義子, 岩田 貴之, 小林 陽佑, 前田 博史：語音検査用音源に関する基礎研究2 単音節検査語音音源とマルチトーカーノイズ音源の作成. 第69回日本聴覚医学会総会・学

術講演会, 2024. 10. 23-25, 東京・ハイブリッド開催

10. 鈴木 万達, 亀井 昌代, 池田 怜吉, 平海 晴一, 米本 清, 中村 理, 岩田 貴之, 小林 陽佑: 語音検査用音源に関する基礎研究 4 年齢の違いが雑音下語音明瞭度に与える影響. 第69回日本聴覚医学会総会・学術講演会, 2024. 10. 23-25, 東京・ハイブリッド開催
一般演題 (ポスター)
11. 高田 晋明, 岡上 雄介, 大槻 周也, 児嶋 剛: 甲状腺片葉切除における術後甲状腺機能への影響. 第36回日本内分泌外科学会総会, 2024. 5. 23-25, 久留米 (福岡), 現地開催
12. 安田 大志, 末廣 篤, 北田 有氏, 岩永 健, 鈴木 千晶, 藤村 真太郎, 本多 啓吾, 児島 剛, 岸本 曜, 大森 孝一: DPYD 遺伝子異常を認めた舌癌の 1 例. 第48回日本頭頸部癌学会, 2024. 6. 20-21, 浜松 (静岡), 現地開催
13. 大槻 周也, 岡上 雄介, 小田 詩織, 高田 晋明, 倉田 耀介, 五百倉 大輔, 平海 晴一: 術中心停止により一期的再建を断念し二期的有茎皮弁再建で経口摂取を得た下咽頭癌の 1 例. 第86回耳鼻咽喉科臨床学会総会・学術講演会, 2024. 6. 28-29, 福井, 現地開催
<他施設との共同研究>
14. 日下 尚裕, 志賀 清人, 片桐 克則, 平海 晴一, 齋藤 大輔: 側頭骨原発巨細胞腫の 1 例. 第86回耳鼻咽喉科臨床学会総会・学術講演会, 2024. 6. 28-29, 福井, 現地開催

◇研 究 会

一般演題 (口演)

1. 小田 詩織: 拡大前頭洞手術を施行した前頭洞嚢胞の 1 例. 第26回北和耳鼻咽喉科病診連携講習会, 2024. 7. 20, 奈良・Web 開催
2. 安田 大志: 当科での人工内耳への取り組み. 第26回北和耳鼻咽喉科病診連携講習会, 2024. 7. 20, 奈良・Web 開催
3. 児玉 汐梨: 心停止に至った急性喉頭蓋炎の 1 例. 第26回北和耳鼻咽喉科病診連携講習会, 2024. 7. 20, 奈良・Web 開催
4. 木下 萌美: 14年を経て再燃し根治術を施行した下咽頭梨状窩瘻の 1 例. 第26回北和耳鼻咽喉科病診連携講習会, 2024. 7. 20, 奈良・Web 開催
5. 大槻 周也: 当科での頭頸部癌に対する鏡視下手術およびロボット手術への取り組み. 第26回北和耳鼻咽喉科病診連携講習会, 2024. 7. 20, 奈良・Web 開催
6. 高田 晋明: 海綿静脈洞血栓症を併発した急性副鼻腔炎の 1 例. 第26回北和耳鼻咽喉科病診連携講習会, 2024. 7. 20, 奈良・Web 開催
7. 小田 詩織: 急性感音難聴を契機に診断に至った Cogan 症候群の 1 例. 第26回北和耳鼻咽喉科病診連携講習会, 2024. 7. 20, 奈良・Web 開催
8. 児玉 汐梨: 経下顎窩アプローチを行った真珠腫の 1 例. 第26回北和耳鼻咽喉科病診連携講習会, 2024. 7. 20, 奈良・Web 開催
9. 平海 晴一: 解剖の知識と画像診断に基づいた耳科手術戦略. 第 4 回好酸球性副鼻腔炎 Total Management Seminar, 2024. 10. 12, 大阪, 現地開催
10. 大槻 周也: 天理よろづ相談所病院での頭頸部がんに対する取り組み. 第98回奈良県耳鼻咽喉科講習会, 2024. 10. 19, 奈良, 現地開催

11. 平海 晴一：「耳が遠い」患者への治療と認知症予防. 第9回かかりつけ医ネットワーク診療連携講演会, 2024. 10. 31, 天理・ハイブリッド開催
12. 大槻 周也：リアルワールドにおける免疫チェックポイント阻害薬の選択と治療成績. 第46回京都耳鼻咽喉科研究会, 2024. 12. 7, 京都, 現地開催
13. 小田 詩織, 児嶋 剛, 岡上 雄介, 大槻 周也, 高田 晋明, 倉田 耀介, 五百倉 大輔, 平海 晴一：リニア振動を用いた小型デバイスによる唾液腺の穿刺吸引細胞診. 第46回京都耳鼻咽喉科研究会, 2024. 12. 7, 京都, 現地開催
14. 児玉 汐梨：急性中耳炎から内耳炎・髄膜炎をきたし内耳線維化に至った1例. 第16回東和耳鼻咽喉科医療講習会, 2025. 2. 22, 奈良, 現地開催
15. 木下 萌美：高齢者頭頸部癌の検討. 第16回東和耳鼻咽喉科医療講習会, 2025. 2. 22, 奈良, 現地開催
16. 高田 晋明：頭頸部神経鞘腫手術症例の検討. 第16回東和耳鼻咽喉科医療講習会, 2025. 2. 22, 奈良, 現地開催

形 成 外 科

◇学 会

国内学会

特別企画（シンポジウム・パネルディスカッション）

〈他施設との共同研究〉

1. 澤良木 詠一, 野田 和男, 河合 勝也, 川端 慎吾, 森本 尚樹 ほか：慢性創傷へのアプローチ：シルクエラスチンスポンジの慢性創傷に対する有効性. 第33回日本形成外科学会基礎学術集会, 2024. 10. 17-19, 東京・ハイブリッド開催

◇研 究 会

一般演題（口演）

1. 寺井 勇, 仲野 孝史, 野田 和男：A群溶連菌による壊死性筋膜炎が四肢・体幹に多発した一例. 第38回奈良形成外科研究会, 2025. 2. 7, 奈良, 現地開催

整 形 外 科

◇学 会

国際学会

(2023年度追加)

1. Seki K: Insufficient blood flow in the radiculomedullary artery may cause ischemic myelopathy. 14th Annual Meeting of Cervical Spine Research Society Asia Pacific Section (CSRS-AP 2024), 2024.3.22-24, Singapore, 現地開催

一般演題 (ポスター)

2. Tomizawa T, Ito H, Takaoka Y, Kobayashi T, Seki K: Effects of autoimmune diseases and Staphylococcus aureus on orthopedic infection surgery. 44th SICOT Orthopaedic World Congress, 2024.9.25-27, Belgrade (Serbia), 現地開催

国内学会

一般演題 (口演)

3. 関 賢二: Insufficient blood flow in the radiculomedullary artery may cause ischemic myelopathy. 第53回脊椎脊髄病学会学術集会, 2024. 4. 18-20, 横浜, 現地開催
4. 高岡 佑輔, 藤林 俊介, 後藤 公志, 大槻 文悟, 河井 利之, 奥津 弥一郎, 清水 孝彬, 藪塚 武史, 松田 秀一: 生体活性処理によって骨形成過程は加速し, 生じた新生骨は骨吸収に対して抵抗力を持つ. 第97回日本整形外科学会学術総会, 2024. 5. 23-26, 福岡・ハイブリッド開催

一般演題 (ポスター)

5. 高岡 佑輔, 藤林 俊介, 尾上 浩隆, 後藤 公志, 大槻 文悟, 河井 利之, 奥津 弥一郎, 清水 孝彬, 松田 秀一: 3D ポーラスインプラントへの bone ingrowth では, 空隙への線維組織の伸張と血管新生が先行する. 第97回日本整形外科学会学術総会, 2024. 5. 23-26, 福岡・ハイブリッド開催
6. 高岡 佑輔, 小林 与人, 富澤 琢也, 川田 交俊, 関 賢二: 実験動物を用いた Bone ingrowth の経時的評価から考える, セメントレスインプラントの初期固定力の必要性について. 第55回日本人工関節学会, 2025. 2. 21-22, 名古屋・ハイブリッド開催

◇研 究 会

一般演題 (口演)

1. 高岡 佑輔, 小林 与人, 富澤 琢也, 関 賢二: THA による骨頭中心の移動がもたらすメカニクスの変化が中殿筋に与える影響について. Kyoto University Hip Surgeon Training Meeting, 2024. 6. 25, Web 開催

◇その他の講演

1. 関 賢二: 骨粗鬆症薬の選択とその注意点. Meet the expert on Web 2014, 2024. 9. 5, 奈良・Web 開催

2. 関 賢二：神経障害性疼痛の基本と薬剤. アルフレッサ共催 Web セミナー：地域で診る疼痛マネジメント, 2024. 9. 26, 奈良・Web 開催
3. 関 賢二：神経障害性疼痛の基本と薬剤. タリージェ錠発売 5 周年記念講演 in 奈良, 2024. 11. 14, 奈良・Web 開催
4. 関 賢二：第 3 の骨形成促進薬：アバラパラチド. 骨粗鬆症治療 Web セミナー, 2025. 1. 23, 奈良・Web 開催
5. 関 賢二：214th M.O.R.E. SPINE LEARNING CENTER on MySpine technology. MySpine Cervical Clinical experience and surgical cases, 2025. 1. 25, 浜松（静岡）, 現地開催

◇院内集談会

1. 富澤 琢也：ロコモティブシンドローム. 転倒・転落予防院内勉強会, 2024. 6. 19, 外来診療棟 5 階中講堂室
2. 富澤 琢也, 小林 与人, 高岡 祐輔：整形外科のプライマリケア. レジデント教育講義, 2024. 11. 1, 東西病棟会議室 1・2
3. 富澤 琢也：骨折リエゾンサービス. 二次骨折予防勉強会, 2024. 12. 4, 東 5 病棟

◇学 会 賞

1. 高岡 祐輔：2025 年山室賞 基礎研究部門 受賞（2025 年 1 月）

泌 尿 器 科

◇学 術 雑 誌

（欧 文）

〈他施設との共同研究〉

1. Kita Y, Hara T, Kawahara T, Hashimoto K, Matsushita Y, Ito H, Abe T, Igarashi A, Shimura S, Sazuka T, Yokomizo A, Takaoka N, Kato M, Hazama T, Miyake M, Sugino Y, Mutaguchi J, Takahashi A, Shiraishi Y, Tatarano S, Taka Y, Mochizuki T, Nakanishi S, Mori K, Yoshida T, Hayashi T, Otsuka H, Anami T, Okasho K, Daizumoto K, Kobayashi M, Kobayashi I, Watanabe J, Nishiyama N, Shibuya T, Matsui Y, Nishiyama H, Kitamura H, Kobayashi T: Incidence, risk factors, and clinical implications of enfortumab vedotin-related cutaneous toxicity in urothelial carcinoma: A large-scale, real-world study in Japan. ESMO Real World Data and Digital Oncology 2025 ; 7 : 100094.
2. Koterazawa S, Kubota M, Sumiyoshi T, Saito R, Takaoka N, Hattori Y, Shimizu Y, Kanno T, Soda T, Okada Y, Tsuchihashi K, Sekine Y, Negoro H, Kurahashi R, Shimatani K, Sawada A, Akamatsu S, Goto T, Kobayashi T: Effects of aging on

complications following robot-assisted radical prostatectomy. International Journal of Clinical Oncology 2025 ; 30(2) : 340–350.

3. Kanno T, Ito K, Kita Y, Mochizuki T, Sano T, Yokomizo A, Abe T, Tsuchihashi K, Tatarano S, Inokuchi J, Takahashi A, Matsui Y, Nishiyama H, Kitamura H, Saito R, Kobayashi T; Japan Urological Oncology Group: Impact of lymph node dissection during surgery on the efficacy of pembrolizumab in patients with metastatic urothelial carcinoma. International Journal of Urology 2025; doi: 10.1111/iju.70002..
4. Kubota M, Kawakita M, Yoshida S, Kimura H, Sumiyoshi T, Yamasaki T, Okumura K, Yoshimura K, Matsui Y, Sugiyama K, Okuno H, Segawa T, Shimizu Y, Ito N, Onishi H, Ishitoya S, Soda T, Yoshida T, Uemura Y, Iwamura H, Okubo K, Suzuki R, Fukuzawa S, Akao T, Kurahashi R, Shimatani K, Sekine Y, Negoro H, Akamatsu S, Kamoto T, Ogawa O, Kawakami K, Kobayashi T, Goto T: Effects of thienopyridine class antiplatelets on bleeding outcomes following robot-assisted radical prostatectomy. Scientific Reports 2024 ; 14(1) : 5847.

(邦 文)

5. Watanabe H, Kawanishi H, Kobayashi K, Yamane T, Takaoka N, Okada Y, Kubo T, Sumiyoshi S, Okumura K: Retroperitoneal ganglioneuroma with multifocal bone involvement in a middle-aged woman. Hinyokika Kyo 2025 ; 71(2) : 43–48.

◇学 会

国内学会

一般演題 (口演)

1. 高岡 直澄, 小林 昂介, 山根 武紘, 渡邊 拓樹, 岡田 能幸, 川西 博晃, 奥村 和弘: 当院の腎細胞癌に対する Pembrolizumab+Lenvatinib の初期治療経験. 第74回日本泌尿器科学会中部総会, 2024. 11. 21–23, 金沢 (石川), 現地開催
2. 山根 武紘, 小林 昂介, 渡邊 拓樹, 高岡 直澄, 岡田 能幸, 川西 博晃, 奥村 和弘: RAPN 後の局所再発および尿管癌に対して RANU を行った一例. 第38回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会, 2024. 11. 28–30, 千葉, 現地開催

一般演題 (ポスター)

3. 高岡 直澄, 小林 昂介, 山根 武紘, 渡邊 拓樹, 岡田 能幸, 川西 博晃, 奥村 和弘: 当院のロボット支援下前立腺全摘除術後の生化学的再発症例の検討. 第111回日本泌尿器科学会総会, 2024. 4. 25–27, 横浜, 現地開催
4. 小林 昂介, 山根 武紘, 渡邊 拓樹, 高岡 直澄, 岡田 能幸, 川西 博晃, 奥村 和弘: 当院におけるロボット支援腎部分切除術の周術期成績. 第111回日本泌尿器科学会総会, 2024. 4. 25–27, 横浜, 現地開催
5. 山根 武紘, 小林 昂介, 渡邊 拓樹, 高岡 直澄, 岡田 能幸, 川西 博晃, 奥村 和弘: 天理よろづ相談所病院における腎癌再発高リスク症例の転帰. 第111回日本泌尿器科学会総会, 2024. 4. 25–27, 横浜, 現地開催

6. 川西 博晃, 小林 昂介, 山根 武紘, 渡邊 拓樹, 高岡 直澄, 岡田 能幸, 奥村 和弘:
当院における転移性ホルモン感受性前立腺癌 (mHSPC) の治療経験. 第111回日本泌尿器科学会総会, 2024. 4. 25-27, 横浜, 現地開催
7. 小林 昂介, 山根 武紘, 渡邊 拓樹, 高岡 直澄, 岡田 能幸, 川西 博晃, 奥村 和弘:
当院におけるリンパ節転移陽性症例に対するロボット支援前立腺全摘術 (RALP) の検討. 第74回日本泌尿器科学会中部総会, 2024. 11. 21-23, 金沢 (石川), 現地開催
8. 川西 博晃, 小林 昂介, 山根 武紘, 渡邊 拓樹, 高岡 直澄, 岡田 能幸, 奥村 和弘:
天理よろづ相談所病院におけるロボット支援腹腔鏡下腎尿管全摘除術の初期経験. 第38回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会, 2024. 11. 28-30, 千葉, 現地開催

◇研 究 会

特別講演・教育講演

1. 川西 博晃: 進行性前立腺がんの治療変遷. 第9回かかりつけ医ネットワーク診療連携講演会, 2024. 10. 31, 天理・ハイブリッド開催

一般演題 (口演)

2. 小林 昂介, 川西 博晃, 山根 武紘, 渡邊 拓樹, 高岡 直澄, 岡田 能幸, 奥村 和弘:
再発転移を繰り返す傍精巣粘液型脂肪肉腫の1例. 第291回泌尿器科マンスリーミーティング, 2024. 7. 27, 京都・ハイブリッド開催
3. 小林 昂介, 川西 博晃, 山根 武紘, 平松 和磨, 高岡 直澄, 土橋 一成, 奥村 和弘:
当院におけるロボット支援腹腔鏡下副腎摘除術. 第42回泌尿器科手術研究会, 2025. 1. 25, 東京・ハイブリッド開催

◇その他の講演

1. 高岡 直澄: 当院における腎細胞癌治療～Pembrolizumab, Lenvatinibを中心に～. 腎細胞癌セミナー, 2024. 6. 14, 奈良・ハイブリッド開催
2. 高岡 直澄: 腎細胞がんの薬物治療戦略～当院における使用経験からの考察～ (Pembrolizumab+Lenvatinib療法を中心に). Renal Cancer Web Seminar, 2024. 7. 19, 奈良・ハイブリッド開催
3. 川西 博晃: 当院における進行性腎細胞癌のファーストライン治療成績. RCC IO-IO Seminar, 2024. 10. 18, 奈良・ハイブリッド開催
4. 奥村 和弘: BPH症例に対するRARP. Kyorin WEBサロン ロボット支援手術シリーズ, 2024. 10. 24, 奈良・Web開催
5. 高岡 直澄: 泌尿器科で使用する排尿関連の内服薬について. 奈良県薬剤師会 オンライン開催 生涯研修セミナー, 2025. 2. 15, 奈良・Web開催

麻 酔 科

◇書 籍

1. 石井 久成：第3章よくある術前合併症 09 心不全. 麻酔科研修ノート 改訂第4版 (研修ノートシリーズ), pp122-127, 稲田 英一 責任編集, 内田 寛治, 山内 正憲, 山浦 健 編集, 診断と治療社 (東京), 2024

◇学 術 雑 誌

(邦 文)

1. 石井 久成：【周術期・術後管理—外科系集中治療 Q&A—】 血圧管理・循環作動薬の使い方 (Q&A). 救急・集中治療 2024; 36 (4): 720-724.

◇学 会

国内学会

一般演題 (ポスター)

1. 坂本 太郎, 山崎 智己, 石井 久成：局麻・鎮静下での経カテーテル的大動脈弁植え込み術において執刀前に投与されたアセトアミノフェンが術中の鎮静に及ぼす影響. 日本麻酔科学会第71回学術集会, 2024. 6. 6-6. 8, 神戸, 現地開催
2. 山本 広大, 石井 久成：人工心肺下に施行される心臓血管外科手術において新鮮凍結血漿の投与タイミングは出血量と輸血量に影響するか? 日本麻酔科学会第71回学術集会, 2024. 6. 6-6. 8, 神戸, 現地開催
3. 斉藤 成美, 石井 久成：経カテーテル的大動脈置換術において術前の好中球対リンパ球比は術後の大動脈弁平均圧較差の変化量と相関はあるか? 日本麻酔科学会第71回学術集会, 2024. 6. 6-6. 8, 神戸, 現地開催
4. 牧澤 祐樹, 石井 久成：腹部大動脈人工血管術後に片側 Wallenberg 症候群により抜管後無呼吸となった一症例. 日本心臓血管麻酔学会第29回学術大会, 2024. 9. 20-9. 22, 広島, 現地開催
5. 山本 広大, 石井 久成：腹部ステントグラフト内挿術の圧着用バルーンが破裂し破裂片が遺残した1例. 日本心臓血管麻酔学会第29回学術大会, 2024. 9. 20-9. 22, 広島, 現地開催
6. 坂本 太郎, 石井 久成：弓部大動脈瘤破裂に対する胸部ステントグラフト内挿術中に再破裂による心嚢穿破を発症した症例. 日本心臓血管麻酔学会第29回学術大会, 2024. 9. 20-9. 22, 広島, 現地開催

〈他施設との共同研究〉

7. 三島 洋輝, 小林 靖雄, 石井 久成：急速輸液を行う際の輸液加温装置の比較検討. 日本麻酔科学会第71回学術集会, 2024. 6. 6-6. 8, 神戸, 現地開催

緩和ケア科

◇学術雑誌

(邦文)

1. 加藤 恭郎：緩和ケア病棟の終末期がん患者における上腕三頭筋皮下脂肪厚，上腕筋周囲長による栄養評価の予備的研究. *Palliative Care Research* 2024；19（3）：207－211.

◇その他の講演

1. 加藤 恭郎：全人的苦痛に対する緩和ケア. 第122回まほろば PEACE 緩和ケア研修会, 2024. 9. 8, 天理, 現地開催
2. 徳岡 泰紀：療養の場所の選択と地域連携. 第122回まほろば PEACE 緩和ケア研修会, 2024. 9. 8, 天理, 現地開催
3. 加藤 恭郎：全人的苦痛に対する緩和ケア. 第128回まほろば PEACE 緩和ケア研修会, 2025. 2. 2, 桜井（奈良）, 現地開催
4. 徳岡 泰紀：がん患者等の療養場所の選択. 第128回まほろば PEACE 緩和ケア研修会, 2025. 2. 2, 桜井（奈良）, 現地開催

腫瘍内科

◇学術雑誌

(邦文)

1. 山下 直生, 大久保 豪祐, 池田 明央, 山崎 佳大, 古武 剛, 内山 智子, 武田 麻衣子, 久保 武：大きな中枢神経病変による左同名半盲をきたした Erdheim-Chester 病の 1 例. *臨床放射線* 2025；70（1）：157－162.
2. 小川 真理, 喜多 まり, 古武 剛, 田邊 洋：外来通院でケアを継続したストーマ周囲壊疽性膿皮症の一例. *STOMA* 2025；31（1）：12－14.

◇学会

国際学会

一般演題（ポスター）

〈他施設との共同研究〉

1. Fujimoto Y, Kawaguchi K, Maeshima Y, Ishiguro H, Yamagami K, Takahara S, Suwa H, Torii M, Nagai S, Sagara Y, Tsuji W, Yamashiro H, Kotake T, Fukuda S, Saito K, Yamamoto Y, Kataoka M, Himoto Y, Yonezawa A, Fukui Y, Nakamura Y, Wei Li, Tanaka S, Takada M, Morita S, Toi M: Gut microbiome association with

dietary habits and abemaciclib-induced diarrhea : A multicenter, prospective study. American Association for Cancer Research : AACR Annual Meeting 2024, 2024.4.5–10, San Diego (USA), 現地開催

2. Fukui Y, Kawaguchi K, Maeshima Y, Fujimoto Y, Ishiguro H, Yamagami K, Takahara S, Suwa H, Torii M, Nagai S, Sagara Y, Tsuji W, Yamashiro H, Kotake T, Fukuda S, Saito K, Yamamoto Y, Kataoka M, Himoto Y, Yonezawa A, Nakamura Y, Li W, Tanaka S, Morita S, Takada M, Toi M : Deciphering the systemic immune effects of abemaciclib in recurrent metastatic breast cancer : A multicenter, prospective study. American Association for Cancer Research : AACR Annual Meeting 2024, 2024.4.5–10, San Diego (USA), 現地開催

国内学会

一般演題（ポスター）

3. 久乗 しのぶ, 古武 剛, 北川 実美, 山崎 貴之, 坂本 真一, 浅井 祐人, 平瀬 正人, 嶋田 昌司, 奥野 智之, 上岡 樹生, 住吉 真治, 山城 大泰 : 薬剤師・臨床検査技師によるがんゲノム医療コーディネーター業務のリレーションシップ. 第62回日本癌治療学会学術集会会期, 2024. 10. 24–26, 福岡, 現地開催
4. 辻村 拓也, 古武 剛, 久乗 しのぶ, 北川 実美, 山崎 貴之 : Improvement of treatment access based on comprehensive genomic profiling tests at our local hospital. 第22回日本臨床腫瘍学会学術集会, 2025. 3. 6–8, 神戸・ハイブリッド開催

◇研 究 会

一般演題（口演）

1. 古武 剛 : 当院におけるオキサリプラチンに対する制吐療法の有用性. 北和消化器癌治療を考える会 (大鵬製薬 主催), 2024. 9. 4, 奈良・ハイブリッド開催
2. 古武 剛 : Eriburin 観察研究からの考察. History of Halaven, 2024. 9. 18, 奈良・Web開催

◇一 般 向 け

(講 演)

1. 古武 剛 : がんゲノム検査ってなに? がん診療連携拠点病院 公開講座 一般市民対象講演会, 2024. 4. 17, 外来診療棟5階講堂, 現地開催

歯科・歯科口腔外科

◇学 会

国内学会

一般演題（ポスター）

1. 山林 真優, 鴻池 智恵, 中嶋 愛里, 一二三 菜々子, 藤井 真子, 黒田 典代:がん治療を受ける患者・家族へのパンフレット作製の取り組み. 日本歯科衛生学会第19回学術大会, 2024. 9. 21 - 23, 新潟・ハイブリッド開催

放 射 線 部

【診断部門】

◇書 籍

1. 久保 武:多中心性キャスルマン病. 即戦力が身につく胸部の画像診断, pp442-446, 芦澤 和人, 藤本 公則, 藪内 英剛 編集, メディカル・サイエンス・インターナショナル (東京), 2024
2. 久保 武:MPO-ANCA 関連肺病変. 即戦力が身につく胸部の画像診断, pp563-567, 芦澤 和人, 藤本 公則, 藪内 英剛 編集, メディカル・サイエンス・インターナショナル (東京), 2024
3. 久保 武:IgG4 関連疾患. 即戦力が身につく胸部の画像診断, pp575-578, 芦澤 和人, 藤本 公則, 藪内 英剛 編集, メディカル・サイエンス・インターナショナル (東京), 2024

◇学 術 雑 誌

(欧 文)

1. Kim H, Kanao S, Noma S, Yasumura S, Sumiyoshi S, Morishima M, Kubo T: Cardiac calcified amorphous tumor as a potential cause of cerebral infarction: A clinical case report. Radiology Case Reports 2025; 20(3): 1681-1685.
2. Imaeda M, Onishi Y, Nagatomo S, Minami R, Taniguchi T: Transcatheter arterial embolization for bleeding from the proper hepatic artery caused by a duodenal ulcer: A case report. Cureus 2024; 16(7): e63822.
3. Noda T, Okubo G, Shinde A, Minami A, Kawase K, Nakamura Y, Yamashita N, Kim H, Yasumura S, Yasuo S, Suzuki M, Yuge S, Ota R, Yokota Y, Saito A, Imaeda M, Kanao S, Taniguchi T, Kubo T, Suenaga T, Noma S: Adult-onset cerebello-brainstem-dominant form of X-linked adrenoleukodystrophy with

auditory pathway involvement: A case report. Tenri Medical Bulletin 2024; 27 (1): 33-39.

〈他施設との共同研究〉

4. Honda M, Kataoka M, Iima M, Ota R, Okazawa A, Fukushima Y, Nickel MD, Sato F, Masuda N, Okada T, Nakamoto Y: Institutional variability in ultrafast breast MR imaging: Comparing compressed sensing and view sharing techniques with different patient populations and contrast injection protocols. Magnetic Resonance in Medical Sciences 2025; doi: 10.2463/mrms.mp.2024-0152.

(邦 文)

5. 太田 理恵: ISMRM2024 見聞録 コロナ禍を越えて: 「多様性」と食い意地, ドタバタ発表の国際学会の現場から. 映像情報 Medical 2024; 56 (14): 33-35.
6. 久保 武: 【ビギナーのための胸部画像診断—Q&A アプローチ-2025】 心血管疾患 肺高血圧の画像所見を教えてください. 画像診断 2024; 45 (1): 104-105.
7. 久保 武: 知っておきたい他科・他臓器疾患の基礎知識 (Ⅱ) 放射線診断科. 呼吸器内科 2025; 47 (2): 131-138.
8. 久保 武: 【絶対苦手分野にしない悪性リンパ腫の画像診断】 肺リンパ腫・リンパ増殖性疾患. 臨床画像 2024; 40 (4月増刊): 90-102.
9. 山下 直生, 大久保 豪祐, 池田 明央, 山崎 佳大, 古武 剛, 内山 智子, 武田 麻衣子, 久保 武: 大きな中枢神経病変による左同名半盲をきたした Erdheim-Chester 病の1例. 臨床放射線 2025; 70 (1): 157-162.

◇学 会

国際学会

特別企画 (シンポジウム・パネルディスカッション)

1. Ota R: Diagnostic technique and AI in breast imaging: DWI and ultrafast dynamic contrast-enhanced breast MRI. The 80th Korean Congress of Radiology (KCR 2024) Intersociety Joint Symposium (KSBI & Japan), 2024.10.2-5, Seoul (South Korea)・ハイブリッド開催

一般演題 (口演)

2. Kubo T, Hino T, Tsunomori A: Projected lung area on dynamic chest radiography as an index of lung fibrosis. The 11th International Workshop on Pulmonary Functional Imaging, 2024. 8. 23-25, 大津 (滋賀), 現地開催

一般演題 (ポスター)

3. Ota R, Kataoka M, Iima M, Honda M, Okazawa A, Suzuki M, Kanao S, Kubo T, Yamada Y, Takeuchi Y, Takada M, Nakamoto Y: Predicting disease-free survival by DWI and DCE MRI scores for breast cancer patients with neoadjuvant systemic treatment. 2024 ISMRM & ISMRT Annual Meeting & Exhibition, 2024. 5. 4-9, Singapore, 現地開催

国内学会

特別講演・教育講演

4. 太田 理恵：乳房2：浸潤癌（特殊型を除く）の画像診断（2）浸潤性乳癌のMRI診断. 第83回日本医学放射線学会総会 教育講演12, 2024. 4. 11-14, 横浜・ハイブリッド開催

一般演題（口演）

5. 池田 明央, 横田 悠介, 山下 直生, 山崎 佳大, 川瀬 貫互, 羽賀 すみれ, 金 賢真, 鈴木 瑞恵, 弓削 瞬介, 太田 理恵, 今枝 政喜, 齋藤 亜矢子, 大久保 豪祐, 金尾 昌太郎, 谷口 尚範, 久保 武, 野間 恵之, 岡田 能幸, 小林 昂介, 小谷 慎一, 金森 直美, 住吉 真治：膀胱原発 MALT リンパ腫の一例. 第337回日本医学放射線学会関西地方会, 2024. 6. 22, 大阪, 現地開催
6. 太田 理恵, 金尾 昌太郎, 池田 明央, 片岡 正子, 飯間 麻美, 本田 茉也, 金森 直美, 山城 大泰, 森井 奈央, 久保 武：当院における乳房腫瘍の高解像度拡散強調画像と高解像度造影 MRI の比較. 第52回日本磁気共鳴医学会大会, 2024. 9. 20-22, 幕張（千葉）・ハイブリッド開催
7. 山崎 佳大, 今枝 政喜, 大西 康之, 谷口 尚範, 池田 明央, 川瀬 貫互, 羽賀 すみれ, 中村 悠理, 山下 直生, 金 賢真, 鈴木 瑞恵, 弓削 瞬介, 太田 理恵, 横田 悠介, 齋藤 亜矢子, 大久保 豪祐, 金尾 昌太郎, 久保 武, 野間 恵之, 白神 拓：腹腔動脈瘤に対する塞栓術後に急性虚血性脾炎を発症した1例. 第338回日本医学放射線学会関西地方会, 2024. 10. 12, 京都, 現地開催
8. 金 賢真, 久保 武, 池田 明央, 山崎 佳大, 川瀬 貫互, 羽賀 すみれ, 中村 悠理, 金尾 昌太郎, 谷口 尚範, 野間 恵之：成人で偶発的に発見された一次性肺静脈狭窄症（primary pulmonary vein stenosis）の1例. 第60回日本医学放射線学会秋季臨床大会・第38回胸部放射線研究会, 2024. 10. 18-20, 博多（福岡）・ハイブリッド開催
9. 山崎 佳大, 横田 悠介, 池田 明央, 川瀬 貫互, 羽賀 すみれ, 中村 悠理, 山下 直生, 金 賢真, 鈴木 瑞恵, 弓削 瞬介, 太田 理恵, 齋藤 亜矢子, 今枝 政喜, 大久保 豪祐, 金尾 昌太郎, 谷口 尚範, 久保 武, 野間 恵之, 上原 京勲：左房内穿破を伴った Bentall 術後弁輪部周囲膿瘍の1例. 第339回日本医学放射線学会関西地方会, 2025. 2. 8, 大阪, 現地開催

一般演題（ポスター）

10. 池田 明央, 金尾 昌太郎, 太田 理恵, 片岡 正子, 飯間 麻美, 本田 茉也, 金森 直美, 山城 大泰, 森井 奈央, 久保 武：乳房病変における high-resolution DWI と standard DWI の比較. 第52回日本磁気共鳴医学会大会, 2024. 9. 20-22, 幕張（千葉）・ハイブリッド開催

◇研究会

特別講演・教育講演

1. 野間 恵之：画像解説. 第24回名古屋肺フォーラム, 2024. 7. 27, 名古屋, 現地開催
2. 野間 恵之：画像・病理対応の要点. 香川県の呼吸器疾患を考える会, 2024. 10. 31, 高

松（香川），現地開催

3. 野間 恵之：画像・病理対応のポイント．第1回京都画像診断核医学懇談会，2025. 2. 7，京都・Web 開催

一般演題（口演）

4. 金 賢真，久保 武，池田 明央，山崎 佳大，川瀬 貫互，羽賀 すみれ，中村 悠理，山下 直生，鈴木 瑞恵，弓削 瞬介，太田 理恵，横田 悠介，今枝 政喜，齋藤 亜矢子，大久保 豪祐，金尾 昌太郎，谷口 尚範，野間 恵之：偶発的に CT で胸部異常陰影を指摘された一例．第76回胸部画像検討会，2024. 6. 8，大阪，現地開催
5. 太田 理恵：右乳房腫瘍の一例．第22回関西乳房 MRI 勉強会，2025. 3. 8，京都・Web 開催

◇その他の講演

1. 久保 武：線維性過敏性肺炎の画像診断．第38回びまん性肺疾患勉強会，2024. 6. 22，神戸・ハイブリッド開催
2. 弓削 瞬介，三宅 可奈江，石守 崇好，片岡 正子，松本 純明，鳥井 雅恵，八上 全弘，磯田 裕義，高倉 京子，森田 智視，高田 正泰，戸井 雅和，中本 裕士：Performance of dedicated breast PET in breast cancer screening: comparison with digital mammography plus digital breast tomosynthesis and ultrasound. 第64回日本核医学会学術総会，2024. 11. 7-9，横浜・ハイブリッド開催 【久田賞（銅賞）受賞】
3. 久保 武：間質性肺炎の画像所見の基本を見直す．ILD Seminar for Freshers, 2024. 11. 28，堺（大阪）・ハイブリッド開催
4. 久保 武：間質性肺炎の MDD における画像評価．第1回伏見 MDD 研究会，2024. 11. 29，京都・ハイブリッド開催

【IVR 部門】

◇学術雑誌

（欧 文）

1. Imaeda M, Onishi Y, Nagatomo S, Minami R, Taniguchi T: Transcatheter arterial embolization for bleeding from the proper hepatic artery caused by a duodenal ulcer: A case report. Cureus 2024 ; 16(7): e63822.

〈他施設との共同研究〉

2. Gentsu T, Yamaguchi M, Sasaki K, Kawasaki R, Horinouchi H, Fukuda T, Miyamoto N, Mori T, Sakamoto N, Uotani K, Taniguchi T, Koda Y, Yamanaka K, Takahashi H, Okada K, Hayashi T, Watanabe T, Nomura Y, Matsushiro K, Ueshima E, Okada T, Sugimoto K, Murakami T: Side branch embolization before endovascular abdominal aortic aneurysm repair to prevent type II endoleak: A prospective multicenter study. Diagnostic and Interventional Imaging 2024 ; 105 (9): 326-335.
3. Uotani K, Yamaguchi M, Okada T, Gentsu T, Sakamoto N, Kawasaki R, Taniguchi T, Tomimatsu H, Sugimoto K, Murakami T: Midterm outcome of branch vessel

stenting for superior mesenteric artery malperfusion complicating with acute aortic dissection. *Interventional Radiology* 2024 ; 9(2) : 55–61.

4. Sasaki K, Yamaguchi M, Gentsu T, Kawasaki R, Miyamoto N, Uotani K, Sakamoto N, Fukuda T, Horinouchi H, Taniguchi T, Mori T, Koda Y, Yamanaka K, Takahashi H, Okada K, Watanabe T, Hayashi T, Nomura Y, Matsushiro K, Ueshima E, Okada T, Sugimoto K, Murakami T: Pre-emptive aortic side branch embolization during endovascular aneurysm repair using the Excluder stent-graft System: A prospective multicenter study. *Journal of Vascular and Interventional Radiology* : JVIR 2024 ; 35(6) : 874–882.

◇学 会

国内学会

一般演題（口演）

1. 山崎 佳大, 今枝 政喜, 大西 康之, 谷口 尚範, 池田 明央, 川瀬 貫互, 羽賀 すみれ, 中村 悠理, 山下 直生, 金 賢真, 鈴木 瑞恵, 弓削 瞬介, 太田 理恵, 横田 悠介, 齋藤 亜矢子, 大久保 豪祐, 金尾 昌太郎, 久保 武, 野間 恵之, 白神 拓: 腹腔動脈瘤に対する塞栓術後に急性虚血性膵炎を発症した1例. 第338回日本医学放射線学会関西地方会, 2024. 10. 12, 京都, 現地開催

◇その他の講演

1. 谷口 尚範: Interlock35の使いどころ. EVAR 分枝動脈塞栓に於けるファイバードコイルの選択理由. 2024. 10. 31, Web 開催

【RI 部門】

◇学 術 雑 誌

（欧 文）

1. Kim H, Kanao S, Noma S, Yasumura S, Sumiyoshi S, Morishima M, Kubo T: Cardiac calcified amorphous tumor as a potential cause of cerebral infarction: A clinical case report. *Radiology Case Reports* 2025 ; 20(3) : 1681–1685.
2. Noda T, Okubo G, Shinde A, Minami A, Kawase K, Nakamura Y, Yamashita N, Kim H, Yasumura S, Yasuo S, Suzuki M, Yuge S, Ota R, Yokota Y, Saito A, Imaeda M, Kanao S, Taniguchi T, Kubo T, Suenaga T, Noma S: Adult-onset cerebello-brainstem-dominant form of X-linked adrenoleukodystrophy with auditory pathway involvement: A case report. *Tenri Medical Bulletin* 2024 ; 27 (1) : 33–39.

（邦 文）

3. 金尾 昌太郎: 当院におけるアミロイドPET導入に向けた取り組み. *天理医学紀要* 2024 ; 27 (2) : 114–115.

◇学 会

国際学会

一般演題（ポスター）

1. Ota R, Kataoka M, Iima M, Honda M, Okazawa A, Suzuki M, Kanao S, Kubo T, Yamada Y, Takeuchi Y, Takada M, Nakamoto Y: Predicting disease-free survival by DWI and DCE MRI scores for breast cancer patients with neoadjuvant systemic treatment. 2024 ISMRM & ISMRT Annual Meeting & Exhibition, 2024.5.4-9, Singapore, 現地開催

国内学会

特別講演・教育講演

2. 金尾 昌太郎：MRI 実践セミナー：撮影・読影のお悩み解決 BI-RADS MRI レポート マルチパラメトリック診断. 第34回乳癌画像研究会, 2025. 2. 8-9, 東京, 現地開催

一般演題（口演）

3. 池田 明央, 横田 悠介, 山下 直生, 山崎 佳大, 川瀬 貫互, 羽賀 すみれ, 金 賢真, 鈴木 瑞恵, 弓削 瞬介, 太田 理恵, 今枝 政喜, 齋藤 亜矢子, 大久保 豪祐, 金尾 昌太郎, 谷口 尚範, 久保 武, 野間 恵之, 岡田 能幸, 小林 昂介, 小谷 慎一, 金森 直美, 住吉 真治：膀胱原発 MALT リンパ腫の一例. 第337回日本医学放射線学会関西地方会, 2024. 6. 22, 大阪, 現地開催
4. 太田 理恵, 金尾 昌太郎, 池田 明央, 片岡 正子, 飯間 麻美, 本田 茉也, 金森 直美, 山城 大泰, 森井 奈央, 久保 武：当院における乳房腫瘍の高解像度拡散強調画像と高解像度造影 MRI の比較. 第52回日本磁気共鳴医学会大会, 2024. 9. 20-22, 幕張（千葉）・ハイブリッド開催
5. 山崎 佳大, 今枝 政喜, 大西 康之, 谷口 尚範, 池田 明央, 川瀬 貫互, 羽賀 すみれ, 中村 悠理, 山下 直生, 金 賢真, 鈴木 瑞恵, 弓削 瞬介, 太田 理恵, 横田 悠介, 齋藤 亜矢子, 大久保 豪祐, 金尾 昌太郎, 久保 武, 野間 恵之, 白神 拓：腹腔動脈瘤に対する塞栓術後に急性虚血性膵炎を発症した1例. 第338回日本医学放射線学会関西地方会, 2024. 10. 12, 京都, 現地開催
6. 金 賢真, 久保 武, 池田 明央, 山崎 佳大, 川瀬 貫互, 羽賀 すみれ, 中村 悠理, 金尾 昌太郎, 谷口 尚範, 野間 恵之：成人で偶発的に発見された一次性肺静脈狭窄症（primary pulmonary vein stenosis）の1例. 第60回日本医学放射線学会秋季臨床大会・第38回胸部放射線研究会, 2024. 10. 18-20, 博多（福岡）・ハイブリッド開催
7. 山崎 佳大, 横田 悠介, 池田 明央, 川瀬 貫互, 羽賀 すみれ, 中村 悠理, 山下 直生, 金 賢真, 鈴木 瑞恵, 弓削 瞬介, 太田 理恵, 齋藤 亜矢子, 今枝 政喜, 大久保 豪祐, 金尾 昌太郎, 谷口 尚範, 久保 武, 野間 恵之, 上原 京勲：左房内穿破を伴った Bentall 術後弁輪部周囲膿瘍の1例. 第339回日本医学放射線学会関西地方会, 2025. 2. 8, 大阪, 現地開催

一般演題（ポスター）

8. 池田 明央, 金尾 昌太郎, 太田 理恵, 片岡 正子, 飯間 麻美, 本田 茉也, 金森 直美,

山城 大泰, 森井 奈央, 久保 武: 乳房病変における high-resolution DWI と standard DWI の比較. 第52回日本磁気共鳴医学会大会, 2024. 9. 20-22, 幕張 (千葉)・ハイブリッド開催

◇研 究 会

一般演題 (口演)

1. 金 賢真, 久保 武, 池田 明央, 山崎 佳大, 川瀬 貫互, 羽賀 すみれ, 中村 悠理, 山下 直生, 鈴木 瑞恵, 弓削 瞬介, 太田 理恵, 横田 悠介, 今枝 政喜, 齋藤 亜矢子, 大久保 豪祐, 金尾 昌太郎, 谷口 尚範, 野間 恵之: 偶発的に CT で胸部異常陰影を指摘された一例. 第76回胸部画像検討会, 2024. 6. 8, 大阪, 現地開催

【治療部門】

◇学 術 雑 誌

(欧 文)

〈他施設との共同研究〉

1. Aizawa R, Ogata T, Goto T, Kiyonao Nakamura K, Takayama K, Ashida R, Kita Y, Sumiyoshi T, Murakami K, Mizuno K, Kobayashi T, Mizowaki T: Highly hypofractionated biaxially rotational dynamic radiation therapy (BROAD-RT) for high-risk prostate cancer. Cancer Science 2025; doi: 10.1111/cas.16429.
2. Igarashi A, Onishi H, Shioyama Y, Matsumoto Y, Takayama K, Matsuo Y, Yamashita H, Miyakawa A, Matsushita H, Aoki M, Nihei K, Kimura T, Koba R, Lee DW, Ito K: Cost-utility analysis of stereotactic body radiation therapy versus surgery for patients with stage I non-small cell lung cancer in Japan. International Journal of Radiation Oncology, Biology, Physics. 2025; 121(1): 56-67.

(2023年度追加)

3. Aizawa R, Takayama K, Nakamura K, Inoue T, Yamasaki T, Kobayashi T, Akamatsu S, Ogawa O, Mizowaki T: Increased risk of disease progression in younger men: Analysis of factors predicting biochemical failure and castration-resistant prostate cancer after high-dose intensity-modulated radiation therapy for nonmetastatic prostate cancer. Urologic Oncology 2021; 39(2): 131. e9-131. e15.

◇学 会

国内学会

一般演題 (口演)

〈他施設との共同研究〉

1. 相澤 理人, 緒方 隆司, 後藤 崇之, 中村 清直, 高山 賢二, 芦田 良, 北 悠希, 住吉 崇幸, 村上 薫, 水野 桂, 小林 恭, 溝脇 尚志: 高リスク前立腺癌への腫瘍内ブースト併用高度寡分割 IMRT の前向きパイロット臨床試験. 第62回日本癌治療学会学術集会, 2024. 10. 24-26, 福岡, 現地開催

【技師部門】

◇書 籍

1. 山崎 良：精度管理・性能評価試験. MR 撮像技術学(放射線技術学シリーズ), pp468-486, 日本放射線技術学会 監修, 齋藤 茂芳 編著, オーム社 (東京), 2024

◇学 術 雑 誌

1. 北村 一司：胸部 X 線動態撮影は呼吸性移動評価の新しいスタンダードとなりえるか. 放射線治療かたろう会誌 2024; 29: 2-4.

◇学 会

国内学会

特別企画 (シンポジウム・パネルディスカッション)

1. 田中 優衣：診療放射線技師 1 年目の心得～今の私があなたに伝えたいこと～学生時代の振り返りと現在の実感. 日本放射線技術学会第68回近畿支部学術大会, 2024. 11. 30-12. 1, 大阪・ハイブリッド開催

一般演題 (口演)

2. 北村 一司, 山崎 良, 寺口 昌和：X 線動態撮影標準ワークステーションを用いた対象物移動量計測精度に関する検討. 第80回日本放射線技術学会総会学術大会, 2024. 4. 11-14, 横浜, 現地開催
3. 山崎 良, 寺口 昌和：胸部動態撮影における換気量の標準ファントム素材の検証. 第80回日本放射線技術学会総会学術大会, 2024. 4. 11-14, 横浜, 現地開催
4. 鈴木 丈琉, 錦 一聡, 小西 高史, 北 宗高：経皮的左心耳閉鎖術における 3D Roadmap を用いた透視時間に関する検討. 奈良県診療放射線技師会学術大会2024, 2024. 11. 17, 橿原 (奈良)・ハイブリッド開催
5. 宮西 忠史, 高嶋 奏太：血管内治療における石灰化病変に対するワイヤー通過時の抵抗力の数値化. 日本放射線技術学会第68回近畿支部学術大会, 2024. 11. 30-12. 1, 大阪・ハイブリッド開催
6. 埴岡 大輝, 太田 有哉, 田中 優衣, 山崎 良, 久保 武：胸部動態撮影を用いた呼吸による肺野内の信号変化率の比較. 日本放射線技術学会第68回近畿支部学術大会, 2024. 11. 30-12. 1, 大阪・ハイブリッド開催 【大会長賞, 新人奨励賞 受賞】
7. 平川 耕太, 榎本 操一郎, 北 宗高：バルーン肺動脈形成術における診療放射線技師の取り組みを通して経験した一例. 第44回日本心血管インターベンション治療学会近畿地方会, 2025. 3. 1, 大阪, 現地開催

一般演題 (ポスター)

8. 西岡 宏之, 梶田 貴司, 長岡 俊治, 桑野 和代, 田岡 久嗣, 嶋田 ひとみ, 寺口 昌和, 金子 嘉志：「放射線部医療安全だより」による部門内のインシデント情報共有への取り組み. 第19回医療の質・安全学会学術集会, 2024. 11. 29-30, 横浜, 現地開催

◇研 究 会

特別講演・教育講演

1. 日浦 之和：腹部モーションアーチファクトへの対応. 第116回奈良県 MR Conference

定例研修会, 2024. 9. 13, 奈良・Web 開催

2. 畑中 弓絵：経験から学ぶ核医学検査 ルート確保におけるインシデント. 第52回奈良県 RI ミーティング, 2024. 9. 27, 奈良, 現地開催
3. 日浦 之和：乳腺 MRI の基礎知識. 令和 6 年度奈良県臨床検査技師会生涯教育研修会 画像分野勉強会, 2025. 1. 16, 天理・Web 開催
4. 岡本 一将：当院におけるアミロイド PET 検査の紹介～撮像時間の検討を添えて～. 第53回奈良県 RI ミーティング, 2025. 3. 28, 橿原（奈良）, 現地開催

◇その他の講演

1. 黒田 大悟：採用する側からのアドバイス. 2024年度京都医療科学大学就職懇談会, 2024. 6. 1, 南丹（京都）, 現地開催
2. 紀太 千恵子：マンモグラフィの線量測定. 日本放射線技術学会教育委員会・計測部会 第 4 回診断 X 線領域の線量測定基礎 Web セミナー（乳房領域）, 2024. 6. 15, Web 開催
3. 宮西 忠史：気になりませんか？他院の CT 線量管理～当院の評価方法を添えて～. 奈良 CT Conference 2024年 6 月定例会, 2024. 6. 27, 奈良・Web 開催
4. 宮西 忠史：手術支援画像～3D 画像作成～ 当院 3D 再構成の変遷～3D 画像作成に大切なもの～. 奈良県診療放射線技師会2024年度奈ラーニング, 2024. 7. 5, 橿原（奈良）・ハイブリッド開催
5. 森本 明：当院における植込み型心臓ペースメーカー等の対応について. 奈良県診療放射線技師会組織委員会令和 6 年度東・南地区懇話会, 2024. 9. 20, 橿原（奈良）, 現地開催
6. 紀太 千恵子：DRLs2025 に向けてマンモグラフィの線量測定を改めて基礎から学ぶ. 日本放射線技術学会教育委員会・撮影部会第14回デジタルマンモグラフィを基礎から学ぶセミナー, 2024. 10. 1-31, Web 開催
7. 山崎 良：医用画像情報のトレンドを読み解く：押さえておきたい基本の画像処理と動態撮影の解析 動態撮影 胸部動態撮影の基礎と臨床. 医用画像情報学会令和 6 年度創立60周年200回記念大会, 2024. 10. 5, 大阪, 現地開催
8. 北村 一司：医用画像情報のトレンドを読み解く：押さえておきたい基本の画像処理と動態撮影の解析 動態撮影 動態撮影の放射線治療への応用. 医用画像情報学会令和 6 年度創立60周年200回記念大会, 2024. 10. 5, 大阪, 現地開催
9. 紀太 千恵子：診断領域線量測定セミナー 乳房領域. 日本放射線技術学会東京支部主催学術講演会, 2024. 12. 15, 東京, 現地開催
10. 北村 一司：そのスライド, 訴えられますよ！知っておきたい著作権のはなし. 日本放射線技術学会第68回近畿支部学術大会開催後 web Live 配信, 2024. 12. 21, 大阪・ハイブリッド開催
11. 北村 一司：臨床研究に必要な倫理の解釈と研究の進め方. 日本放射線技術学会関東支部2024年度第 3 回関東 Angio 研究会（第11回ステップアップセミナー）, 2025. 1. 11, 東京・Web 開催
12. 山田 和弥：手・足の画像表示どうしてます？～天理よろづ相談所病院の変遷～. 奈良 CT Conference 2025年 2 月定例会, 2025. 2. 27, 奈良・Web 開催

◇院内集談会

1. 西岡 宏之：「放射線部医療安全だより」による部門内のインシデント情報共有への取り組み. 医療安全管理担当者全体会議, 2024. 9. 26, 外来診療棟 5 階講堂
2. 椎名 隆之, 宮西 忠史：胸部 CT 撮影範囲の違いによる被ばく線量調査. 第58回放射線部研究発表会, 2024. 11. 12, 外来診療棟 5 階講堂
3. 平川 耕太, 北 宗高, 北村 一司, 榎本 操一郎：肺動脈バルーン形成術前後で動態撮影を撮像した一例. 第58回放射線部研究発表会, 2024. 11. 12, 外来診療棟 5 階講堂
4. 高嶋 奏太, 宮西 忠史：血管内治療における石灰化病変に対するワイヤーに掛かる力の数値化に対する初期検討. 第58回放射線部研究発表会, 2024. 11. 12, 外来診療棟 5 階講堂
5. 埴岡 大輝, 太田 有哉, 田中 優衣, 山崎 良, 久保 武：胸部動態撮影を用いた呼吸による肺野内の信号変化率の比較. 第58回放射線部研究発表会, 2024. 11. 12, 外来診療棟 5 階講堂
6. 北村 一司：学術研究部活動報告. 第58回放射線部研究発表会, 2024. 11. 12, 外来診療棟 5 階講堂

病 理 診 断 部

◇学 術 雑 誌

(欧 文)

〈他施設との共同研究〉

1. Saka M, Fujimoto M, Mizoguchi K, Tsujimura M, Saeki M, Hirata M, Shibuya S, Odani K, Sakurai T, Yuba Y, Moriyoshi K, Nakajima N, Sumiyoshi S, Kono F, Ono K, Shirase T, Watanabe C, Yoshizawa A, Haga H: Insulin-like growth factor II mRNA-binding protein 3 is a highly sensitive marker for intravascular large B-cell lymphoma: Immunohistochemical analysis of 152 pathology specimens from 88 patients. The American Journal of Surgical Pathology 2024 ; 48(6) : 671-680.
2. Ito H, Yoshizawa A, Terada K, Nakakura A, Rokutan-Kurata M, Sugimoto T, Nishimura K, Nakajima N, Sumiyoshi S, Hamaji M, Menju T, Date H, Morita S, Bise R, Haga H: A deep learning-based assay for programmed death ligand 1 immunohistochemistry scoring in non-small cell lung carcinoma: Does it help pathologists score? Modern Pathology 2024 ; 37(6) : 100485.

臨床検査部

◇書籍

1. 川邊 晴樹：クロージングボリュームと肺内ガス分布．呼吸機能検査技術教本 第2版（JAMT 技術教本シリーズ），pp68－73，日本臨床衛生検査技師会 監修，じほう（東京）2024
2. 松尾 収二：日常検査から病態を読み解く．臨床検査ポケット資料集 2024年版，pp 413－439，臨床検査ポケット資料集作製チーム，日本臨床検査専門医会（東京）2024

◇学術雑誌

（欧文）

1. Yoshida K, Sada RM, Yoshioka A, Akebo H, Miyake H, Hatta K: The diagnostic utility of intima-media thickness measurement compared with the halo sign in temporal artery ultrasonography: A single-centre retrospective study. *Clinical and Experimental Rheumatology* 2025; doi: 10.55563/clinexprheumatol/nazkih.
2. Yoshioka A, Shimomura D, Morita M, Kono A, Matsumoto T, Kondo H, Shimada M, Kamioka M, Kumano O: Evaluation of coagulation and fibrinolysis mechanisms in deep vein thrombosis using clot-fibrinolysis waveform analysis. *International Journal of Laboratory Hematology* 2025; doi: 10.1111/ijlh.14437: 0.

（邦文）

3. 倉村 英二：極端値・パニック値対応マニュアル Ver.2 III 極端値と考慮する病態・疾患・変動要因 18) アミラーゼ (AMY). *医療検査と自動化* 2024; 49 (Suppl.1): 93－97.
4. 川邊 晴樹：【極める！呼吸機能検査 患者を診る力が成功のカギ】（7章）ガス洗い出し法（1回呼吸法）の失敗例とその対応 ガス洗い出し法（1回呼吸法）の基本．検査と技術 2025; 53 (2): 272－278.
5. 上岡 樹生：肺線維化のバイオマーカー. *Laboratory and Clinical Practice* 2024; 42 (2): 55－56.
6. 永井 直治：【骨髓腫と類縁疾患の検査学】血液学的検査. *臨床検査* 2024; 68 (7): 856－862.
7. 松谷 勇人：【図解で苦手克服！成人先天性心疾患】Fallot 四徴症 術前のエコー 血行動態と解剖を理解してエコーを診る. *心エコー* 2024; 25 (7): 698－707.

◇学会

国際学会

一般演題（ポスター）

1. Matsutani H, Izumi C, Amano M, Sakai Y, Kuwano K, Shimada M, Kamioka M, Miyake M: Influence of ROI width in evaluation of regional and global longitudinal strain in patients with hypertrophic cardiomyopathy. *EuroEcho*

(European Society of Cardiology) 2024, 2024.12.13-14, Berlin (Germany), 現地開催
国内学会

特別講演・教育講演

2. 松谷 勇人：認定専門技師資格取得の流れのポイント～取得後の世界～. 日本心エコー図学会第35回学術集会, 2024. 4. 19-21, 姫路（兵庫）, 現地開催
3. 吉岡 明治：ハンズオンセミナー 2 診療科・病棟で使える！ポータブル下肢静脈エコーハンズオンセミナー ～エコーのプロが下肢静脈血栓症のエコー診断教えます～. 第44回日本静脈学会総会, 2024. 6. 13-14, 長野, 現地開催
4. 吉岡 明治：下肢静脈瘤の分岐点を探る～一次性と二次性～. 第49回日本超音波検査学会学術集会, 2024. 7. 19-21, 仙台（宮城）, 現地開催
5. 松谷 勇人：循環器領域 Chance！「匠に学ぶスクリーニング心エコー」左心系スクリーニング. 第49回日本超音波検査学会学術集会 第147回医用超音波講義講習会, 2024. 7. 19-21, 仙台（宮城）, 現地開催
6. 倉村 英二：極端値・パニック値への対応 含窒素化合物. 日本医療検査科学会第56回大会 第25回科学技術セミナー, 2024. 10. 4-6, 横浜, 現地開催

特別企画（シンポジウム・パネルディスカッション）

7. 松谷 勇人：三尖弁閉鎖不全症の重症度評価. 日本心エコー図学会第35回学術集会, 2024. 4. 19-21, 姫路（兵庫）, 現地開催
8. 松谷 勇人：僧帽弁形成術での術中エコーにおける Sonographer の役割. 第49回日本超音波検査学会学術集会, 2024. 7. 19-21, 仙台（宮城）, 現地開催
9. 下村 大樹：血栓止血領域 red hot topics：実臨床におけるクロスミキシングテストの実践と解釈. 第25回日本検査血液学会学術集会, 2024. 7. 20-21, 広島, 現地開催
10. 潮崎 裕也：機器更新による導入効果と免疫抑制剤シクロスポリン・タクロリムスの前処理自動化について. 令和6年度日本臨床衛生検査技師会近畿支部医学検査学会（第63回）, 2024. 11. 3-4, 大阪, 現地開催
11. 永井 直治：血液形態診断のためのケースカンファレンス. 第71回日本臨床検査医学会学術集会, 2024. 11. 28-12. 1, 大阪, 現地開催
12. 阿部 教行：微生物検査システムの超活用術—当院のシステム活用法について—. 第36回日本臨床微生物学会総会・学術集会, 2025. 1. 24-26, 名古屋, 現地開催

一般演題（口演）

13. 吉岡 明治：小伏在静脈と下腿神経の位置関係の検討. Japan Venous Talk 2024, 45388, 奈良, 現地開催
14. 岩本 英恵, 松谷 勇人, 鈴木 眞子, 瀬良 章, 坂井 優, 竹原 真帆, 馬場 萌, 嶋田 昌司, 野口 祐, 中川 頌子, 坂本 二郎, 三宅 誠：心アミロイドーシスと高血圧性左室肥大の鑑別における apical sparing pattern 解析の新しい方法と従来法との比較. 日本心エコー図学会第35回学術集会, 2024. 4. 19-21, 姫路（兵庫）, 現地開催
15. 木下 真紀, 下村 大樹, 嶋田 昌司, 上岡 樹生： α 鎖異常ヘモグロビンはHbA1c低値を契機に発見されることが稀である. 第67回日本糖尿病学会年次学術集会, 2024.

5. 17-19, 東京, 現地開催

16. 下村 大樹, 河野 紋, 高田 旬生, 辻井 温, 嶋田 昌司, 上岡 樹生: APTT 試薬変更時における試薬間差解析の意義. 第73回日本医学検査学会, 2024. 5. 11-12, 金沢 (石川), 現地開催
17. 河野 紋, 下村 大樹, 辻井 温, 高田 旬生, 嶋田 昌司, 上岡 樹生: PT・APTT 試薬におけるロット検定の重要性. 第73回日本医学検査学会, 2024. 5. 11-12, 金沢 (石川), 現地開催
18. 川邊 晴樹, 山田 勇喜, 小林 彩乃, 北川 実美, 小林 昌弘, 嶋田 昌司: 呼吸機能検査における極異常値速報の有用性について. 第73回日本医学検査学会, 2024. 5. 11-12, 金沢 (石川), 現地開催
19. 吉岡 明治, 野寺 裕之, 嶋田 昌司, 上岡 樹生: 小伏在静脈と脛骨神経の位置的関係の検討. 第44回日本静脈学会総会, 2024. 6. 13-14, 長野, 現地開催
20. 竹原 真帆, 岩本 英恵, 鈴木 眞子, 瀬良 章, 坂井 優, 馬場 萌, 松谷 勇人: Libman-Sacks 心内膜炎により急性心筋梗塞を発症した1例. 第49回日本超音波検査学会学術集会, 2024. 7. 19-21, 仙台 (宮城), 現地開催
21. 馬場 創汰, 桑野 和代, 松下 陽子, 嶋田 昌司, 赤坂 尚司, 上岡 樹生: 当院の SOS/VOD 診断における HokUS-6 評価の有用性. 第49回日本超音波検査学会学術集会, 2024. 7. 19-21, 仙台 (宮城), 現地開催
22. 瀬良 章, 松谷 勇人, 岩本 英恵, 鈴木 眞子, 竹原 真帆, 坂井 優, 馬場 萌, 嶋田 昌司: 術後早期に再発した Calcified Amorphous Tumor の一例. 第49回日本超音波検査学会学術集会, 2024. 7. 19-21, 仙台 (宮城), 現地開催
23. 永井 直治, 畑中 徳子, 高橋 陸, 下村 大樹, 嶋田 昌司, 上岡 樹生: リアルタイム精度管理 even check 法のスコア化による末梢血液項目の誤差検出能. 第25回日本検査血液学会学術集会, 2024. 7. 20-21, 広島, 現地開催
24. 東 成臣, 永井 直治, 下村 大樹, 嶋田 昌司, 上岡 樹生: 急性骨髄性白血病の早期再発を捉えるための WT1mRNA 速報の運用状況. 第25回日本検査血液学会学術集会, 2024. 7. 20-21, 広島, 現地開催
25. 下村 大樹, 河野 紋, 高田 旬生, 辻井 温, 嶋田 昌司, 上岡 樹生, 宮地 恵子, 遠見 真理, 川辺 俊樹: APTT 延長を呈さない凝固異常症を検出する試み. 第25回日本検査血液学会学術集会, 2024. 7. 20-21, 広島, 現地開催
26. 吉岡 明治, 桑野 和代, 嶋田 昌司, 三宅 誠, 上岡 樹生: 超音波検査による経過観察中に消失を確認し得た総大腿静脈外膜囊腫の1例. 日本超音波医学会第51回関西地方会学術集会/第28回関西地方会講習会併催, 2024. 9. 21, 大阪・ハイブリッド開催
27. 木下 真紀, 下村 大樹, 嶋田 昌司, 上岡 樹生: 当院で経験した異常ヘモグロビン症〜HA-8180V の Variant モードは変異ヘモグロビン発見に有用である〜. 日本医療検査科学会第56回大会, 2024. 10. 4-6, 横浜, 現地開催
28. 潮崎 裕也, 木下 真紀, 下村 大樹, 嶋田 昌司, 上岡 樹生: 検体検査自動化システム CLINILOG V4 を用いたルミパルス iTACT シクロスポリンの基礎的検討. 日本医療検

査科学会第56回大会, 2024. 10. 4-6, 横浜, 現地開催

29. 藤本 大輝: *Pseudomonas guariconensis* による菌血症と胆管炎を起こした一症例. 令和6年度日本臨床衛生検査技師会近畿支部医学検査学会(第63回), 2024. 11. 3-4, 大阪, 現地開催
30. 山崎 健太, 永井 直治, 下村 大樹, 嶋田 昌司, 上岡 樹生: BCR::ABL1 陽性慢性骨髄性白血病の検出に有用な項目の検索. 令和6年度日本臨床衛生検査技師会近畿支部医学検査学会(第63回), 2024. 11. 3-4, 大阪, 現地開催
31. 加世田 奈津子, 潮崎 裕也, 木下 真紀, 下村 大樹, 嶋田 昌司, 上岡 樹生: 検体搬送装置の更新による TAT と検査業務への効果検証. 令和6年度日本臨床衛生検査技師会近畿支部医学検査学会(第63回), 2024. 11. 3-4, 大阪, 現地開催
32. 余村 求, 木下 真紀, 下村 大樹, 嶋田 昌司, 上岡 樹生: 検査室からの追加検査提案により腎性低尿酸血症(RHUC)の診断に寄与した1症例. 令和6年度日本臨床衛生検査技師会近畿支部医学検査学会(第63回), 2024. 11. 3-4, 大阪, 現地開催
33. 安浪 輝芳, 嶋田 昌司, 桑野 和代, 松谷 勇人: 疾患別にみた加算平均心電図による遅延電位の有無と心室性頻拍の関連性. 令和6年度日本臨床衛生検査技師会近畿支部医学検査学会(第63回), 2024. 11. 3-4, 大阪, 現地開催
34. 小原 颯斗, 松谷 勇人, 桑野 和代, 嶋田 昌司: 病棟セントラルモニターを用いた1chホルター心電図導入の基礎検討. 令和6年度日本臨床衛生検査技師会近畿支部医学検査学会(第63回), 2024. 11. 3-4, 大阪, 現地開催
35. 南 道也, 新家 徹也, 川 健司, 阿部 教行, 下村 大樹, 嶋田 昌司, 上岡 樹生: 当院におけるAX4061とUF5000を用いた円柱検出口ジックの有用性検証. 令和6年度日本臨床衛生検査技師会近畿支部医学検査学会(第63回), 2024. 11. 3-4, 大阪, 現地開催
36. 山村 信也, 新家 徹也, 川 健司, 阿部 教行, 下村 大樹, 嶋田 昌司, 上岡 樹生: AX4061およびUF5000を用いた新たな異型細胞検出口ジックの構築. 令和6年度日本臨床衛生検査技師会近畿支部医学検査学会(第63回), 2024. 11. 3-4, 大阪, 現地開催
37. 阿部 教行, 福田 砂織, 中西 琴音, 上岡 樹生: 抗酸菌遺伝子検査結果と培養法乖離例の経年的比較検討. 第94回日本感染症学会西日本地方会学術集会/第72回日本化学療法学会西日本支部総会合同学会, 2024. 11. 14-16, 神戸, 現地開催
38. 阿部 教行: システムを活用した診療支援&検査業務の効率化 Part-2. 第36回日本臨床微生物学会総会・学術集会, 2025. 1. 24-26, 名古屋, 現地開催
39. 阿部 教行: *Mycobacterium abscessus* subsp. *abscessus* のマクロライド耐性に関与する遺伝子 *erm41* および *whib7* の RNA 相対定量解析の試み. 第36回日本臨床微生物学会総会・学術集会, 2025. 1. 24-26, 名古屋, 現地開催
40. 福田 砂織, 藤本 大輝, 岡本 琴音, 阿部 教行: *Campylobacter fetus* subsp. *venetealis* 髄膜炎の一例. 第36回日本臨床微生物学会総会・学術集会, 2025. 1. 24-26, 名古屋, 現地開催
41. 中西 琴音, 藤本 大輝, 松本 学, 福田 砂織, 阿部 教行: 当院における非結核性抗酸

菌の検出状況および薬剤感受性の推移. 第36回日本臨床微生物学会総会・学術集会, 2025.
1. 24-26, 名古屋, 現地開催

〈他施設との共同研究〉

42. 松本 智子, 谷田 百菜, 川邊 美智子, 下村 大樹, 河野 紋, 辻井 温, 新井 信夫, 鈴木 健史, 黒野 浩司, 上岡 樹生: 凝固線溶波形解析 (CFWA) におけるフィブリン分解過程の解明. 第25回日本検査血液学会学術集会, 2024. 7. 20-21, 広島, 現地開催
43. 松田 将門, 下村 大樹, 鈴木 健史, 田渕 有香, 黒野 浩司, 西 圭祐, 新井 信夫, 星山 良樹, 上岡 樹生, 森山 雅人, 松本 智子: 凝固波形解析にディープラーニングを適用した APTT 延長原因鑑別モデルの構築と性能評価. 第71回日本臨床検査医学会学術集会, 2024. 11. 28-12. 1, 大阪, 現地開催
44. 吉川 広佳, 清水 貞則, 下村 大樹, 曾山 奉教, 松本 智子: 凝固線溶波形解析で補助循環用ポンプカテーテル IMPELLA 使用におけるモデル血漿の止血能を評価する. 第71回日本臨床検査医学会学術集会, 2024. 11. 28-12. 1, 大阪, 現地開催
45. 北川 雄飛, 松本 智子, 川邊 美智子, 下村 大樹, 上岡 樹生, 田村 俊寛: FXa 生成を反映する CWA を用いた DOAC モニタリング法の創出 (1). 第71回日本臨床検査医学会学術集会, 2024. 11. 28-12. 1, 大阪, 現地開催
46. 川邊 美智子, 北川 雄飛, 松本 智子, 下村 大樹, 上岡 樹生, 田村 俊寛: FXa 生成を反映する CWA を用いた DOAC モニタリング法の創出 (2). 第71回日本臨床検査医学会学術集会, 2024. 11. 28-12. 1, 大阪, 現地開催
47. 山本 さやか, 川村 良一, 松永 絢乃, 中村 文彦, 上岡 樹生: 発熱と四肢体幹の紅斑を認めた70代男性. 第71回日本臨床検査医学会学術集会, 2024. 11. 28-12. 1, 大阪, 現地開催

一般演題 (ポスター)

48. 鈴木 眞子, 松谷 勇人, 岩本 英恵, 瀬良 章, 坂井 優, 竹原 真帆, 馬場 萌, 嶋田 昌司, 野口 祐, 中川 頌子, 坂本 二郎, 三宅 誠: TAVI 術中の経胸壁心エコー評価が有用であった2例. 日本心エコー図学会第35回学術集会, 2024. 4. 19-21, 姫路 (兵庫), 現地開催
49. 倉村 英二, 木下 真紀, 下村 大樹, 嶋田 昌司, 上岡 樹生: FER-ラテックス RX「生研」の基礎的検討および従来試薬と測定値が乖離した1例の解析. 第73回日本医学検査学会, 2024. 5. 11-12, 金沢 (石川), 現地開催
50. 中本 聖次郎, 木下 真紀, 倉村 英二, 下村 大樹, 嶋田 昌司, 上岡 樹生: HLC-723GR01 の基本性能および変異ヘモグロビン検出能の評価. 第73回日本医学検査学会, 2024. 5. 11-12, 金沢 (石川), 現地開催
51. 新家 徹也, 川 健司, 阿部 教行, 下村 大樹, 嶋田 昌司, 上岡 樹生, 中村 彰宏: AX4061 および UF5000 導入における新たな円柱検出口ジックの構築. 第73回日本医学検査学会, 2024. 5. 11-12, 金沢 (石川), 現地開催
52. 南 睦, 高田 旬生, 山崎 健太, 西田 まゆみ, 森 珠恵, 矢島 さつき, 高橋 那月, 駒井 美穂, 上岡 樹生: アンケート結果から作成した輸血業務チェックリストと外観確認

用配布資料の紹介. 第72回日本輸血細胞治療学会, 2024. 5. 30-6. 1, 東京・ハイブリッド開催

◇研 究 会

特別講演・教育講演

1. 永井 直治: フローサイトメトリー有効活用～造血器腫瘍の探し方～. BD FACSTTM クリニカルソリューションセミナー in 東京 2024, 2024. 6. 15, 東京, 現地開催
2. 永井 直治: 検査室よりつながる骨髓増殖性腫瘍の早期診断. 造血器腫瘍臨床検査セミナー, 2024. 6. 27, 橿原 (奈良)・ハイブリッド開催
3. 永井 直治: フローサイトメトリーにおける腫瘍性リンパ球の探し方～2カラー解析でどこまでマルチカラー解析に迫れるか～. Hematology Meeting Next-Generation, 2024. 8. 29, 奈良, 現地開催
4. 植東 ゆみ: 当院における甲状腺超音波検査の現状と今後の取り組み. 第14回奈良甲状腺研究会, 2024. 9. 7, 橿原 (奈良), 現地開催
5. 吉岡 明治: 生理検査研修会 下肢静脈. 令和6年度日本臨床衛生検査技師会近畿支部研修会, 2025. 1. 12, 京都, 現地開催

特別企画 (シンポジウム・パネルディスカッション)

6. 吉岡 明治: 実技講習会 B. 静脈エコー実践: DVT 検査, 静脈瘤検査 (神経の観察を含む). 第9回かもがわ Venous Forum, 2024. 7. 15, 京都, 現地開催
7. 吉岡 明治, 野寺 裕之, 嶋田 昌司, 上岡 樹生: 小伏在静脈と腓腹神経走行の検討. 第17回神経筋超音波研究会, 2024. 10. 24, 札幌 (北海道), 現地開催

一般演題 (口演)

8. 永井 直治: データの紐解き方 お悩み解決ディスカッション (血液編). シスメックス奈良県血液セミナー2024, 2024. 6. 29, 奈良・ハイブリッド開催
9. 南 睦: 濃厚血小板輸血に貴院した細菌感染症を発見するための当院の取り組みと現状. 第10回奈良県輸血・造血細胞治療研究会, 2024. 8. 3, 奈良, 現地開催
10. 山田 勇喜: クロージングボリューム測定のスクリーニング検査としての有用性について. 第21回自動呼吸機能検査研究会, 2024. 8. 31, 奈良・Web 開催
11. 永井 直治: 血液検査研修会 症例提示. 令和6年度日本臨床衛生検査技師会近畿支部研修会, 2024. 9. 1, 和歌山, 現地開催
12. 高田 旬生: 血液検査研修会 症例提示. 令和6年度日本臨床衛生検査技師会近畿支部研修会, 2024. 9. 1, 和歌山, 現地開催
13. 永井 直治: MPN 症例解説. 造血器腫瘍臨床検査セミナー, 2024. 11. 15, 奈良, 現地開催
14. 永井 直治: 異形成を伴う血球増加. zoom 形態カンファレンス, 2024. 12. 12, 東京・Web 開催
15. 福田 砂織: 近畿耐性菌研究会2024年度事業報告～近畿地区で分離された抗菌薬耐性菌分離調査成績～. 第28回近畿耐性菌研究会特別講演会, 2024. 12. 13, 大阪, 現地開催
16. 小林 昌弘: 生理検査研修会 神経伝導検査. 令和6年度日本臨床衛生検査技師会近畿

支部研修会, 2025. 1. 12, 京都, 現地開催

17. 辻井 温, 下村 大樹, 河野 紋, 高田 旬生: プロトロンビン時間 (PT) 異常値症例における速報後の対応調査からみた特徴. PHC 凝固線溶セミナー関西2024, 2025. 1. 25, 大阪, 現地開催
18. 倉村 英二: 分析装置のパラメータ設定について (入力方法, 各パラメータの説明). 日立 高橋開智塾, 2025. 2. 1, 天理, 現地開催

◇その他の講演

1. 阿部 教行: 微生物検査の基礎 (検体採取・グラム染色) [専門-20]. 奈良県臨床検査技師会生涯教育研修会, 2024. 4. 25, 天理・Web 開催
2. 山村 信也: 尿中有形成分分析装置における新たな異型細胞検出口ジック設定の試み. 第40回奈良県医学検査学会, 2024. 5. 26, 橿原 (奈良), 現地開催
3. 松岡 直子: Basic Cytology 技術 [専門-20]. 奈良県臨床検査技師会生涯教育研修会, 2024. 6. 1, 天理・Web 開催
4. 中西 琴音: 測定原理を紐解くシリーズ: LAMP 法 [専門-20]. 奈良県臨床検査技師会生涯教育研修会, 2024. 6. 5, 天理・Web 開催
5. 川邊 晴樹: 肺機能検査症例検討. 心電図研修所合同会社 肺機能症例検討セミナー 2024, 2024. 6. 20, 旭川 (北海道)・Web 開催
6. 中西 琴音: 測定原理を紐解くシリーズ: TRC 法 [専門-20]. 奈良県臨床検査技師会生涯教育研修会, 2024. 6. 26, 天理・Web 開催
7. 川 健司: 基礎から学ぶ尿沈渣～血球類～ [専門-20]. 奈良県臨床検査技師会生涯教育研修会, 2024. 6. 27, 天理・Web 開催
8. 上岡 樹生: 肺線維化のバイオマーカー. 日本臨床検査専門医会第3回年次大会, 2024. 6. 29, 和歌山, 現地開催
9. 川 健司: 尿潜血陽性時にあなたは何を考えるか? ～血尿診断ガイドラインと尿沈渣のピットフォール～. Autinon Conference 2024 Summer, 2024. 7. 24, 大阪・ハイブリッド開催
10. 東 成臣: 血液・凝固検査における当院のこだわりポイント [専門-20]. 奈良県臨床検査技師会生涯教育研修会, 2024. 8. 1, 天理・Web 開催
11. 高橋 明德: Basic cytology 消化器・甲状腺 [専門-20]. 奈良県臨床検査技師会生涯教育研修会, 2024. 8. 3, 天理・Web 開催
12. 辻井 温: チャレンジ! 二級血液&認定血液検査技師. 奈良県臨床検査技師会生涯教育研修会, 2024. 8. 9, 天理・Web 開催
13. 吉岡 明治, 馬場 萌, 馬場 創汰: 超音波実技講習会 (心臓・腹部) [専門-20]. 奈良県臨床検査技師会生涯教育研修会, 2024. 9. 7, 奈良, 現地開催
14. 川邊 晴樹, 小原 颯斗, 安浪 輝芳: 2024年度心電図・呼吸機能合同実技講習会 [専門-20]. 奈良県臨床検査技師会生涯教育研修会, 2024. 9. 14, 天理, 現地開催
15. 河野 紋: 職業講話. 大三輪中学校 職業講話, 2024. 9. 20, 桜井 (奈良), 現地開催
16. 中西 琴音: 測定原理を紐解くシリーズ: magLEAD, geneLEAD [専門-20]. 奈良県

臨床検査技師会生涯教育研修会，2024. 9. 25，天理，現地開催

17. 小林 昌弘：神経伝導速度（NCS）のコツと読み方．大阪府臨床検査技師会学術部 生理検査部門定期講習会，2024. 9. 27，大阪，現地開催
18. 高田 旬生：輸血検査基礎研修会①血液型〔専門-20〕．奈良県臨床検査技師会生涯教育研修会，2024. 9. 30，奈良，現地開催
19. 中西 琴音：測定原理を紐解くシリーズ：GENECUBE®〕〔専門-20〕．奈良県臨床検査技師会生涯教育研修会，2024. 10. 1，奈良，現地開催
20. 中西 琴音：エムボックスと新興感染症の脅威に備える〔専門-20〕．奈良県臨床検査技師会生涯教育研修会，2024. 10. 18，橿原（奈良）・Web 開催
21. 川邊 晴樹：肺機能検査の症例検討セミナー．心電図研修所合同会社 肺機能検査の症例検討セミナー，2024. 10. 30，旭川（北海道）・Web 開催
22. 南 睦：輸血検査基礎研修会②不規則抗体〕〔専門-20〕．奈良県臨床検査技師会生涯教育研修会，2024. 10. 31，奈良，現地開催
23. 松本 学：微生物研究班 2024年奈臨技サーベイ報告会〔専門-20〕．奈良県臨床検査技師会生涯教育研修会，2024. 11. 7，天理・Web 開催
24. 加藤 み，加世田 奈津子，藤本 夏綺，岡本 朋子：臨床化学・免疫血清 精度管理報告会〔専門-20〕．奈良県臨床検査技師会生涯教育研修会，2024. 11. 28，天理・Web 開催
25. 吉岡 明治：下肢静脈エコーハンズオンセミナー．第5回日本フットケア・足病医学会年次学術集会，2024. 11. 29-30，神戸，現地開催
26. 高橋 陸：R-CPC で学ぶ検査データの考え方．HORIBA 血液 WEB セミナー，2024. 12. 7，京都・Web 開催
27. 吉岡 明治：EVLA 術中エコーの準備から観察，走査・評価のポイント．第149回医用超音波講義講習会，2024. 12. 8，東京，現地開催
28. 東 成巨：2024年度奈臨技血液分野精度管理調査報告会〔専門-20〕．奈良県臨床検査技師会生涯教育研修会，2024. 12. 19，天理・Web 開催
29. 川 健司：2024年度一般検査奈臨技サーベイ検討会〔専門-20〕．奈良県臨床検査技師会生涯教育研修会，2024. 12. 26，天理・Web 開催
30. 下村 大樹，永井 直治：血液分野顕微鏡実技講習会〔専門-20〕．奈良県臨床検査技師会生涯教育研修会，2025. 1. 11，天理，現地開催
31. 松谷 勇人，馬場 創汰：日臨技&奈臨技サーベイ検討会（超音波）〔専門-20〕．奈良県臨床検査技師会生涯教育研修会，2025. 1. 30，天理・Web 開催
32. 岩本 英恵：超音波症例検討会（心臓領域）〔専門-20〕右心拡大を認めた若年女性の1症例．奈良県臨床検査技師会生涯教育研修会，2025. 2. 6，天理・Web 開催
33. 桑野 和代，岡本 朋子：NST▶DMT における最新トピックスと採血・医療安全・DMAT における活動紹介〔基礎-20〕．奈良県臨床検査技師会生涯教育研修会，2025. 2. 7，天理・Web 開催
34. 山田 育洋：超音波症例検討会（腹部領域）〔専門-20〕．奈良県臨床検査技師会生涯教育研修会，2025. 2. 14，天理・Web 開催

35. 小林 昌弘：B コース（筋電図）～ハンズオン～①神経伝導検査（基本＋反復刺激）。第18回脳波・筋電図セミナー，2025. 2. 16，京都，現地開催
36. 松本 学：微生物検査の基礎（主要な陽性菌・陰性菌の耐性機序）〔専門-20〕。奈良県臨床検査技師会生涯教育研修会，2025. 2. 18，天理・Web 開催
37. 小林 昌弘：タスクシフトの現状①〔基礎-20〕術中神経モニタリング。奈良県臨床検査技師会生涯教育研修会，2025. 2. 19，天理・Web 開催
38. 木下 真紀：タスクシフトの現状②〔基礎-20〕。奈良県臨床検査技師会生涯教育研修会，2025. 2. 21，天理・Web 開催
39. 吉岡 明治：下肢深部静脈エコーハンズオン。2024年度奈良県臨床検査協議会研修会，2025. 2. 22，奈良，現地開催
40. 川邊 晴樹：呼吸機能検査～症例編～〔専門-20〕。奈良県臨床検査技師会生涯教育研修会，2025. 2. 27，天理・Web 開催
41. 山崎 健太：血液分野症例検討会〔専門-20〕。奈良県臨床検査技師会生涯教育研修会，2025. 3. 7，天理・Web 開催
42. 川 健司：スキヤッタグラムに関する症例報告。シスメックスユリナリスセミナー 2024 Vol. 3，2025. 3. 8，東京，現地開催
43. 松尾 収二：脂肪肝。令和6年度西宮医師会講演会，2025. 3. 9，西宮（兵庫），現地開催
44. 吉岡 明治：下肢静脈瘤治療前の神経の走行をエコーで確認するポイント。第12回これからはじめる！心血管エコーライブ&ハンズオンセッション2025，2025. 3. 23，大阪，現地開催
45. 山田 勇喜：2024年度日臨技・奈臨技サーベイ解説会（呼吸）〔専門-20〕。奈良県臨床検査技師会生涯教育研修会機能分野サーベイ解説会，2025. 3. 27，天理・Web 開催

◇院内集談会

1. 日裏 菜摘，永井 直治，山崎 健太，東 成臣：スキヤッタグラムデータを用いた機械学習による破碎赤血球出現検知の検討。2024年度臨床検査部・臨床工学部研究発表会，2025. 3. 3，外来診療棟5階講堂
2. 尾留川 雅治，松本 学，阿部 教行：カルパペネマーゼ産生 *K. oxytoca* と *K. michiganensis* の遺伝子学的鑑別方法の検討。2024年度臨床検査部・臨床工学部研究発表会，2025. 3. 3，外来診療棟5階講堂
3. 森 琴恵：超音波パルスドプラ法による肝静脈血流波形測定についての基礎検討。2024年度臨床検査部・臨床工学部研究発表会，2025. 3. 3，外来診療棟5階講堂
4. 森田 麻由佳：右心カテーテル時のハンドグリップ負荷による心内圧変化の比較検討。2024年度臨床検査部・臨床工学部研究発表会，2025. 3. 3，外来診療棟5階講堂

◇企業内講演

1. 松尾 収二：極異常値・パニック値の意義と対応。シスメックス社内研修会，2024. 10. 7，神戸，現地開催
2. 松尾 収二：定性検査と定量検査。日立ハイテク社内研修会，2024. 12. 1，水戸（茨木），現地開催

3. 木下 真紀：当院における POCT の運用とこれからの POCT に求めること。（株）トクシマ研修会，2024. 12. 20，つくば（茨木），現地開催

臨床工学部

◇学術雑誌

（邦文）

1. 小林 靖雄：IPC（Intermittent pneumatic compression：間欠的空気圧迫）を用いて VTE 予防するには CE が管理すべきです！！ Perfusion Saloon 2024；15：38-43.

◇学会

国内学会

特別講演・教育講演

1. 清水 貞則：今日から使える確実な脳分離体外循環のための頸動脈エコー．第43回日本体外循環技術医学会近畿地方会大会，2024. 9. 29，吹田（大阪）・Web 開催

特別企画（シンポジウム・パネルディスカッション）

2. 長岡 俊治：医療機器安全管理部会企画医療機器と安全管理～あなたの施設でどうして
る？～日頃抱いているそのギモン，日臨工と解決します！ 第30回近畿臨床工学会，
2024. 11. 23-24，和歌山，現地開催

一般演題（口演）

3. 長岡 俊治，小林 靖雄：医用テレメータ WEP-1000 シリーズの安全管理機能及びスクリーンショット機能を用いたデータ保存．第34回日本臨床工学会，2024. 5. 18-19，福井・ハイブリッド開催
4. 大門 由輝，長岡 真理子，山本 利二郎，清水 貞則，岩永 博登，北川 貴大：daVinci Xi 2 台体制へ移行するための取り組み．第34回日本臨床工学会，2024. 5. 18-19，福井・ハイブリッド開催
5. 清水 一茂，赤坂 美佳，水谷 元樹，植田 悠太，小林 美菜，北川 貴大，岩永 博登，大門 由輝，外嶋 彩香，澤井 崇，長岡 真理子，二重 実，長岡 俊治，小林 靖雄，中川 達雄：早期リハビリテーションに対する取り組み 臨床工学技士（CE）の立場から．第46回日本呼吸療法医学会学術集会，2024. 6. 28-29，天童（山形），現地開催
6. 北川 貴大，尾崎 賢太，清水 貞則，山本 利二郎，二重 実，小林 靖雄：人工心肺操作者の引き継ぎチェックリストに一問一答形式はいかがでしょう？ 第42回日本体外循環技術医学会近畿地方会，2024. 6. 29-30，吹田（大阪），現地開催
7. 清水 貞則，尾崎 賢太，北川 貴大，二重 実，山本 利二郎，小林 靖雄：右頸動脈灌流不全を伴う急性大動脈解離に対する体外循環の経験と頸動脈エコーの重要性．第42回日本体外循環技術医学会近畿地方会大会，2024. 6. 29-30，吹田（大阪），現地開催

8. 穂山 正弥, 山上 新太郎, 中野 雄太, 杉村 宗典, 村山 真規, 清水 一茂, 清水 貞則, 佐藤 友啓, 本吉 司, 奥田 豊生, 近藤 博和, 田村 俊寛: EnSiteXを用いた Peak Frequency Mapが左房天蓋部を介した心外膜伝導を示唆した1例. 第70回日本不整脈心電学会学術大会, 2024. 7. 18-20・27, 金沢(石川), 現地開催
9. 清水 貞則, 松本 智子, 下村 大樹, 曾山 奉教: 凝固線溶波形解析(CFWA)で IMPELLA 使用中の凝固-線溶バランスを捉える. 第62回日本人工臓器学会大会, 2024. 11. 14-16, 宇都宮(栃木), 現地開催
10. 清水 一茂, 長岡 真理子, 長岡 俊治, 橋本 武昌, 小林 靖雄: TEVAR中の肺胞出血による換気不全に対して分離肺換気を行った1症例. 第30回近畿臨床工学会, 2024. 11. 23-24, 和歌山, 現地開催

〈他施設との共同研究〉

11. 吉川 広佳, 清水 貞則, 下村 大樹, 曾山 奉教, 松本 智子: 凝固線溶波形解析(CFWA)で補助循環用ポンプカテーテル IMPELLA 使用時の止血能を評価する. 第71回日本臨床検査医学会学術集会, 2024. 11. 28-12. 1, 大阪, 現地開催

一般演題(ポスター)

12. 尾崎 賢太, 小林 靖雄, 橋本 武昌, 長岡 真理子, 長岡 俊治, 清水 一茂, 清水 貞則, 中野 雄太, 二重 実, 山本 利二郎, 北川 貴大, 中川 達雄: IMPELLA5.5 はじめました. 第34回日本臨床工学会, 2024. 5. 18-19, 福井・ハイブリッド開催
13. 岩永 博登, 佐藤 友啓, 中野 雄太, 杉村 宗典, 村山 真規, 清水 一茂, 清水 貞則, 長岡 真理子, 長岡 俊治, 山本 利二郎, 穂山 正弥, 近藤 博和, 田村 俊寛, 山上 新太郎, 澤井 崇: 心房間と房室間の伝導遅延によりペースメーカー設定に難渋した心アミロイドーシスの1例. 第17回植込みデバイス関連冬季大会, 2025. 2. 21-22・3. 1, 福岡, 現地開催

◇研究会

特別講演・教育講演

1. 穂山 正弥, 山上 新太郎, 中野 雄太: 誘発に VTAP が有効であった s/f-AVNRT. 第1回 ITEM Involve Thinking EP Meeting, 2024. 6. 28, 大阪・Web 開催
2. 穂山 正弥, 山上 新太郎, 中野 雄太: 3D マッピングで挑む! Tips&Tricks をみんなでシェアします。基本に立ち返る reference と annotation. 第12回日本 EP・アブレーション技術研究会, 2024. 10. 12, 大阪, 現地開催
3. 穂山 正弥, 山上 新太郎, 中野 雄太: Peak Frequency Mapを用いた左房後壁隔離について. Electrophysiology Operator Meeting Vol. 6, 2024. 10. 23, Web 開催
4. 穂山 正弥, 山上 新太郎, 中野 雄太: EPS 基礎講座～流れに沿って〇っと丸わかり企画～上室性頻拍編. 近畿心血管治療ジョイントライブ KCJL2025, 2025. 3. 13-15, 神戸・Web 開催

特別企画(シンポジウム・パネルディスカッション)

5. 穂山 正弥, 山上 新太郎, 中野 雄太: ABL ケース カテーテルが突き抜けた!? 第3回 KCATS セミナー, 2025. 3. 1, 大阪・ハイブリッド開催

〈他施設との共同研究〉

6. 西内 英, 穂山 正弥: Live1 Durable PVIへの工夫, Non-PV fociを追い詰める
* CARTO 操作. 第16回 Catheter Ablation Course for AF (CACAF), 2024. 5. 24-25,
高槻 (大阪)・ハイブリッド開催

一般演題 (口演)

7. 穂山 正弥, 山上 新太郎, 中野 雄太, 杉村 宗典, 村山 真規, 清水 一茂, 清水 貞則,
佐藤 友啓, 本吉 司, 奥田 豊生, 近藤 博和, 田村 俊寛: EnsiteX OTNF を用いた Peak
Frequency map における High Cut Filter 値の影響に関する検討. 日本不整脈心電学
会カテーテルアブレーション関連秋季大会2024, 2024. 10. 10-12, 大阪, 現地開催

一般演題 (ポスター)

8. 中野 雄太: 起源同定に難渋した肺動脈起源心室期外収縮/非持続性心室頻拍の一例. 日
本不整脈心電学会カテーテルアブレーション関連秋季大会2024, 2024. 10. 10-12, 大阪,
現地開催

◇その他の講演

1. 中野 雄太: AF アブレーションの自施設での方法. 奈良県臨床工学技士会循環部門第
2 回循環部門勉強会, 2025. 2. 8, 奈良・Web 開催
2. 穂山 正弥, 中野 雄太: Atrial Tachycardia. 奈良県臨床工学技士会循環部門第 2 回循
環部門勉強会, 2025. 2. 8, 奈良・Web 開催
3. 清水 貞則: OPEN ICU での IMPELLA 管理—臨床工学技士の視点からできること—.
第30回東海胸部人工臓器カンファレンス, 2025. 2. 15, 豊明 (愛知), 現地開催

◇院内集談会

1. 穂山 正弥, 山上 新太郎, 中野 雄太, 杉村 宗典, 村山 真規, 清水 一茂, 清水 貞則,
佐藤 友啓, 本吉 司, 奥田 豊生, 近藤 博和, 田村 俊寛: Ventricular - Triggered Atrial
Pacing (VTAP) が誘発に有効であった通常型 AVNRT の 1 例. 令和 6 年度天理よろ
づ相談所学会発表会, 2025. 2. 6, 外来診療棟 5 階講堂
2. 青木 悠真, 北川 貴大, 清水 貞則: 血液粘弾性試験 TEG6s[®]は術後出血量を反映する
か. 2024年度臨床検査部・臨床工学部研究発表会, 2025. 3. 3, 外来診療棟 5 階講堂
3. 尾崎 賢太, 清水 貞則: ECMO の記録・チェックリストの改訂〜他施設共同での試
み〜. 2024年度臨床検査部・臨床工学部研究発表会, 2025. 3. 3, 外来診療棟 5 階講堂
4. 木谷 和貴, 穂山 正弥: 経カテーテル的大動脈弁置換術 (TAVI) における刺激伝導系
への影響. 2024年度臨床検査部・臨床工学部研究発表会, 2025. 3. 3, 外来診療棟 5 階講
堂
5. 堀越 丈智, 清水 貞則: 人工心肺における初回ヘパリン量を変更した効果. 2024年度臨
床検査部・臨床工学部研究発表会, 2025. 3. 3, 外来診療棟 5 階講堂

リハビリテーション部

◇学 会

国内学会

一般演題（口演）

1. 赤坂 美佳：術前身体機能評価と術後入院期間の関連性—当院の大動脈弁置換術施行患者を対象に一．第30回日本心臓リハビリテーション学会学術集会，2024. 7. 13－14，神戸，現地開催
2. 櫻井 美和子：心アミロイドーシスに対し外来で抗癌剤治療と定期的な心臓リハビリを継続した患者の運動耐容能と QOL の変化．第30回日本心臓リハビリテーション学会学術集会，2024. 7. 13－14，神戸，現地開催
3. 前岡 伸吾：教育部における臨床実践報告書の作成支援制度と実績報告．第15回奈良県作業療法士学会，2024. 9. 15，奈良，現地開催
4. 浅田 健太：大切な作業により病識の促しおよび訓練への動機付けを行い，退院後の役割再獲得へつながった症例．第15回奈良県作業療法士学会，2024. 9. 15，奈良，現地開催
5. 奥野 かず代：右腎がん後，脳転移・多発骨転移を呈した若年がん患者の自宅退院に向けた関わり．第15回奈良県作業療法士学会，2024. 9. 15，奈良，現地開催
6. 後藤 健一：Machine learning methods comparing the prediction accuracy of independent walking in post-stroke rehabilitation：A scoping review．第22回日本神経理学療法学会学術大会，2024. 9. 28－29，福岡，現地開催
7. 小湊 拓郎：解離症状を呈した A 氏が自分らしく生きる基盤を築けた事例～食事動作と多職種での関わり方の統一に着目して～．リハビリテーション・ケア合同研究大会 山梨 2024，2024. 10. 3－4，山梨，現地開催
8. 後藤 健一：複数の機械学習を用いた急性期病院での転倒の予測性能の比較 スコーピングレビュー．日本転倒予防学会第11回学術集会，2024. 11. 23－24，佐賀，現地開催

一般演題（ポスター）

9. 田岡 久嗣，岡本 敦，前岡 伸吾，後藤 健一，近藤 博和：勤続への意欲に関連した因子の検討～職員意識調査アンケートからの考察～．第7回日本理学療法管理学会学術大会，2024. 12. 1，千葉，現地開催
10. 岩佐 精志：下肢運動により真腔の血流が制限され間欠性跛行を呈した偽腔開存型 B 型大動脈解離の一例．日本心臓リハビリテーション学会第10回近畿支部地方会，2025. 2. 9，京都，現地開催

◇研 究 会

一般演題（口演）

1. 山村 光生：格好良い父親であることを支援した緩和期のリハビリテーション．令和6年度天理よろづ相談所病院リハビリテーション部研究発表会，2024. 11. 30，天理，現地開催

2. 平川 みな子：当院癌リハビリテーションチームの活動と課題. 令和6年度天理よろづ相談所病院リハビリテーション部研究発表会, 2024. 11. 30, 天理, 現地開催
3. 鹿尾 大統：著しい気分の落ち込みに対し, OT とのかかわりを通し意欲が向上し前向きに意識変容を促し ADL 獲得につながった症例. 令和6年度天理よろづ相談所病院リハビリテーション部研究発表会, 2024. 11. 30, 天理, 現地開催

◇その他の講演

1. 公文 梨花：リスク管理と急変時対応. 奈良県作業療法士会, 2024. 6. 4, 天理・Web 開催
2. 村上 康朗：糖尿病・糖尿病性腎症の運動療法. 令和6年度糖尿病性腎症重症化予防保健指導者人材育成事業, 2024. 7. 23, 奈良・Web 開催
3. 岩佐 精志：これだけは知ってほしい！心不全の知識をどう活かすのか？ 循環器病対策入門者向けセミナー, 2024. 9. 12, 奈良・Web 開催
4. 村上 康朗：糖尿病に対する運動療法の効果を再確認する. 令和6年度福島区 PT 研修会, 2024. 11. 19, 大阪・Web 開催
5. 鈴木 拓真：フィジカルアセスメント. 令和6年度奈良県理学療法士協会主催研修会, 2024. 12. 14, 奈良・ハイブリッド開催
6. 田岡 久嗣：呼吸理学療法の実践②. 令和6年度奈良県理学療法士協会主催研修会, 2024. 12. 14, 奈良・ハイブリッド開催
7. 丸岡 満：急性期呼吸・循環器理学療法の実践. 令和6年度奈良県理学療法士協会主催研修会, 2024. 12. 14, 奈良・ハイブリッド開催
8. 村上 康朗：糖尿病に対する運動療法. 令和6年度第2回 CDE なら認定講習会, 2025. 1. 26, 橿原 (奈良), 現地開催
9. 櫻井 美和子：糖尿病の理学療法. 関西医療大学理学療法学科3年総合理学療法学講義, 2025. 2. 19, 大阪, 現地開催
10. 赤坂 美佳：呼吸理学療法とポジショニング. 奈良県臨床工学技士会 第22回人工呼吸器安全セミナー, 2025. 3. 22, 奈良, 現地開催

心 理 相 談 室

◇学 会

国内学会

特別企画 (シンポジウム・パネルディスカッション)

〈他施設との共同研究〉

1. 宇田 知功, 大城 隆太郎, 片岡 修雪, 宇田 まゆみ：トラウマ臨床における思考場療法 (TFT) の可能性と Visual Focused アプローチ. 日本心理臨床学会第43回大会自主シンポジウム, 2024. 9. 22, 横浜・Web 開催

◇院内集談会

1. 中尾 佳奈代：新人看護職員のストレスマネジメント研修. 新人看護職員研修「ストレスマネジメント」, 2024. 6. 5, 外来診療棟 5 階講堂
2. 中尾 佳奈代：実地指導者研修②ストレスマネジメント研修. 実地指導者研修②, 2024. 9. 25, 外来診療棟 5 階講堂
3. 保坂 信広, 高堂 善志朋, 中尾 佳奈代：院内勉強会「性格テストで自分の事を知ろう」～他者支援は自己理解から～. 全職員対象メンタルヘルス研修会, 2025. 1. 31, 外来診療棟 5 階中会議室

◇一般向け

(講演)

1. 宇田 まゆみ：TFT 専門家養成初級講座アルゴリズムレベル. 日本 TFT 協会 TFT 専門家養成講座, 2024. 6. 22-23, 大和高田 (奈良), 現地開催
2. 宇田 まゆみ：TFT 専門家養成講座初級アルゴリズムレベル. 日本 TFT 協会 TFT 専門家養成資格講座, 2025. 2. 1-2, 大和高田 (奈良), 現地開催

◇企業内講演

1. 宇田 まゆみ：TFT 専門家養成初級アルゴリズムレベル. 日本 TFT 協会 TFT 専門家養成資格講座, 2025. 2. 15-16, 奈良, 現地開催

緩和ケアセンター

◇その他の講演

1. 久須美 房子：e-learning の復習. 第120回まほろば PEACE 緩和ケア研修会, 2024. 8. 4, 生駒 (奈良), 現地開催
2. 久須美 房子, 松尾 理代, 池嶋 三賀, 松村 尚子, 藤本 加代子：e-learning の復習. 第122回まほろば PEACE 緩和ケア研修会, 2024. 9. 8, 天理, 現地開催
3. 久須美 房子：骨転移とその症状緩和. 第122回まほろば PEACE 緩和ケア研修会, 2024. 9. 8, 天理, 現地開催
4. 加藤 恭郎：全人的苦痛に対する緩和ケア. 第122回まほろば PEACE 緩和ケア研修会, 2024. 9. 8, 天理, 現地開催
5. 徳岡 泰紀：療養の場所の選択と地域連携. 第122回まほろば PEACE 緩和ケア研修会, 2024. 9. 8, 天理, 現地開催
6. 久須美 房子：e-learning の復習. 第128回まほろば PEACE 緩和ケア研修会, 2025. 2. 2, 桜井 (奈良), 現地開催
7. 加藤 恭郎：全人的苦痛に対する緩和ケア. 第128回まほろば PEACE 緩和ケア研修会, 2025. 2. 2, 桜井 (奈良), 現地開催

8. 徳岡 泰紀：がん患者等の療養場所の選択. 第128回まほろば PEACE 緩和ケア研修会, 2025. 2. 2, 桜井（奈良）, 現地開催

◇院内集談会

1. 久須美 房子：緩和ケアのきほん. レジデント教育講義, 2024. 9. 20, 西病棟画像カンファレンス 1
2. 久須美 房子：がん終末期の鎮静の考え方. 2024年度 TCS 研修会 みんなで歩もう緩和ケア その14, 2025. 3. 7, 外来診療棟 5 階講堂

膠原病センター

◇研 究 会

国内学会

特別講演・教育講演

1. 八田 和大：JAK 阻害薬による関節リウマチ診療への期待 D2TRA への治療戦略. 実臨床での JAK 阻害薬を考える会 in 京奈, 2024. 11. 22, 大阪・Web 開催

先天性心疾患センター

◇学 術 雑 誌

(欧 文)

1. Miyake M, Izumi C, Watanabe H, Ozasa N, Morimoto T, Matsutani H, Takahashi S, Ohtani Y, Baba M, Sakamoto J, Tamaki Y, Enomoto S, Kondo H, Tamura T, Nakagawa Y, Kimura T; CAPITAL-RCT Investigators: Prognostic value of E/e' ratio and its change over time in ST-segment elevation myocardial infarction with preserved left ventricular ejection fraction in the reperfusion era. Journal of Cardiology 2024 ; 84(4) : 253-259.

(邦 文)

2. 野口 祐, 三宅 誠：成人先天性心疾患 新たな診療ガイドラインを踏まえたベストプラクティス！心エコー図検査で診る. Heart View 2025 ; 29 (3) : 256-261.
3. 野口 祐, 三宅 誠：【図解で苦手克服！成人先天性心疾患】Fallot 四徴症 術式と術後フォローアップエコーのポイント. 心エコー 2024 ; 25 (7) : 708-716.

◇学 会

国内学会

特別講演・教育講演

1. 三宅 誠：人工弁の評価：ASE/EACVI ガイドライン 人工弁の基本. 日本心エコー図学会第33回夏期講習会, 2024. 7. 20-21, 神戸・ハイブリッド開催

特別企画（シンポジウム・パネルディスカッション）

2. Miyake M: Multimodality imaging in adult congenital heart disease. 日本心エコー図学会第35回学術集会, 2024. 4. 19-21, 姫路（兵庫）, 現地開催
3. 三宅 誠：心エコーを用いた各種心疾患の診断の現状と今後の展開 三尖弁逆流. 日本超音波医学会第51回関西地方会学術集会, 2024. 9. 21, 大阪・ハイブリッド開催
4. 三宅 誠：成人先天性心疾患における弁膜症. 第14回日本心臓弁膜症学会, 2024. 12. 20-21, 長崎, 現地開催
5. Miyake M, Noguchi Y, Tamura T: Echocardiography in systemic right ventricle and single-ventricle physiology. 第26回日本成人先天性心疾患学会学術集会, 2025. 1. 10-12, 大阪, 現地開催

一般演題（口演）

6. 三宅 誠, 泉 知里, 渡邊 大基, 小笹 寧子, 森本 剛, 松谷 勇人, 高橋 秀一, 大谷 祐哉, 馬場 萌, 坂本 二郎, 近藤 博和, 田村 俊寛, 中川 義久, 木村 剛：再灌流時代の左室駆出率が保たれた ST 上昇型心筋梗塞における E/e' の予後予測能とその経時的変化. 日本心エコー図学会第35回学術集会, 2024. 4. 19-21, 姫路（兵庫）, 現地開催
7. 野口 祐, 三宅 誠, 尾上 隆大, 永富 旺, 本吉 司, 河合 龍馬, 佐藤 友啓, 中川 頌子, 山上 新太郎, 坂本 二郎, 山根 啓一郎, 田巻 庸道, 榎本 操一郎, 近藤 博和, 上原 京勲, 田村 俊寛：ファロー四徴症心内修復術後, 右室流出路狭窄に対しての治療方針の決定に 4D-CT が有用であった 1 例. 第138回日本循環器学会近畿地方会, 2024. 12. 7, 大阪, 現地開催
8. 野口 祐, 三宅 誠, 土井 拓, 田村 俊寛：未修復大動脈縮窄, 体肺側副動脈, パラシュート僧帽弁を合併する成人期心不全の 1 例. 第26回日本成人先天性心疾患学会総会・学術集会, 2025. 1. 10-12, 大阪, 現地開催

一般演題（ポスター）

9. 野口 祐, 三宅 誠, 土井 拓, 坂本 二郎, 中川 頌子, 松谷 勇人, 馬場 萌, 小形 光, 河合 龍馬, 佐藤 友啓, 山上 新太郎, 西内 英, 山根 啓一郎, 田巻 庸道, 榎本 操一郎, 近藤 博和, 新井 善雄, 田村 俊寛：成人期バルサルバ洞瘤破裂を来した心室中隔欠損 1 型の 1 例. 日本心エコー図学会第35回学術集会, 2024. 4. 19-21, 姫路（兵庫）, 現地開催
10. 野口 祐, 三宅 誠, 田村 俊寛：Long-term outcome of adult patients over 40 years old with repaired tetralogy of Fallot. 第89回日本循環器学会学術集会, 2025. 3. 28-30, 横浜, 現地開催

◇研 究 会

一般演題（口演）

1. 野口 祐, 三宅 誠, 田村 俊寛：心室中隔欠損および動脈管開存閉鎖術後未修復大動脈縮窄のためフォローアップしていたが成人期のドロップアウト後に心不全を来した1例. 第12回まほろば ACHD 懇話会, 2024. 6. 23, 奈良, 現地開催
2. 野口 祐, 三宅 誠, 土井 拓, 新井 善雄, 田村 俊寛：成人期バルサルバ洞瘤破裂を来した心室中隔欠損1型の1例. 奈良 CVC カンファレンス, 2024. 9. 7, 奈良・ハイブリッド開催
3. 野口 祐, 三宅 誠, 田村 俊寛：未修復大動脈縮窄, 体肺側副動脈, パラシュート僧帽弁を合併する成人期心不全の1例. 第13回まほろば ACHD 懇話会, 2024. 12. 21, 大阪, 現地開催

◇その他の講演

1. 三宅 誠：HFrEF の心エコー図検査のポイント. エコー淡路 (ECHO AWAJI CV IMAGING 2024), 2024. 11. 16-17, 淡路 (兵庫)・ハイブリッド開催
2. 三宅 誠：右心不全の診断. エコー淡路 (ECHO AWAJI CV IMAGING 2024), 2024. 11. 16-17, 淡路 (兵庫)・ハイブリッド開催

◇一 般 向 け

(講 演)

1. 三宅 誠：成人先天性心疾患の移行医療—循環器内科医の立場から—. 滋賀県民公開講座 成人先天性心疾患 (滋賀医科大学循環器内科主催), 2024. 11. 9, 大津 (滋賀), 現地開催

神経筋疾患センター

◇学 術 雑 誌

(邦 文)

1. 野寺 裕之：【筋萎縮性側索硬化症—臨床と研究の新展開】筋萎縮性側索硬化症の診断法の進歩. 脳神経内科 2024; 101 (2): 109-114.

◇学 会

国内学会

特別講演・教育講演

1. 野寺 裕之：神経筋エコー Update. 第43回日本脳神経超音波学会, 2024. 6. 28-29, 浦安 (千葉), 現地開催
2. 野寺 裕之：新ガイドラインを踏まえた多巣性運動ニューロパチーのアップデート. 第36回日本神経免疫学会学術集会, 2024. 10. 3-5, 富山, 現地開催

特別企画（シンポジウム・パネルディスカッション）

3. 野寺 裕之：MMN：診断・治療．第65回日本神経学会学術大会，2024. 5. 29－6. 1，東京・ハイブリッド開催
4. 野寺 裕之：AI を用いた筋電図解析の展望．第54回日本臨床神経生理学会・第61回日本臨床神経生理学会技術講習会，2024. 10. 24－26，札幌（北海道）・ハイブリッド開催
5. 野寺 裕之：臨床神経生理検査における AI を推進させるために．第54回日本臨床神経生理学会・第61回日本臨床神経生理学会技術講習会，2024. 10. 24－26，札幌（北海道）・ハイブリッド開催

一般演題（ポスター）

6. 野寺 裕之，末長 敏彦：失調性構音障害に対する自動音声認識とファインチューニングの可能性．第65回日本神経学会学術大会，2024. 5. 29－6. 1，東京・ハイブリッド開催

◇その他の講演

1. 野寺 裕之：臨床の立場から診る末梢神経・筋エコー．奈良県臨床検査技師会生涯教育研修会画像検査分野，2024. 10. 17，天理・Web 開催

栄養管理相談室

◇学 会

国内学会

一般演題（口演）

1. 松井 杏美，井原 雪那，森川 久恵，下村 陽子，井上 友子，落合 真弓，林野 泰明，辻井 悟：食欲不振時の院内対応食適用に向けた放射線治療中のがん患者の喫食調査．第28回日本病態栄養学会年次学術集会，2025. 1. 17－19，京都・ハイブリッド開催

◇院内集談会

1. 島田 綾花，梅本 裕子：嚥下食について．東5病棟勉強会，2024. 8. 15，東5病棟
2. 島田 綾花，梅本 裕子：東9入院患者における栄養状態の実際．東9病棟勉強会，2024. 9. 30，東9病棟
3. 井原 雪那，梅本 裕子：褥瘡治療に必要な栄養について．褥瘡チームリンクナース勉強会，2024. 10. 2，外来診療棟5階講堂
4. 松井 杏美：高齢心不全患者の栄養療法～楽しみながら食事療法に取り組むには～．心臓リハビリチーム会，2024. 11. 5，外来診療棟南館5階中会議室
5. 尾崎 佐和子：筋肉の大切さを学ぼう GLIM 基準について．NST 活動報告会，2025. 1. 14，外来診療棟5階講堂

◇一般向け

(講演)

1. 今北 瑞希：「食べるよろこび」が広がる食事のはなし。がんサロンにおけるミニレクチャー，2024. 11. 27，外来診療棟5階カンファレンス室，現地開催

看護部

◇学術雑誌

(邦文)

1. 小川 真理，喜多 まり，古武 剛，田邊 洋：外来通院でケアを継続したストーマ周囲壊疽性膿皮症の一例. STOMA 2025；31（1）：12－14.

◇学会

国内学会

特別企画（シンポジウム・パネルディスカッション）

1. 田口 千里：特定看護師を効果的に活用する戦略と実践 特定行為研修終了者の活用推進に向けた体制構築における課題. 第16回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会，2024. 5. 11，大阪，現地開催
2. 小川 朋子，田口 千里，渋谷 幸，太田 容子：手とお湯のケアを未来につなぐ 清拭 深遠なる技をどう伝えるか. 第38回日本看護歴史学会学術集会，2024. 8. 11－12，天理，現地開催

一般演題（口演）

3. 小川 真理，喜多 まり，古武 剛，田邊 洋：外来通院でケアを継続したストーマ周囲壊疽性膿皮症の一例. 第65回関西 STOMA 研究会，2024. 6. 15，大阪，現地開催
4. 峯 紅，近藤 昭栄，高田 幸恵：急性期 B 内科病棟でのせん妄発症予防とケア. 第55回日本看護学会学術集会，2024. 9. 27－29，熊本，現地開催
5. 白栄 眞紀，西口 望美：老年期の変化に適した PD の再指導について～患者家族を含めた PD 導入の指導の関わり～. 第30回日本腹膜透析医学会学術集会・総会，2024. 11. 16－17，福岡，現地開催
6. 西島 美佳，嶋田 ひとみ，梶田 貴司，長岡 俊治，桑野 和代，西岡 宏之，田岡 久嗣，金子 嘉志：生体モニタの使用法に関するアンケート調査及び再教育による看護師のモニタアラーム対応への行動変容の取り組み. 第19回医療の質・安全学会学術集会，2024. 11. 29－30，横浜，現地開催
7. 直井 静香，森下 恵梨香：心不全末期患者に ACP を開始できた一例. 2024年度奈良県看護学会，2024. 12. 14，橿原（奈良）・ハイブリッド開催

一般演題（ポスター）

8. 井上 悦子, 大木 笑子：外来における PNS マインド強化, 外来化学療法室への補完体制への取り組み. 第55回日本看護学会学術集会, 2024. 9. 27-29, 熊本, 現地開催
9. 水嶋 親美：外来化学療法室看護師による腫瘍内科外来の兼任体制導入における成果. 第39回日本がん看護学会学術集会, 2025. 2. 22-23, 札幌（北海道）・ハイブリッド開催

◇研 究 会

特別講演・教育講演

1. 水谷 元樹：人工呼吸管理中の看護. 奈良県臨床工学技士会 人工呼吸器安全セミナー, 2024. 3. 22, 奈良, 現地開催

一般演題（口演）

2. 岸本 美帆, 中山 とく美：医療依存度の高い慢性呼吸不全患者の退院支援について. 第32回奈良県呼吸ケア研究会, 2024. 10. 5, 奈良, 現地開催
3. 高嶋 道代：当院における生物学的製剤の自己注射指導の現状. 第19回奈良 RA サイトカイン治療研究会, 2024. 11. 21, 奈良, 現地開催

◇院内集談会

1. 丹生 淳子：慢性疾患看護専門看護師の6つの役割を用いた膠原病ケアの活動. 2024年度憩の家看護発表会, 2025. 2. 15, 本館5階看護研修室
2. 田中 英行, 石本 真治：虐待防止委員会の構築と多職種連携の報告～小児救急看護認定看護師の取り組み～. 2024年度憩の家看護発表会, 2025. 2. 15, 本館5階看護研修室
3. 小川 真理, 喜多 まり, 古武 剛, 田邊 洋：外来通院でケアを継続したストーマ周囲壊疽性膿皮症の一例. 2024年度憩の家看護発表会, 2025. 2. 15, 本館5階看護研修室
4. 小川 朋子, 田口 千里：当院における清拭の実際と課題. 2024年度憩の家看護発表会, 2025. 2. 15, 本館5階看護研修室
5. 佐治 恭子, 笥 晴雄, 大西 摩奈, 安東 理奈：放射線科 IVR 部門での看護教育の問題点とその解決への介入. 2024年度憩の家看護発表会, 2025. 2. 15, 本館5階看護研修室
6. 梶川 桃実：MR 検査を安全かつ円滑に行うための検査前チェックリストの改訂. 2024年度憩の家看護発表会, 2025. 2. 15, 本館5階看護研修室
7. 西口 見里：外来化学療法室での業務改善の取り組み～5S の視点で振り返る～. 2024年度憩の家看護発表会, 2025. 2. 15, 本館5階看護研修室
8. 山添 真理子, 田中 眞亀, 竹本 小百合：高度肥満患者の頭低位手術時の褥瘡予防を効果的に行った事例～術前シミュレーションを行った事例を通して～. 2024年度憩の家看護発表会, 2025. 2. 15, 本館5階看護研修室
9. 田口 千里：特定行為研修修了者の活用推進に向けた体制構築における課題. 2024年度憩の家看護発表会, 2025. 2. 15, 本館5階看護研修室
10. 山口 美栄子, 西岡 典枝, 落合 真弓, 福田 奈津子, 小沼 真佐代, 杉原 友理子：カラーマスク導入後の調査結果～病棟夜勤者にカラーマスクを導入して～. 2024年度憩の家看護発表会, 2025. 2. 15, 本館5階看護研修室
11. 深井 佑衣, 岸本 美帆, 水谷 志織, 塚野 幸, 中山 とく美：医療依存度の高い慢性呼

吸不全患者の退院支援について. 2024年度憩の家看護発表会, 2025. 2. 15, 本館 5 階看護研修室

12. 小沼 真佐代, 森 里美, 福田 奈津子: 「入院前支援記録」の作成の経過と今後の課題. 2024年度憩の家看護発表会, 2025. 2. 15, 本館 5 階看護研修室
13. 岡本 康寛: ICUにおける誤薬防止に向けた取り組み. 2024年度憩の家看護発表会, 2025. 2. 15, 本館 5 階看護研修室
14. 井上 悦子, 大木 笑子: 外来における PNS マインド強化～外来化学療法室に向けた補完体制の取り組み～. 2024年度憩の家看護発表会, 2025. 2. 15, 本館 5 階看護研修室
15. 大野 麻由, 熊木 郁, 中島 壽恵: PNS 定着要因に着目した業務改善. 2024年度憩の家看護発表会, 2025. 2. 15, 本館 5 階看護研修室
16. 福田 奈津子, 鶴井 智佳子, 森 里美: 救急外来から即日入院する患者への入退院支援～即日入院当日から始める入退院支援の実践報告～. 2024年度憩の家看護発表会, 2025. 2. 15, 本館 5 階看護研修室
17. 小川 太一, 富嶋 大地, 杉山 朋子, 森下 恵梨香: A 病棟で勤務する看護師の生活指導に対する認識と実施状況, 現在の課題について. 2024年度憩の家看護発表会, 2025. 2. 15, 本館 5 階看護研修室
18. 石本 真治, 吉川 圭, 平田 研人: 院内迅速対応システム導入における現状と課題. 2024年度憩の家看護発表会, 2025. 2. 15, 本館 5 階看護研修室

◇一般向け

(講演)

1. 石本 真治: クリティカルケア論. 天理大学医療学部看護学科講義, 2024. 4. 24, 天理, 現地開催
2. 柏田 真由: 看護管理論. 天理大学医療学部看護学科講義, 2024. 5. 8, 天理, 現地開催
3. 田口 千里: 看護管理論 医療サービス評価の実際. 天理大学医療学部看護学科講義, 2024. 5. 9, 天理, 現地開催
4. 柏田 真由: 看護管理論. 天理大学医療学部看護学科講義, 2024. 5. 9, 天理, 現地開催
5. 田中 英行: 小児看護方法論. 天理大学医療学部看護学科講義, 2024. 7. 4, 天理, 現地開催
6. 石本 真治: 小児看護方法論: 災害看護. 天理大学医療学部看護学科講義, 2024. 7. 11, 天理, 現地開催
7. 柏田 真由: 人材管理 I. 2024年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル 講義, 2024. 7. 16, 橿原 (奈良), 現地開催
8. 河野 しづゑ: 産科救急. 奈良県消防学校講義, 2024. 10. 1, 宇陀 (奈良), 現地開催
9. 石本 真治: 災害看護論. 天理大学医療学部看護学科講義, 2024. 10. 4, 天理, 現地開催
10. 中山 とく美: 慢性呼吸器疾患療養者への生活支援・呼吸リハビリテーション・生活の工夫・食事指導. みむろ訪問看護ステーション講義, 2024. 12. 2, 生駒 (奈良), 現地開催
11. 松尾 理代: がん患者のアドバンス・ケア・プランニング (ACP) ～話し合うときに大

切にしていること～. 令和6年度 第14回天理市看護職連携会議研修会, 2024. 12. 7, 天理, 現地開催

12. 水嶋 親美: 当院の外来化学療法室の現状と多職種連携. がん診療拠点病院公開講座 医療従事者対象研修会, 2024. 12. 18, 天理, 現地開催

13. 松尾 理代: 緩和ケア. 奈良文化高等学校衛生看護専攻科「緩和ケア」講演会, 2025. 2. 19, 大和高田 (奈良), 現地開催

薬 剤 部

◇書 籍

1. 中島 康裕: 処方箋に基づく医薬品の調整 無菌的混合操作 (病院における注射薬の調製). 薬学生のための病院・薬局実務実習テキスト 2025年版, pp93-95, 薬学教育協議会病院・薬局実務実習近畿地区調整機構 監修, 日本病院薬剤師会近畿ブロック, 日本薬剤師会大阪・近畿ブロック 編集, じほう (東京), 2025
2. 黒松 誠: 薬物療法の実践 (免疫・アレルギー疾患). 薬学生のための病院・薬局実務実習テキスト2025年版, pp232-239, 薬学教育協議会病院・薬局実務実習近畿地区調整機構 監修, 日本病院薬剤師会近畿ブロック, 日本薬剤師会大阪・近畿ブロック 編集, じほう (東京), 2025
3. 金松 誠: 薬物療法の実践 (感染症). 薬学生のための病院・薬局実務実習テキスト2025年版, pp244-248, 薬学教育協議会病院・薬局実務実習近畿地区調整機構 監修, 日本病院薬剤師会近畿ブロック, 日本薬剤師会大阪・近畿ブロック 編集, じほう (東京), 2025

◇学 会

国内学会

特別企画 (シンポジウム・パネルディスカッション)

1. 雪矢 良輔: 薬剤師に求められるこれからのリウマチケア. 第33回日本リウマチ学会近畿支部学術集会, 2024. 9. 7-8, 神戸, 現地開催

一般演題 (口演)

2. 梶田 貴司, 長岡 俊治, 桑野 和代, 西岡 宏之, 嶋田 ひとみ, 田岡 久嗣, 有賀 巖雄, 岡野 明浩, 奥野 智之, 金子 嘉志: 免疫抑制・化学療法により発症する B 型肝炎対策ガイドライン遵守のための取り組み (その4) ～経口副腎皮質ホルモン剤に対する当院での対応～. 第19回医療の質・安全学会学術集会, 2024. 11. 29-30, 横浜, 現地開催

一般演題 (ポスター)

3. 久乗 しのぶ, 古武 剛, 北川 実美, 山崎 貴之, 坂本 真一, 浅井 祐人, 平瀬 正人, 嶋田 昌司, 奥野 智之, 上岡 樹生, 住吉 真治, 山城 大泰: 薬剤師・臨床検査技師に

よるがんゲノム医療コーディネーター業務のリレーションシップ。第62回日本癌治療学会学術集会会期，2024.10.24-26，福岡，現地開催

4. 竹上 将史，戎浦 規文，抱 恵子，藤田 沙耶，樽野 麻依，黒松 誠，梶田 貴司，奥野 智之：抗MDA5抗体陽性皮膚筋炎に合併する間質性肺炎に対してタクロリムス経口投与から持続点滴への変更で良好な血中濃度が得られた1例。第34回日本医療薬学会年会，2024.11.2-4，千葉・ハイブリッド開催
5. 池西 政幸，川上 祥代，西川 彩葉，畠中 英理子，石井 康世，角田 すみ代，福原 真美，辻井 悟，待本 貴文，奥野 智之：長期中心静脈栄養症例の鉄過剰に対する鉄非含有微量元素院内製剤投与における臨床経過とその評価。第34回日本医療薬学会年会，2024.11.2-4，千葉・ハイブリッド開催
6. 池西 政幸，岩前 邦明，大鳥 徹，奥野 智之：Haloperidolとwarfarinの薬物間相互作用が疑われた一症例の文献的考察。第46回日本病院薬剤師会近畿学術大会，2025.1.25-26，神戸，現地開催

◇研究会

特別講演・教育講演

1. 雪矢 良輔：実臨床におけるバイオシミラーの有効性と安全性について。日本RAヘルスプロフェッショナル研究会，2024.11.7，奈良・Web開催

◇その他の講演

1. 雪矢 良輔：多職種連携チームで届ける最適なリウマチ医療～患者支援の実践と課題～薬剤師の立場から。令和6年度リウマチ月間リウマチ講演会，2024.6.2，東京，現地開催
2. 池西 政幸，森本 啓太：長期中心静脈栄養症例の鉄過剰に対する鉄非含有微量元素院内製剤投与における臨床経過とその評価～天理よろづ相談所病院，大阪大学医学部附属病院からの報告～。第414回大阪大学臨床栄養研究会（CNC），2024.8.19，吹田（大阪）・ハイブリッド開催
3. 雪矢 良輔：リウマチ薬剤師外来から考えるバイオシミラーのポテンシャル。大阪府下市立病院薬剤部長会，2024.9.6，大阪，現地開催
4. 西川 豊：がん介入症例の書き方。第4回がん介入症例の書き方スキルアップセミナー（日本医療薬学会 主催），2025.2.8，大阪・ハイブリッド開催
5. 雪矢 良輔：病薬連携における病院薬剤師の役割～実臨床における実践と課題～。Rheumatoid Arthritis Web Seminar，2025.2.14，大阪・Web開催
6. 池西 政幸，畠中 英理子，角田 すみ代，福原 真美，辻井 悟，待本 貴文，川崎 直人，長井 紀章，大鳥 徹，奥野 智之：長期中心静脈栄養症例の鉄過剰に対する鉄非含有微量元素院内製剤における品質評価とその臨床的有用性。第6回近畿大学大学院臨床薬学シンポジウム，2025.3.1，大阪，現地開催

◇院内集談会

1. 雪矢 良輔：骨粗鬆症治療薬について学ぼう！ 看護師向け勉強会，2024.11.20，天理，現地開催

◇学 会 賞

1. 西川 豊：日本医療薬学会 がん専門薬剤師認定優秀症例 受賞（2024年5月）

医療安全管理室

◇学 会

国内学会

一般演題（口演）

1. 梶田 貴司，長岡 俊治，桑野 和代，西岡 宏之，嶋田 ひとみ，田岡 久嗣，有賀 巖雄，岡野 明浩，奥野 智之，金子 嘉志：免疫抑制・化学療法により発症するB型肝炎対策ガイドライン遵守のための取り組み（その4）～経口副腎皮質ホルモン剤に対する当院での対応～. 第19回医療の質・安全学会学術集会，2024. 11. 29－30，横浜，現地開催
2. 西島 美佳，嶋田 ひとみ，梶田 貴司，長岡 俊治，桑野 和代，西岡 宏之，田岡 久嗣，金子 嘉志：生体モニタの使用方法に関するアンケート調査及び再教育による看護師のモニタアラーム対応への行動変容の取り組み. 第19回医療の質・安全学会学術集会，2024. 11. 29－30，横浜・現地開催

一般演題（ポスター）

3. 西岡 宏之，梶田 貴司，長岡 俊治，桑野 和代，田岡 久嗣，嶋田 ひとみ，寺口 昌和，金子 嘉志：「放射線部医療安全だより」による部門内のインシデント情報共有への取り組み. 第19回医療の質・安全学会学術集会，2024. 11. 29－30，横浜，現地開催

患者総合支援センター

◇学 術 雑 誌

（邦 文）

1. 河合 のり子，尾ノ井 美由紀，大花 正也，林野 泰明，高橋 道一，福田 奈津子，辻田 英樹，平瀬 正人，山中 忠太郎：多職種を対象とした「地域医療連携」に関する意識調査（第一報）—2023年度地域医療連携講演会参加者アンケート結果より—. 天理医学紀要 2024；27（2）：69－82.

◇その他の講演

1. 河合 のり子，志茂 由紀子：多職種で支える切れ目のない入退院支援～病院・施設・地域の現場からの困りごとを語り合おう. 奈良県看護協会，2024. 8. 2，橿原（奈良），現

地開催

2. 松尾 理代, 河合 のり子, 堀田 陽子, 南本 祐美, 畝本 智美, 佐々木 ひとみ, 梶谷 薫, 奥田 眞紀子:がん患者のアドバンス・ケア・プランニング. 高井病院 西館 研修室, 2024. 12. 7, 天理, 現地開催
3. 小野 加寿代, 近藤 博和, 久永 倫聖, 宮本 和典, 山本 恭通, 渡辺 優:よりよい地域医療のために〜切れ目のない地域医療のために〜. 病病連携 推進講演会 (第一三共株式会社 主催), 2025. 3. 4, 奈良・ハイブリッド開催

◇一般向け

(講演)

1. 河合 のり子, 山口 千佳子, 奥田 眞紀子, 堀田 陽子:アドバンス・ケア・プランニング「これからノート」の普及・啓発. 天理市西南部地域包括支援センター 朝和公民館, 2024. 5. 20, 天理, 現地開催
2. 河合 のり子, 川本 安紀, 畝本 智美, 奥田 眞紀子:アドバンスケアプランニング「これからノート」の普及・啓発. 天理市北部地域包括支援センター 四の坪公民館, 2024. 5. 23, 天理, 現地開催
3. 河合 のり子, 畝本 智美, 川本 安紀, 高野 直樹, 奥田 眞紀子:アドバンスケアプランニング「これからノート」の普及・啓発. 天理市北部地域包括支援センター あすなら山の辺, 2024. 9. 5, 天理, 現地開催

〈他施設との共同研究〉

4. 宮城 信行, 河合 のり子, 奥田 眞紀子, 佐々木 ひとみ, 畝本 智美:つなぐ天理地域の支えあい2024 人生会議 アドバンス・ケア・プランニングについて. 天理市看護職連携会議 主催, 2024. 11. 28, 天理, 現地開催

医 学 研 究 所

◇学術雑誌

(欧 文)

1. Maekawa F, Hayashida M, Takeoka K, Fukutsuka K, Nakagawa M, Akasaka T, Sakamoto S, Sumiyoshi S, Kobashi Y, Ohno H:Two recurrent types of *IGH::5' BCL2* breakpoints representing cytogenetic *ins(14; 18)(q 32; q 21 q 21)* and *t(14; 18)(q 32; q 21)*, mediated by the *VDJ* and class switch recombination processes, respectively. *Leukemia & Lymphoma* 2024; 65(8): 1100–1109.
2. Maekawa F, Ohno H:Polymerase chain reaction for detection of *BCL1-MTC::IGHJ* junction in mantle cell lymphoma. *Tenri Medical Bulletin* 2024; 27(1): 51–54.

3. Maekawa F, Takeoka K, Hayashida M, Sakamoto S, Takahashi A, Fukutsuka K, Nakagawa M, Matsumura M, Ukyo N, Akasaka T, Sumiyoshi S, Kobashi Y, Ohno H : Long-distance polymerase chain reaction targeting genomic DNA to detect *ALK* fusion genes with various partners in ALK+ hematological tumors. Tenri Medical Bulletin 2024 ; 27(2) : 55–68.
4. Ohno H, Takeoka K, Kishimori C, Nakagawa M, Fukutsuka K, Hayashida M, Kotani S, Ukyo N, Sumiyoshi S : Two cases of diffuse large B-cell lymphoma/high-grade B-cell lymphoma carrying t(3 ; 8)(q 27 ; q 24)/*BCL6* : : *MYC*. Tenri Medical Bulletin 2024 ; 27(2) : 98–109.
5. Ohno H, Ikeda M, Fukutsuka K : Megaloblastic anemia and chromosome breakages caused by low-quality diet in adolescent. Tenri Medical Bulletin 2024 ; 27(2) : 129–135.

◇学会

国内学会

特別講演・教育講演

1. 大野 仁嗣：日本のリンパ腫：染色体分析からみた悪性リンパ腫の分類と病態—日本人研究者の貢献—。第64回日本リンパ網内系学会学術集会・総会／第27回日本血液病理研究会，2024. 6. 27–29，東京，現地開催
2. 茶木 善成，林田 雅彦：リンパ系腫瘍の FCM 検査—基礎知識とマルチパラメトリック解析のポイント—。第34回日本サイトメトリー学会学術集会，2024. 7. 6–7，Web 開催
特別企画（シンポジウム・パネルディスカッション）
3. 大谷 旭，林田 雅彦，茶木 善成，前川 ふみよ，松村 充子，中川 美穂，福塚 勝弘，竹岡 加陽，住吉 真治，大野 仁嗣：フローサイトメトリーで3種類の免疫グロブリン軽鎖の発現パターンを認め，免疫染色で MYC, BCL2, BCL6 陽性であったびまん性大細胞型 B 細胞性リンパ腫の一例。第34回日本サイトメトリー学会学術集会，2024. 7. 6–7，Web 開催

一般演題（口演）

4. 林田 雅彦，前川 ふみよ，茶木 善成，日置 貴美子，大野 仁嗣：マルチパラメトリックフローサイトメトリーを用いた寒冷凝集素症におけるクローン性 B 細胞の免疫表現型の解析。第34回日本サイトメトリー学会学術集会，2024. 7. 6–7，Web 開催
5. 林田 雅彦，前川 ふみよ，茶木 善成，大谷 旭，日置 貴美子，松村 充子，中川 美穂，福塚 勝弘，竹岡 加陽，大野 仁嗣：マルチパラメトリックフローサイトメトリーを用いた本邦慢性リンパ性白血病における微小残存病変の検出能力。第34回日本サイトメトリー学会学術集会，2024. 7. 6–7，Web 開催

一般演題（ポスター）

6. 前川 ふみよ，竹岡 加陽，林田 雅彦，福塚 勝弘，中川 美穂，坂本 真一，住吉 真治，小橋 陽一郎，赤坂 尚司，大野 仁嗣：Anatomy of ins(14 ; 18)(q 32 ; q 21 q 21) revealed by next generation sequencing (NGS) in two cases of follicular lymphoma (FL). 第

64回日本リンパ網内系学会学術集会・総会／第27回日本血液病理研究会, 2024. 6. 27－29, 東京, 現地開催

7. 林田 雅彦, 前川 ふみよ, 大野 仁嗣: 位相差顕微鏡で hairy cell appearance を認めた B 細胞腫瘍・増殖症の11例. 第64回日本リンパ網内系学会学術集会・総会／第27回日本血液病理研究会, 2024. 6. 27－29, 東京, 現地開催

◇研 究 会

特別企画 (シンポジウム・パネルディスカッション)

1. 林田 雅彦: 本邦における CLL の免疫表現型と鑑別疾患. クリニカルフローサイトメトリー セミナー (造血器腫瘍における FCM のさらなる活用を目指して), 2024. 9. 7, 大阪・ハイブリッド開催

◇その他の講演

1. 茶木 善成: 世代で臨床検査の GAP を考える. 第40回奈良県医学検査学会, 2024. 5. 26, 橿原 (奈良), 現地開催
2. 林田 雅彦, 茶木 善成: フローサイトメトリーによるリンパ系腫瘍の解析. 日本サイトメトリー技術者認定協議会2024年度技術講習会, 2024. 11. 16, 東京, 現地開催
3. 茶木 善成, 林田 雅彦: マルチカラーフローサイトメトリー (M-FCM). 日本サイトメトリー技術者認定協議会2024年度技術講習会, 2024. 11. 16, 東京, 現地開催
4. 大野 仁嗣: 染色体分析からみた悪性リンパ腫の分類と病態—日本人研究者の貢献—. Lymphoma Expert Web Seminar, 2024. 12. 18, Web 開催

◇院内集談会

1. 茶木 善成, 林田 雅彦, 大谷 旭: Flow Cytometry による造血器腫瘍の解析～3レーザー・13カラー・マルチパラメトリック解析の試み～. 令和6年度天理よろづ相談所学術発表会, 2025. 2. 6, 外来診療棟5階講堂, 現地開催

◇学 会 賞

1. 大林 準: 日本臨床検査技師会 地域貢献賞 受賞 (2024年6月)

白 川 分 院

◇学 術 雑 誌

【内 科】

(欧 文)

1. Hashimoto S: Letter to the editor. Non-cephalic electrodes are not inactive in terms of EEG activity. Clinical Neurophysiology 2024 ; 165 : 125–126.

(邦 文)

〈他施設との共同研究〉

2. 友田 陽子, 十川 純平, 松橋 眞生, 幸原 伸夫, 橋本 修治, 脳波・筋電図セミナー世話人会, 池田 昭夫: 本学会関連講習会(脳波・筋電図セミナー)受講者のアンケート調査: COVID-19 感染症の流行による影響と今後の展望. 臨床神経生理学 2024; 52 (6): 666-675.

◇学 会

国内学会

一般演題(口演)

【リハビリテーション部】

1. 浅田 健太, 前岡 伸吾: 大切な作業により病識の促しおよび訓練への動機付けを行い, 退院後の役割再獲得へつながった症例. 第15回奈良県作業療法学会, 2024. 9. 15, 奈良, 現地開催
2. 殿村 春栄: 入院時より拒否が強かったくも膜下出血を呈した症例に対する作業療法の取り組み 本人の尊厳を大切に. 第15回奈良県作業療法学会, 2024. 9. 15, 奈良, 現地開催
3. 濱崎 祐輔: 当院回復期リハビリテーション病棟における多職種カンファレンスの効果検証—多職種と情報共有の場を作ることでFIM 利得は向上するのか!?—. 回復期リハビリテーション病棟協会第45回研究大会 in 札幌, 2025. 2. 21-22, 札幌(北海道), 現地開催

【看護部】

4. 藤橋 篤男, 坂口 巧樹: 回復リハビリテーション病棟における多職種協働の取り組み—多職種連携の状況の評価から考察する—. 回復期リハビリテーション病棟協会第45回研究大会, 2025. 2. 21-22, 札幌(北海道)・ハイブリッド開催

◇研 究 会

一般演題(口演)

【リハビリテーション部】

1. 大峠 ちはる: 医療者が歩行獲得困難と予測した高齢の大腿切断者が階段昇降可能となり自宅退院が可能となった経過について. 令和6年度天理よろづ相談所病院リハビリテーション部研究発表会, 2024. 11. 30, 天理, 現地開催
2. 有山 喬: 回復期リハビリテーションはTHA術後患者のQOLに寄与できるのか? 令和6年度天理よろづ相談所病院リハビリテーション部研究発表会, 2024. 11. 30, 天理, 現地開催
3. 長谷川 みさを: 患者の想いと共に歩み, 希望のある生活を目指して ナラティブアプローチを実践した症例. 令和6年度天理よろづ相談所病院リハビリテーション部研究発表会, 2024. 11. 30, 天理, 現地開催

◇その他の講演

【内 科】

1. 橋本 修治, 瀬川 義朗, 佐々木 一郎: SNAP と CMAP の波形について考える—初期陽性波を中心に—. 第18回脳波・筋電図セミナー～脳波・筋電図を基礎から学びたい方へ～, 2025.2.16, 京都, 現地開催

【精神神経科】

2. 溝越 泰壽: 精神疾患と治療～回復とケア～. 令和6年度ニモ包括推進協議会精神保健福祉研修会, 2024.7.24, 天理, 現地開催

【栄養部】

3. 黒田 結菜: 糖尿病の食事療法. CDE なら, 2024.7.28, 奈良, 現地開催
4. 黒田 結菜: 糖尿病の食事療法. CDE なら, 2025.1.26, 奈良, 現地開催

◇院内集談会

【看護部】

1. 梶川 芳史: MSE の定着を目指した MSE アセスメントシート有効性と, 活用法の考察～事前, 事後のアンケートを通して～. 2024年度憩の家看護発表会, 2025.2.15, 本館5階看護研修室
2. 青木 智世, 落合 真弓, 清水 怜奈, 早見 めぐみ, 中村 義徳: バイオフィルム対策を中心に看護ケアを行い順調な治療経過を示した多発性褥瘡患者事例の検討. 2024年度憩の家看護発表会, 2025.2.15, 本館5階看護研修室

在宅世話どりセンター

◇学 術 雑 誌

(邦 文)

1. 中村 義徳, 光田 益士: 在宅での褥瘡予防のためのリスクアセスメントスケールの予測妥当性の検討. 天理医学紀要 2024; 27 (1): 11-18.

◇その他の講演

1. 中村 義徳: 褥瘡の新たな局所戦略～持続的局所摩擦ずれ緩和シート TASS® II ～「摩擦・ずれ」を考える. 第33回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会, 2024.5.25-26, 下関 (山口), 現地開催
2. 中村 義徳: ずれの解消に TASS (Topical Aid Sliding Sheet) をつかう～外力と応力の考え方の整理と共に～. 第35回在宅医療連合学会 褥瘡・創傷管理オンライン研修会, 2024.6.18, 天理・Web 開催
3. 中村 義徳: TASS®の開発経緯と臨床的効果. 第10回日本褥瘡学会・在宅ケア推進協会総会・学術集会, 2024.7.6-7, 横浜, 現地開催

◇院内集談会

1. 中村 義徳：褥瘡の発生機序～外力と応力～. 白川分院 創傷管理勉強会, 2024. 9. 24,
白川分院 A 棟 3 階会議室
(2023年度追加)
2. 中村 義徳：褥瘡Ⅲ～DESIGN-R_2020 で実際評価～. 第 3 回白川褥瘡・創傷勉強会,
2024. 2. 9, 白川分院 A 棟 3 階会議室

◇一般向け

(講演)

1. 中村 義徳：認知症. ほへとの会, 2024. 10. 7, 天理, 現地開催

Ⅶ 庶 務 の 概 要

1. 当年度の許可及び承認に関する事項

(令和6年4月～令和7年3月)

事 項	指定（許可年月日）
外来腫瘍化学療法診療料1における連携充実加算	令和6年4月1日
がん患者指導管理料ハ	令和6年4月1日
看護職員夜間12対1配置加算1	令和6年5月1日
ウイルス・細菌核酸多項目同時検出（髄液）	令和6年6月1日
経頸静脈的肝生検	令和6年6月1日
ポジトロン断層撮影（アミロイドPETイメージング剤を用いる場合）	令和6年6月1日
ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影（アミロイドPETイメージング剤を用いる場合）	令和6年6月1日
ストーマ合併症加算	令和6年6月1日
緊急穿頭血腫除去術	令和6年6月1日
気管支バルブ留置術	令和6年6月1日
胸腔鏡下肺切除手術（区域切除及び肺葉切除術又は1肺葉を超えるもの）（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	令和6年6月1日
肺悪性腫瘍又は胸腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法	令和6年6月1日
経皮的冠動脈形成術（アテローム切除アブレーション式血管形成術用カテーテルによるもの）	令和6年6月1日
歯科技工士連携加算1	令和6年6月1日
特定集中治療室管理料5（管理料3からの変更）	令和6年6月1日
脳卒中ケアユニット入院医療管理料の注3に規定する早期離床・リハビリテーション加算	令和6年6月1日
腎悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法	令和6年6月1日
尿道狭窄グラフト再建術	令和6年6月1日
精巣温存手術	令和6年6月1日
腹腔鏡下十二指腸局所切除術	令和6年6月1日
頭頸部悪性腫瘍光線力学療法	令和6年6月1日
外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅰ）※初診時・再診時	令和6年6月1日
歯科外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅰ）※初診時・再診時	令和6年6月1日
入院ベースアップ評価料71	令和6年6月1日
看護職員夜間12対1配置加算1	令和6年6月1日
令和6年度賃金改善計画書（看護職員処遇改善評価料）	令和6年6月1日
緩和ケア病棟入院料1	令和6年8月1日
腹腔鏡下肝切除術（内視鏡手術用支援機器）	令和6年8月1日
リハビリテーション初期加算及び急性期リハビリテーション加算	令和6年8月1日
認知症ケア加算1	令和6年10月1日
腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術（内視鏡手術用支援機器）	令和6年10月1日
総合入院体制加算3	令和6年11月1日

事	項	指定（許可年月日）
救急患者連携搬送料		令和6年12月1日
急性期充実体制加算1		令和7年1月1日
栄養サポートチーム加算		令和7年3月1日

2. 各種学会・団体による施設認定一覧

（令和7年3月31日現在）

日本医学放射線学会	専門医制度修練機関
日本脳神経外科学会	専門医指定訓練施設
日本内科学会	認定医教育病院
日本麻酔科学会	専門医研修施設
日本病理学会	病理専門医研修認定施設「B」
日本外科学会	専門医修練施設
日本臨床検査医学会	臨床検査専門医研修施設
日本消化器内視鏡学会	専門医指導施設
日本整形外科学会	専門医研修施設
日本眼科学会	専門医研修施設
日本耳鼻咽喉科学会	専門医研修施設
日本消化器外科学会	専門医修練施設（関連施設）
日本小児科学会	専門医研修施設
日本泌尿器科学会	専門医教育施設
日本皮膚科学会	専門医主研修施設
日本産科婦人科学会	専攻医指導施設
日本形成外科学会	認定施設
日本消化器病学会	専門医認定施設
日本肝臓学会	専門医認定施設
日本呼吸器外科学会	専門医基幹施設
日本呼吸器学会	認定施設
日本血液学会	血液研修施設
日本呼吸器内視鏡学会	専門医認定施設
日本循環器学会	専門医研修施設
日本集中治療医学会	専門医研修施設
日本核医学会	専門医教育病院
日本超音波医学会	専門医研修施設
日本糖尿病学会	教育施設
日本透析医学会	専門医認定施設
日本口腔外科学会	専門医准研修機関
日本神経学会	専門医教育施設

日本プライマリ・ケア連合学会	家庭医療後期研修プログラム
日本乳癌学会	認定医・専門医認定施設
日本放射線腫瘍学会	認定施設
日本心血管インターベンション治療学会	研修施設
日本医療薬学会	認定薬剤師制度研修施設
心臓血管外科専門医認定機構	基幹施設
日本臨床細胞学会	施設認定
日本周産期・新生児医学会	専門医暫定研修施設
日本脳卒中学会	研修教育病院
日本老年精神医学会	専門医認定施設
日本感染症学会	研修施設
日本精神神経学会	専門医研修施設
日本 I V R 学会	専門医修練施設
日本がん治療認定医機構	認定研修施設
日本小児循環器学会	専門医修練施設
日本輸血・細胞治療学会	認定医指定施設
日本不整脈心電学会	専門医研修施設
日本脳神経血管内治療学会	研修施設
日本リウマチ学会	教育施設
日本内分泌学会	認定教育施設
日本頭頸部外科学会	専門医研修施設
日本医療薬学会	がん専門薬剤師研修施設
ステントグラフト実施基準管理委員会	実施施設（胸部・腹部）
血管内レーザー焼灼術実施・管理委員会	実施施設
ASO 施設認定	実施施設
認定輸血検査技師制度	指定施設
認定臨床微生物検査技師制度	研修施設
日本臨床衛生検査技師会	精度保証施設
日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会	エキスパンダー実施施設
	インプラント実施施設
日本心臓血管麻酔学会	専門医認定施設
日本在宅医学会	研修施設認定
経カテーテル的心臓弁治療関連学会	大動脈弁置換術実施施設
	TAVR 専門施設認定基準
日本臨床栄養代謝学会	NST 稼動施設

日本輸血・細胞治療学会	I&A 認証施設
日本婦人科腫瘍学会	指定修練施設認定
日本内分泌外科学会	認定研修施設
日本産婦人科内視鏡学会	専門医制度認定施設
日本肝胆膵外科学会	認定修練施設
日本気管食道科学会	専門医制度研修施設
日本検査血液学会骨髓検査技師制度	研修認定施設
日本脈管学会	脈管専門医認定施設
浅大腿動脈ステントグラフト実施基準管理委員会	実施施設
補助人工心臓関連学会協議会インペラ部会	
	IMPELLA 実施施設
日本臨床腫瘍学会	認定研修施設
日本遺伝性乳癌卵巣癌総合診療制度機構	実施施設（協力施設）
日本緩和医療学会	認定研修施設
日本成人先天性疾患学会	総合修練施設
日本内視鏡外科学会	認定施設
日本病態栄養学会	専門医研修施設
日本耳科学会	認可研修施設
日本心エコー図学会	専門医研修施設
日本脳神経外傷学会	認定研修施設
日本病院総合診療医学会	認定研修施設
日本大腸肛門病学会	認定施設